

西尾市将来人口推計報告書

2026 年（令和 8 年）3 月

西 尾 市

目 次

序 章 はじめに	1
1. 調査目的	1
2. 調査内容	1
第1章 人口に係る社会情勢の整理	2
第2章 市の人口の動向	3
1. 市の人口の動向	3
(1) 市全域の人口動向	3
(2) 小学校区別の人口動向	21
第3章 将来人口の推計方法	34
(1) 推計方法	34
(2) 推計の概要	35
(3) 将来推計の仮定値の設定	35
第4章 将来人口推計の結果	39
1. 市全域の推計結果	39
2. 小学校区別の推計結果	47
第5章 将来課題の整理	152

序章 はじめに

1. 調査目的

人口減少時代における適正な行政サービスの提供と計画的なまちづくりに資するため、西尾市の最新の人口動態に基づいた将来人口の推計を行います。本推計結果を今後の計画策定等における基礎資料とすることを目的とします。

2. 調査内容

① 市全域の人口、世帯数の動態分析

公開されている基礎データを収集整理し、現在までの市全域の人口、世帯数、自然増減（出生・死亡）、社会増減（転出・転入）の推移や傾向を総数、年齢別、男女別、国籍別（日本人・外国人の別）に分析します。

② 小学校区別の人口、世帯数の動態分析

公開されている基礎データを収集整理し、現在までの小学校区別の人口の推移や傾向を分析します。

③ 将来人口の推計及び分析

①、②の分析結果等から、本推計における出生率、出生性比、生残率、移動率の仮定値を設定し市全域、小学校区別において、将来人口の推計を行います。

④ 将来に対する課題の整理

②の分析結果、③の推計結果をもとに、市の将来に対する課題を整理します。

第1章 人口に係る社会情勢の整理

日本の総人口は、2008年（平成20年）の1億2,808万人をピークに減少に転じ、本格的な人口減少社会に突入しました。2020年（令和2年）の国勢調査では1億2,615万人となっており、減少傾向が継続しています。

この人口を年齢3区分別にみると、15歳未満の年少人口が1,503万人、15～64歳の生産年齢人口が7,509万人、65歳以上の老年人口が3,603万人となっています。2015年（平成27年）と比較すると、年少人口の比率は12.6%から11.9%へ、生産年齢人口の比率は60.7%から59.5%へとそれぞれ低下しました。一方で、老年人口の比率は26.6%から28.6%に上昇しており、少子高齢化が進行していることがうかがえます。

2024年（令和6年）10月1日時点の推計人口では、日本の人口は1億2,380万人となっています。この推計人口を年齢3区分別でみると、年少人口が1,383万人（11.2%）、生産年齢人口が7,372万人（59.6%）、老年人口が3,624万人（29.3%）となっています。全国的には総人口の減少が継続していることに加え、老年人口の割合が約3割に達するなど、人口構成は大きく変容しています、今後も人口減少と高齢化が進むことで、地域社会や経済構造への影響は一層深刻化することが予測されます。

一方、愛知県の人口は2010年（平成22年）以降も増加しており、2020年（令和2年）で754万人となっています。年齢3区分別にみると、年少人口が98万人、生産年齢人口が465万人、老年人口が191万人となっています。2015年（平成27年）と比較すると、15歳未満人口の比率は13.7%から13.0%へ、生産年齢人口の比率は62.5%から61.7%へとそれぞれ低下していますが、老年人口の比率は23.8%から25.3%に上昇しており、全国的な人口動向と同様に、少子高齢化が進行していることがうかがえます。

2024年（令和6年）10月1日時点の推計人口では、愛知県の総人口は746万人となっており、2020年（令和2年）以降、減少傾向が継続しています。この推計人口を年齢3区分別でみると、年少人口が90万人（12.2%）、生産年齢人口が462万人（62.0%）、老年人口が192万人（25.8%）となっています。愛知県においても、全国の人口動向に比べれば年少人口や生産年齢人口の割合が高いものの、少子高齢化などの人口構造の変化は着実に進んでいます。

第2章 市の人口の動向

1. 市の人口の動向

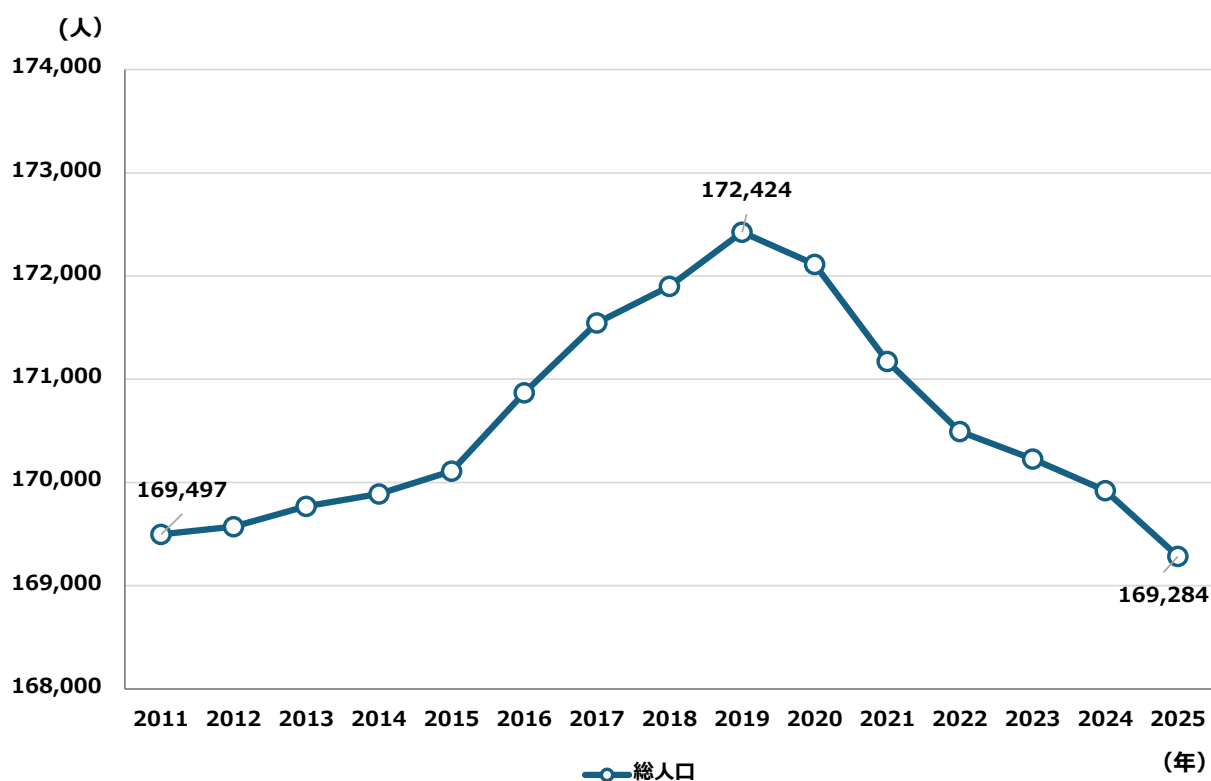
(1) 市全域の人口動向

①人口の推移

本市の総人口は、1市3町の合併（一色町、吉良町、幡豆町との合併）により現在の市域となった2011年（平成23年）の169,497人を基準として、その後は堅調な増加傾向が続き、2019年（令和元年）には172,424人とピークを迎えました。

しかし、2020年（令和2年）からは減少に転じており、特に2021年（令和3年）には前年から約1,000人の大幅な減少がみられました。以降も減少傾向は継続し、2025年（令和7年）には169,284人と、2011年（平成23年）の人口を下回る水準まで減少しています。

図 市全域の人口推移



資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

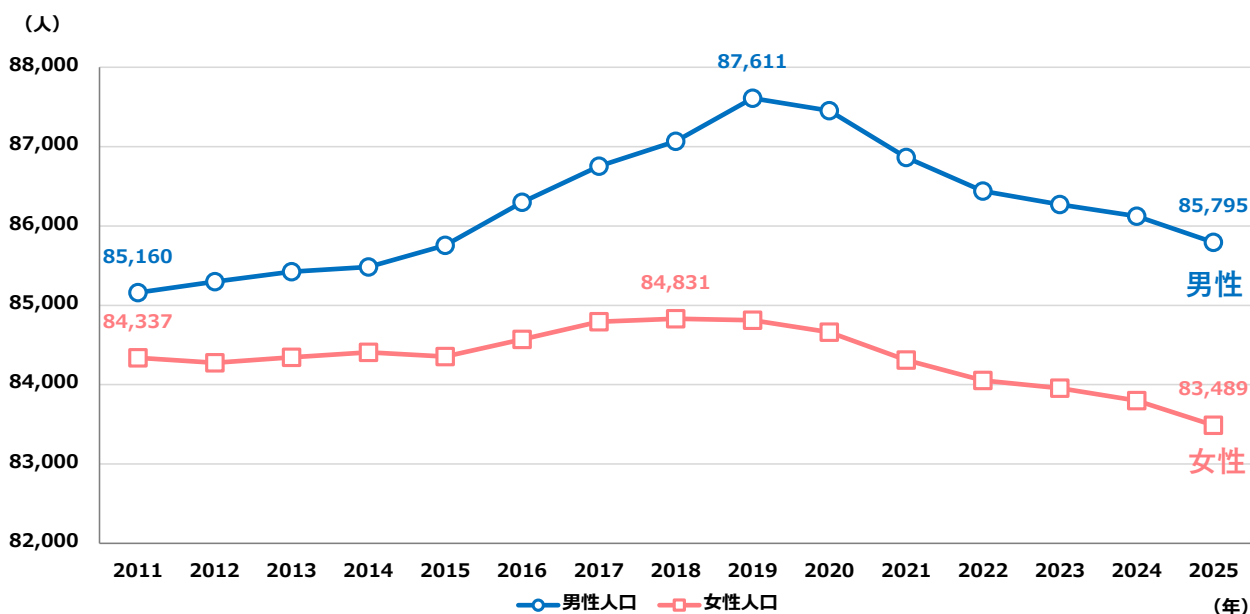
②男女別の人口の推移

男女別の人口推移をみると、男性人口は2011年（平成23年）の85,160人から増加が続き、2019年（令和元年）に87,611人でピークを迎えました。その後は減少に転じ、2025年（令和7年）には85,795人となっています。2011年（平成23年）と2025年（令和7年）を比較すると、約600人の増加となっています。

女性人口は2011年（平成23年）の84,337人から緩やかに増加し、2018年（平成30年）の84,831人をピークに減少へと転じています。2025年（令和7年）には83,489人となっており、2011年（平成23年）と比較して約850人の減少となっています。

期間全体の推移を比較すると、男性人口は女性人口を常に上回って推移していますが、増減の幅は男性の方が大きくなっています。また、女性人口が2018年（平成30年）にピークを迎え、2025年（令和7年）時点で2011年（平成23年）の数値を下回っているのに対し、男性人口は1年遅い2019年（令和元年）にピークを迎え、2025年（令和7年）時点でも2011年（平成23年）の数値を上回っています。

図 男女別の人口推移



資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

③年齢3区分別の人口の推移

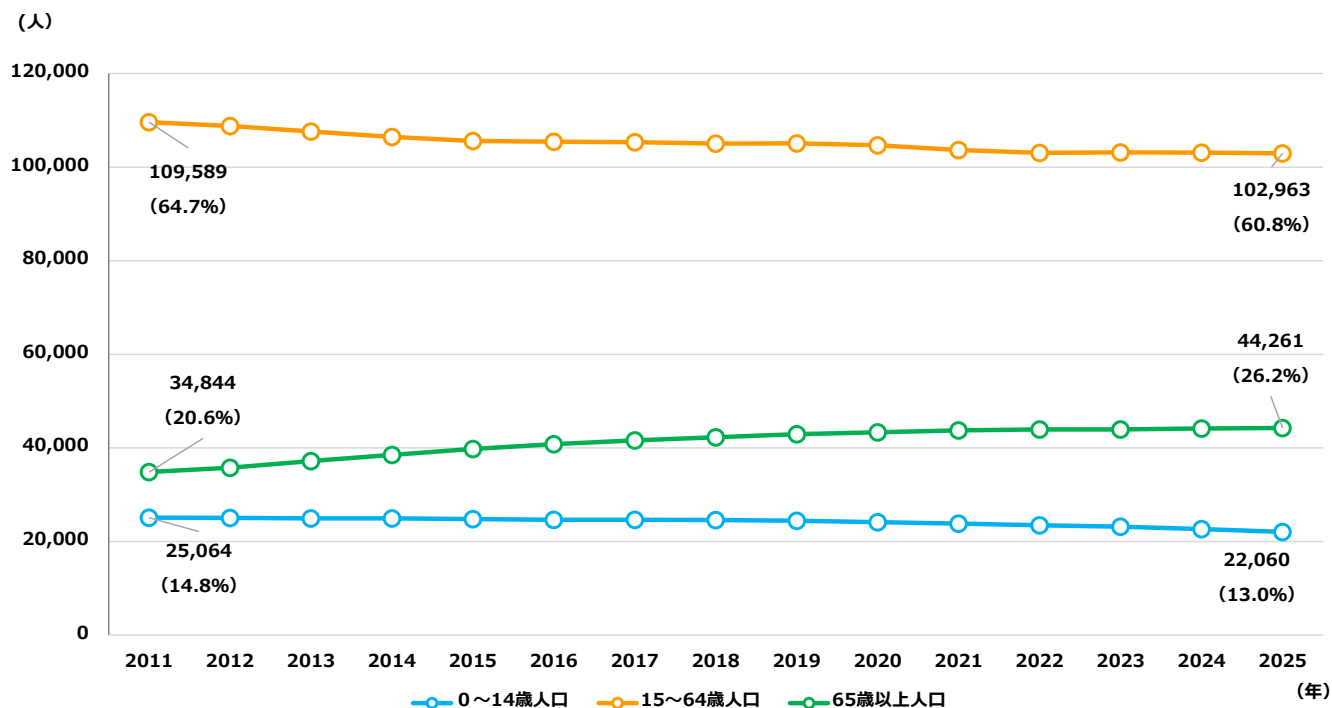
年齢3区分（年少人口、生産年齢人口、老年人口）の構成比の推移をみると、2011年（平成23年）から2025年（令和7年）にかけて、それぞれの区分で顕著な変化がみられます。

15歳未満の年少人口の割合をみると、2011年（平成23年）時点の14.8%から低下が続いており、2025年（令和7年）には13.0%となっています。期間全体では、1.8%低下しています。

15歳から64歳の生産年齢人口は、2011年（平成23年）の64.7%から低下が続いており、2025年（令和7年）には60.8%となっています。期間全体では3.9%低下しています。

一方で、65歳以上の老年人口は、2011年（平成23年）の20.6%から上昇が続いており、2025年（令和7年）には26.2%となっています。期間全体では5.6%上昇しています。

図 年齢3区分別の人口推移



資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

④ 5 歳階級別人口

2011 年（平成 23 年）と 2025 年（令和 7 年）の 5 歳階級別人口を比較すると、本市の人口構造は明確に変化しています。

2011 年（平成 23 年）に 30 歳代後半から 40 歳代前半、および 60 歳代前半にあった人口の大きな塊は、2025 年（令和 7 年）にはそのまま高年齢層へと移行しました。その結果、2025 年（令和 7 年）時点では 50 歳代前半が最大のボリュームゾーンとなり、次いで 70 歳代前半の層が厚くなっています。

ピラミッドの土台となる若年層（0～14 歳）は、2011 年（平成 23 年）時点でもすでに縮小傾向にありましたが、2025 年（令和 7 年）にはさらにその幅が狭まっています。特に最下部の 0～4 歳層の縮小が顕著であり、少子化が一段と加速している状況が形状から読み取れます。

いずれの年においても、若年層から生産年齢層にかけては男性が女性を上回る一方で、75 歳以上の後期高齢者層では女性が男性を大きく上回るという構造は共通していますが、2025 年（令和 7 年）では高齢層全体の厚みが増したことで、この男女の差がより高い年齢層で顕著に現れるようになりました。

全体としては、2011 年（平成 23 年）の「つぼ型」に近い形状から、2025 年（令和 7 年）にはさらに上部が膨らみ下部が一段と細くなった「逆ピラミッド型」に近い形状へと移行しており、少子高齢化の進行が数値と形状の両面で明確に示されています。

図 年齢5歳階級別の人口（2011年）

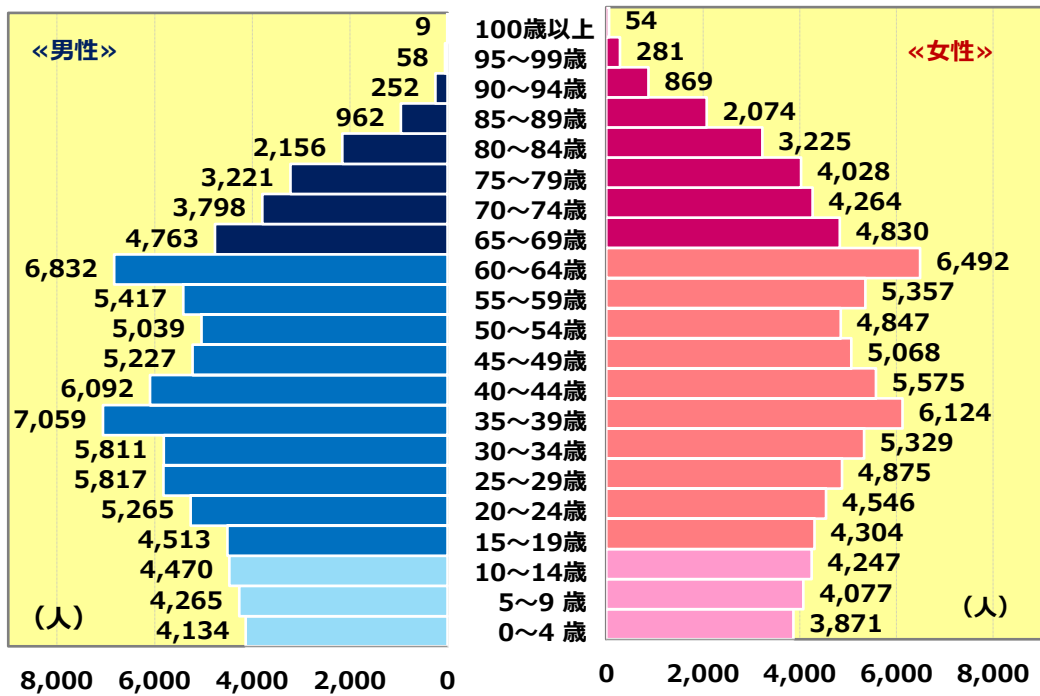
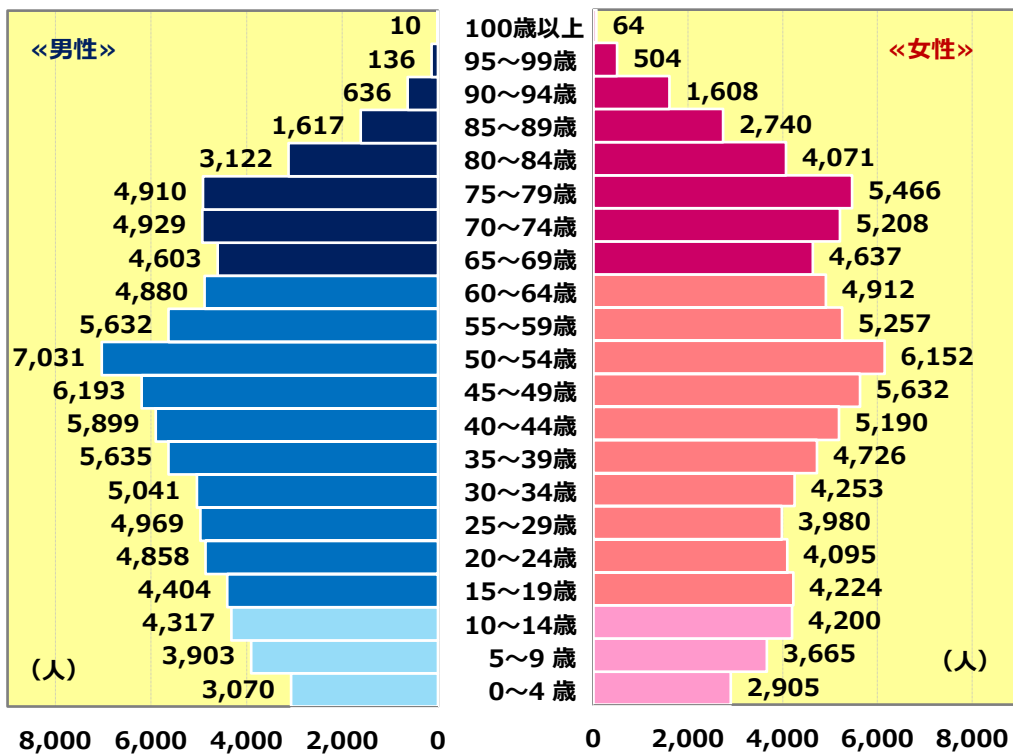


図 年齢5歳階級別の人口（2025年）



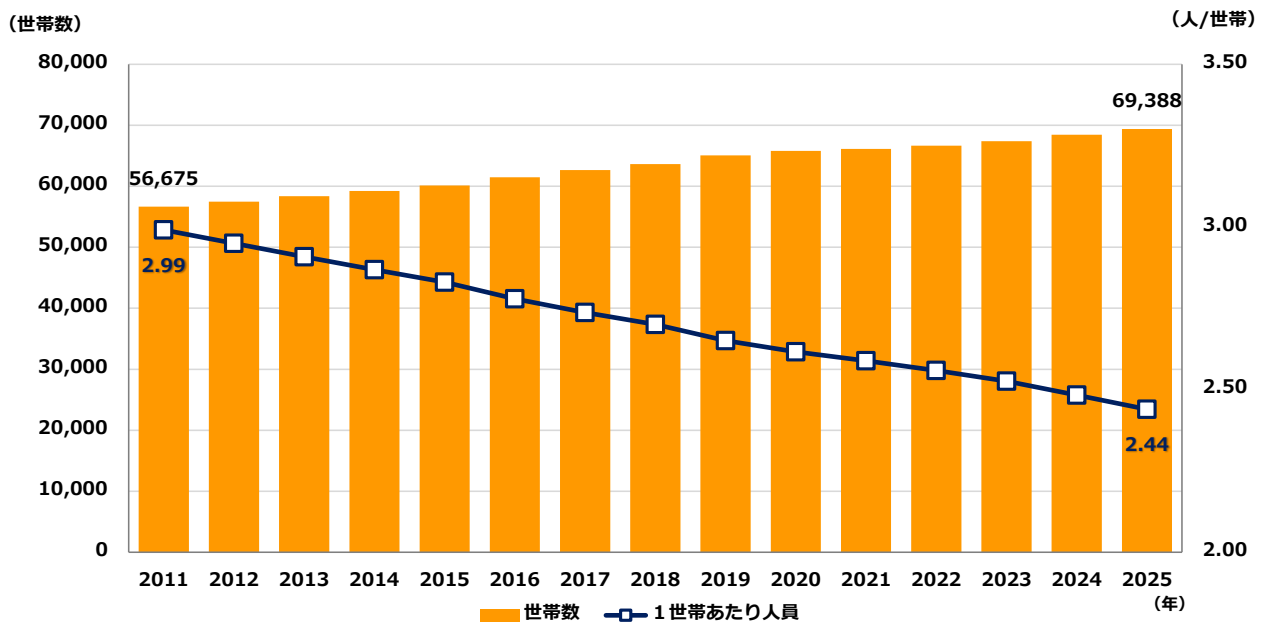
資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

⑤世帯数の推移

本市の世帯数は、2011年（平成23年）の56,675世帯から一貫して増加が続いており、総人口が減少局面に入った2020年（令和2年）以降もその傾向に変化はみられません。2025年（令和7年）には69,388世帯となり、2011年（平成23年）と比較すると、約12,700世帯（約22.4%）増加しています。

一方で、1世帯あたりの平均人員は、2011年（平成23年）の2.99人から減少が続いており、2025年には2.44人まで減少しています。

図 世帯数・1世帯あたり人員



資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

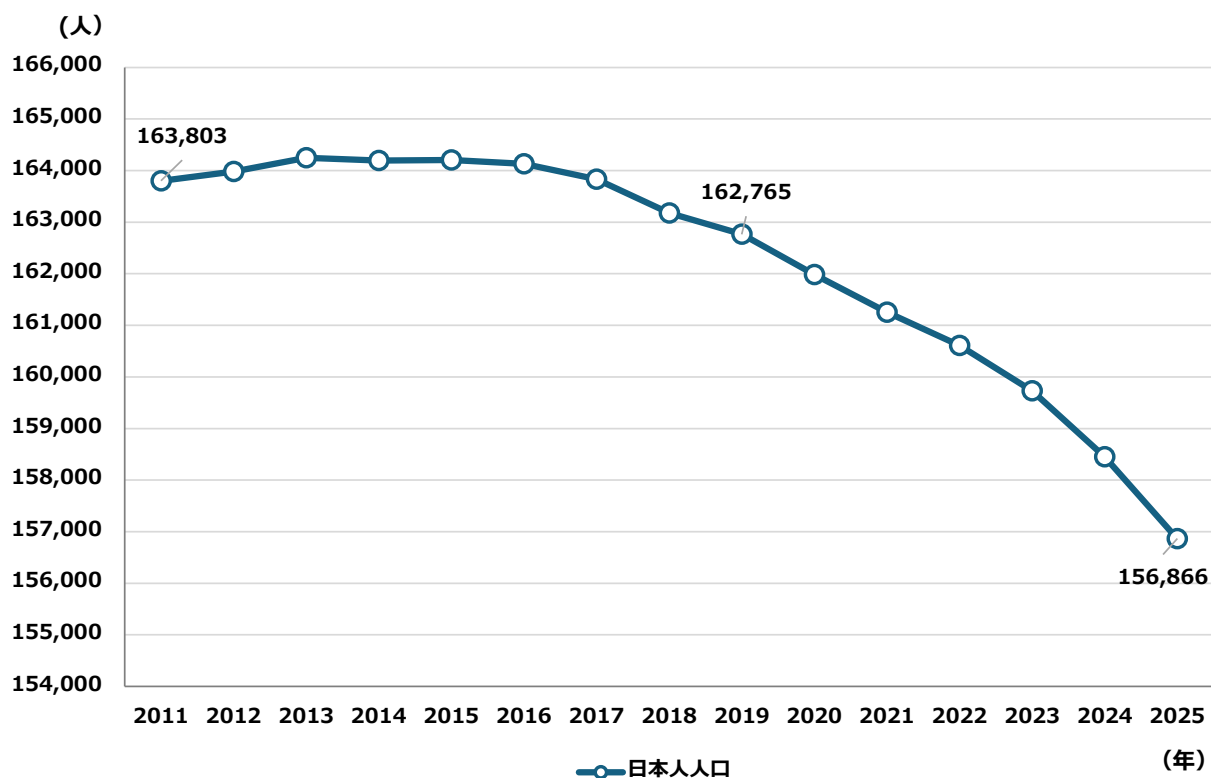
⑥日本人の人口の推移

本市の日本人人口の推移をみると、2011年（平成23年）の163,803人から2013年（平成25年）までは微増傾向にありましたが、2014年（平成26年）を境に減少へと転じています。

総人口のピークが2019年（令和元年）であったのに対し、日本人人口はその5年前から減少が始まっています。特に2018年（平成30年）以降は減少幅が加速しており、2025年（令和7年）には156,866人まで減少しました。

期間全体の推移をみると、2011年（平成23年）から2025年（令和7年）までで6,937人（約4.2%）の減少となっています。総人口が2011年（平成23年）とほぼ同水準を維持している一方で、日本人人口のみでは約7,000人規模の減少が生じています。

図 日本人の人口推移



資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

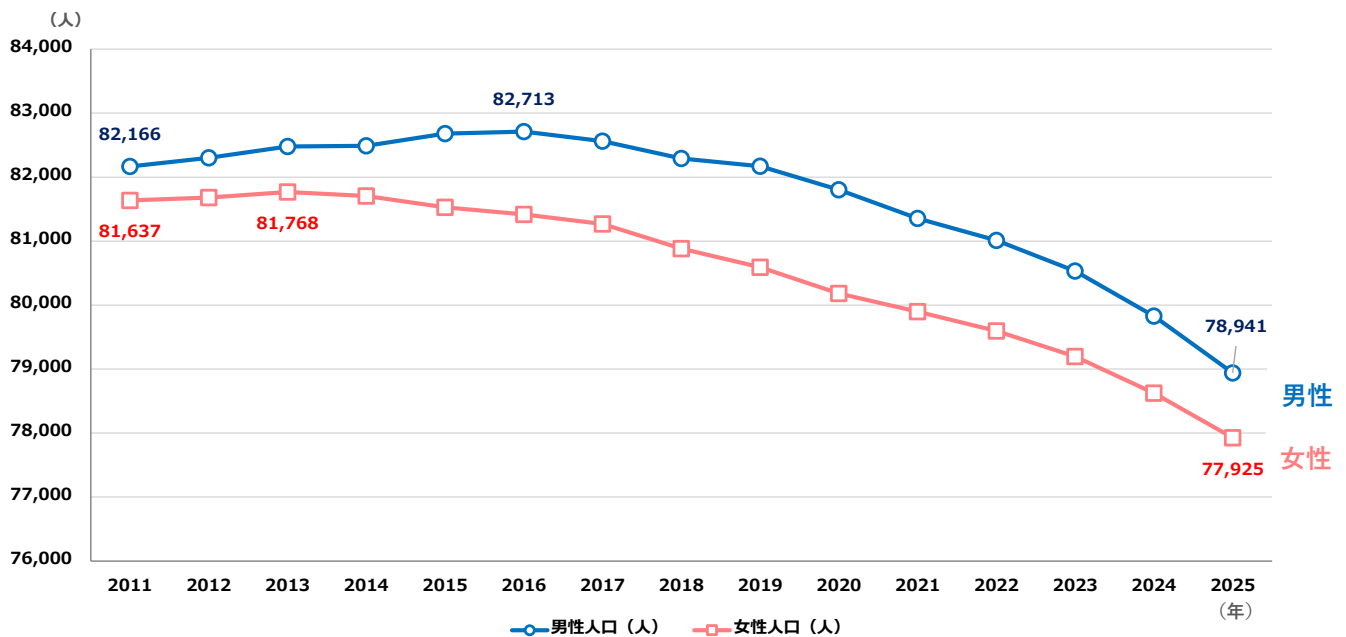
⑦日本人の男女別の人口の推移

男性の日本人人口は、2011年（平成23年）の82,166人から微増を続け、2016年（平成28年）の82,713人でピークを迎えました。その後は減少に転じ、2025年（令和7年）には78,941人となっています。2011年（平成23年）と比較すると、3,225人の減少となりました。

一方、女性の日本人人口は、2013年（平成25年）の81,768人をピークに減少へと転じています。2011年（平成23年）の81,637人と2025年（令和7年）の77,925人を比較すると、3,712人の減少となっています。

男女別の推移を比較すると、女性人口は男性人口よりも3年早くピークを迎え、減少局面に入っています。また、期間全体を通じた減少幅も女性の方が大きく、男性人口が2019年（令和元年）まで2011年（平成23年）当時の水準を上回っていたのに対し、女性人口は2014年（平成26年）にはすでに2011年（平成23年）の水準を下回るなど、減少の進行がより早い傾向が表れています。

図 日本人の男女別の人口推移



資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

⑧日本人の出生数、死亡数、自然増減数の推移

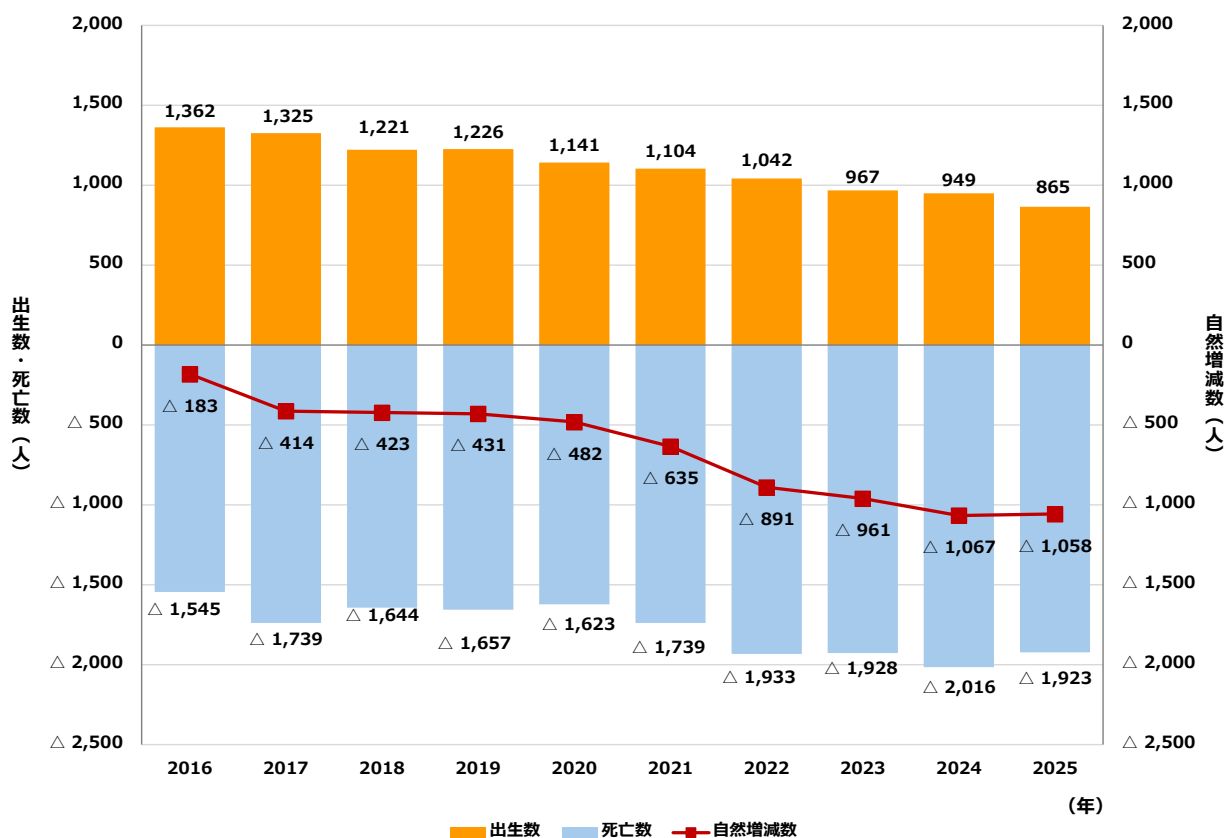
過去10年間(2016年から2025年まで)の日本人における自然増減の推移をみると、死亡数が出生数を上回る自然減の状態が一貫して続いており、その減少幅は拡大傾向にあります。

出生数は、2016年(平成28年)の1,362人から減少が続いており、2025年(令和7年)には865人となりました。この10年間で出生数は497人減少し、2025年(令和7年)時点では2016年(平成28年)と比較して約6割の水準まで低下しています。

一方で、死亡数は2016年(平成28年)の1,545人から、年ごとの変動はあるものの概ね増加傾向で推移しています。2024年(令和6年)には2,016人と期間中で最多を記録し、2025年(令和7年)も1,923人と高い水準にあります。

これらの結果、出生数から死亡数を差し引いた自然増減数は、2016年(平成28年)のマイナス183人から、2024年(令和6年)にはマイナス1,067人と、初めて1,000人を超える減少幅となりました。2025年(令和7年)もマイナス1,058人となっており、近年の出生数の減少と死亡数の高止まりにより、日本人人口の自然減が加速しています。

図 日本人の出生数、死亡数、自然増減数の推移



資料：愛知県人口動向調査 各年 前年10月1日～当年9月30日

⑨日本人の転入数、転出数、社会増減数の推移

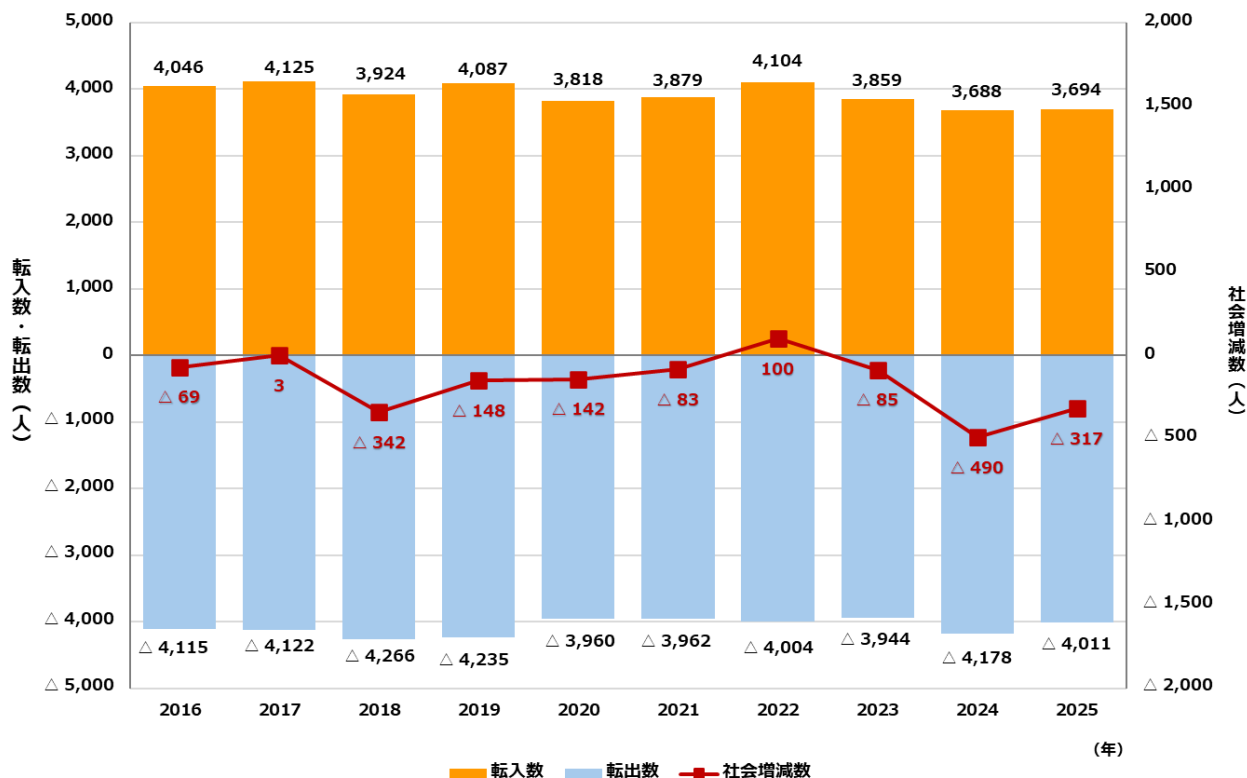
過去10年間(2016年から2025年まで)の日本人における社会増減の推移をみると、2022年(令和4年)の一時期を除き、転出数が転入数を上回る転出超過(社会減)の状態が続いています。

転入数は、2017年(平成29年)の4,125人をピークに、概ね3,000人台後半から4,000人台前半で推移しています。2025年(令和7年)には3,694人となり、2016年(平成28年)の4,046人と比較して352人の減少となりました。

一方で転出数は、期間を通じて4,000人前後で推移しています。2024年(令和6年)には4,178人と期間中で最多を記録し、2025年(令和7年)も4,011人と転入数を上回る水準にあります。

これらの結果、転入数から転出数を差し引いた社会増減数は、2022年(令和4年)に100人の転入超過(社会増)を記録したほかは、すべてマイナスで推移しています。特に2024年(令和6年)はマイナス490人と最大の減少幅となりました。2025年(令和7年)もマイナス317人となっており、自然増減と比較すると変動幅は小さいものの、日本人人口を減少させる要因の一つとして継続的に推移しています。

図 日本人の転入数、転出数、社会増減数の推移



資料：愛知県人口動向調査 各年 前年10月1日～当年9月30日

⑩-1 2018年の日本人における男女別・年齢別転入数、転出数、社会増減

2018年（平成30年）における日本人の年齢別社会増減をみると、男女ともに若年層の大幅な転出超過（社会減）が全体を押し下げています。

男性の状況をみると、25歳から29歳の層において転入420人に対し、転出が568人と、148人の大幅な社会減となっています。次いで、20歳から24歳の層では75人の社会減、30歳から34歳の層では42人の社会減となっています。一方で、0歳から4歳の層では29人、15歳から19歳の層では13人の社会増がみられます。

女性の状況においても、20歳から24歳の層で170人、25歳から29歳の層で97人と、若年層における顕著な社会減が確認できます。特に女性の20歳から24歳の層では、転入218人に対し、転出が388人と全年齢層・男女を通じて最大の減少幅となっています。一方、0歳から4歳の層では40人、30歳から34歳の層では5人の社会増がみられます。

図 2018年【日本人男性】年齢別転入・転出・社会増減

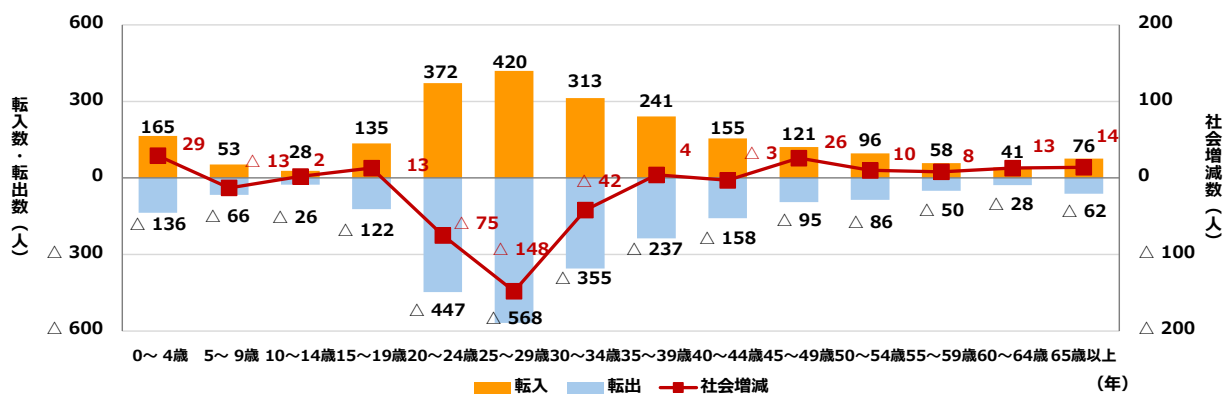
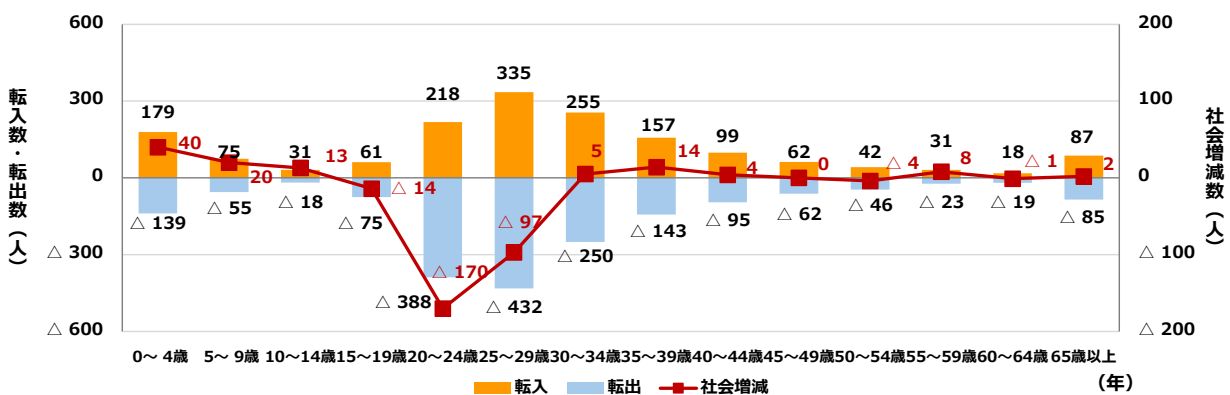


図 2018年【日本人女性】年齢別転入・転出・社会増減



資料：愛知県人口動向調査 2017年10月1日～2018年9月30日

⑩-2 2022年の日本人における男女別・年齢別転入数、転出数、社会増減数

過去10年間で唯一、日本人の社会増減がプラス（100人の転入超過）となった2022年（令和4年）の年齢別社会増減をみると、若年層の流出が抑制される一方で、子育て世代とその子ども世代にあたる層の転入超過が全体を押し上げています。

男性の状況をみると、20歳から24歳の層で94人の転出超過、25歳から29歳の層で74人の転出超過がみられるものの、2024年（令和6年）と比較するとその規模は小さくなっています。一方で、30歳から34歳の層で40人、35歳から39歳の層で23人の転入超過となっており、0歳から4歳の層でも44人の転入超過がみられます。

女性の状況においては、20歳から24歳の層で116人の転出超過になっているものの、25歳から29歳の層では4人の転出超過にとどまっています。さらに、30歳から34歳の層で71人、35歳から39歳の層で23人と、30歳代の転入超過が顕著です。これに伴い、0歳から4歳の層でも55人の転入超過となっています。

図 2022年【日本人男性】年齢別転入・転出・社会増減

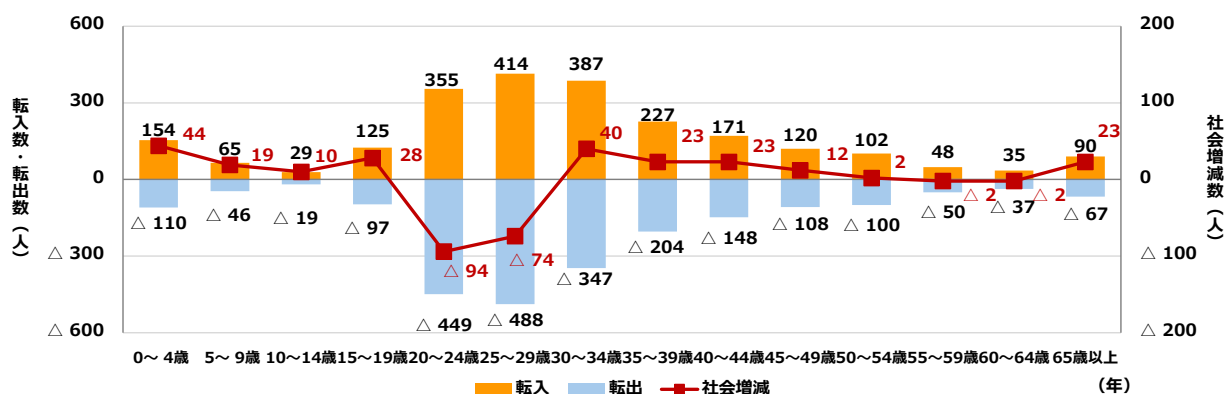
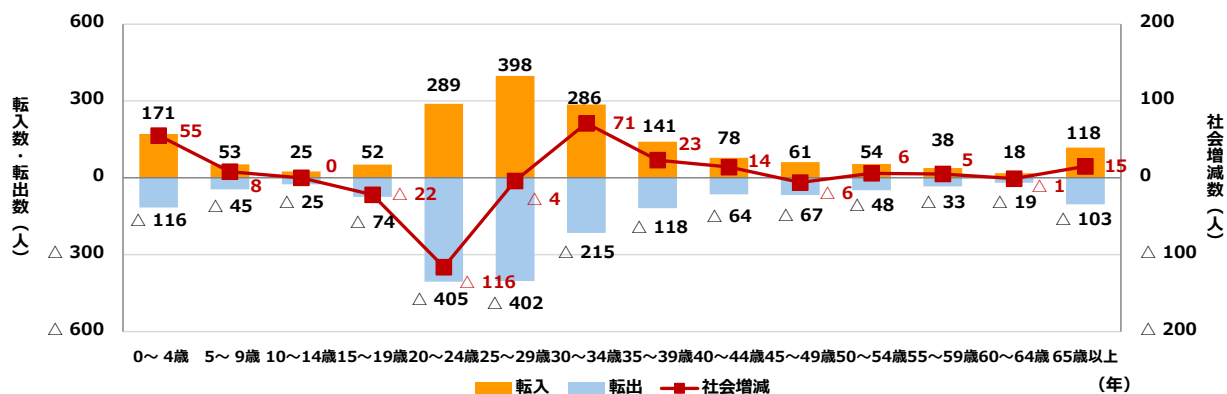


図 2022年【日本人女性】年齢別転入・転出・社会増減



資料：愛知県人口動向調査 2021年10月1日～2022年9月30日

⑩-3 2024年の日本人における男女別・年齢別転入数、転出数、社会増減数

2024年（令和6年）における日本人の年齢別社会増減をみると、男女ともに若年層から30歳代にかけて転出超過（社会減）が目立つ状況となっています。

男性の状況をみると、20歳～24歳の層において転入345人に対し、転出が519人と、174人の大幅な社会減となっており、全年齢層で最大の減少幅を記録しています。次いで25歳～29歳の層でも108人の社会減となっており、若年層の流出が続いています。なお、0歳～4歳の層では25人の社会増がみられるものの、親世代に近い年齢層での大きな増加には至っていません。

女性の状況においても、20歳～24歳の層で95人、25歳～29歳の層で80人の転出超過となっています。男性と同様に、進学や就職を機とした若年層の流出傾向が顕著に表れています。0歳～4歳の層では18人の社会増がみられますが、男性と同様に限定的な動きにとどまっています。

特筆すべきは30歳代の動向です。2024年（令和6年）の特徴として、これまで社会増を維持してきた30歳代において、男女ともに社会増減がマイナス（転出超過）に転じています。

図 2024年【日本人男性】年齢別転入・転出・社会増減

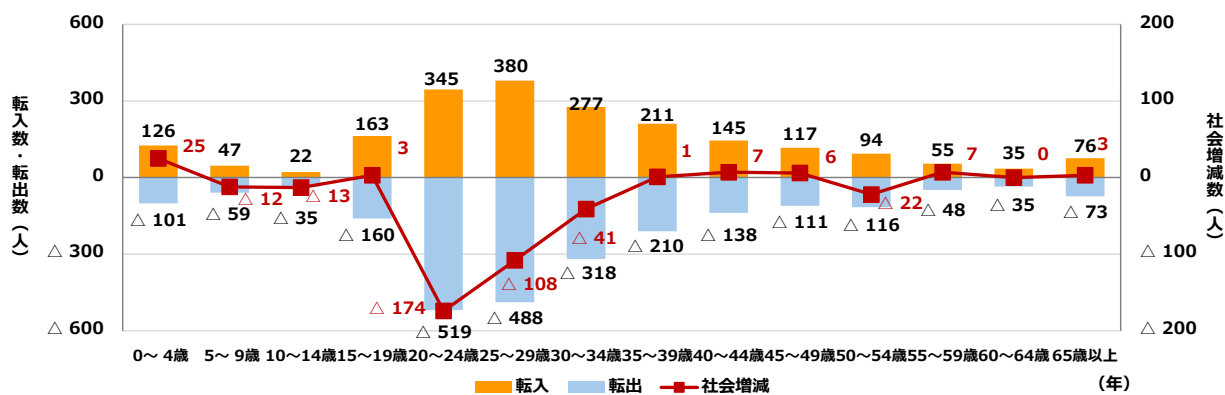
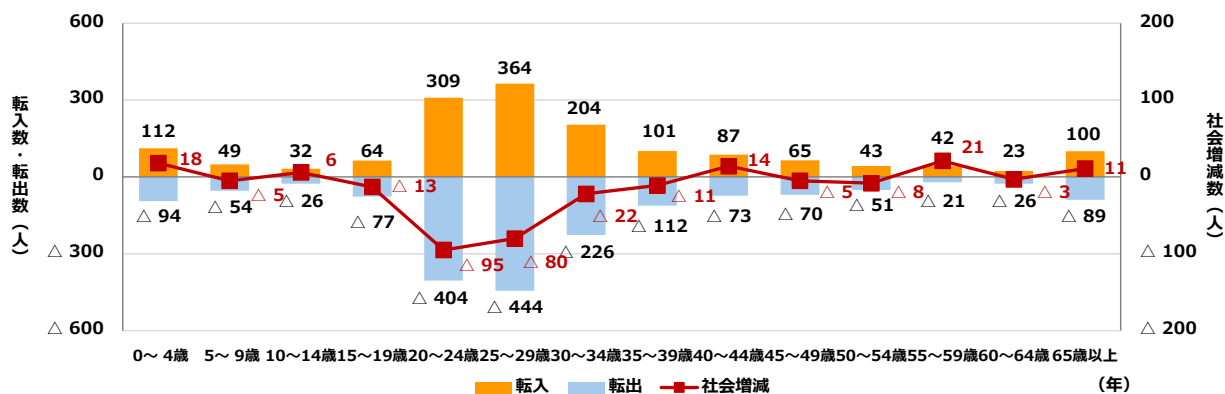


図 2024年【日本人女性】年齢別転入・転出・社会増減



資料：愛知県人口動向調査 2023年10月1日～2024年9月30日

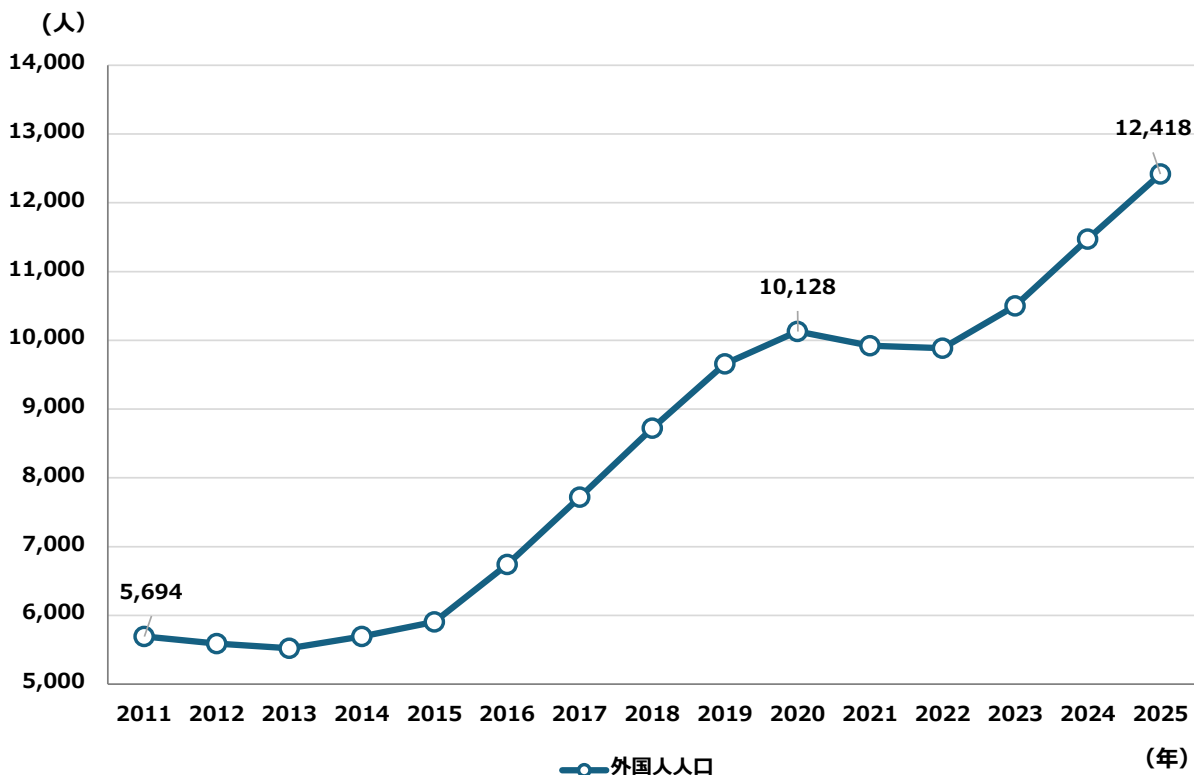
⑪外国人の人口の推移

本市の外国人人口の推移をみると、2011年（平成23年）から2025年（令和7年）にかけて大幅な増加傾向にあります。

2011年（平成23年）時点では5,694人であった外国人人口は、2013年（平成25年）に一度微減したものの、2014年（平成26年）以降は一転して増加に転じました。2020年（令和2年）に10,128人と初めて1万人を超え、その後2021年（令和3年）から2022年（令和4年）にかけては横ばいで推移したものの、2023年（令和5年）から再び増加が加速しています。2025年（令和7年）には12,418人に達し、2011年（平成23年）と比較すると、約2.2倍（6,724人の増）に拡大しています。

年間の増減数に注目すると、2016年（平成28年）から2019年（令和元年）にかけては毎年800人から1,000人規模の極めて多い増加となっています。2021年（令和3年）から2022年（令和4年）にかけてはわずかな減少がみられたものの、2023年（令和5年）以降は再び毎年約1,000人近い増加に転じています。

図 外国人の人口推移



資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

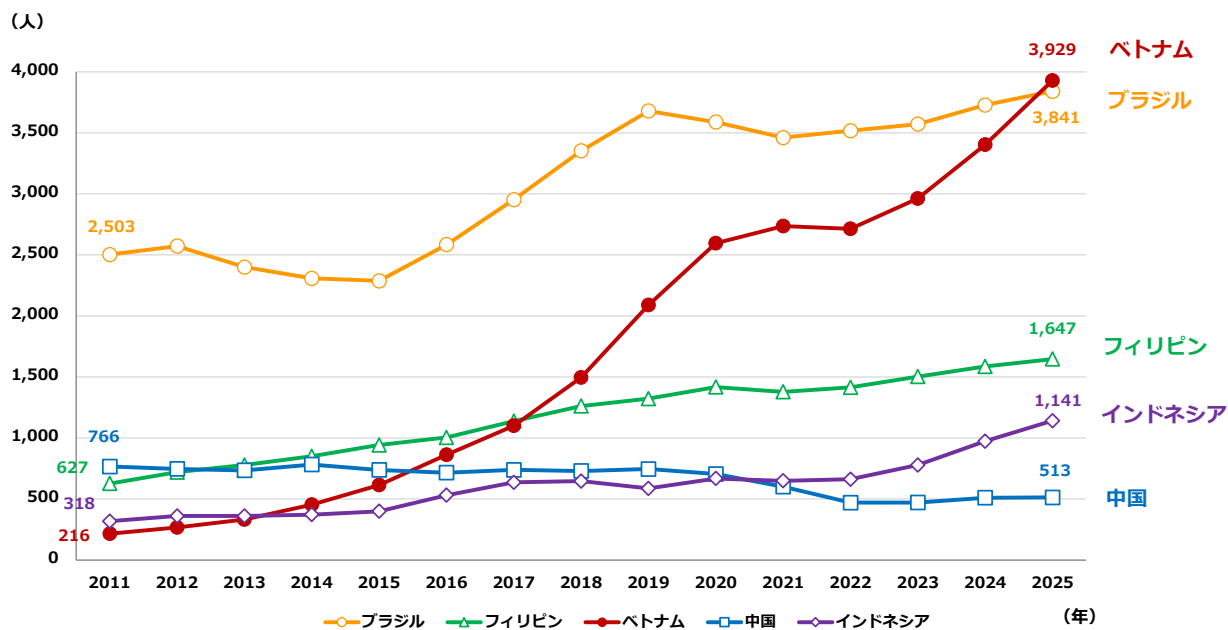
⑫国籍別外国人人口の推移

本市の外国人人口を国籍別にみると、2011年（平成23年）の構成と2025年（令和7年）の構成において、最も顕著な変化を示しているのはベトナム国籍です。2011年（平成23年）時点では216人でしたが、2014年（平成26年）以降に急激な増加に転じました。その後も極めて高い伸び率を維持し続け、2025年（令和7年）には3,929人に達しており、外国人人口において最大の人口規模となっています。

次いで多くの人口を占めるのがブラジル国籍です。長年、最多の外国人国籍として推移しており、2011年（平成23年）の2,503人から、一時期の減少を経て2015年（平成27年）以降は再び増加傾向にあります。2025年（令和7年）時点では3,841人となっており、ベトナム国籍と並ぶ人口規模となっています。

その他の国籍では、フィリピン国籍（1,647人）やインドネシア国籍（1,141人）が増加をみせている一方で、2011年（平成23年）当時はブラジルに次ぐ人口規模であった中国国籍（513人）は近年減少傾向にあります。

図 国籍別外国人市民の推移



資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

⑬外国人の出生数、死亡数、自然増減数の推移

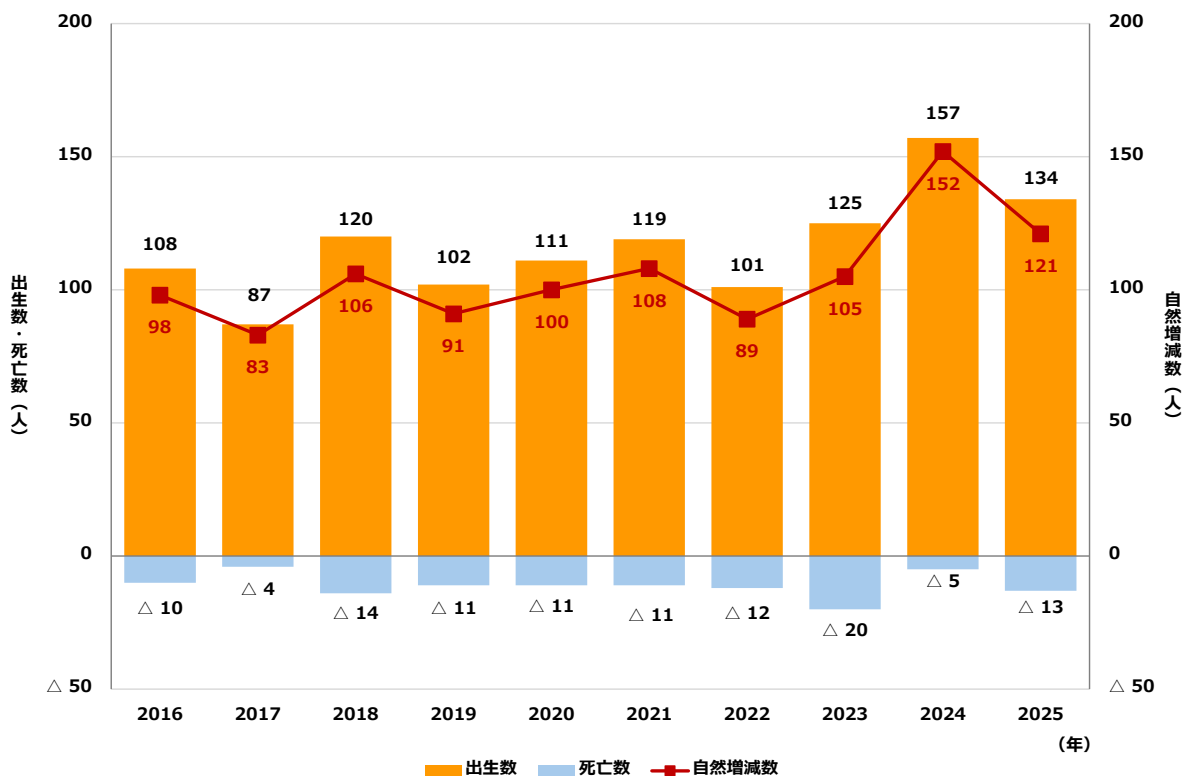
過去10年間(2016年から2025年まで)の外国人における自然増減の推移をみると、日本人とは対照的に、期間を通じて出生数が死亡数を大きく上回る自然増の状態が継続しています。

出生数は、2016年(平成28年)の108人から、年による変動はあるものの概ね増加傾向にあります。特に2024年(令和6年)には157人と期間中で最多を記録し、2025年(令和7年)も134人と高い水準を維持しています。2016年(平成28年)と比較すると、出生数は約24%増加しています。

一方で、死亡数は極めて少ない人数で推移しており、期間を通じて年間4人から20人の範囲に留まっています。2025年(令和7年)の死亡数は13人であり、若年層の多い外国人の年齢構造を反映した結果となっています。

これらの結果、出生数から死亡数を差し引いた自然増減数は、期間中すべてプラス(自然増)で推移しています。2024年(令和6年)にはプラス152人の最大の増加幅を記録し、2025年(令和7年)もプラス121人の自然増となりました。日本人における深刻な自然減を、外国人の自然増が一定程度下支えしている状況となっています。

図 外国人の出生数、死亡数、自然増減数の推移



資料：愛知県人口動向調査 各年 前年10月1日～当年9月30日

⑭外国人の転入数、転出数、社会増減数の推移

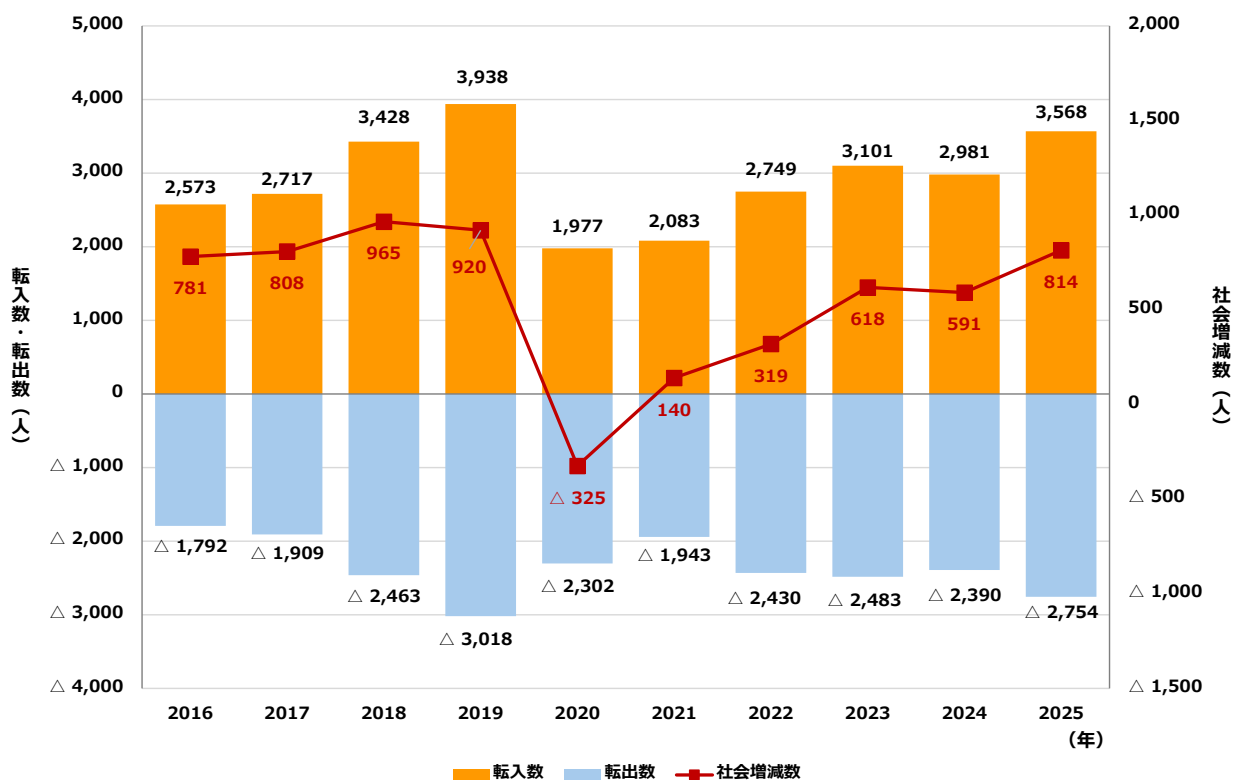
過去10年間(2016年から2025年まで)の外国人における社会増減の推移をみると、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた2020年(令和2年)の一時期を除き、一貫して転入数が転出数を上回る転入超過(社会増)の状態が続いています。

転入数は、2016年(平成28年)の2,573人から増加傾向をたどり、2019年(令和元年)には3,938人と高い水準を記録しました。2020年(令和2年)には1,977人まで急減しましたが、その後は再び増加に転じ、2025年(令和7年)には3,568人まで回復しています。

一方で転出数についても、2019年(令和元年)の3,018人をピークに、概ね2,000人台前後で推移しています。2025年(令和7年)は2,754人となっており、活発な人口移動が行われていることが分かります。

これらの結果、社会増減数は、2020年(令和2年)にマイナス325人の転出超過(社会減)を記録したほかは、すべての年でプラス(社会増)を維持しています。特に2018年(平成30年)は965人、2019年(令和元年)は920人と、年間約1,000人規模の転入超過となっており、2025年(令和7年)においても814人の社会増となっています。

図 外国人の転入数、転出数、社会増減数の推移



資料：愛知県人口動向調査 各年 前年10月1日～当年9月30日

⑮2024年の外国人における男女別・年齢別転入数、転出数、社会増減数

2024年（令和6年）における外国人の年齢別社会増減をみると、男女ともに20歳代を中心とした若年層において、極めて活発な転入超過（社会増）がみられます。

男性の状況をみると、20歳から24歳の層において転入407人に対し、転出が272人と、135人の大幅な社会増となっています。次いで25歳から29歳の層でも43人の社会増となっており、この20歳代の2つの層で男性全体の社会増の大部分を占めています。また、30歳から34歳の層においても31人の社会増となるなど、生産年齢人口の若年層における流入が顕著となっています。

女性の状況においても、20歳から24歳の層で106人、25歳から29歳の層で21人と、20歳代における社会増が確認できます。男性と比較すると20歳代後半の増加幅は緩やかですが、20歳から24歳の層では、転入250人に対し、転出が144人と、女性の全年齢層の中で最大の増加幅となっています。また、15歳から19歳の層（68人増）においても、男性（57人増）を上回る流入がみられます。

図 2024年【外国人男性】年齢別転入・転出・社会増減

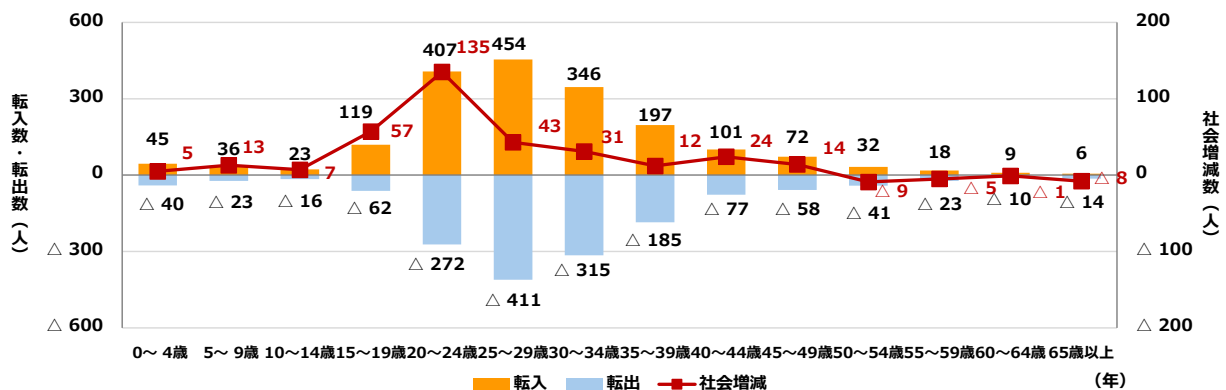
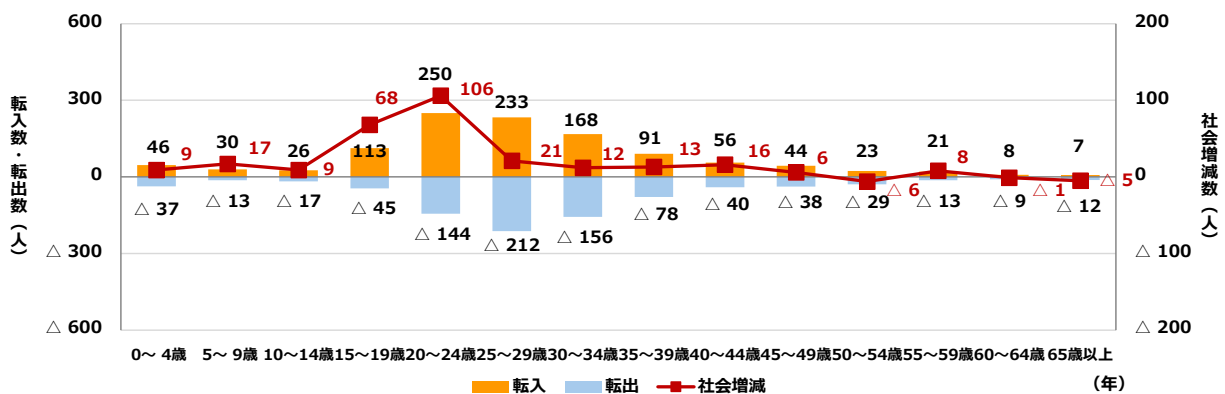


図 2024年【外国人女性】年齢別転入・転出・社会増減

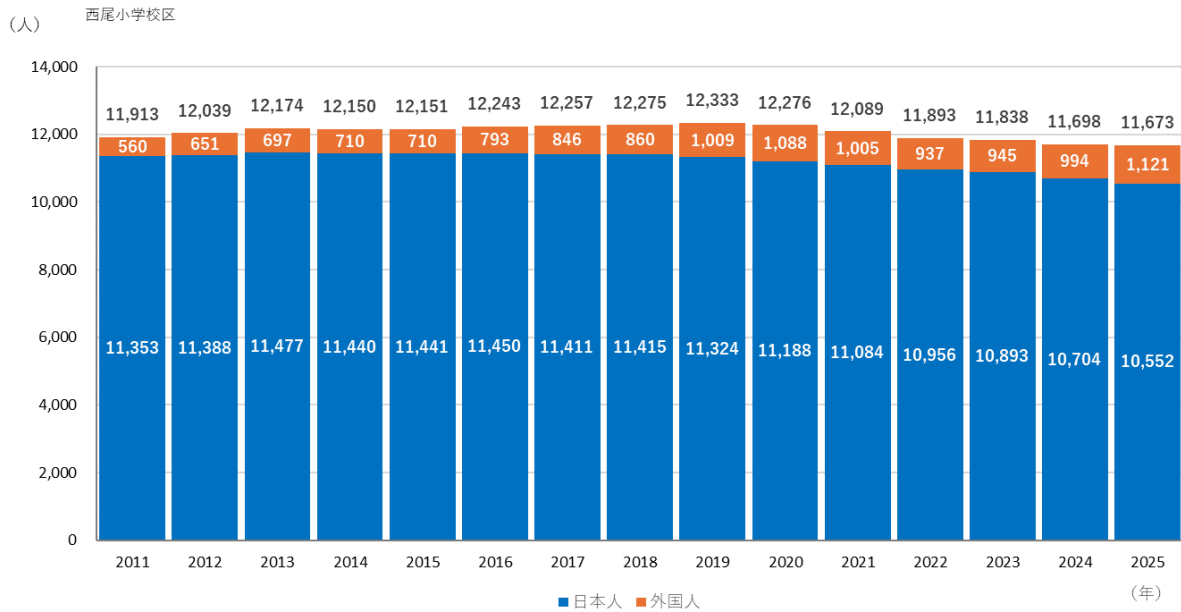


資料：愛知県人口動向調査 各年 前年10月1日～当年9月30日

(2) 小学校区別の人口動向

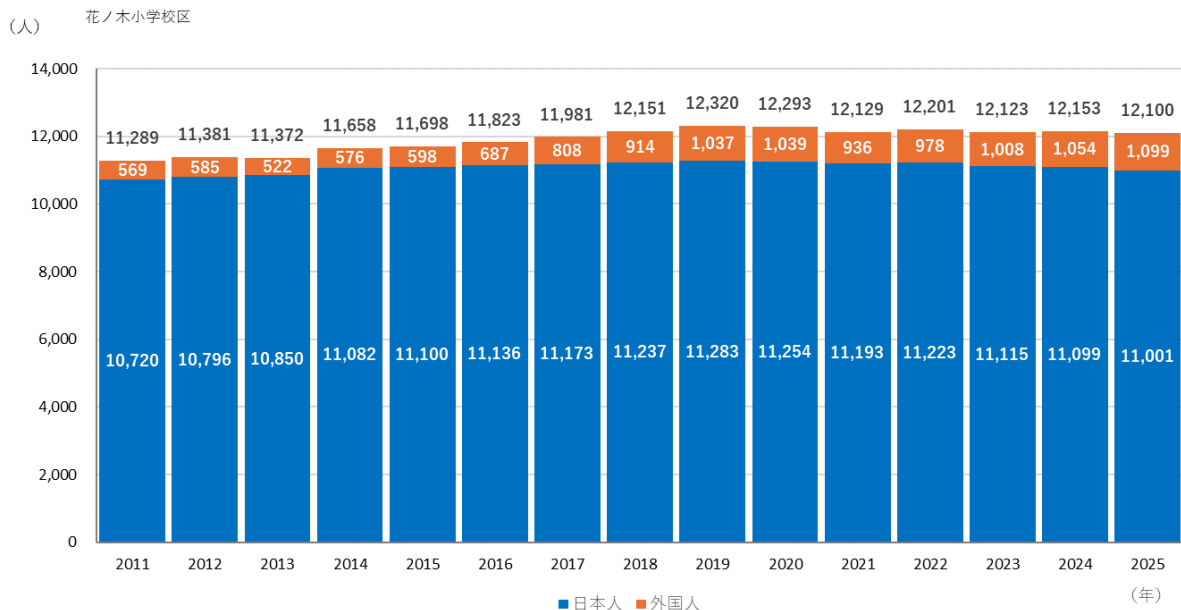
①西尾小学校区

西尾小学校区の人口は、2011年から2025年までにおいて、11,913人から11,673人へと240人(2.0%)減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、11,353人から10,552人へと801人(7.1%)減少、外国人は、560人から1,121人へと561人(100.2%)増加しています。



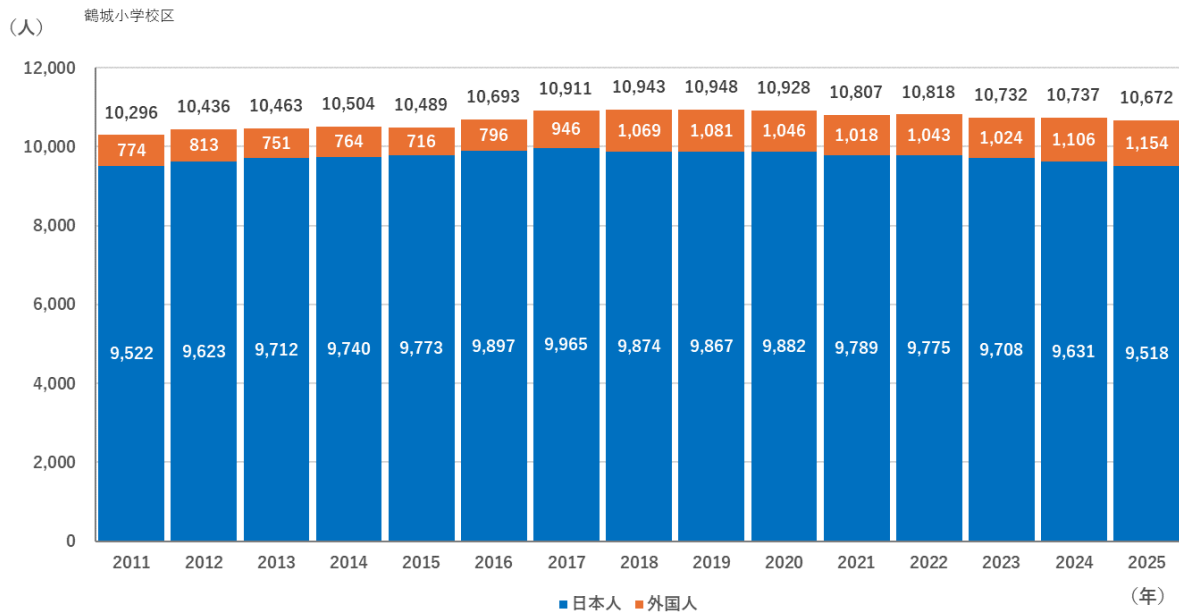
②花ノ木小学校区

花ノ木小学校区の人口は、2011年から2025年までにおいて、11,289人から12,100人へと811人(7.2%)増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、10,720人から11,001人へと281人(2.6%)増加、外国人は、569人から1,099人へと530人(93.1%)増加しています。



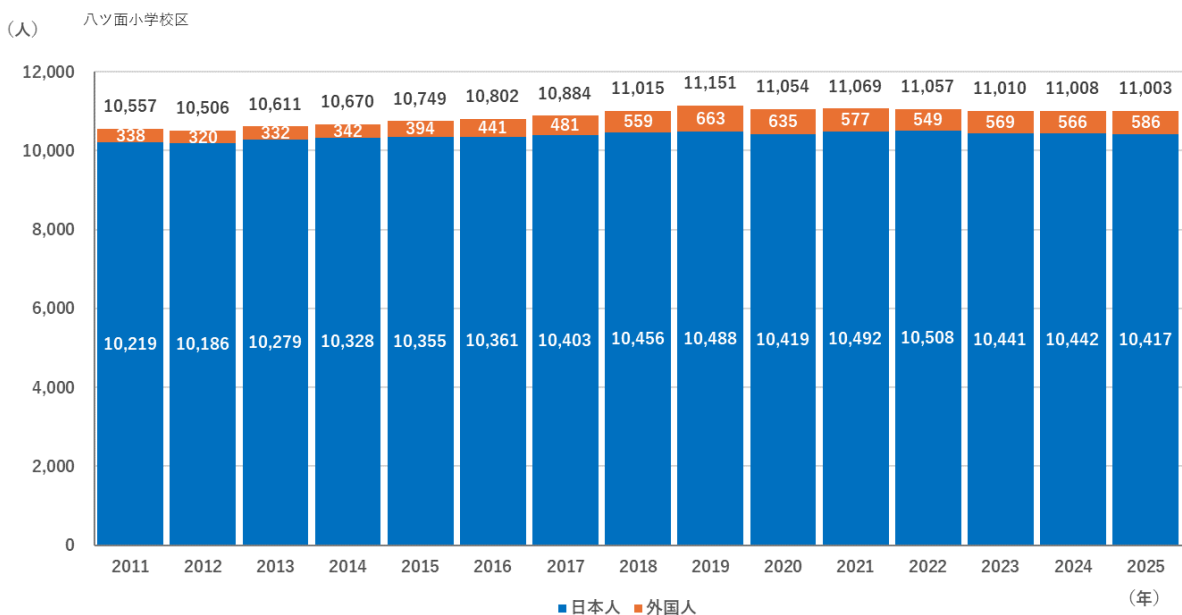
③鶴城小学校区

鶴城小学校区の人口は、2011年から2025年までにおいて、10,296人から10,672人へと376人(3.7%)増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、9,522人から9,518人へとわずかに減少(4人減少)、外国人は、774人から1,154人へと380人(49.1%)増加しています。



④八ツ面小学校区

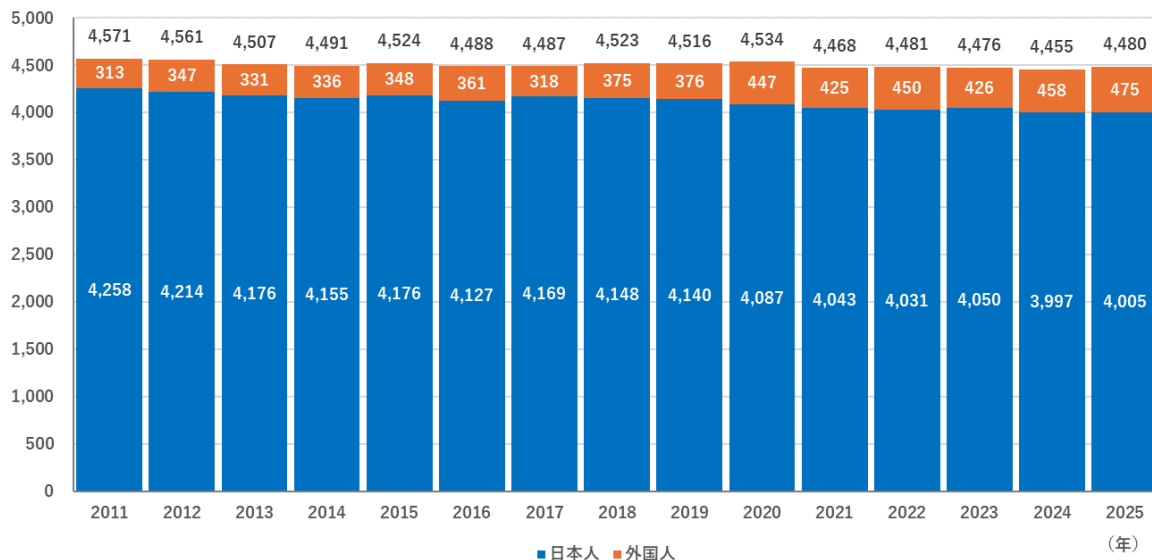
八ツ面小学校区の人口は、2011年から2025年までにおいて、10,557人から11,003人へと446人(4.2%)増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、10,219人から10,417人へと198人(1.9%)増加、外国人は、338人から586人へと248人(73.4%)増加しています。



⑤西野町小学校区

西野町小学校区の人口は、2011年から2025年までにおいて、4,571人から4,480人へと91人(2.0%)減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、4,258人から4,005人へと253人(5.9%)減少、外国人は、313人から475人へと162人(51.8%)増加しています。

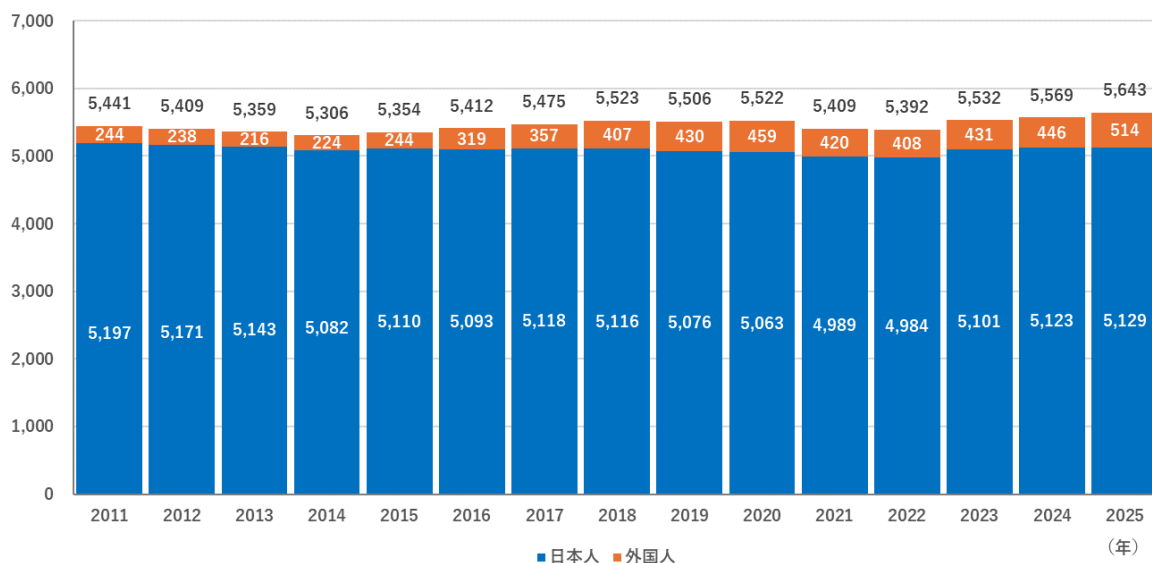
(人) 西野町小学校区



⑥中畑小学校区

中畑小学校区の人口は、2011年から2025年までにおいて、5,441人から5,643人へと202人(3.7%)増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、5,197人から5,129人へと68人(1.3%)減少、外国人は、244人から514人へと270人(110.7%)増加しています。

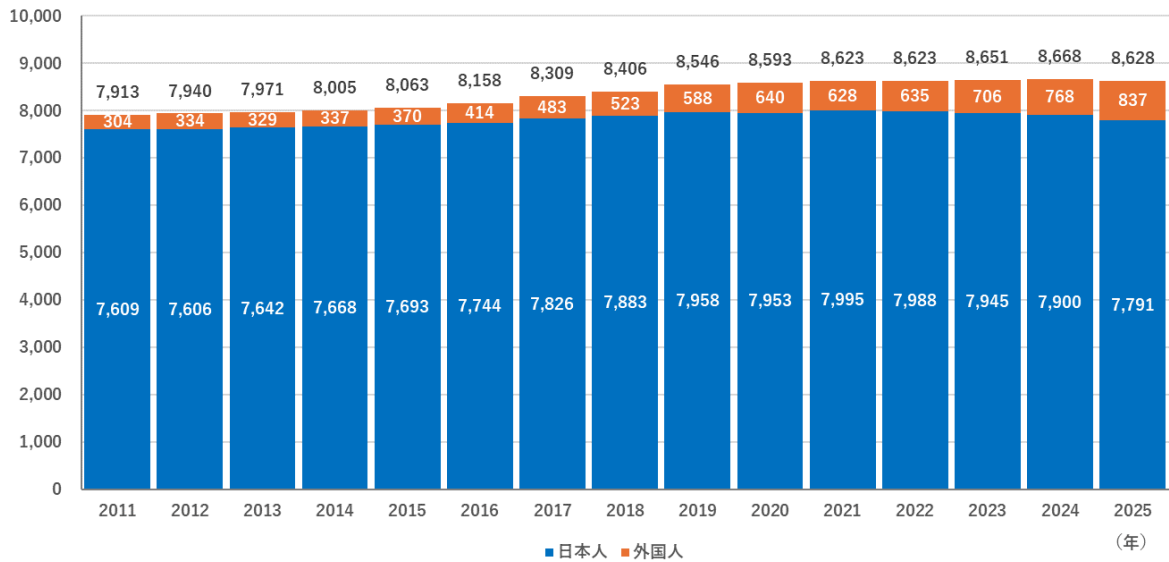
(人) 中畑小学校区



⑦平坂小学校区

平坂小学校区の人口は2011年から2025年までにおいて、7,913人から8,628人へと715人(9.0%)増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、7,609人から7,791人へと182人(2.4%)増加、外国人は、304人から837人へと533人(175.3%)増加しています。

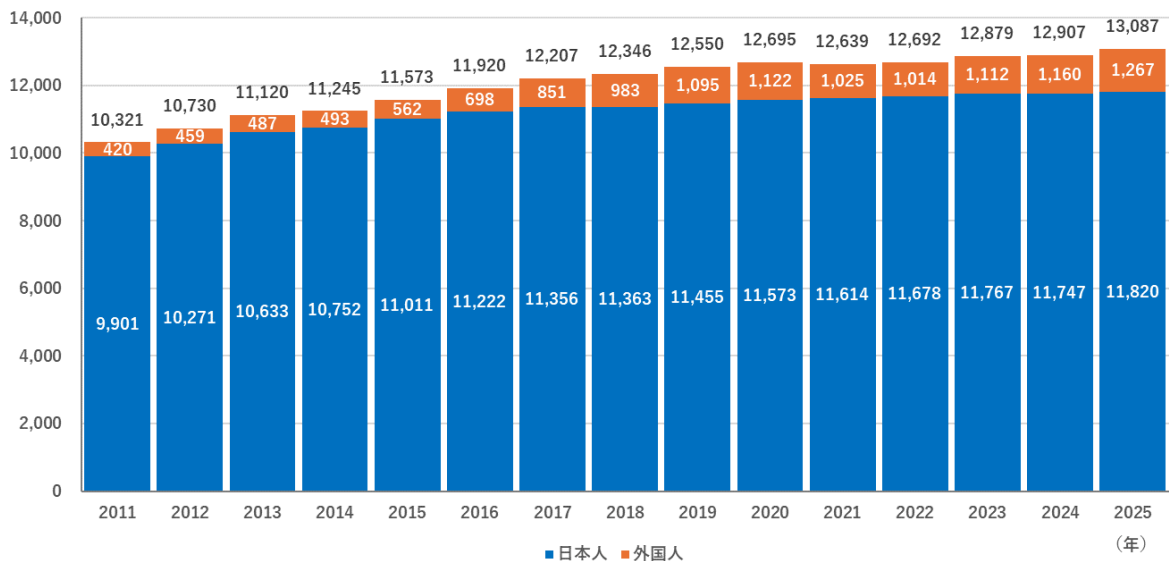
(人) 平坂小学校区



⑧矢田小学校区

矢田小学校区の人口は2011年から2025年までにおいて、10,321人から13,087人へと2,766人(26.8%)増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、9,901人から11,820人へと1,919人(19.4%)増加、外国人は、420人から1,267人へと847人(201.7%)増加しています。

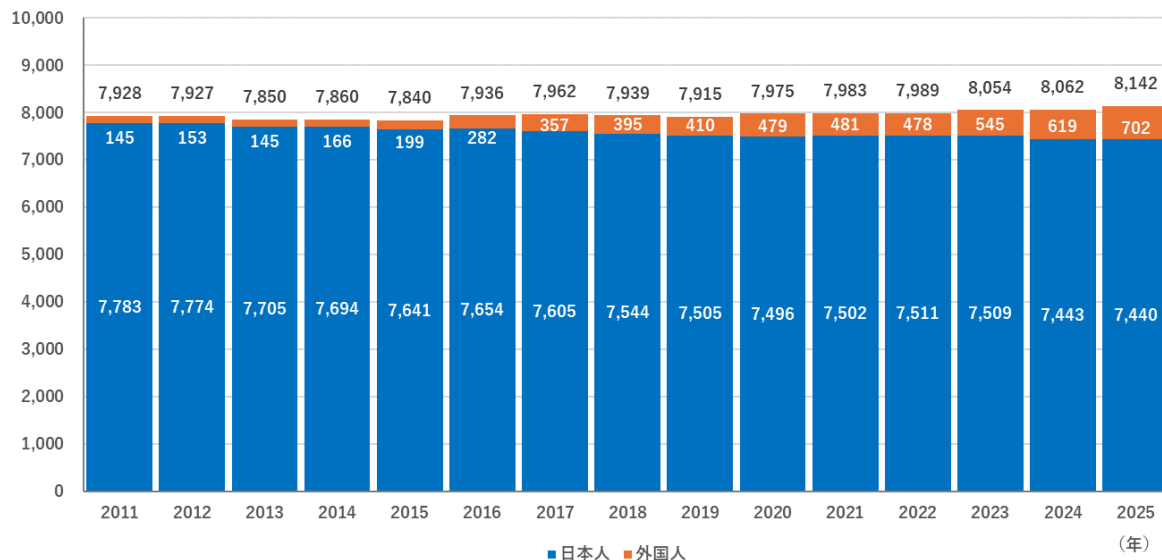
(人) 矢田小学校区



⑨寺津小学校区

寺津小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、7,928 人から 8,142 人へと 214 人 (2.7%) 増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、7,783 人から 7,440 人へと 343 人 (4.4%) 減少、外国人は、145 人から 702 人へと 557 人 (384.1%) 増加しています。

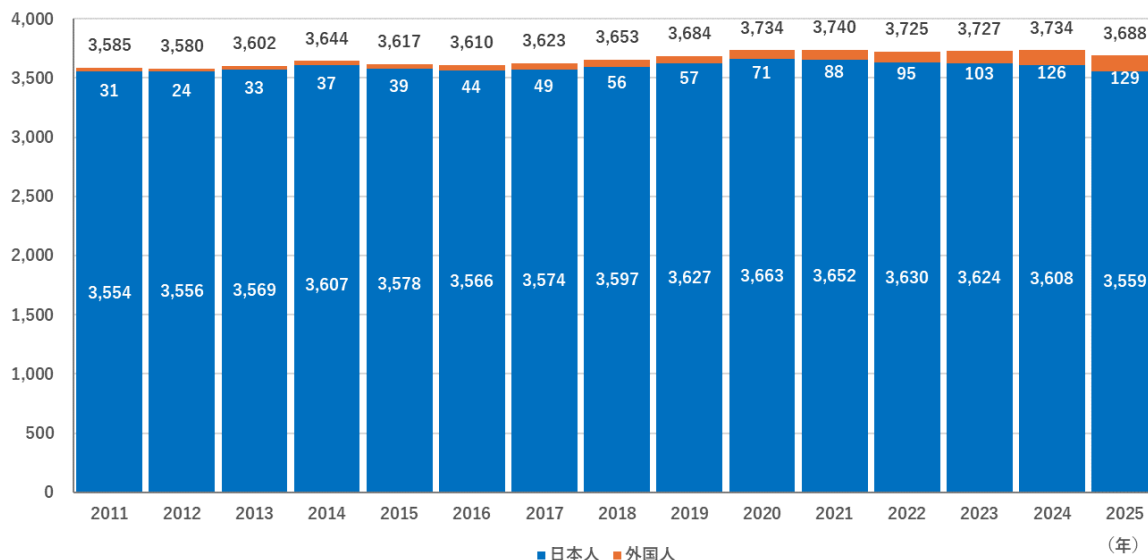
(人) 寺津小学校区



⑩福地北部小学校区

福地北部小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、3,585 人から 3,688 人へと 103 人 (2.9%) 増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、3,554 人から 3,559 人へとわずかに増加 (5 人増加)、外国人は、31 人から 129 人へと 98 人 (316.1%) 増加しています。

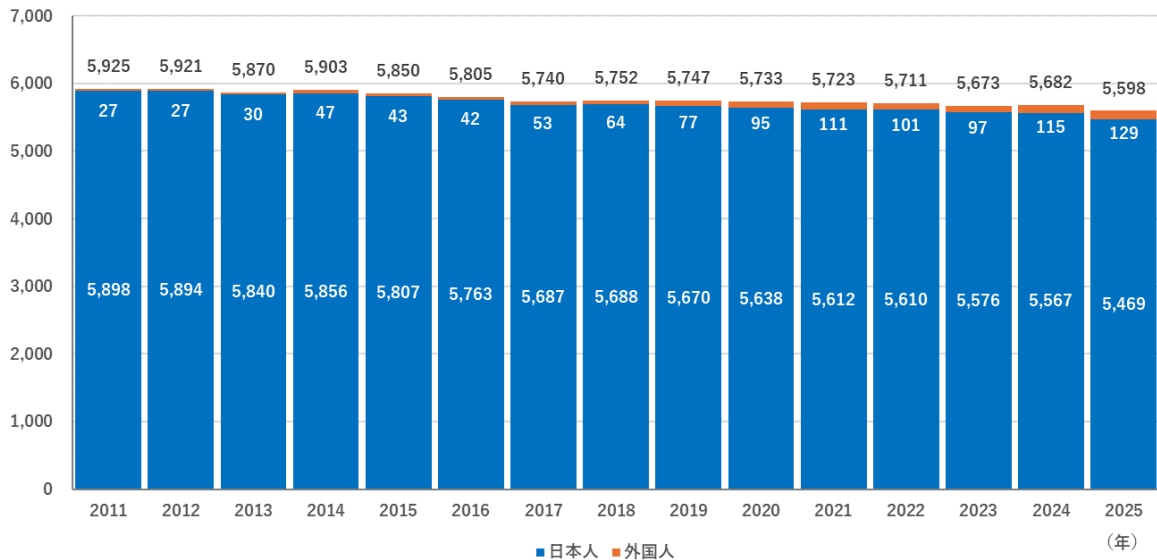
(人) 福地北部小学校区



⑪福地南部小学校区

福地南部小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、5,925 人から 5,598 人へと 327 人 (5.5%) 減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、5,898 人から 5,469 人へと 429 人 (7.3%) 減少、外国人は、27 人から 129 人へと 102 人 (377.8%) 増加しています。

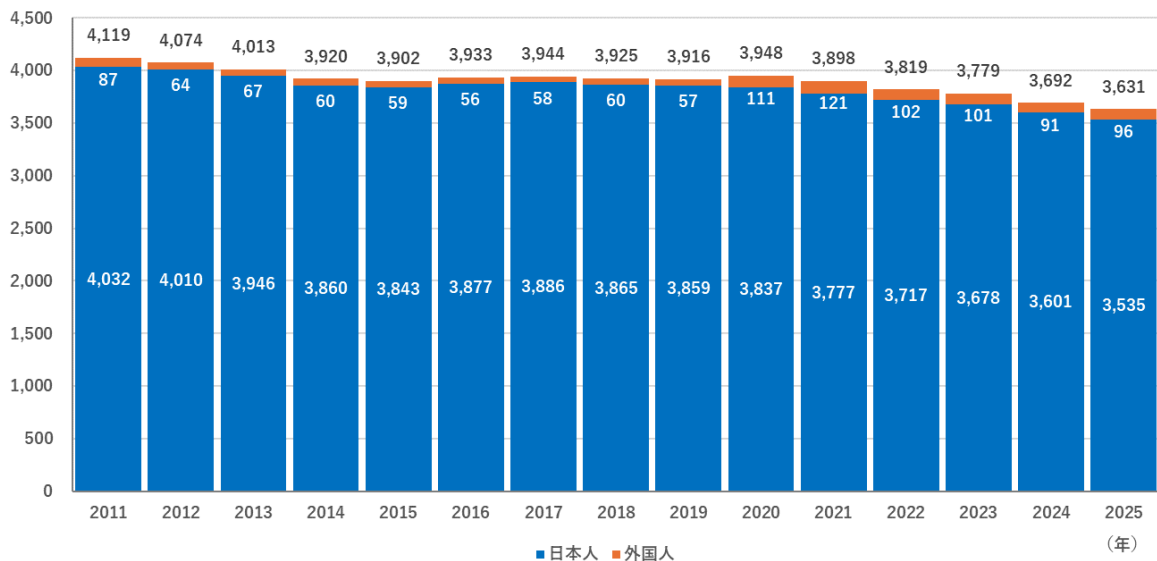
(人) 福地南部小学校区



⑫室場小学校区

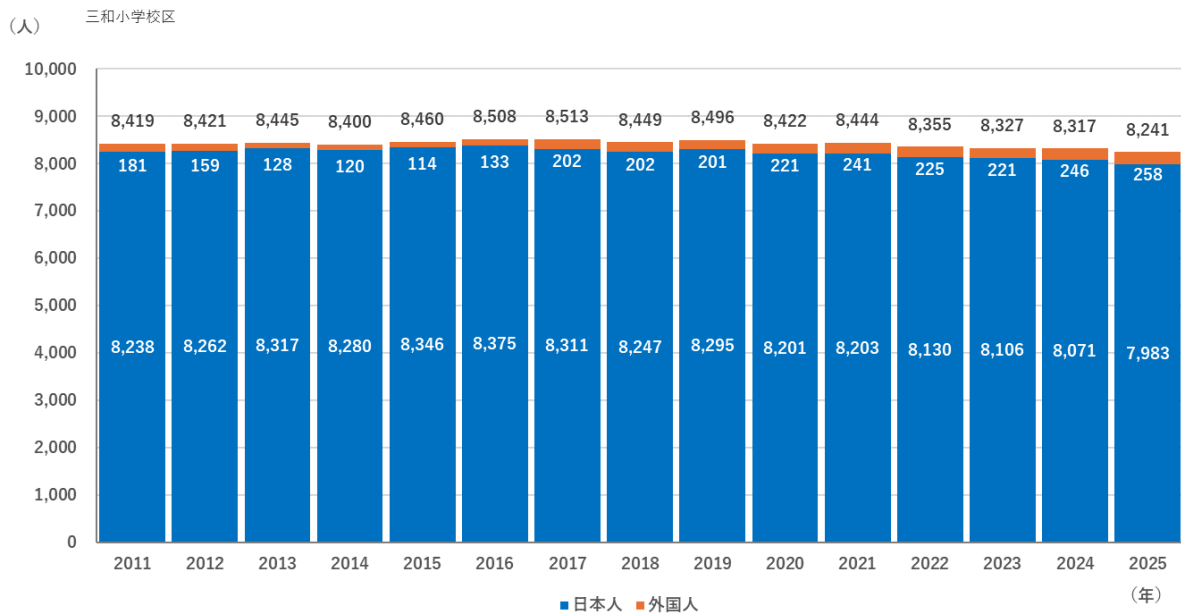
室場小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、4,119 人から 3,631 人へと 488 人 (11.8%) 減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、4,032 人から 3,535 人へと 497 人 (12.3%) 減少、外国人は、87 人から 96 人へと 9 人 (10.3%) 増加しています。

(人) 室場小学校区



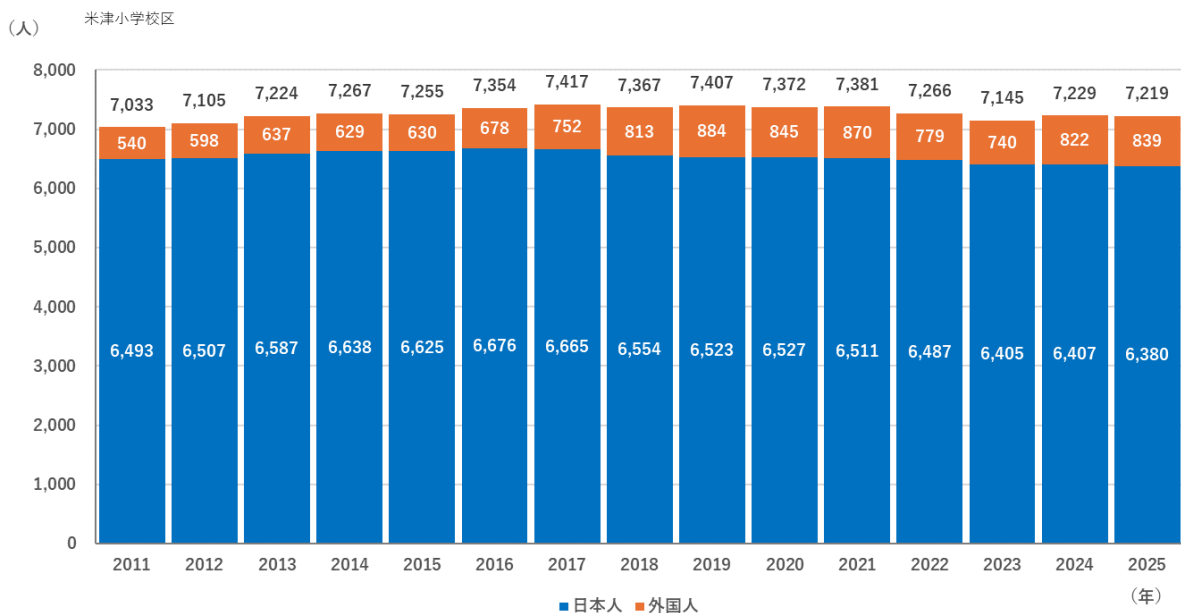
⑬三和小学校区

三和小学校区の人口は2011年から2025年までにおいて、8,419人から8,241人へと178人(2.1%)減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、8,238人から7,983人へと255人(3.1%)減少、外国人は、181人から258人へと77人(42.5%)増加しています。



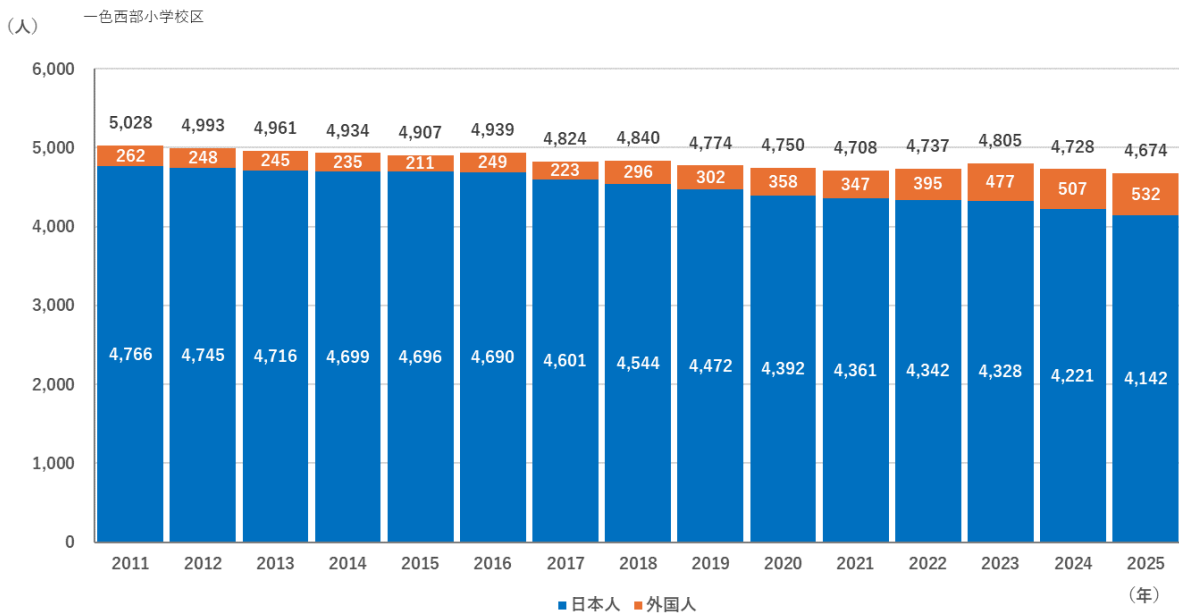
⑭米津小学校区

米津小学校区の人口は2011年から2025年までにおいて、7,033人から7,219人へと186人(2.6%)増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、6,493人から6,380人へと113人(1.7%)減少、外国人は、540人から839人へと299人(55.4%)増加しています。



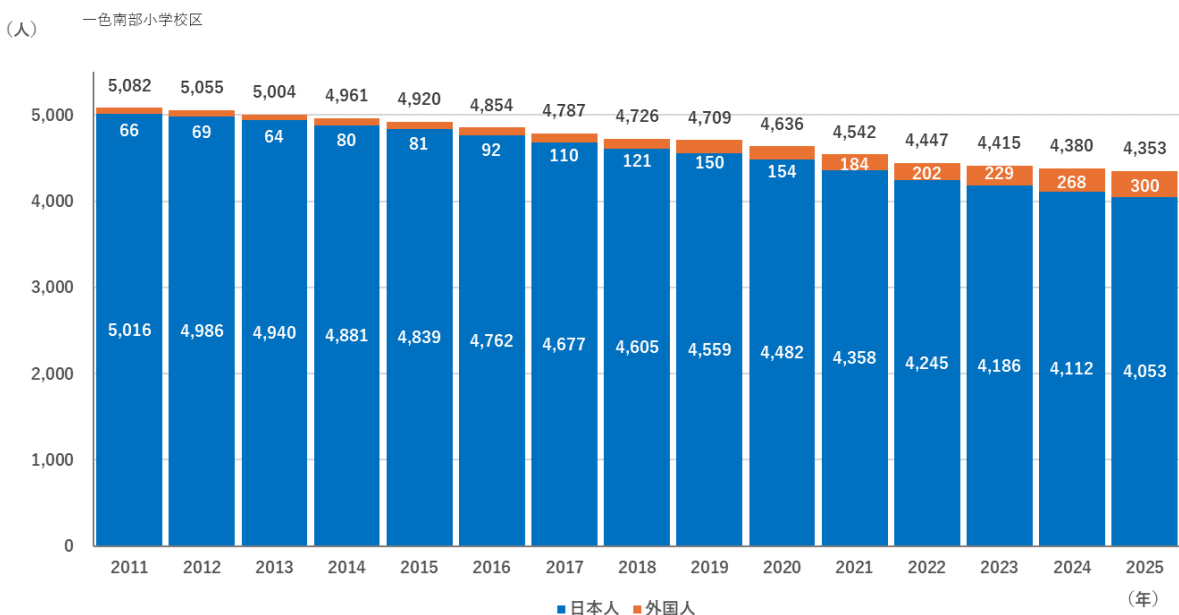
⑮一色西部小学校区

一色西部小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、5,028 人から 4,674 人へと 354 人 (7.0%) 減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、4,766 人から 4,142 人へと 624 人 (13.1%) 減少、外国人は、262 人から 532 人へと 270 人 (103.1%) 増加しています。



⑯一色南部小学校区

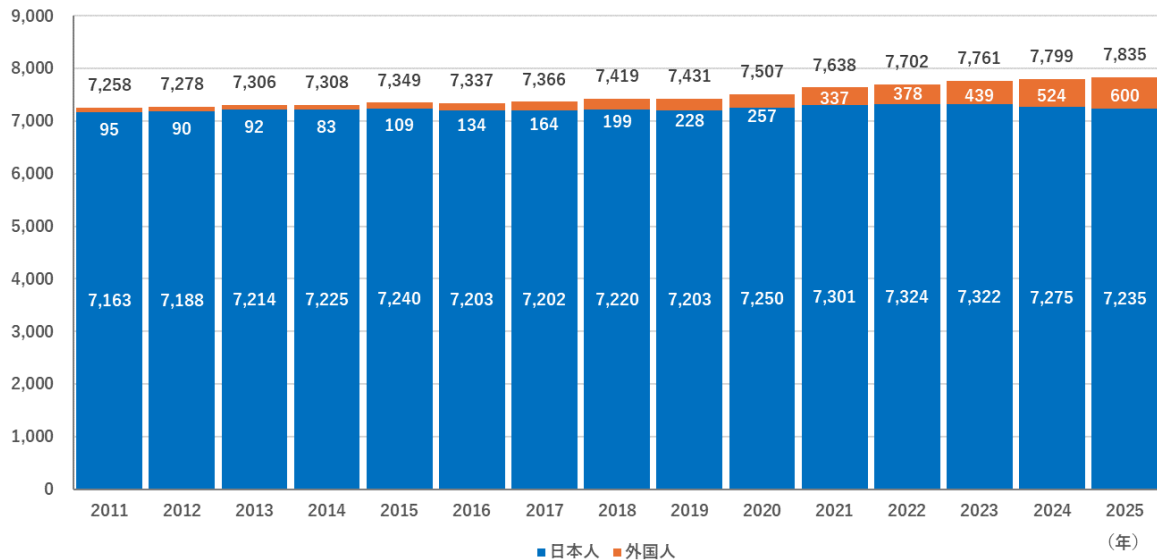
一色南部小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、5,082 人から 4,353 人へと 729 人 (14.3%) 減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、5,016 人から 4,053 人へと 963 人 (19.2%) 減少、外国人は、66 人から 300 人へと 234 人 (354.5%) 増加しています。



⑰一色中部小学校区

一色中部小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、7,258 人から 7,835 人へと 577 人 (7.9%) 増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、7,163 人から 7,235 人へと 72 人 (1.0%) 増加、外国人は、95 人から 600 人へと 505 人 (531.6%) 増加しています。

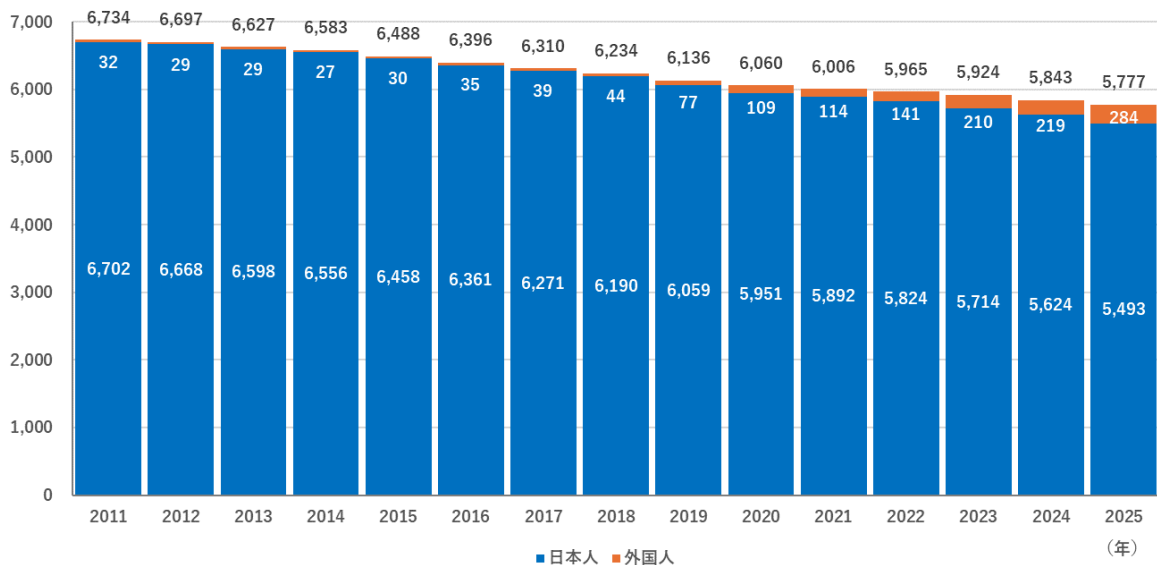
(人) 一色中部小学校区



⑱一色東部小学校区

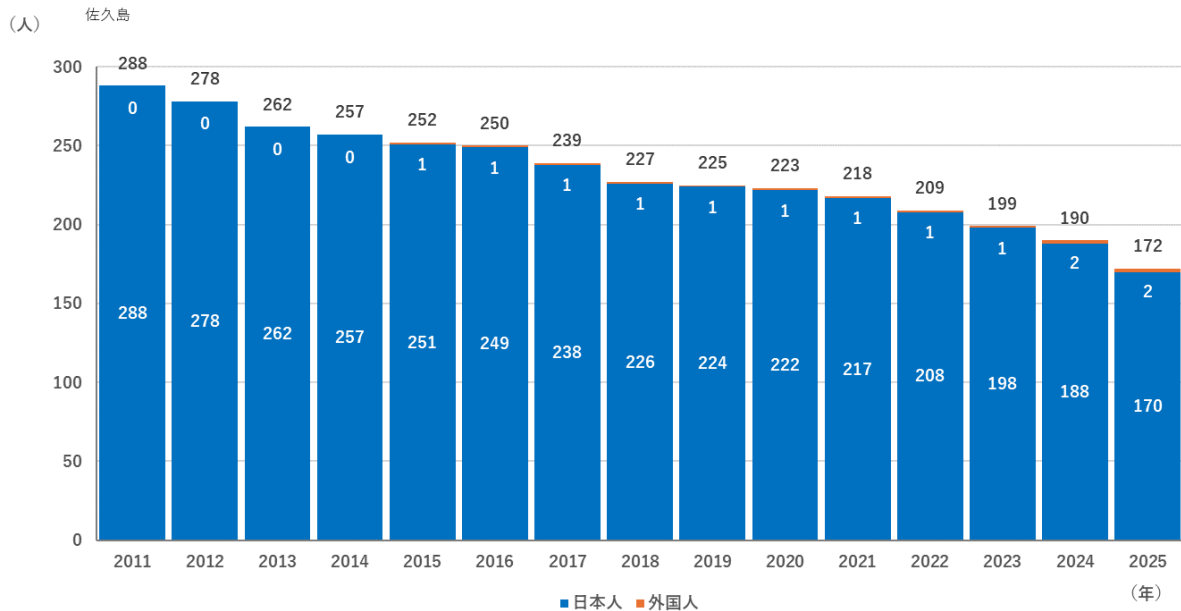
一色東部小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、6,734 人から 5,777 人へと 957 人 (14.2%) 減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、6,702 人から 5,493 人へと 1,209 人 (18.0%) 減少、外国人は、32 人から 284 人へと 252 人 (787.5%) 増加しています。

(人) 一色東部小学校区



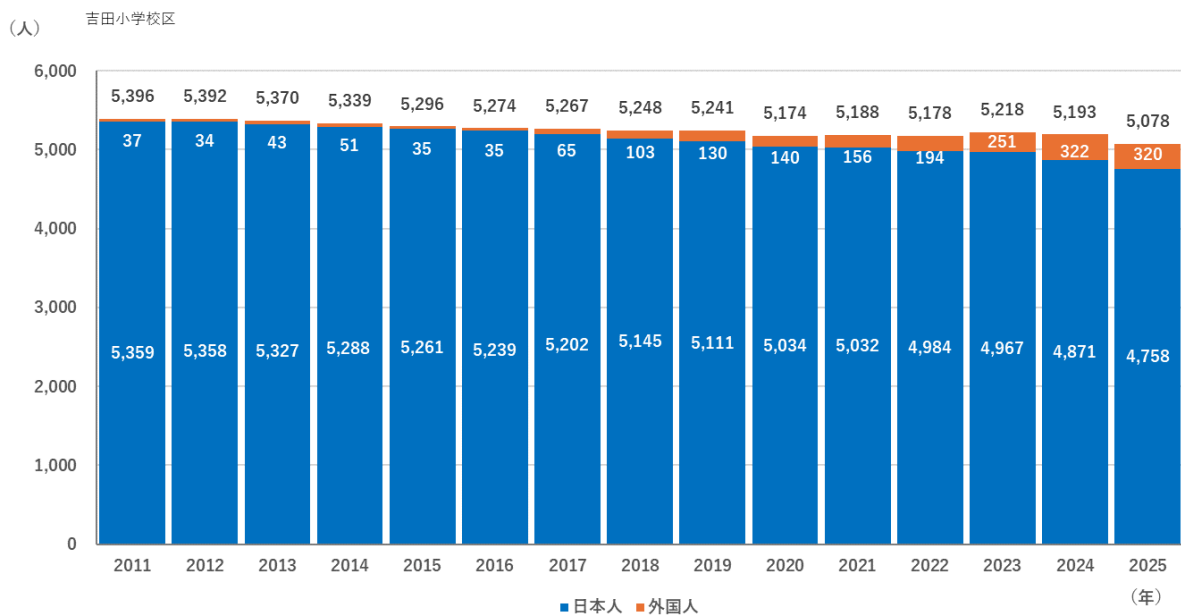
⑱佐久島

佐久島の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、288 人から 172 人へと 116 人 (40.3%) 減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、288 人から 170 人へと 118 人 (41.0%) 減少、外国人は、0 人から 2 人へと増加しています。



⑳吉田小学校区

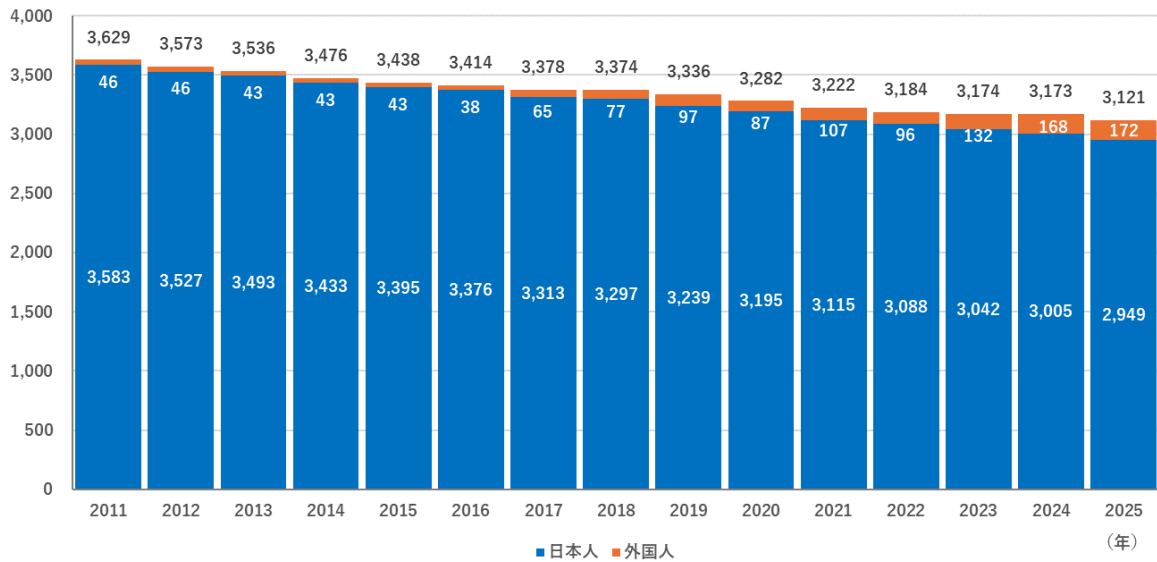
吉田小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、5,396 人から 5,078 人へと 318 人 (5.9%) 減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、5,359 人から 4,758 人へと 601 人 (11.2%) 減少、外国人は、37 人から 320 人へと 283 人 (764.9%) 増加しています。



㉑ 白浜小学校区

白浜小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、3,629 人から 3,121 人へと 508 人 (14.0%) 減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、3,583 人から 2,949 人へと 634 人 (17.7%) 減少、外国人は、46 人から 172 人へと 126 人 (273.9%) 増加しています。

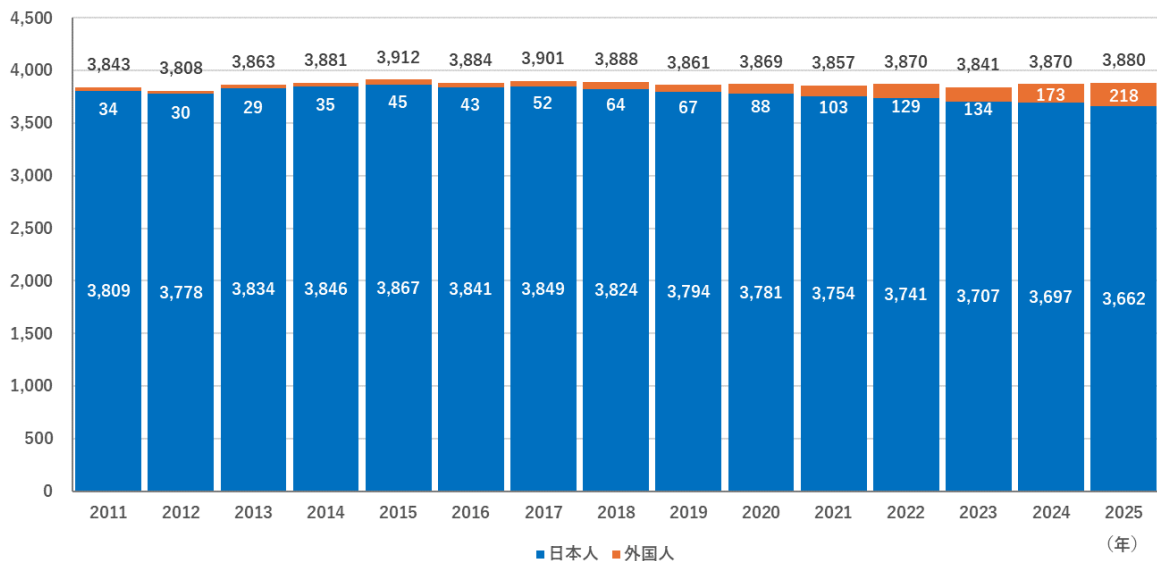
(人) 白浜小学校区



㉒ 荻原小学校区

荻原小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、3,843 人から 3,880 人へと 37 人 (1.0%) 増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、3,809 人から 3,662 人へと 147 人 (3.9%) 減少、外国人は、34 人から 218 人へと 184 人 (541.2%) 増加しています。

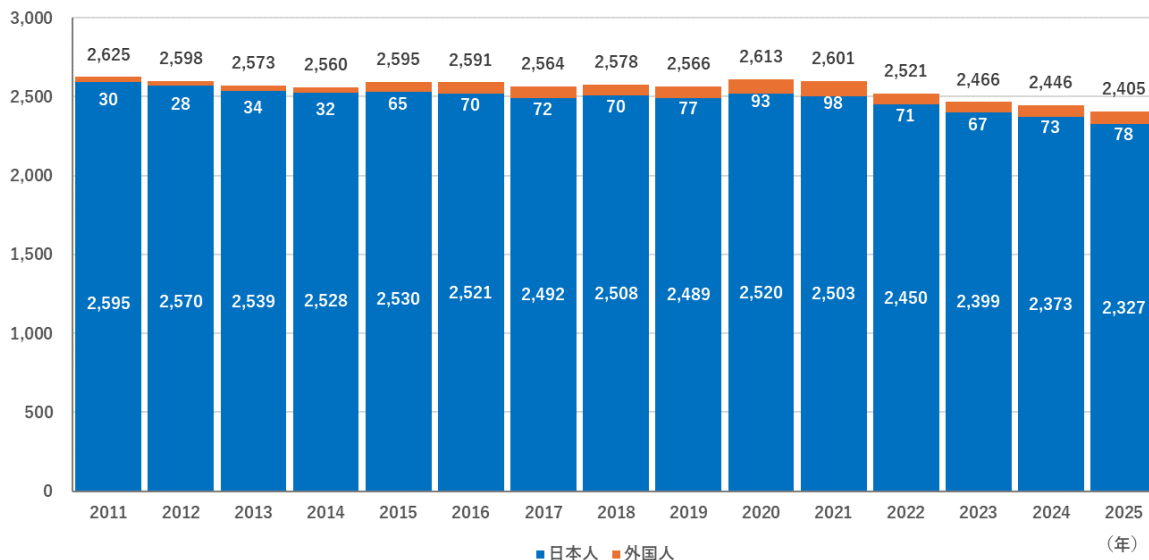
(人) 荻原小学校区



②津平小学校区

津平小学校区の人口は2011年から2025年までにおいて、2,625人から2,405人へと220人(8.4%)減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、2,595人から2,327人へと268人(10.3%)減少、外国人は、30人から78人へと48人(160.0%)増加しています。

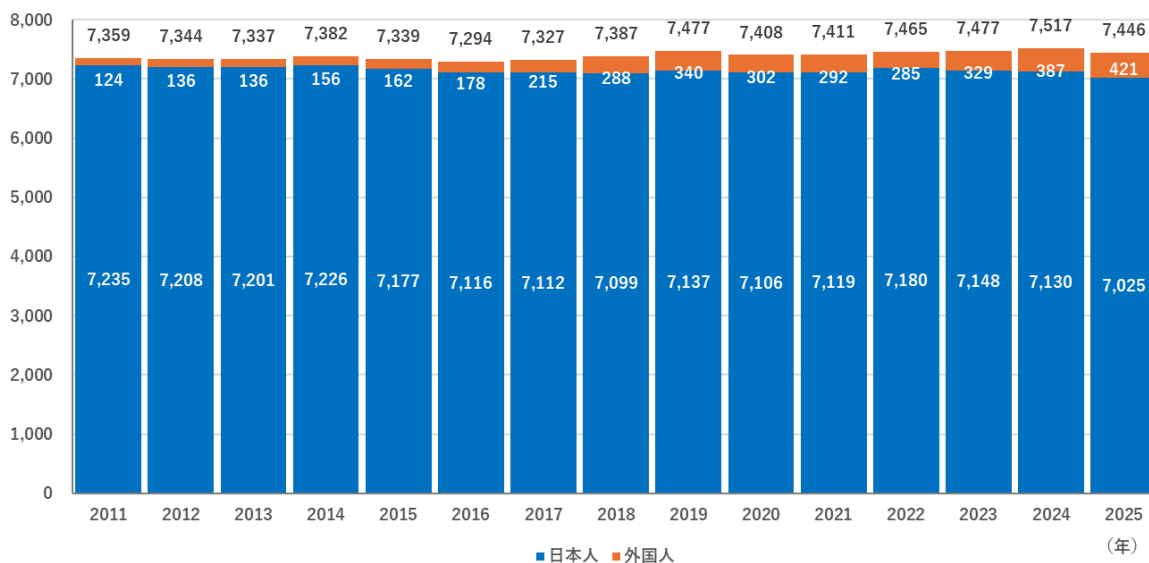
(人) 津平小学校区



④横須賀小学校区

横須賀小学校区の人口は2011年から2025年までにおいて、7,359人から7,446人へと87人(1.2%)増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、7,235人から7,025人へと210人(2.9%)減少、外国人は、124人から421人へと297人(239.5%)増加しています。

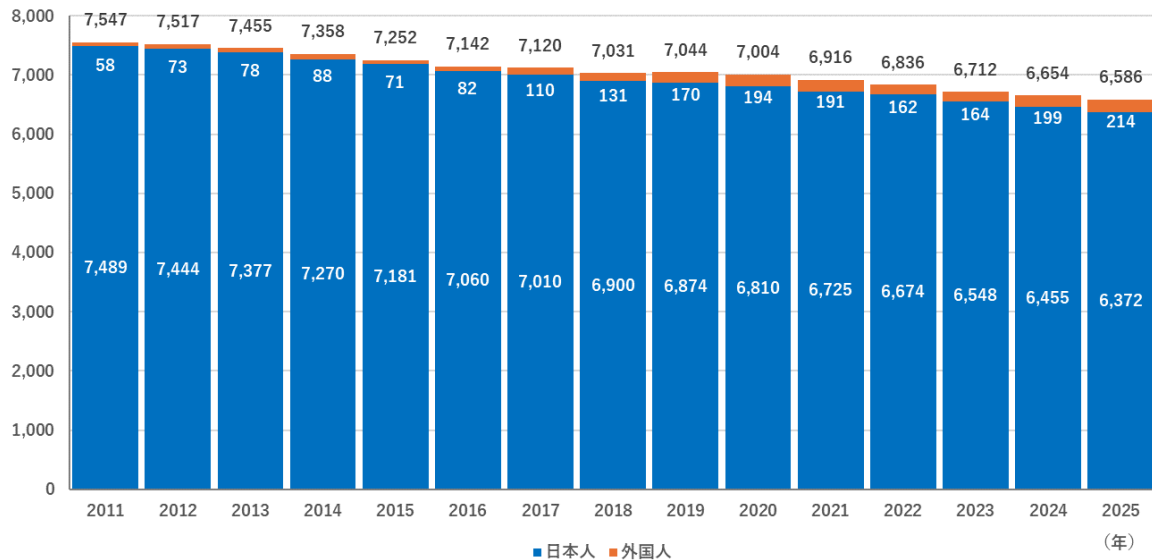
(人) 横須賀小学校区



㊦幡豆小学校区

幡豆小学校区の人口は2011年から2025年までにおいて、7,547人から6,586人へと961人(12.7%)減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、7,489人から6,372人へと1,117人(14.9%)減少、外国人は、58人から214人へと156人(269.0%)増加しています。

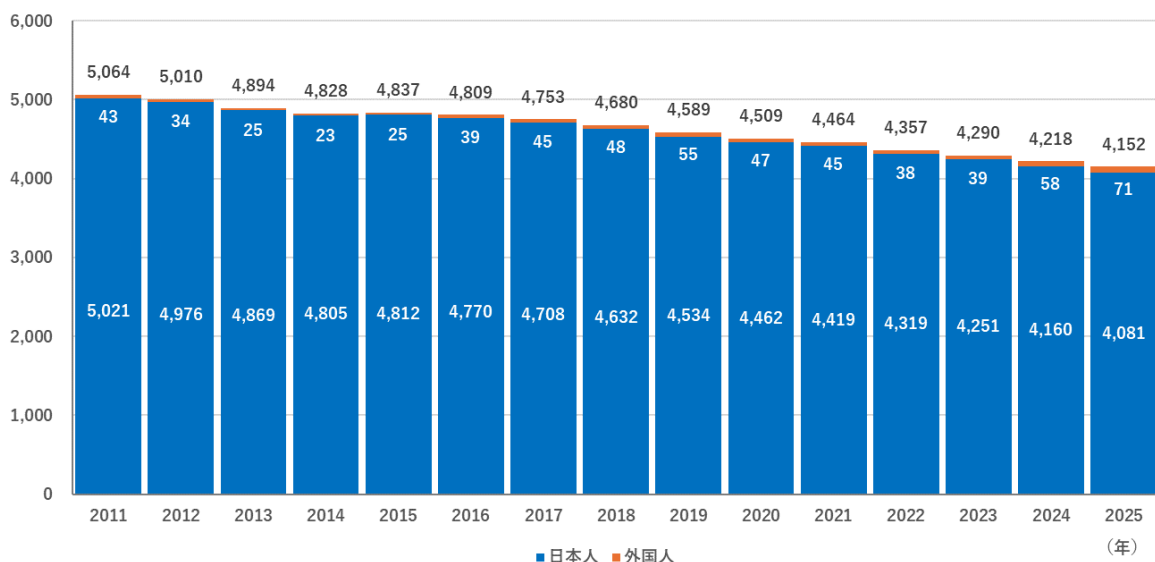
(人) 幡豆小学校区



㊦東幡豆小学校区

東幡豆小学校区の人口は2011年から2025年までにおいて、5,064人から4,152人へと912人(18.0%)減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、5,021人から4,081人へと940人(18.7%)減少、外国人は、43人から71人へと28人(65.1%)増加しています。

(人) 東幡豆小学校区



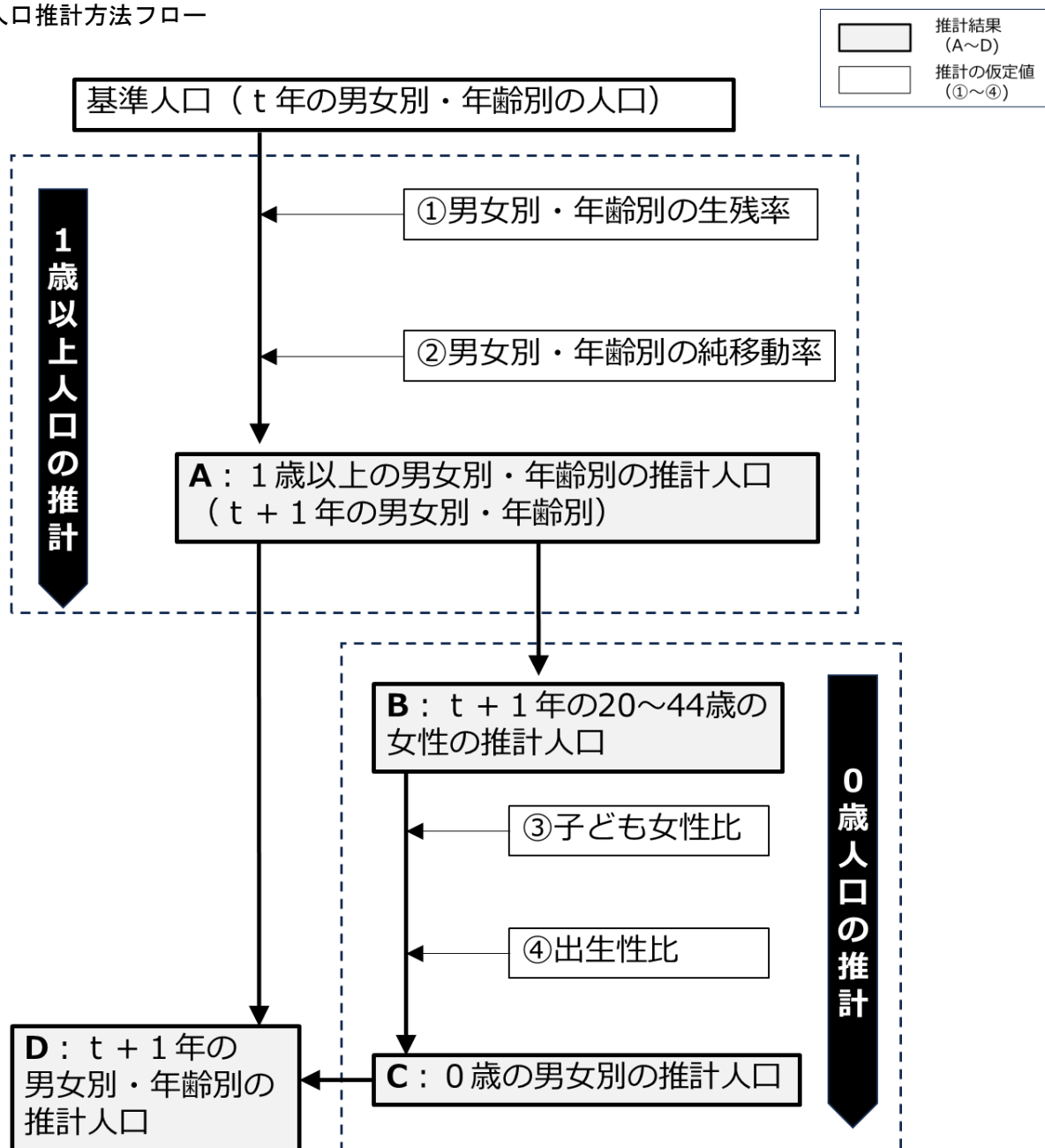
第3章 将来人口の推計方法

(1) 推計方法

将来人口の推計はコーホート要因法によって行っています。コーホート要因法は、人口増減を決定する要因である出生、死亡、社会移動を個別に推計し、それらを積み上げて将来人口を推計する方法です。

具体的には、2025年（令和7年）の人口を基準とし、男女別・1歳階級別（0歳から100歳以上）に、以下のプロセスで2055年（令和37年）まで1年ずつ計算を繰り返します。

図 人口推計方法フロー



(2) 推計の概要

推計対象	男女別1歳階級別の人口（0～100歳以上）
推計期間	2026年（令和8年）から2055年（令和37年）
推計方法	コーホート要因法
基準年人口	2025年（令和7年）4月1日現在の住民基本台帳人口
子ども女性比	20～44歳の女性人口に対する0歳人口
出生性比	0歳人口の男女比で、0歳女性100人に対する0歳男性の人数
生残率	各年4月1日～翌年3月31日の間で生き残る人の割合。 生残率＝1－死亡率となります。 男女別1歳階級の生残率を用いています。
純移動率	各年4月1日～翌年3月31日の間の転入出で移動した人口（転入出の増減数）と当年4月1日の人口との比。 男女別1歳階級の純移動率を用いています。

(3) 将来推計の仮定値の設定

①子ども女性比

子ども女性比とは、子どもを産む中心世代となる20歳から44歳の女性人口に対して、0歳の子どもが何人いるかを示す割合のことです。この数値は、将来の出生数を推計するための目安となります。

この数値を設定するにあたっては、直近10年間（2016年から2025年まで）の本市における実際の割合を算出しました。その上で、過去10年間の推移傾向を分析し、統計的な手法（直線回帰式）を用いて将来の子ども女性比を設定しています。

②出生性比

将来の人口を男女別に推計するためには、0歳の男女の割合を決める必要があります。これを出生性比といい、通常は「女の子100人に対して男の子が何人生まれるか」という数値で表します。

この数値の設定にあたっては、直近10年間（2016年から2025年まで）の本市における実際の割合を算出しました。その結果、10年間の平均値が105（女の子100人に対し男の子105人）であったため、推計期間である2055年（令和37年）まで、この数値を一律で設定することとしています。

③生残率

生残率とは、ある年齢の人が1年後に生存している確率のことです。これを算出することで、将来の各年齢における死亡者数を推計します。

設定にあたっては、直近10年間（2016年から2025年）の各年において、年齢ごとの死亡数と人口から、まず死亡率を割り出します。この死亡率を1から差し引くことで、生存する確率（生残率）を算出しています。

将来の仮定値には、直近10年間の平均値を採用しています。ただし、1歳刻みのデータでは年によって数値に極端な偏りが出ることがあります。そのため、各年齢の値を決める際には、その年齢の前後2歳を含めた計5歳分の平均値を算定し、数値を滑らかに補正して使用しています。

④純移動率

純移動率は、転入や転出といった人の移動によって、その年齢の人口が1年間でどのくらい変化するかを示す割合のことです。

設定にあたっては、まず、直近10年間（2016年から2025年）のデータを用いて、ある年の人口から死亡者数だけを差し引いた翌年の推計人口（封鎖人口）を計算します。この封鎖人口と実際の翌年の人口を比べることで、その差を転入、転出による増減（純移動数）として割り出しました。この数を、もとの人口で割ることで純移動率を算定しています。

将来の仮定値には、直近10年間の平均値を採用しています。生残率と同様に、1歳刻みのデータでは年によって数値に極端な偏りが出ることがあります。そのため、各年齢の値を決める際には、その年齢の前後2歳を含めた計5歳分の平均値を算定し、数値を滑らかに補正して使用しています。

なお、小学校区の推計にあたっては、近年の開発状況を反映させるため、一部の地区で数値の調整を行っています。

- ・中畑小学校区

過去に行われた区画整理事業により、転入者が一時的に増加しています。この影響が将来にわたって過大に反映されるのを防ぐため、2016年（平成28年）から2022年（令和4年）までの平均値を採用し、区画整理事業の影響を適切に考慮した設定としています。

- ・矢田小学校区

区画整理事業の影響で、過去のデータのみでは将来の動きを正確に推計することが困難です。そのため、すでに同様の住宅開発が進み、転入の傾向が似ている平坂小学校区の数値を採用しています。

⑤区画整理事業が予定されている地区の補正

今後、土地区画整理事業などによる新たな宅地開発が予定されている地区については、事業完了に伴う居住者の増加が見込まれるため、推計値にその影響を加算しています。

対象地区（矢田小学校区、寺津小学校区、横須賀小学校区の3地区）については、新たな宅地の供給により人口が増加すると想定し、事業計画に基づいた人口を推計値に加えています。なお、市全体の推計においては、市内での移動は総人口に影響しないため、市外から転入してくる人口のみを増加分として加算しています。

⑥将来世帯数

将来の世帯数については、まず、直近10年間（2016年から2025年）の実績データに基づき、人口1人に対して世帯がいくつ存在するかを示す割合である「1人あたりの世帯数」を算定しました。その上で、過去10年間の推移傾向を分析し、統計的な手法（直線回帰式）を用いることで、この割合が今後どのように変化するかという将来の仮定値を設定しています。この仮定値に、別途算出した将来人口の数値を掛け合わせることで、2055年（令和37年）までの将来世帯数を推計しています。

⑦日本人の将来人口推計

日本人の将来人口については、日本人のみの人口を用いて上記の方法で「子ども女性比」、「生残率」、「純移動率」、「区画整理事業が予定されている地区の人口加算」を推計しています。

⑧外国人の将来人口推計

外国人の将来人口については、市の将来人口から日本人の将来人口を差し引いたものとしています。

⑨小学校区の将来人口推計

小学校区別の将来人口については、「子ども女性比」、「出生性比」、「生残率」は市総数で使用した仮定値を使用しますが、「純移動率」については、市総数と同じ方法で各小学校区の仮定値を推計しています。

なお、「区画整理事業が予定されている地区の人口加算」については、対象となる矢田小学校区、寺津小学校区、横須賀小学校区の3地区で地区外から転入してくる人口を加算しています。

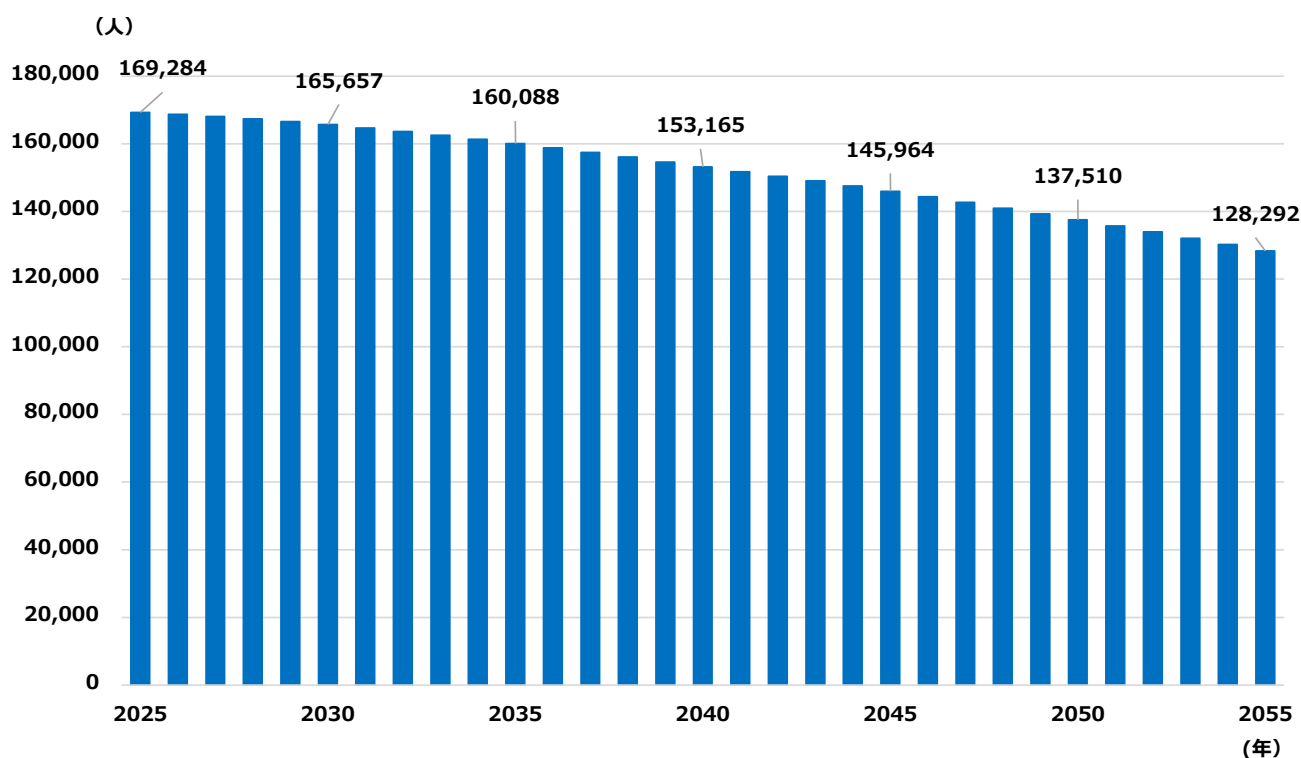
市総数の将来人口推計結果と、各小学校区の将来人口推計結果の合算値に差異が生じるため、市総数の男女1歳階級人口別の推計人口結果に合うように、26小学校区の推計人口結果を補正しています。

第4章 将来人口推計の結果

1. 市全域の推計結果

(1) 総人口

総人口は、今後も減少する見通しであり、2035年（令和17年）には160,088人、2045年（令和27年）には145,964人、2055年（令和37年）には128,292人になると推計されます。

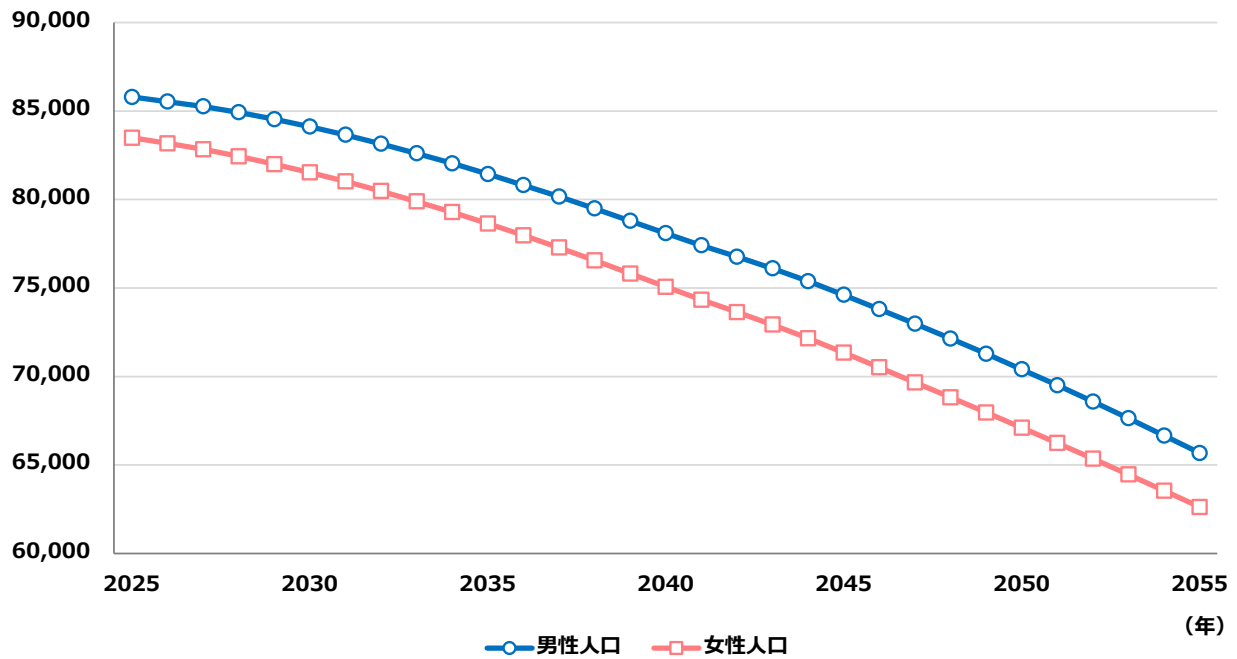


	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
総人口	169,284	165,657	160,088	153,165	145,964	137,510	128,292

(2) 男女別人口

男女とも人口は減少する見通しであり、2055年(令和37年)には男性が65,671人、女性が62,621人と推計されます。

(人)



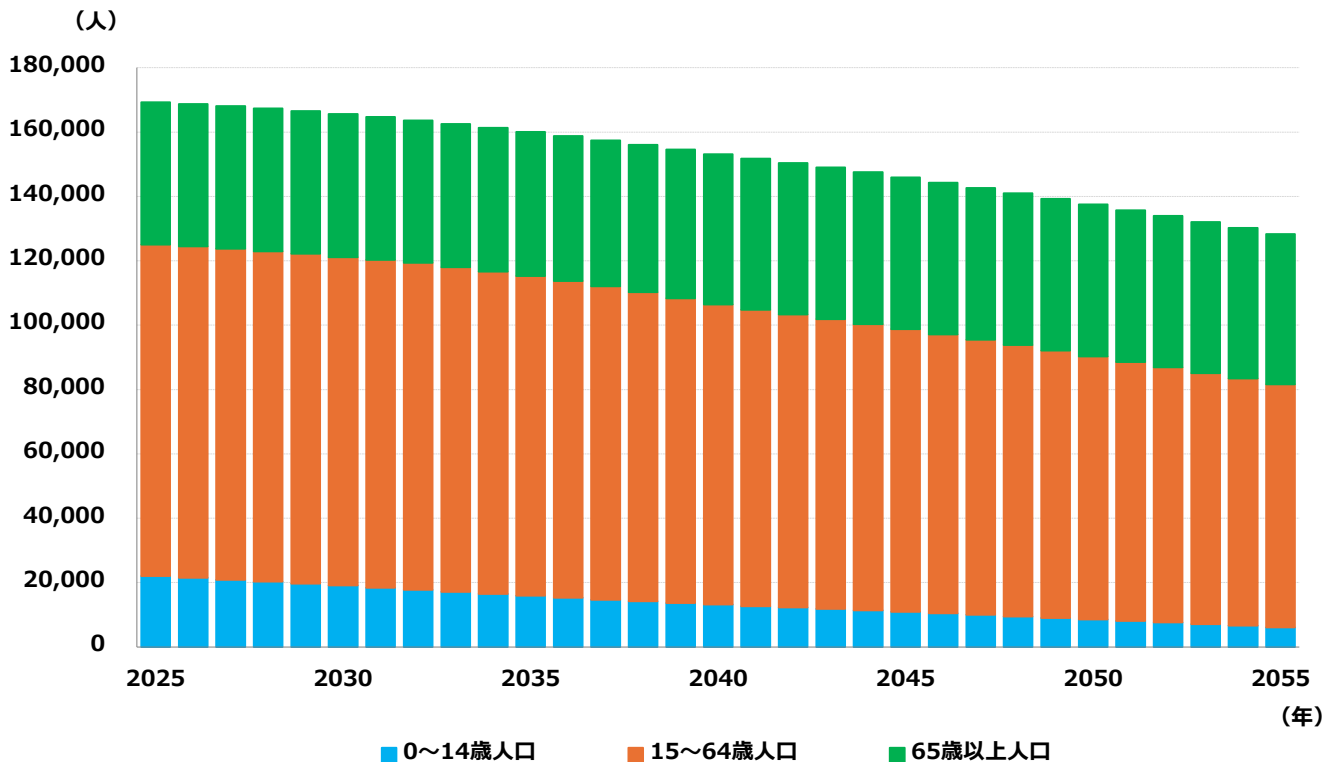
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
男性人口	85,795	84,124	81,442	78,096	74,614	70,406	65,671
女性人口	83,489	81,533	78,646	75,069	71,350	67,104	62,621
計	169,284	165,657	160,088	153,165	145,964	137,510	128,292

(3) 年齢3区分別人口

0～14歳人口は2025年（令和7年）で22,060人（13.0%）ですが、年々減少し、2055年（令和37年）には6,100人（4.8%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の102,963人（60.8%）から年々減少し、2055年（令和37年）には75,555人（58.9%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の44,261人（26.1%）から年々増加し、2045年（令和27年）には47,220人となります。その後は減少し、2055年（令和37年）には46,637人（36.4%）になると推計されます。

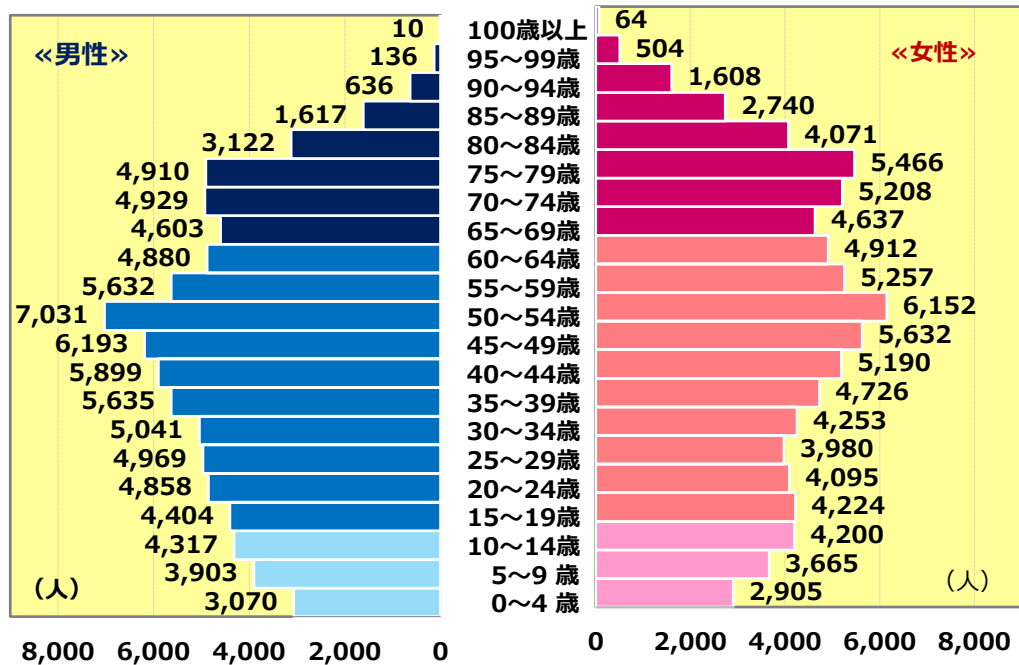


	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	22,060 (13.0%)	19,086 (11.5%)	15,924 (9.9%)	13,174 (8.6%)	10,926 (7.5%)	8,560 (6.2%)	6,100 (4.8%)
15～64歳人口	102,963 (60.8%)	102,070 (61.6%)	99,306 (62.0%)	93,235 (60.9%)	87,818 (60.2%)	81,734 (59.4%)	75,555 (58.9%)
65歳以上人口	44,261 (26.1%)	44,501 (26.9%)	44,858 (28.0%)	46,756 (30.5%)	47,220 (32.4%)	47,216 (34.3%)	46,637 (36.4%)

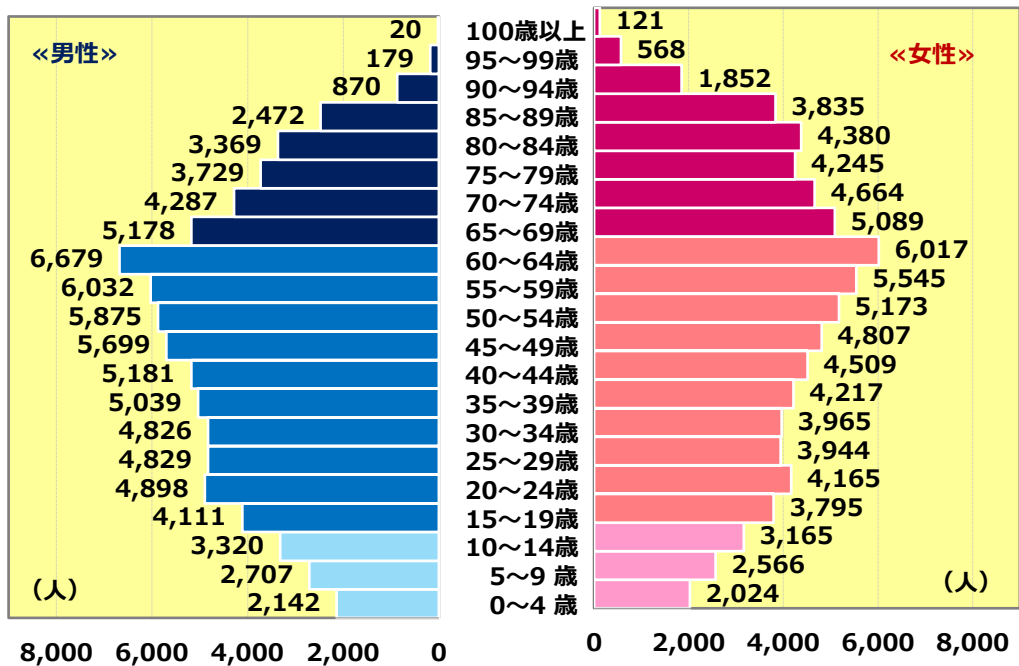
(4) 5歳階級別人口

5歳階級別人口の将来見通しは、以下の図のとおりです。

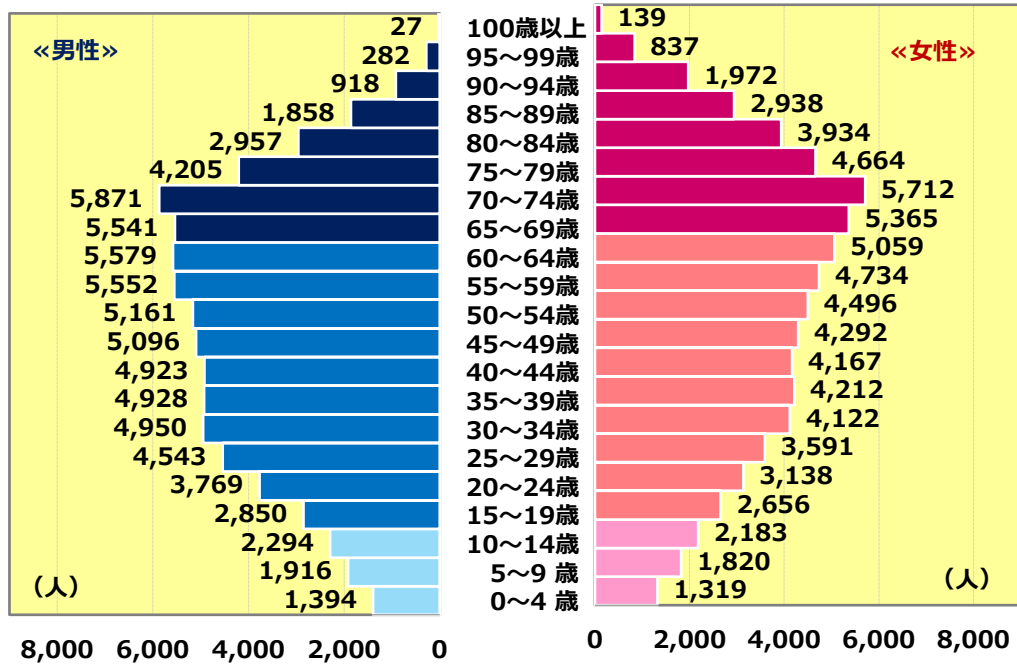
2025年（令和7年）



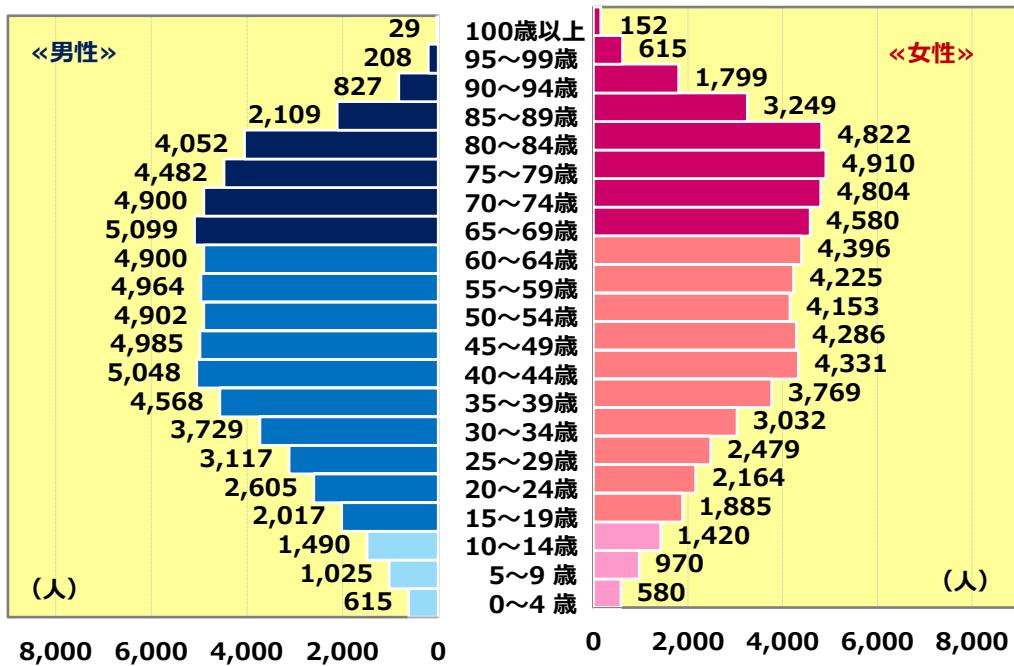
2035年（令和17年）



2045年（令和27年）



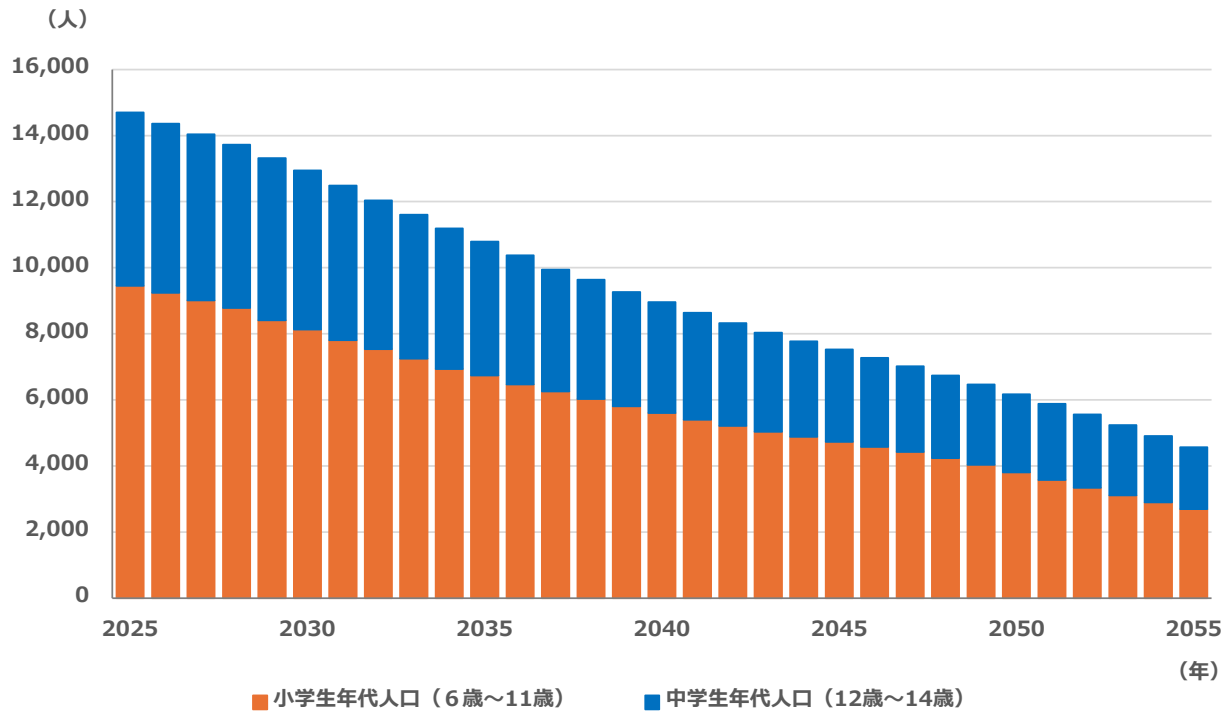
2055年（令和37年）



(5) 小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、9,455人から2,698人へと、約71.4%（6,757人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、5,242人から1,874人へと、約64.3%（3,368人）減少すると推計されます。

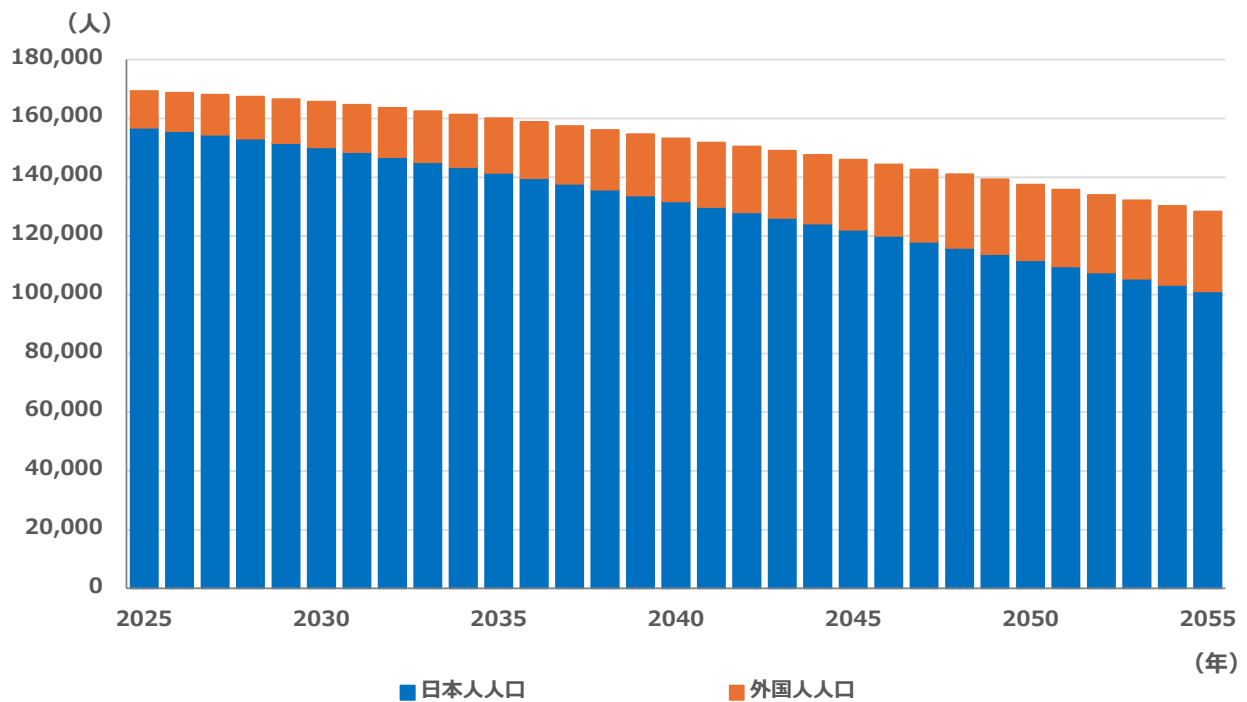


	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代（6～11歳）	9,455	8,128	6,735	5,599	4,731	3,807	2,698
中学生年代（12～14歳）	5,242	4,814	4,059	3,364	2,793	2,367	1,874
計	14,697	12,942	10,794	8,963	7,524	6,174	4,572

(6) 日本人・外国人の人口

外国人人口は2025年（令和7年）の12,418人から年々増加し、2055年（令和37年）には27,147人になると推計されます。その一方で、日本人人口は年々減少し、2025年（令和7年）の156,866人から、2055年（令和37年）には101,145人になると推計されます。

なお、総人口に対する外国人比率は2025年（令和7年）では7.3%ですが、2055年（令和37年）には21.2%と、5人に1人が外国人という状況になると推計されます。

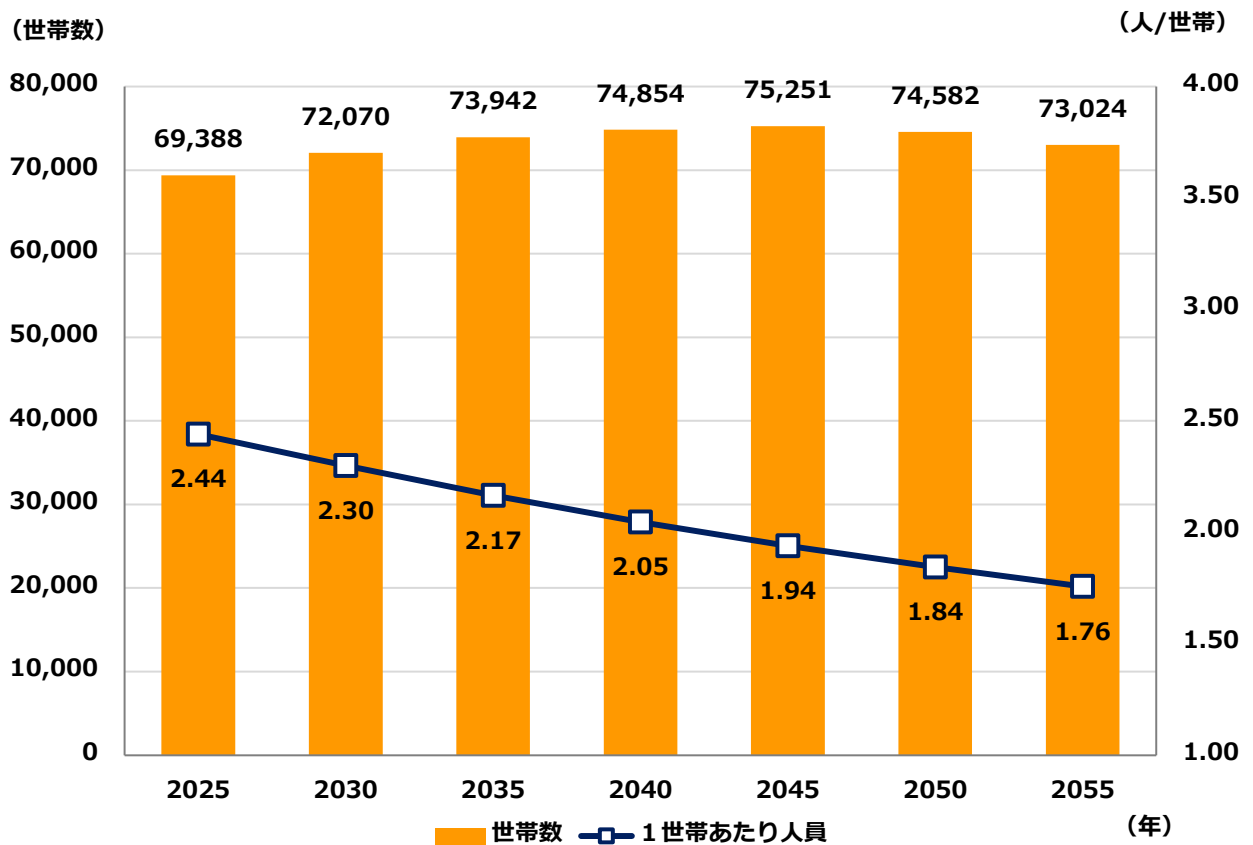


	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
日本人	156,866 (92.7%)	150,120 (90.6%)	141,512 (88.4%)	131,772 (86.0%)	122,136 (83.7%)	111,745 (81.3%)	101,145 (78.8%)
外国人	12,418 (7.3%)	15,537 (9.4%)	18,576 (11.6%)	21,393 (14.0%)	23,828 (16.3%)	25,765 (18.7%)	27,147 (21.2%)

(7) 将来世帯数

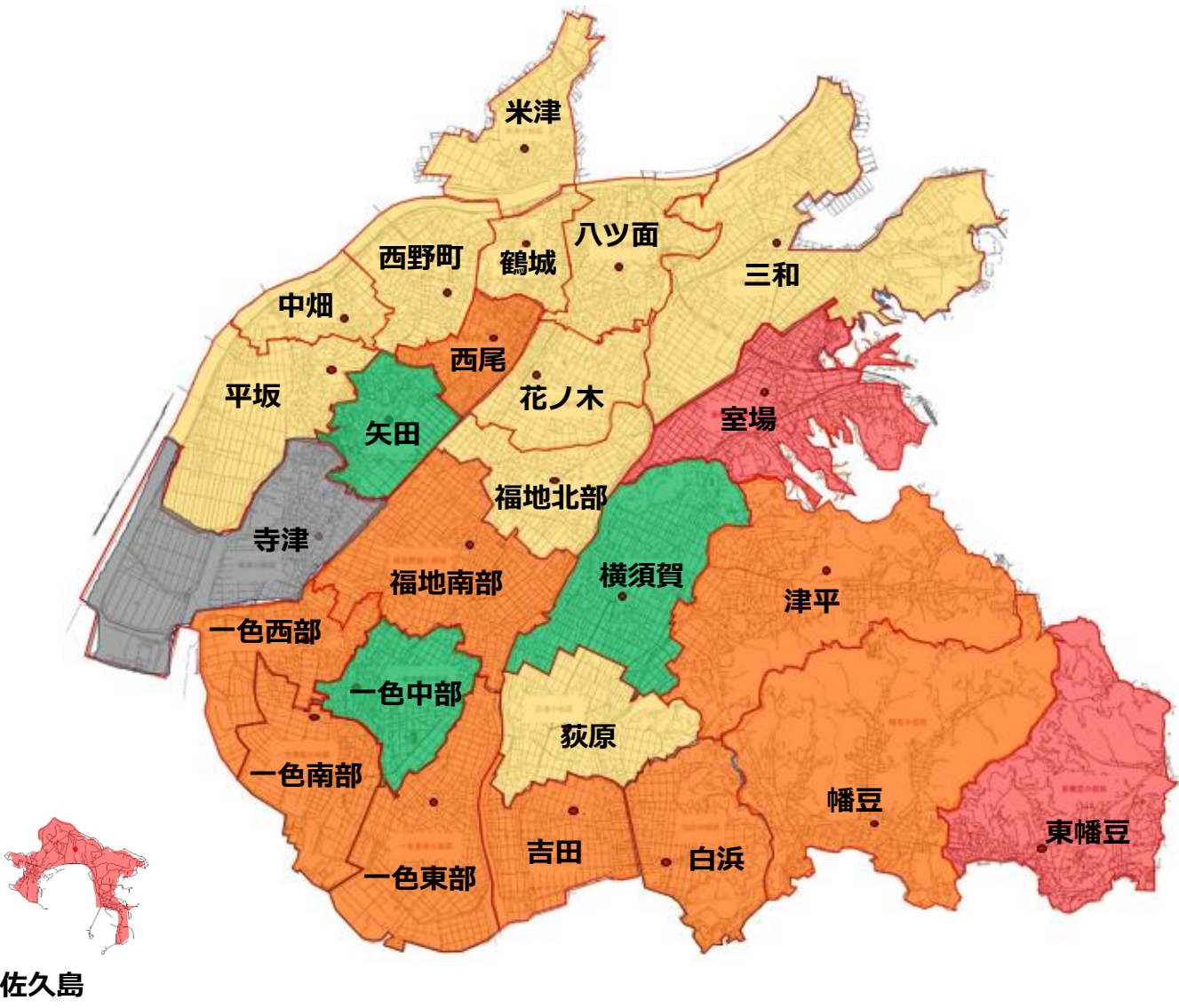
世帯数は年々増加し、2045年（令和27年）には75,251世帯となります。その後は減少し、2055年（令和37年）には73,024世帯になると推計されます。

1世帯あたりの人員は2025年（令和7年）の2.44人から年々減少し、2055年（令和37年）には1.76人になると推計されます。



2. 小学校区別の推計結果

小学校区別では、2025年（令和7年）から2055年（令和37年）までの30年間で、人口が増加すると推計される小学校区が3地区、人口が0～10%減少すると推計される小学校区が1地区、11～30%減少すると推計される小学校区が10地区、31～50%減少すると推計される小学校区が9地区、51%以上減少すると推計される小学校区が3地区となります。



2025→2055
51%以上減少

2025→2055
31～50%減少

2025→2055
11～30%減少

2025→2055
0～10%減少

2025→2055
増加する

(1) 西尾小学校区

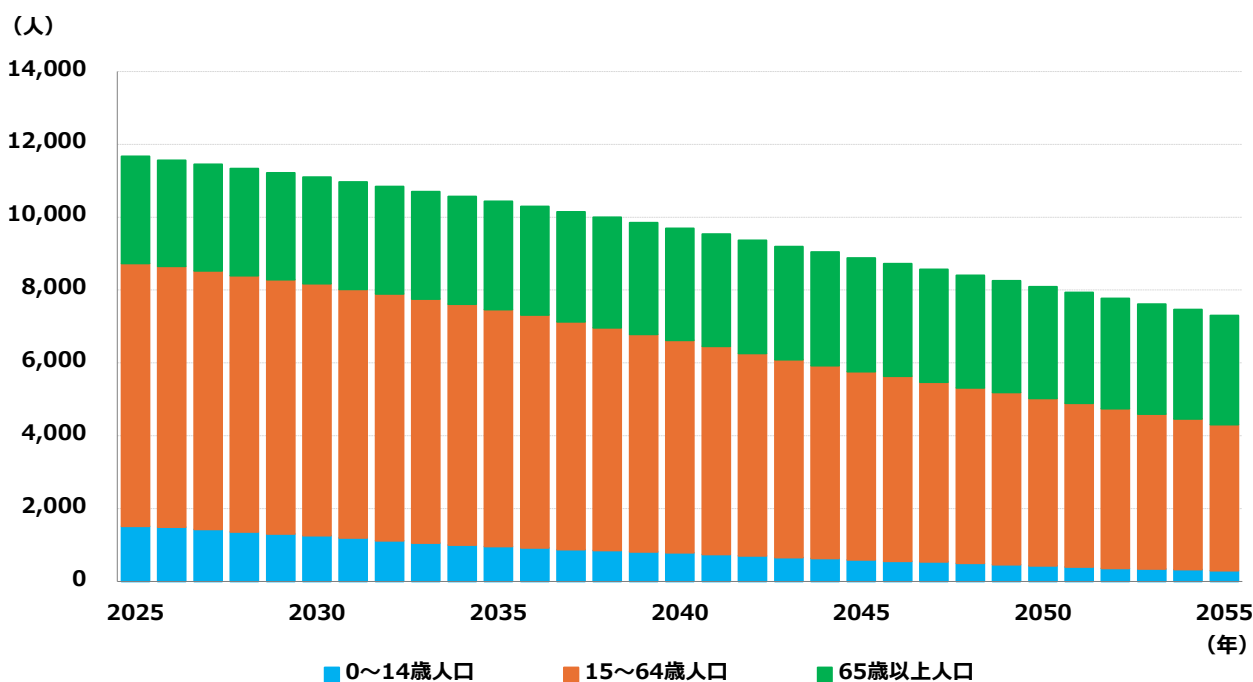
①年齢3区分別人口

西尾小学校区の人口は2025年(令和7年)の11,673人から年々減少し、2055年(令和37年)には7,298人と、4,375人(37.5%)減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年(令和7年)の1,513人(13.0%)から年々減少し、2055年(令和37年)には294人(4.0%)になると推計されます。

15～64歳人口は2025年(令和7年)の7,214人(61.8%)から年々減少し、2055年(令和37年)には4,013人(55.0%)になると推計されます。

65歳以上人口は2025年(令和7年)の2,946人(25.2%)から2030年(令和12年)にかけて減少するものの、その後は増加に転じます。2045年(令和27年)以降に再び減少に転じ、2055年(令和37年)には2,991人(41.0%)になると推計されます。



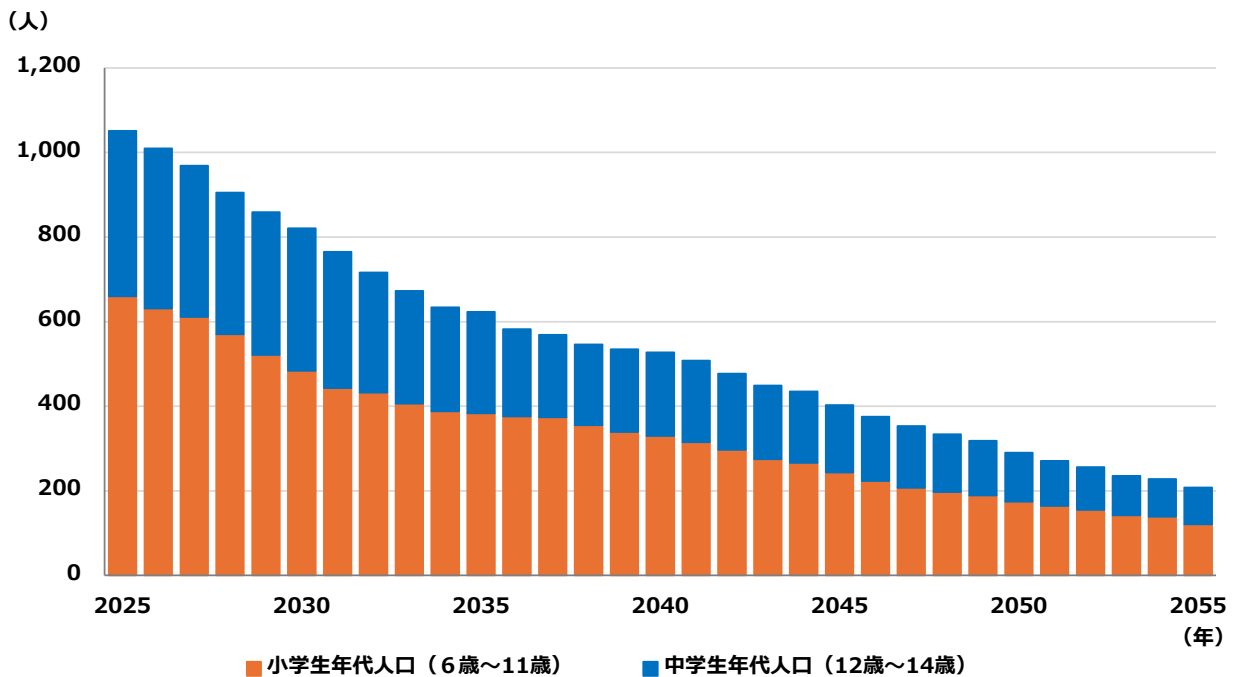
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	1,513 (13.0%)	1,257 (11.3%)	964 (9.2%)	791 (8.2%)	596 (6.7%)	429 (5.3%)	294 (4.0%)
15～64歳人口	7,214 (61.8%)	6,915 (62.3%)	6,504 (62.3%)	5,833 (60.2%)	5,168 (58.2%)	4,598 (56.8%)	4,013 (55.0%)
65歳以上人口	2,946 (25.2%)	2,927 (26.4%)	2,964 (28.4%)	3,070 (31.7%)	3,115 (35.1%)	3,064 (37.9%)	2,991 (41.0%)
計	11,673	11,099	10,432	9,694	8,879	8,091	7,298

(1) 西尾小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、660人から121人へと、約81.7%（539人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、391人から87人へと、約77.7%（304人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代（6～11歳）	660	484	383	330	243	174	121
中学生年代（12～14歳）	391	337	240	197	160	116	87
計	1,051	821	623	527	403	290	208

(1) 西尾小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

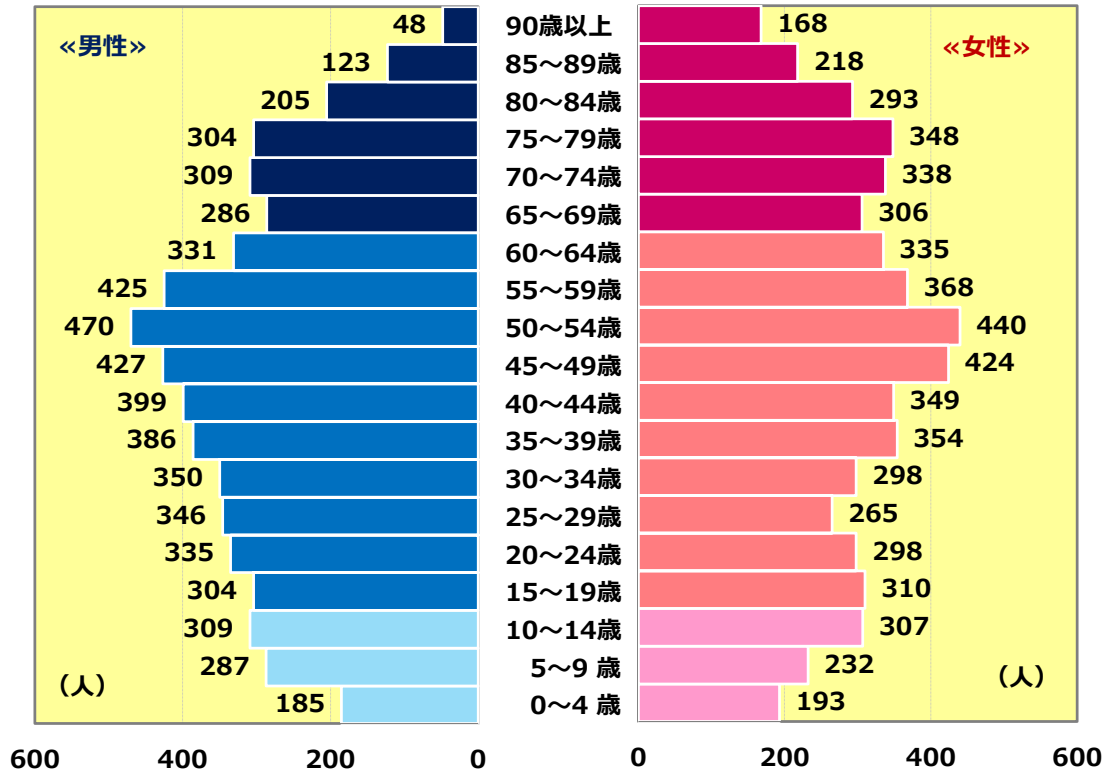


図 2035年

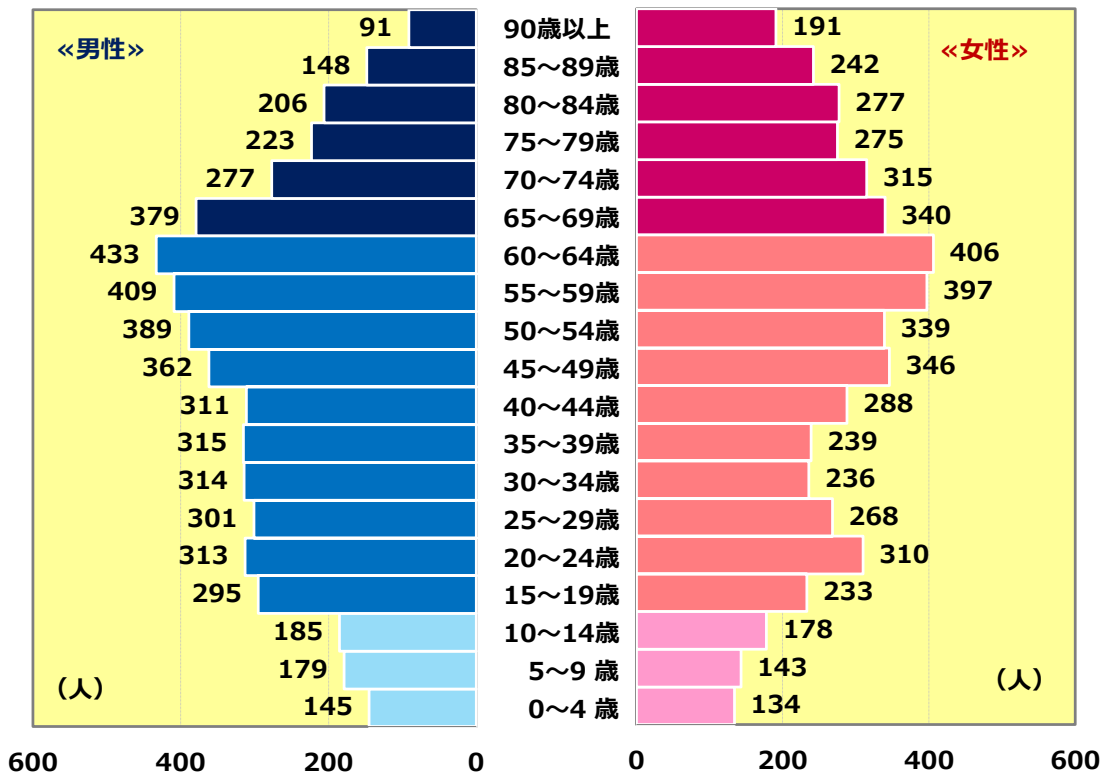


図 2045 年

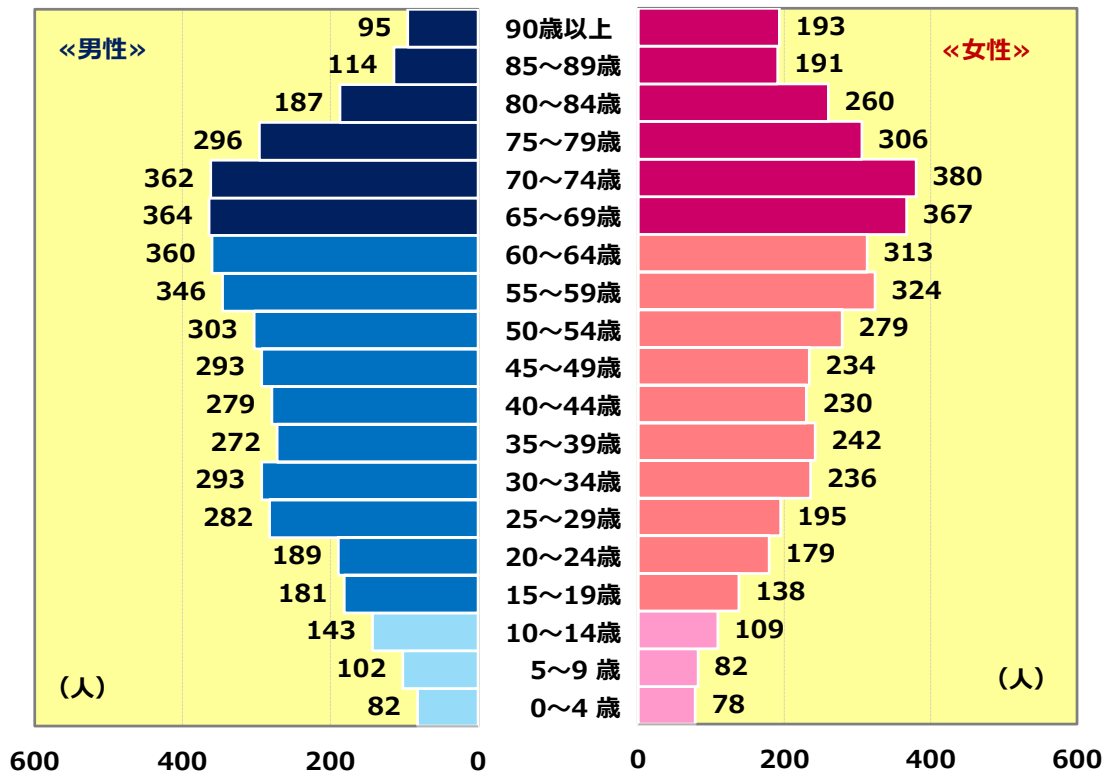
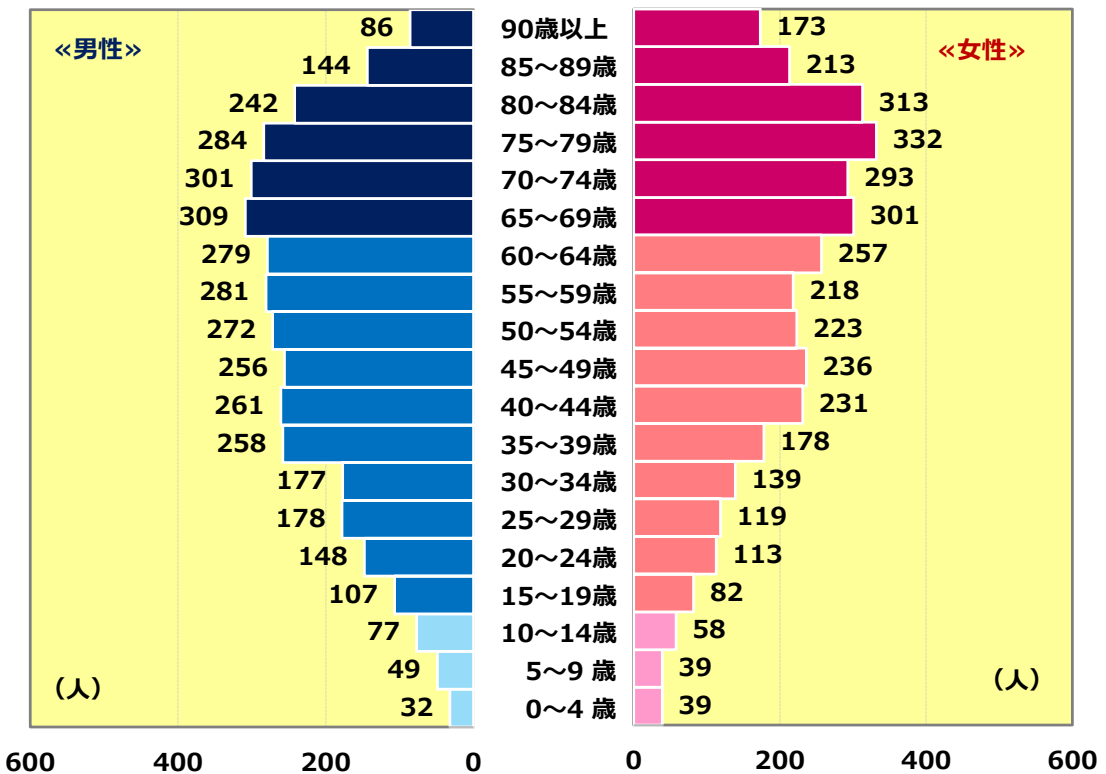


図 2055 年



(2) 花ノ木小学校区

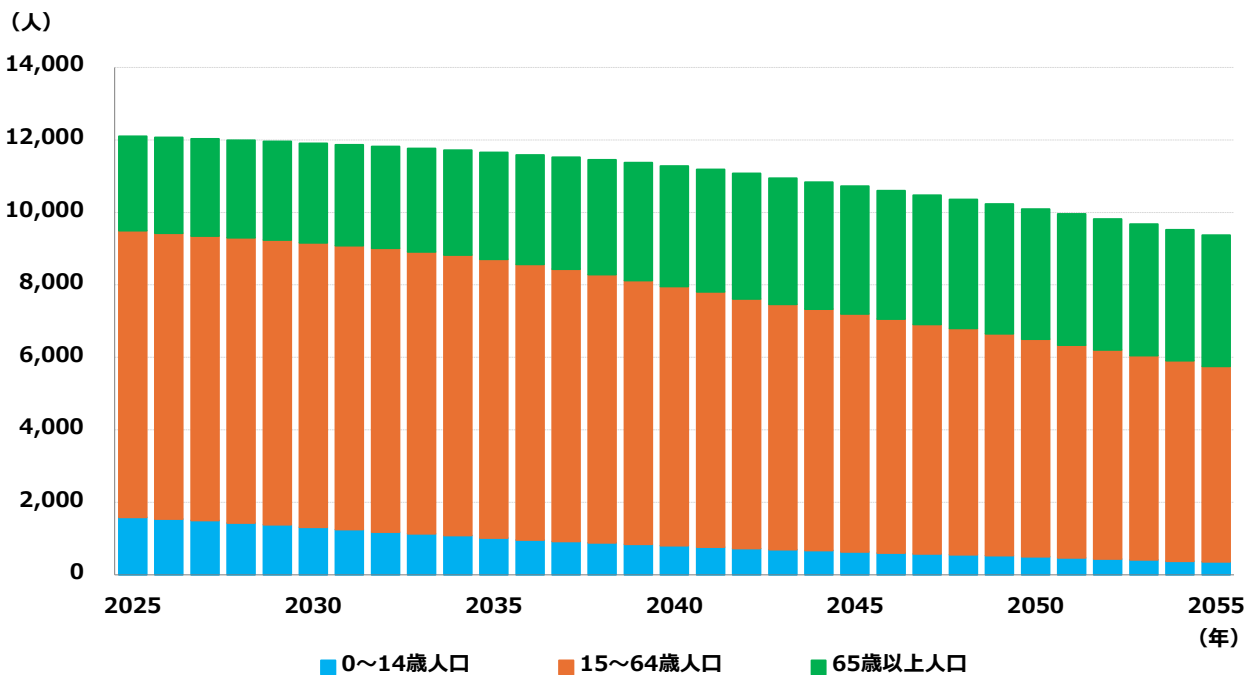
①年齢3区分別人口

花ノ木小学校区の人口は2025年（令和7年）の12,100人から年々減少し、2055年（令和37年）には9,371人と、2,729人（22.6%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の1,584人（13.1%）から年々減少し、2055年（令和37年）には358人（3.8%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の7,913人（65.4%）から年々減少し、2055年（令和37年）には5,398人（57.6%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の2,603人（21.5%）から年々増加し、2055年（令和37年）には3,615人（38.6%）になると推計されます。



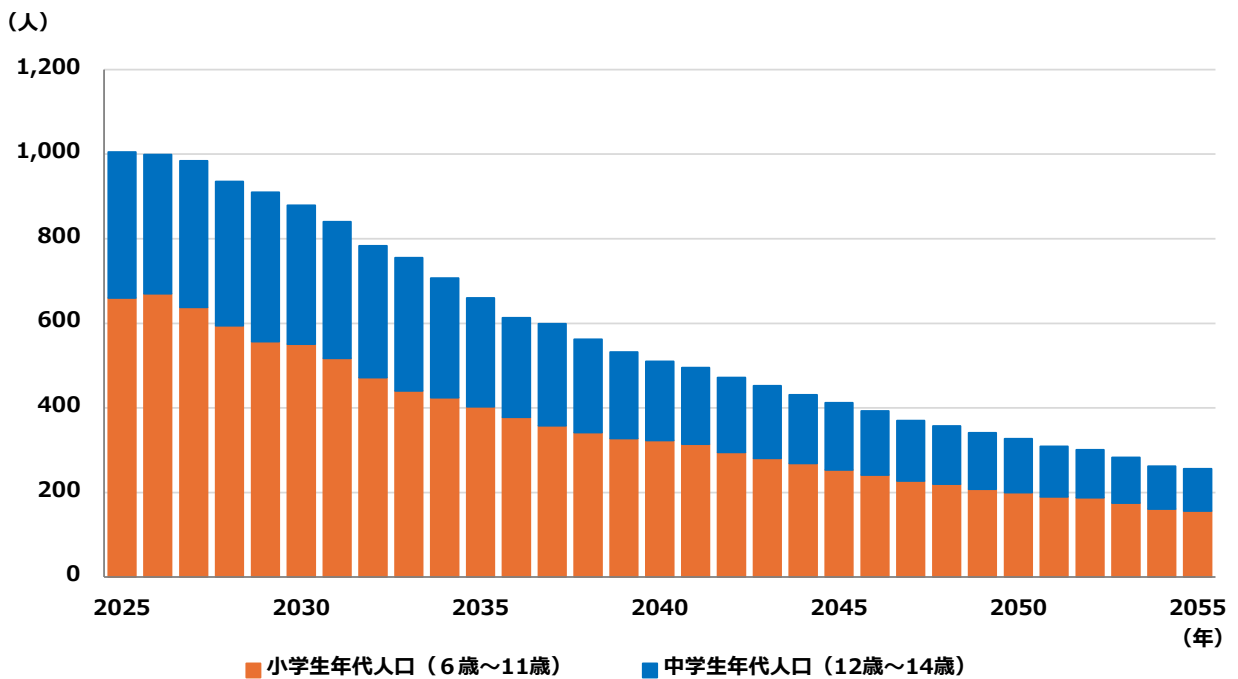
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	1,584 (13.1%)	1,316 (11.1%)	1,013 (8.7%)	805 (7.1%)	633 (5.9%)	497 (4.9%)	358 (3.8%)
15～64歳人口	7,913 (65.4%)	7,847 (65.9%)	7,692 (66.0%)	7,152 (63.4%)	6,564 (61.2%)	6,007 (59.5%)	5,398 (57.6%)
65歳以上人口	2,603 (21.5%)	2,741 (23.0%)	2,946 (25.3%)	3,321 (29.4%)	3,525 (32.9%)	3,590 (35.6%)	3,615 (38.6%)
計	12,100	11,904	11,651	11,278	10,722	10,094	9,371

(2) 花ノ木小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、660人から156人へと、約76.4%（504人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、345人から100人へと、約71.0%（245人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代（6～11歳）	660	551	403	323	253	200	156
中学生年代（12～14歳）	345	328	257	187	159	127	100
計	1,005	879	660	510	412	327	256

(2) 花ノ木小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

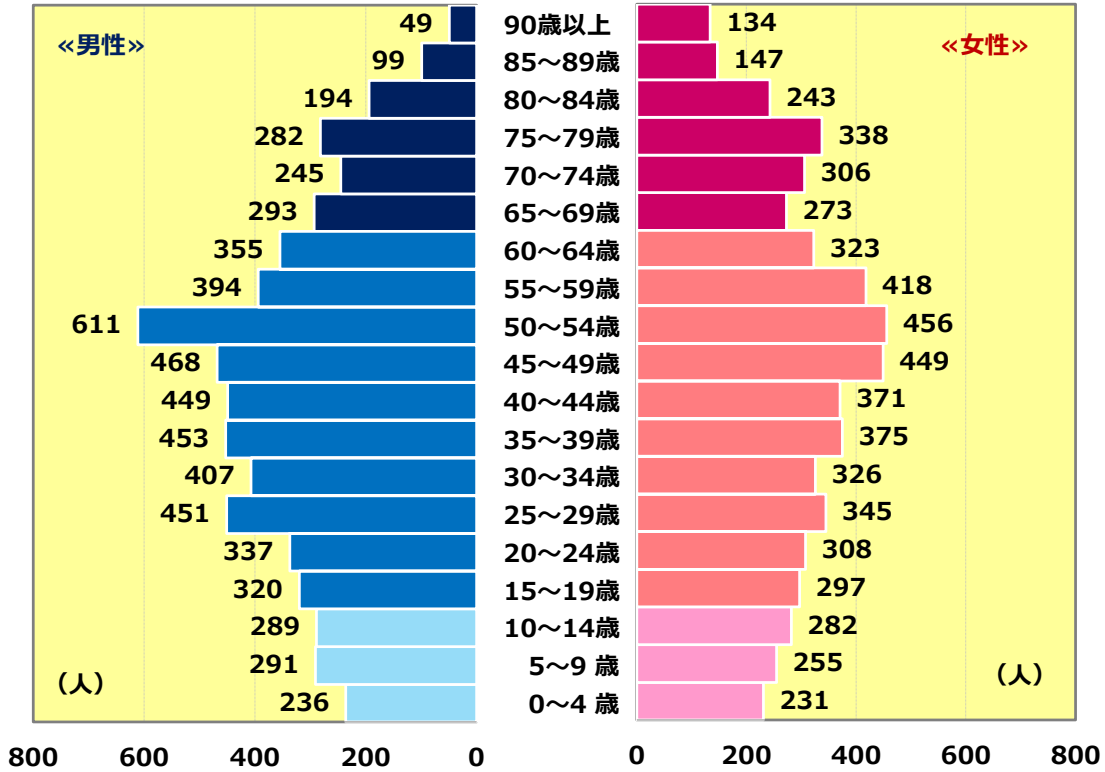


図 2035年

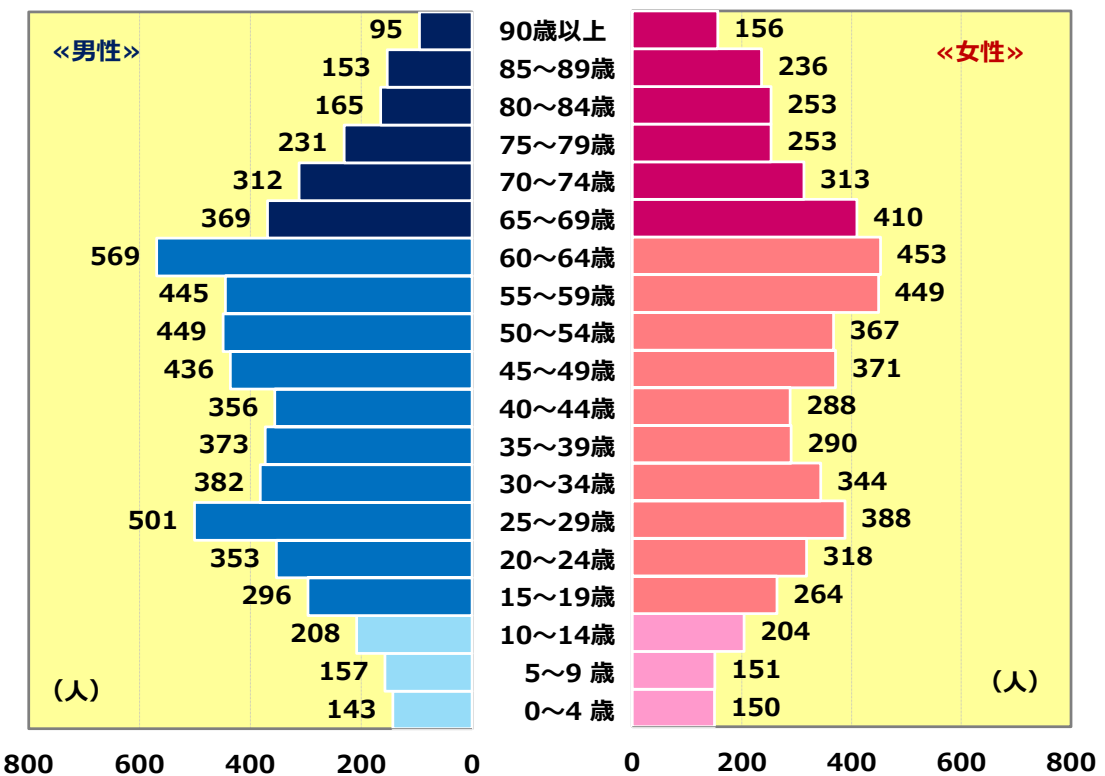


図 2045 年

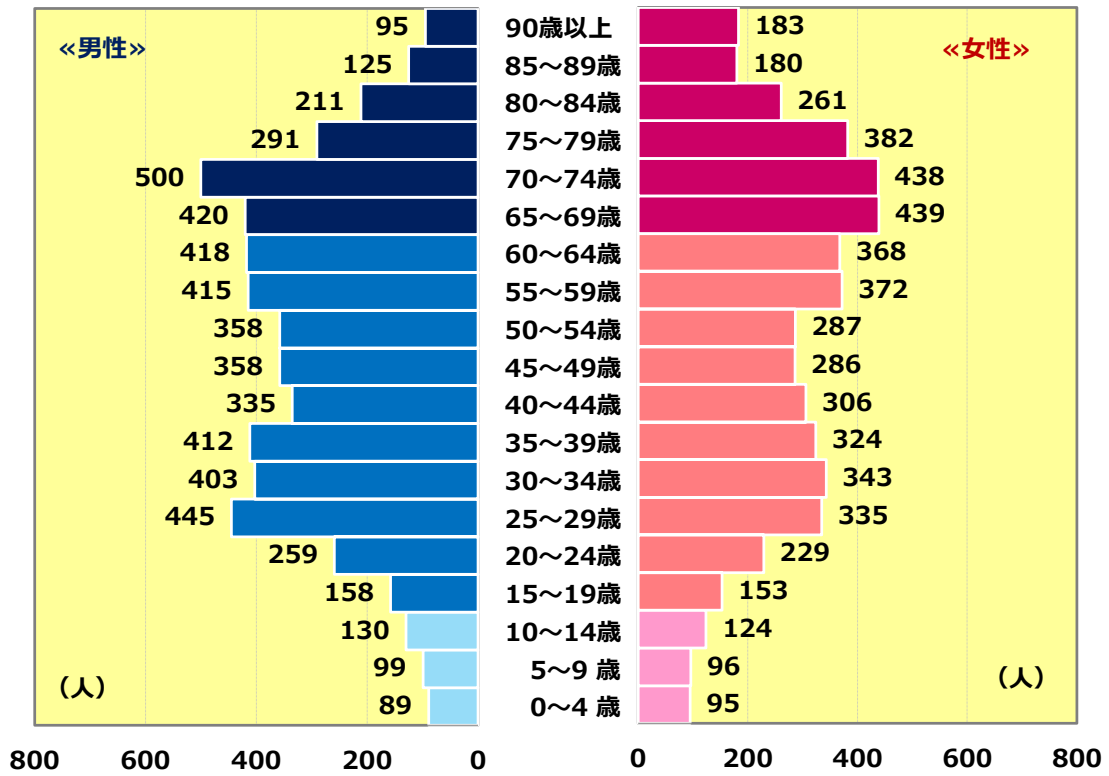
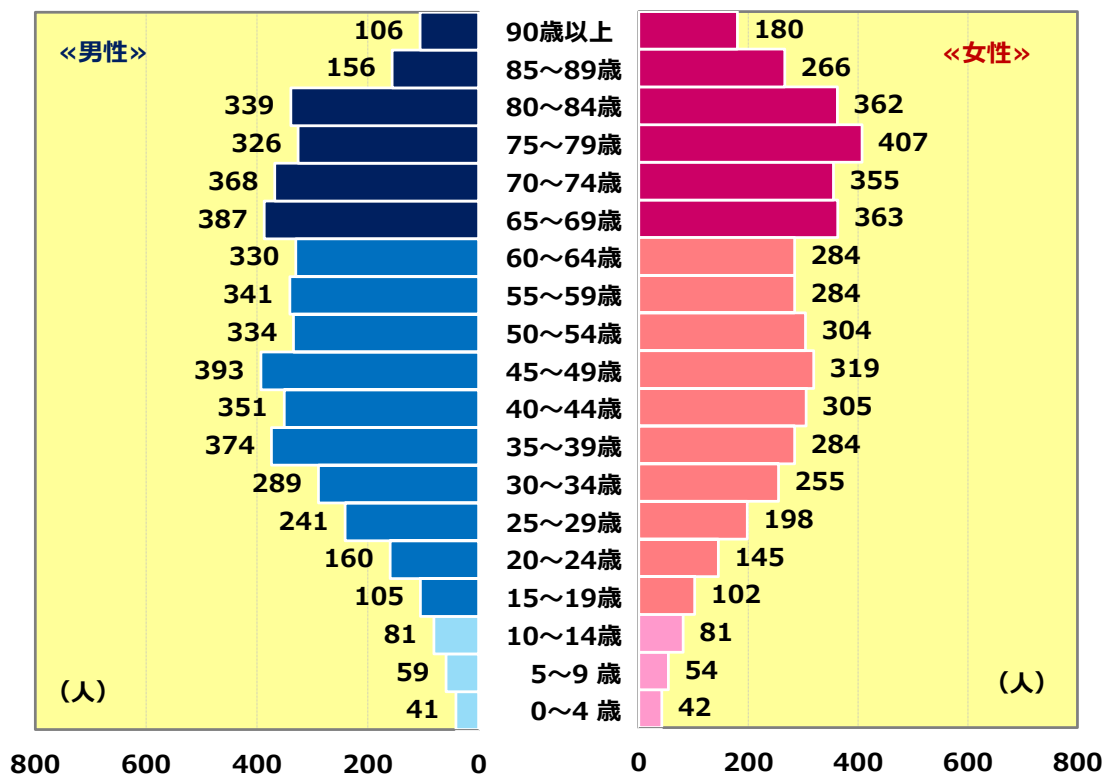


図 2055 年



(3) 鶴城小学校区

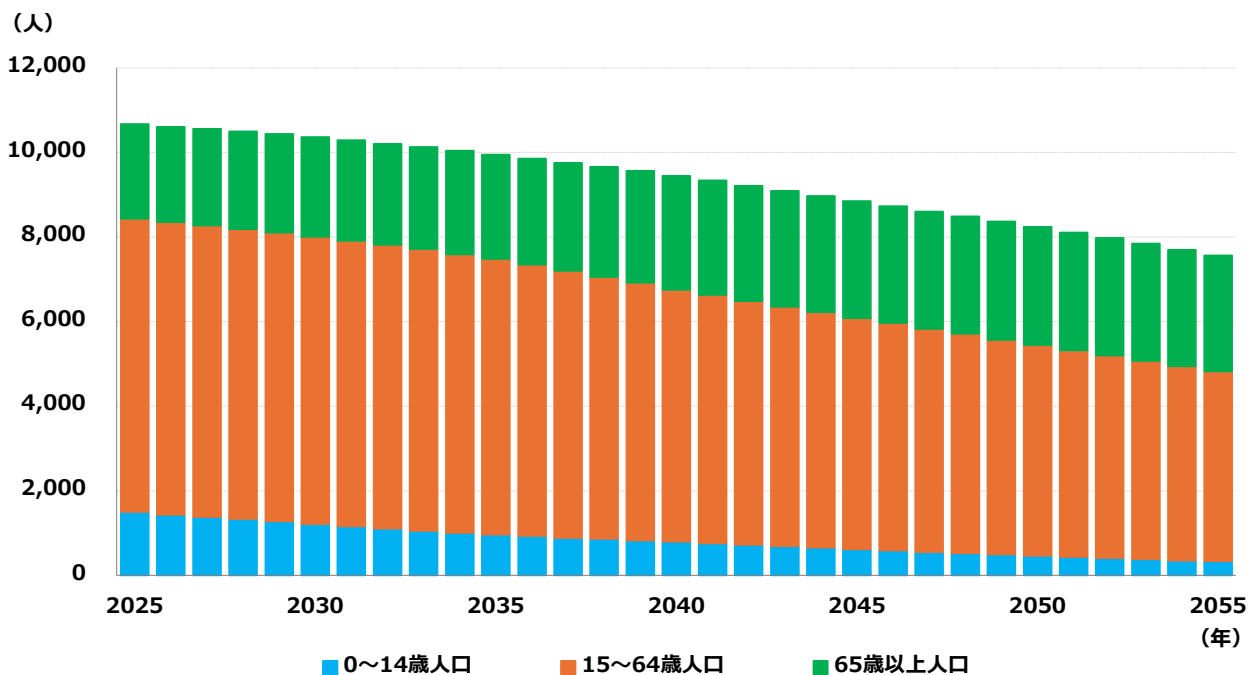
①年齢3区分別人口

鶴城小学校区の人口は2025年(令和7年)の10,672人から年々減少し、2055年(令和37年)には7,566人と、3,106人(29.1%)減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年(令和7年)の1,503人(14.1%)から年々減少し、2055年(令和37年)には335人(4.4%)になると推計されます。

15～64歳人口は2025年(令和7年)の6,935人(65.0%)から年々減少し、2055年(令和37年)には4,487人(59.3%)になると推計されます。

65歳以上人口は2025年(令和7年)の2,234人(20.9%)から年々増加しますが、2050年(令和32年)以降は減少に転じ、2055年(令和37年)には2,744人(36.3%)になると推計されます。



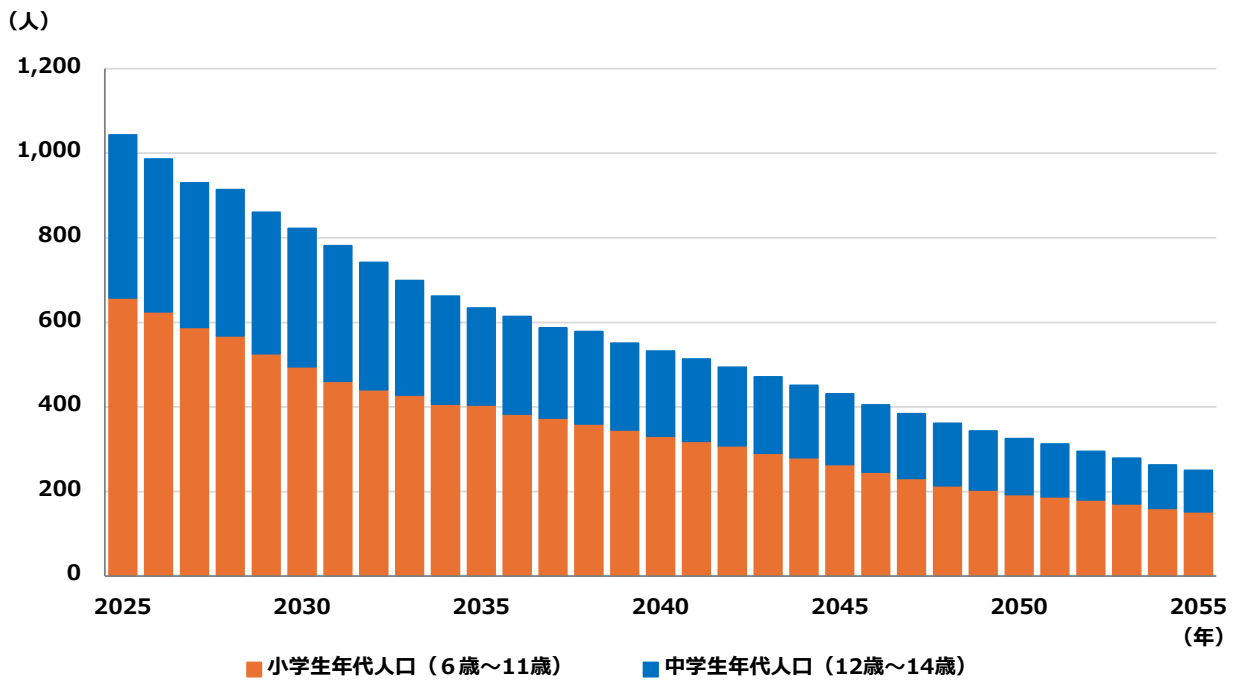
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	1,503 (14.1%)	1,212 (11.7%)	964 (9.7%)	795 (8.4%)	615 (6.9%)	462 (5.6%)	335 (4.4%)
15～64歳人口	6,935 (65.0%)	6,793 (65.5%)	6,518 (65.5%)	5,956 (63.0%)	5,466 (61.8%)	4,985 (60.5%)	4,487 (59.3%)
65歳以上人口	2,234 (20.9%)	2,359 (22.8%)	2,469 (24.8%)	2,697 (28.5%)	2,768 (31.3%)	2,795 (33.9%)	2,744 (36.3%)
計	10,672	10,364	9,951	9,448	8,849	8,242	7,566

(3) 鶴城小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、658人から152人へと、約76.9%（506人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、385人から98人へと、約74.5%（287人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代（6～11歳）	658	495	405	331	264	193	152
中学生年代（12～14歳）	385	327	229	201	167	132	98
計	1,043	822	634	532	431	325	250

(3) 鶴城小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

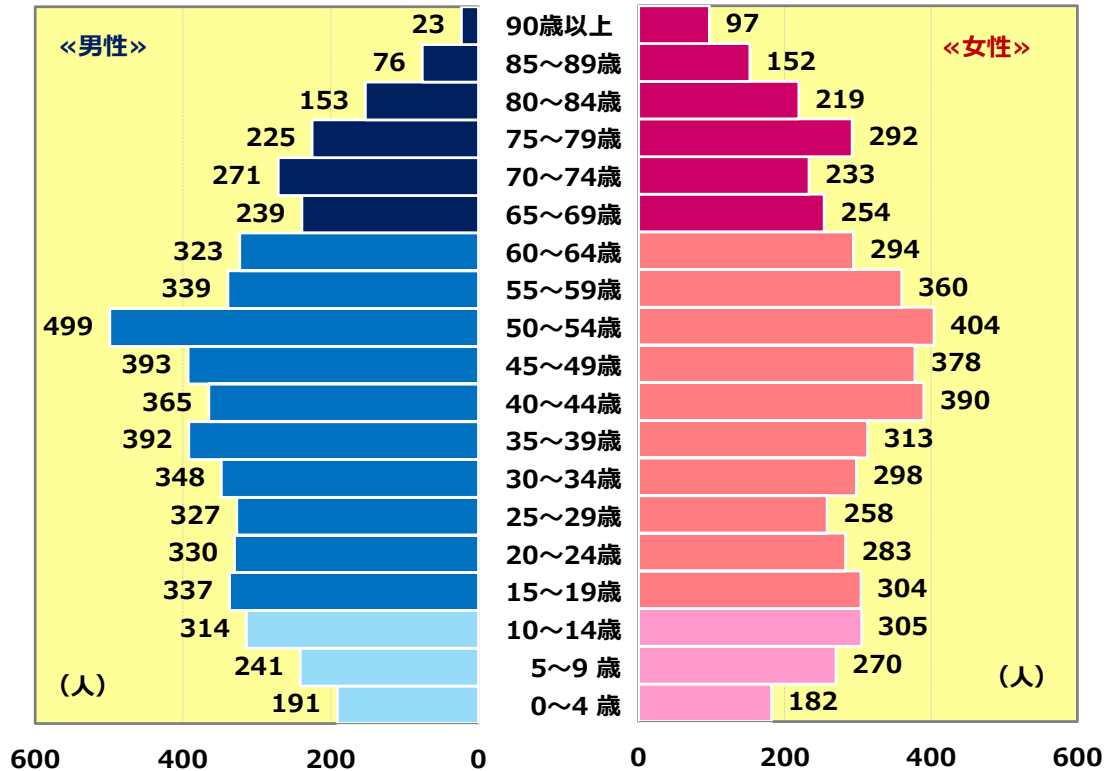


図 2035年

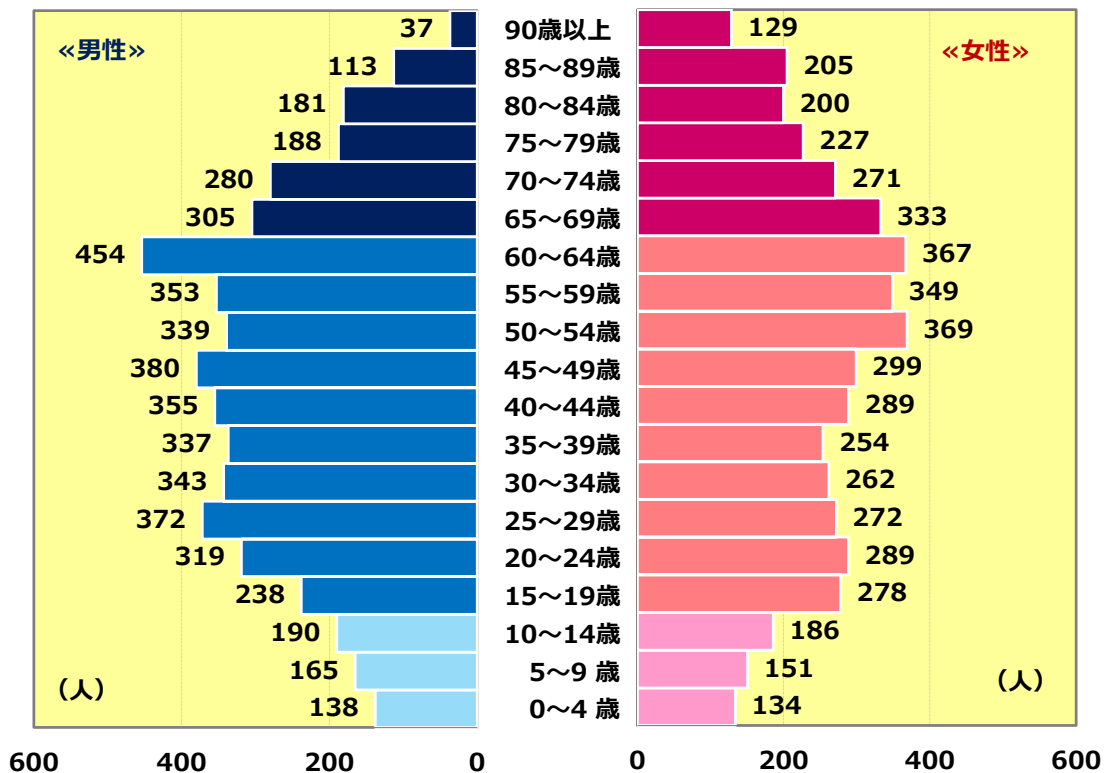


図 2045 年

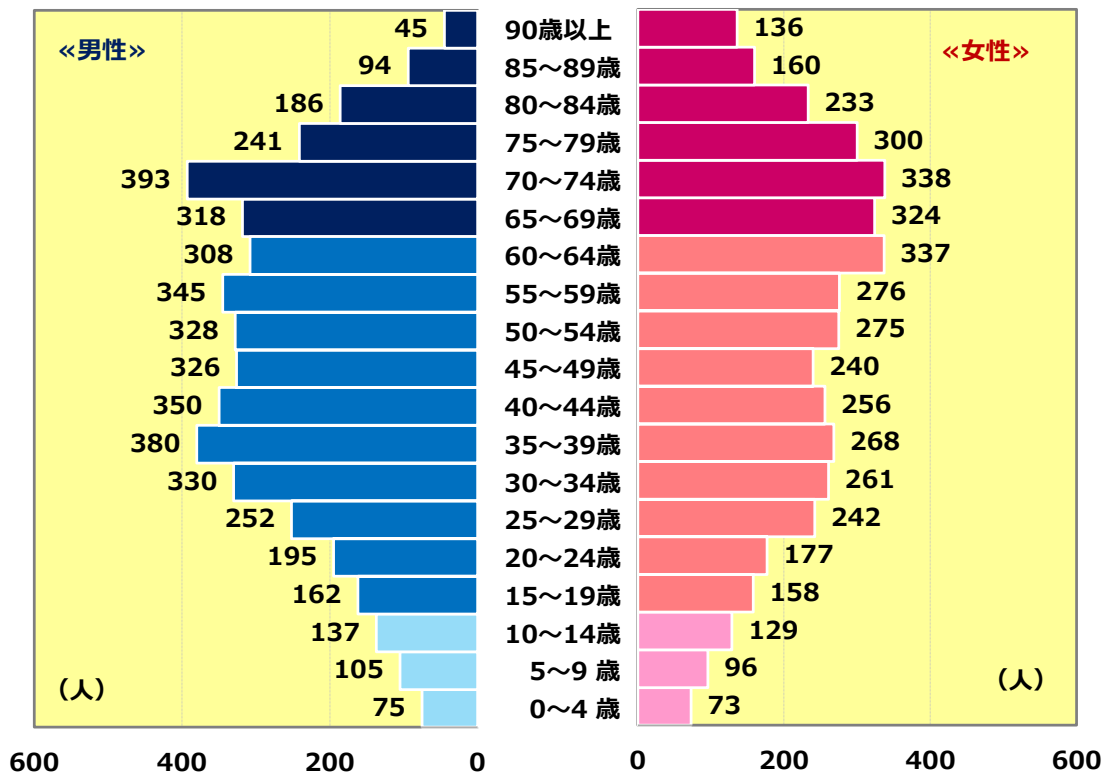
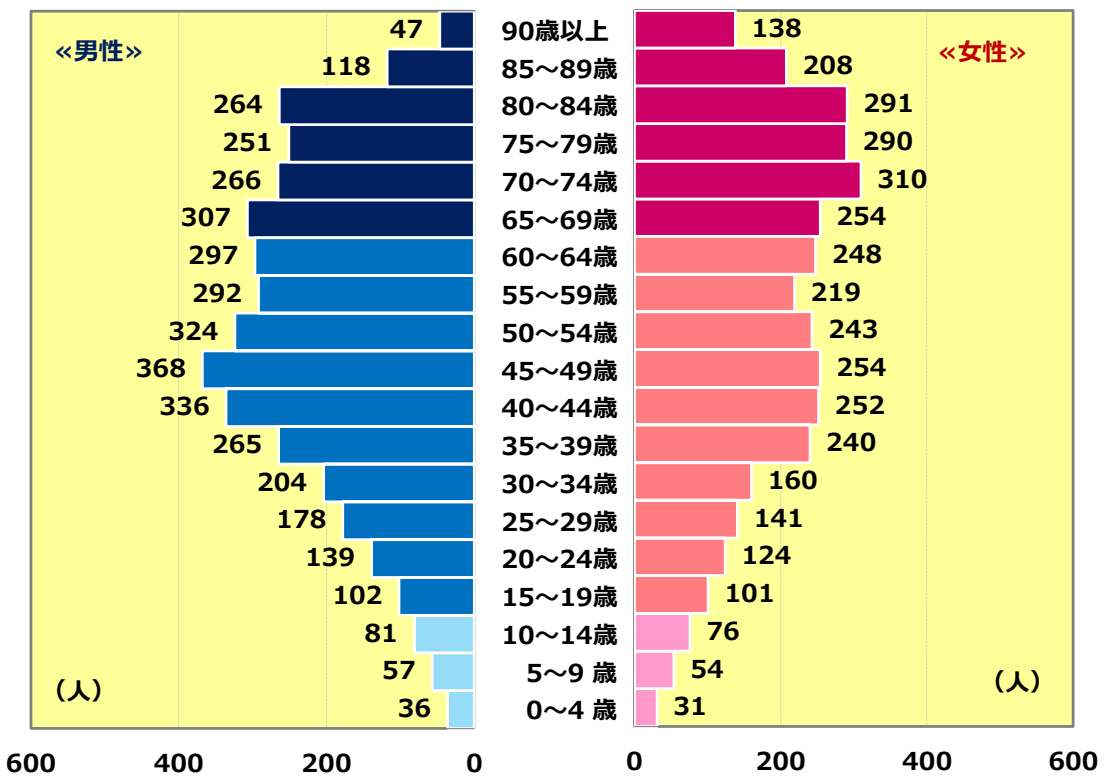


図 2055 年



(4) 八ツ面小学校区

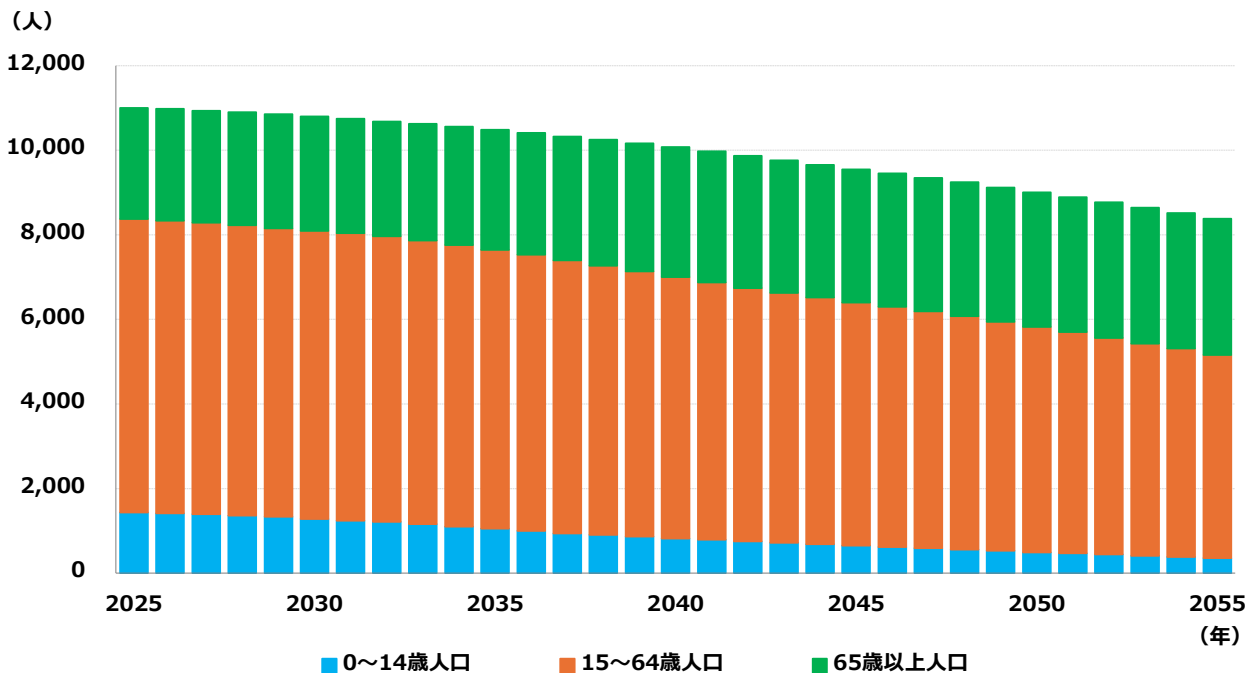
①年齢3区分別人口

八ツ面小学校区の人口は2025年（令和7年）の11,003人から年々減少し、2055年（令和37年）には8,383人と、2,620人（23.8%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の1,437人（13.1%）から年々減少し、2055年（令和37年）には357人（4.3%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の6,936人（63.0%）から年々減少し、2055年（令和37年）には4,803人（57.3%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の2,630人（23.9%）から年々増加し、2055年（令和37年）には3,223人（38.4%）になると推計されます。



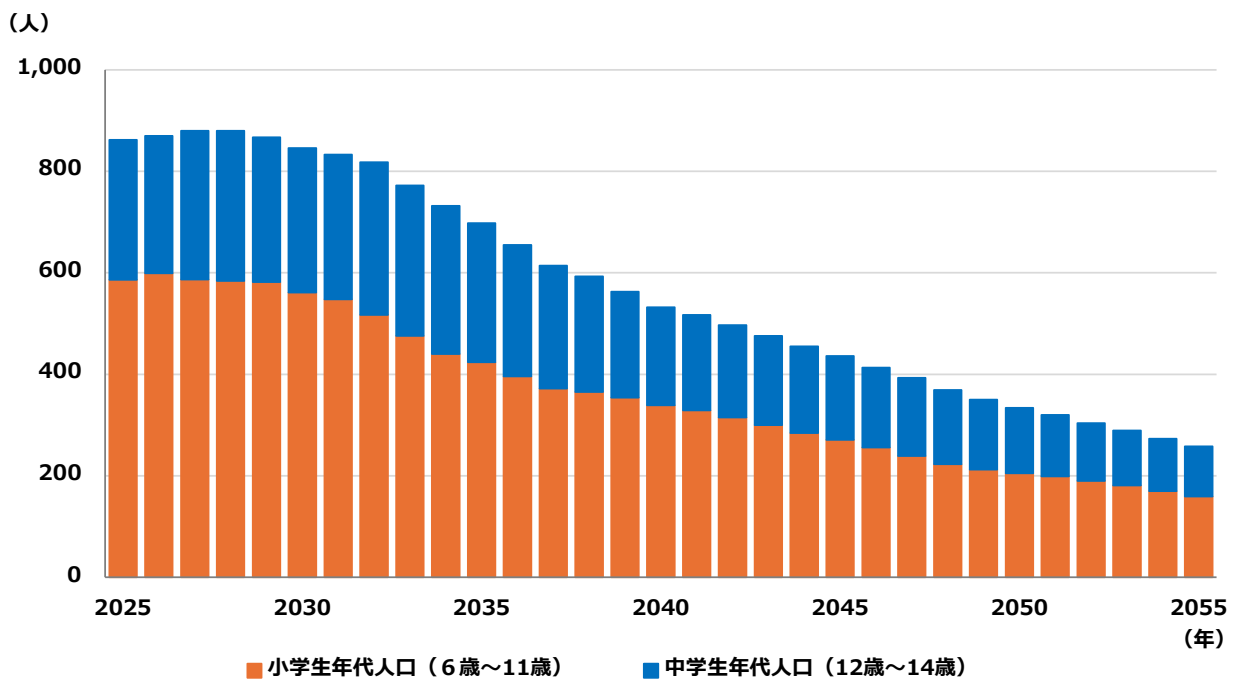
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	1,437 (13.1%)	1,279 (11.8%)	1,055 (10.1%)	821 (8.1%)	651 (6.8%)	489 (5.4%)	357 (4.3%)
15～64歳人口	6,936 (63.0%)	6,814 (63.1%)	6,587 (62.8%)	6,182 (61.4%)	5,750 (60.2%)	5,333 (59.2%)	4,803 (57.3%)
65歳以上人口	2,630 (23.9%)	2,708 (25.1%)	2,842 (27.1%)	3,071 (30.5%)	3,149 (33.0%)	3,179 (35.3%)	3,223 (38.4%)
計	11,003	10,801	10,484	10,074	9,550	9,001	8,383

(4) ハツ面小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、586人から159人へと、約72.9%（427人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、276人から99人へと、約64.1%（177人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代（6～11歳）	586	561	424	339	271	205	159
中学生年代（12～14歳）	276	285	274	193	165	129	99
計	862	846	698	532	436	334	258

(4) ハツ面小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

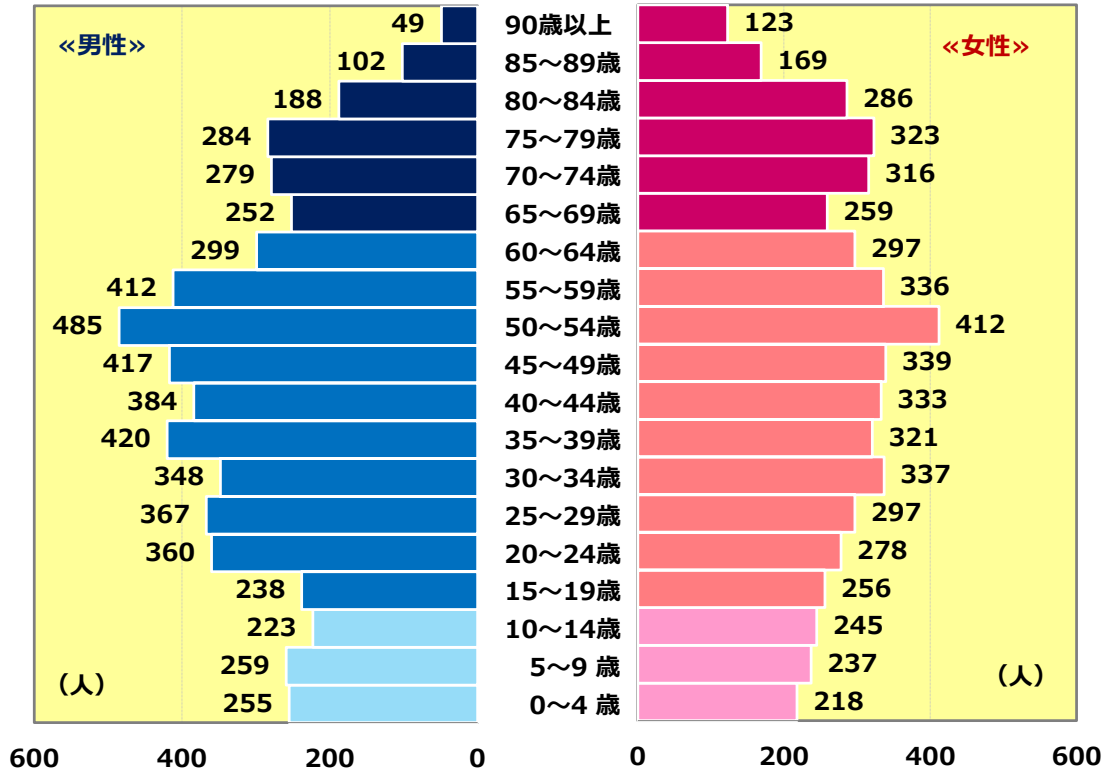


図 2035年

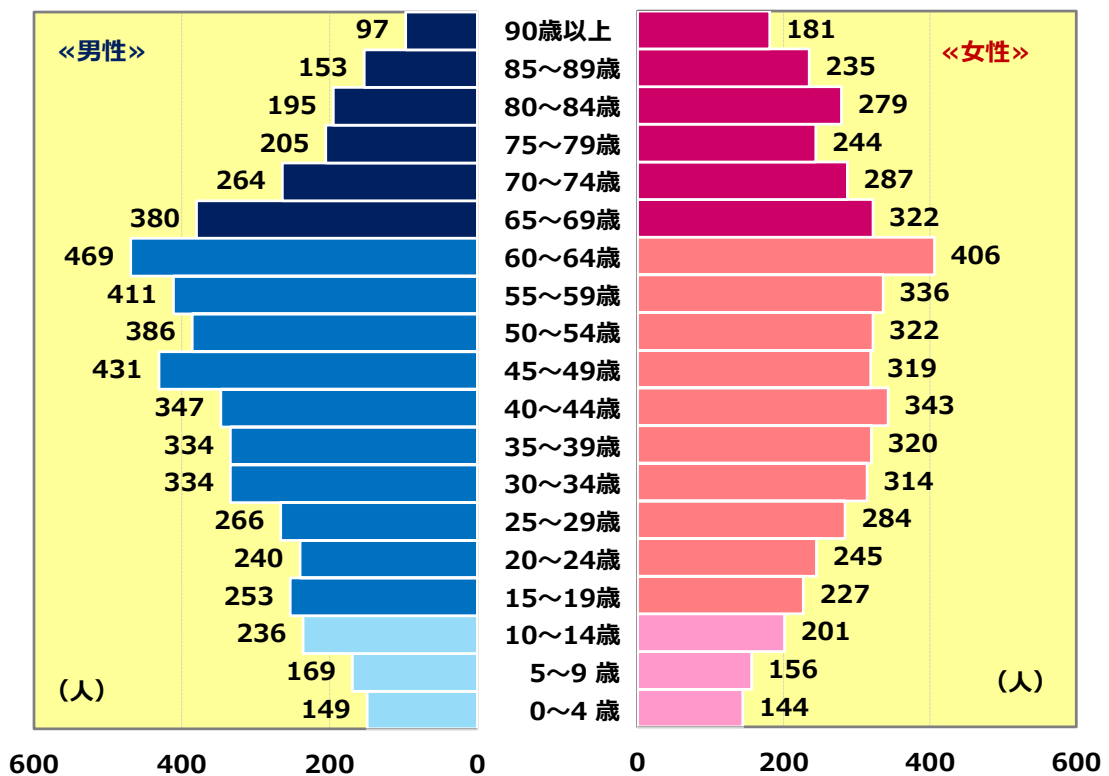


図 2045 年

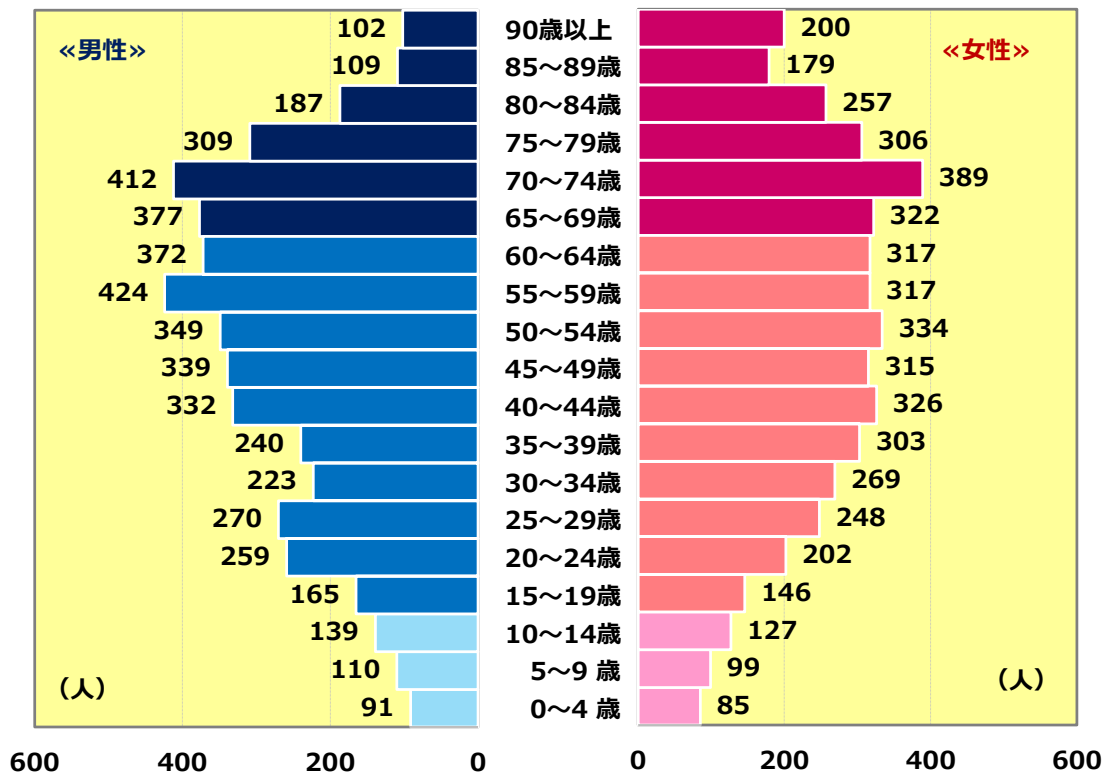
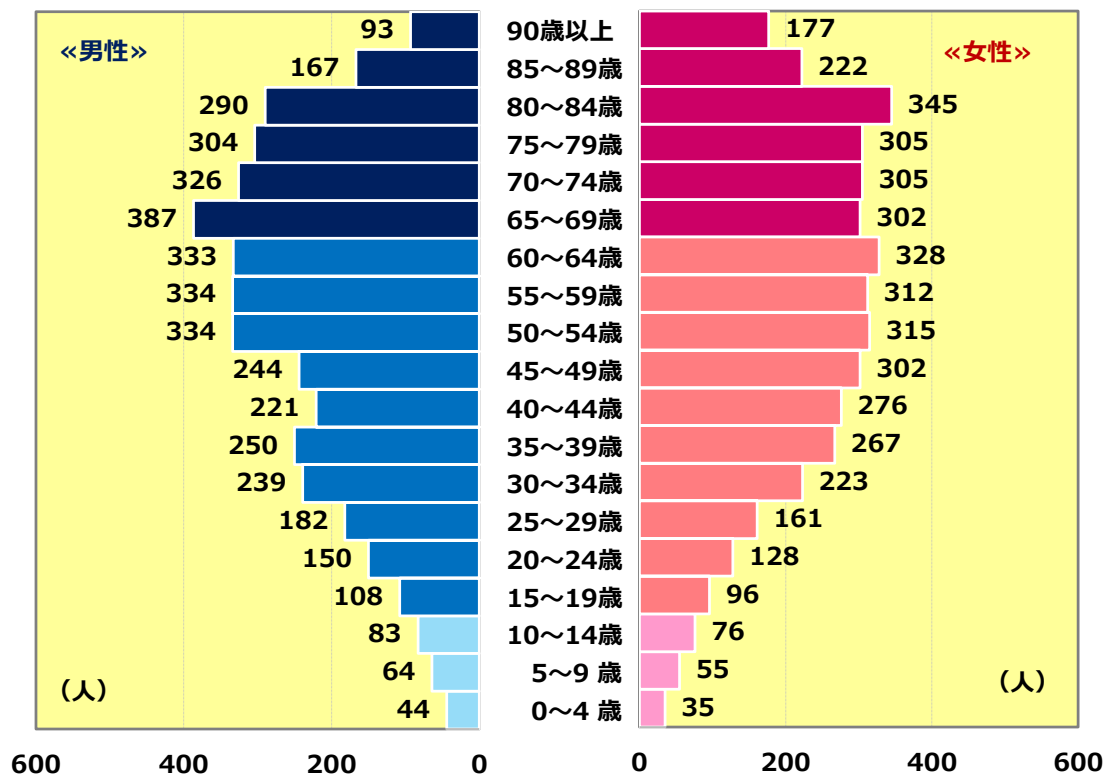


図 2055 年



(5) 西野町小学校区

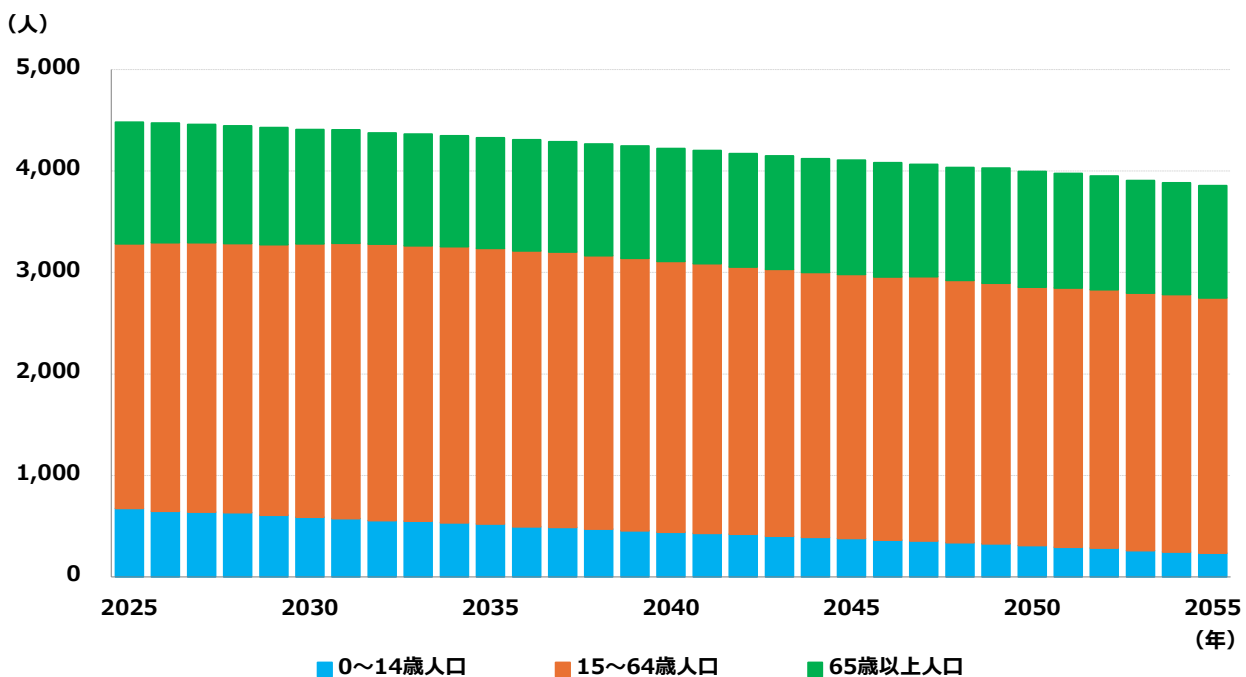
①年齢3区分別人口

西野町小学校区の人口は2025年（令和7年）の4,480人から年々減少し、2055年（令和37年）には3,855人と、625人（14.0%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の676人（15.1%）から年々減少し、2055年（令和37年）には234人（6.1%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の2,606人（58.2%）から年々増加しますが、2035年（令和17年）以降は減少に転じ、2055年（令和37年）には2,515人（65.2%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の1,198人（26.7%）から減少するものの、2040年から2050年には一旦増加に転じます。その後は再び減少し、2055年（令和37年）には1,106人（28.7%）になると推計されます。



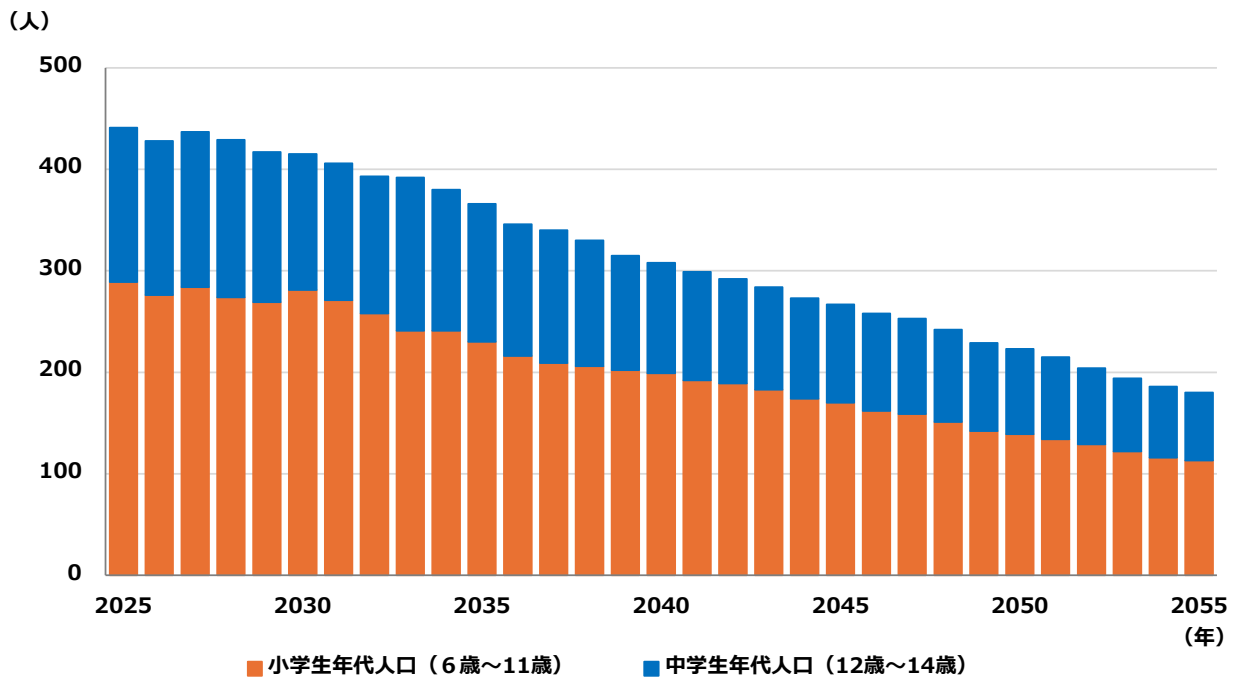
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	676 (15.1%)	588 (13.3%)	521 (12.0%)	441 (10.4%)	379 (9.2%)	310 (7.8%)	234 (6.1%)
15～64歳人口	2,606 (58.2%)	2,695 (61.1%)	2,716 (62.8%)	2,669 (63.2%)	2,601 (63.4%)	2,546 (63.7%)	2,515 (65.2%)
65歳以上人口	1,198 (26.7%)	1,125 (25.5%)	1,089 (25.2%)	1,112 (26.3%)	1,125 (27.4%)	1,139 (28.5%)	1,106 (28.7%)
計	4,480	4,408	4,326	4,222	4,105	3,995	3,855

(5) 西野町小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、289人から113人へと、約60.9%（176人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、152人から67人へと、約55.9%（85人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代 (6~11歳)	289	281	230	199	170	139	113
中学生年代 (12~14歳)	152	134	136	109	97	84	67
計	441	415	366	308	267	223	180

(5) 西野町小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

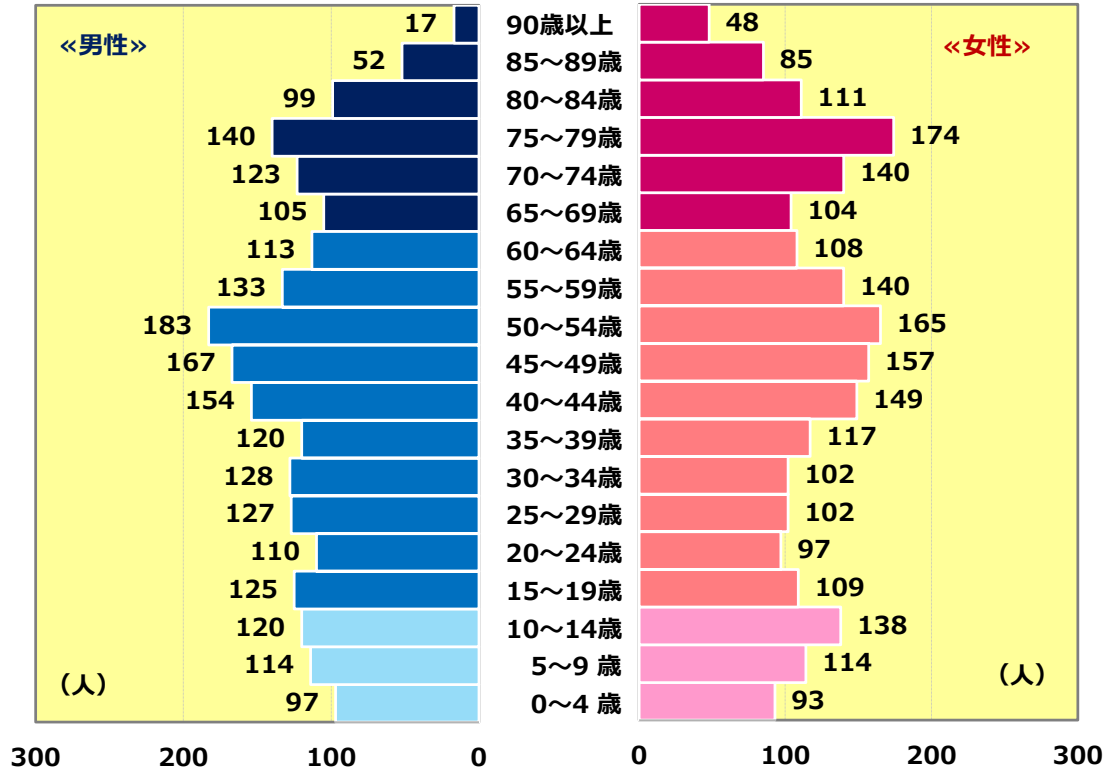


図 2035年

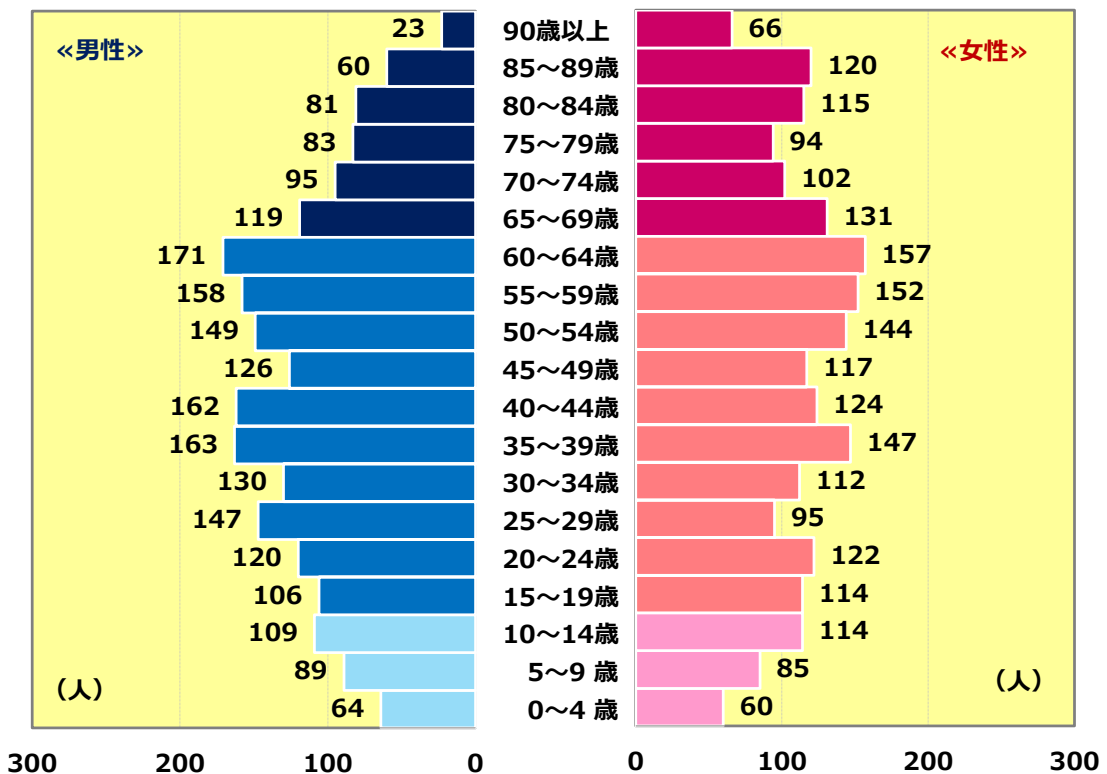


図 2045 年

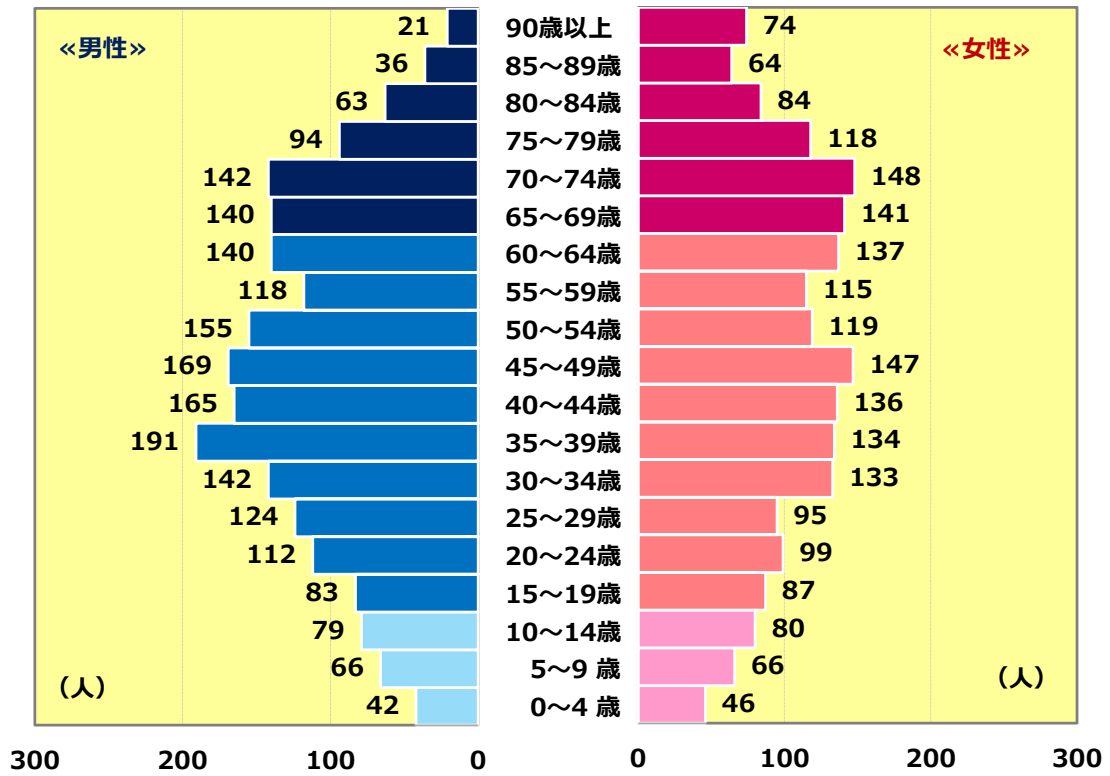
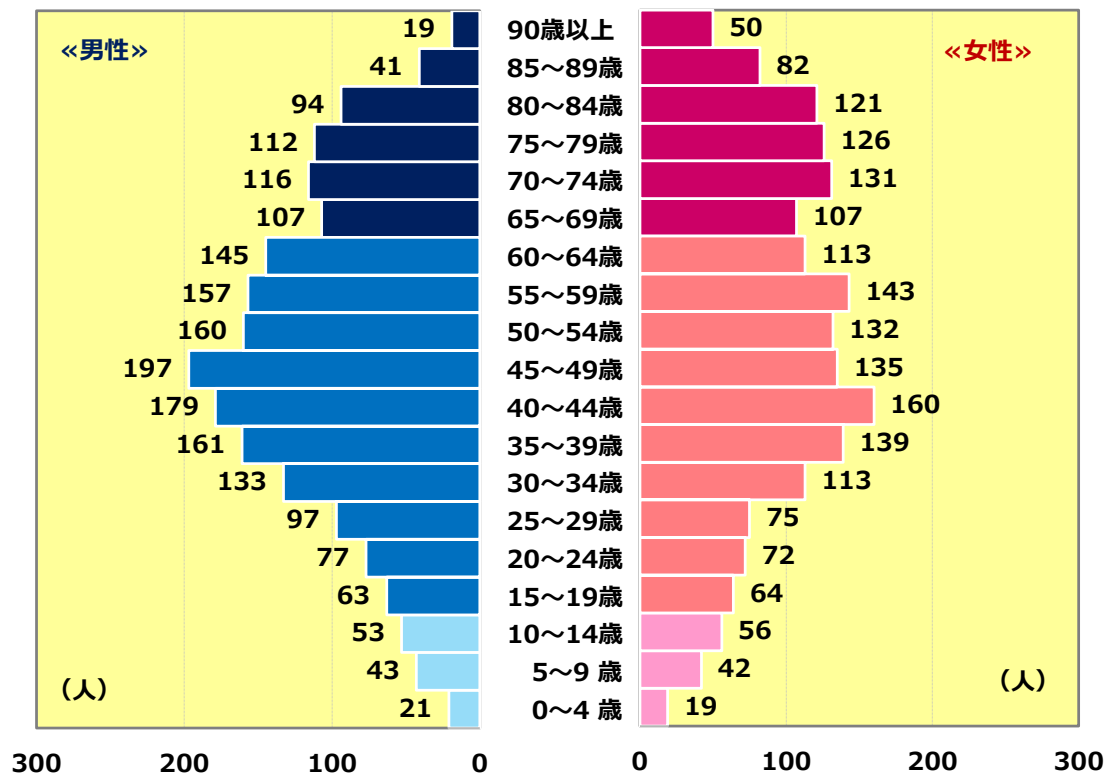


図 2055 年



(6) 中畑小学校区

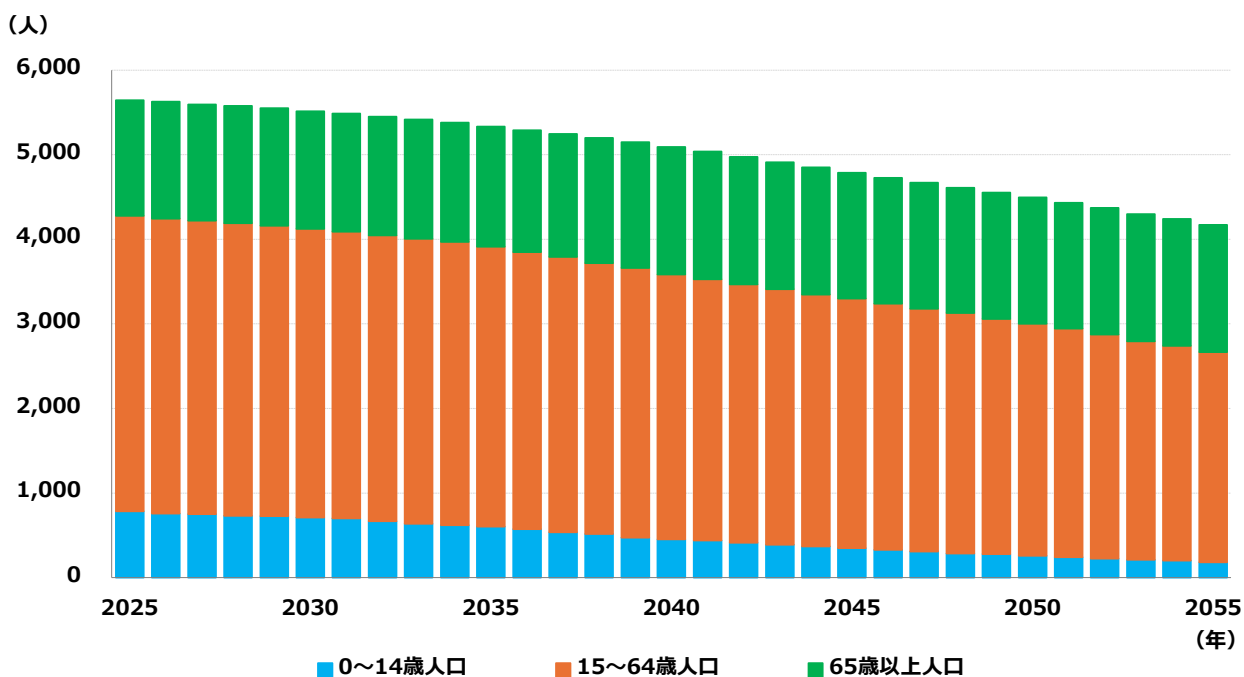
①年齢3区分別人口

中畑小学校区の人口は2025年（令和7年）の5,643人から年々減少し、2055年（令和37年）には4,171人と、1,472人（26.1%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の783人（13.9%）から年々減少し、2055年（令和37年）には182人（4.4%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の3,493人（61.9%）から年々減少し、2055年（令和37年）には2,486人（59.6%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の1,367人（24.2%）から年々増加します。2040年（令和22年）以降は増減を繰り返すものの、65歳以上人口比率は上昇しており、2055年（令和37年）には1,503人（36.0%）になると推計されます。



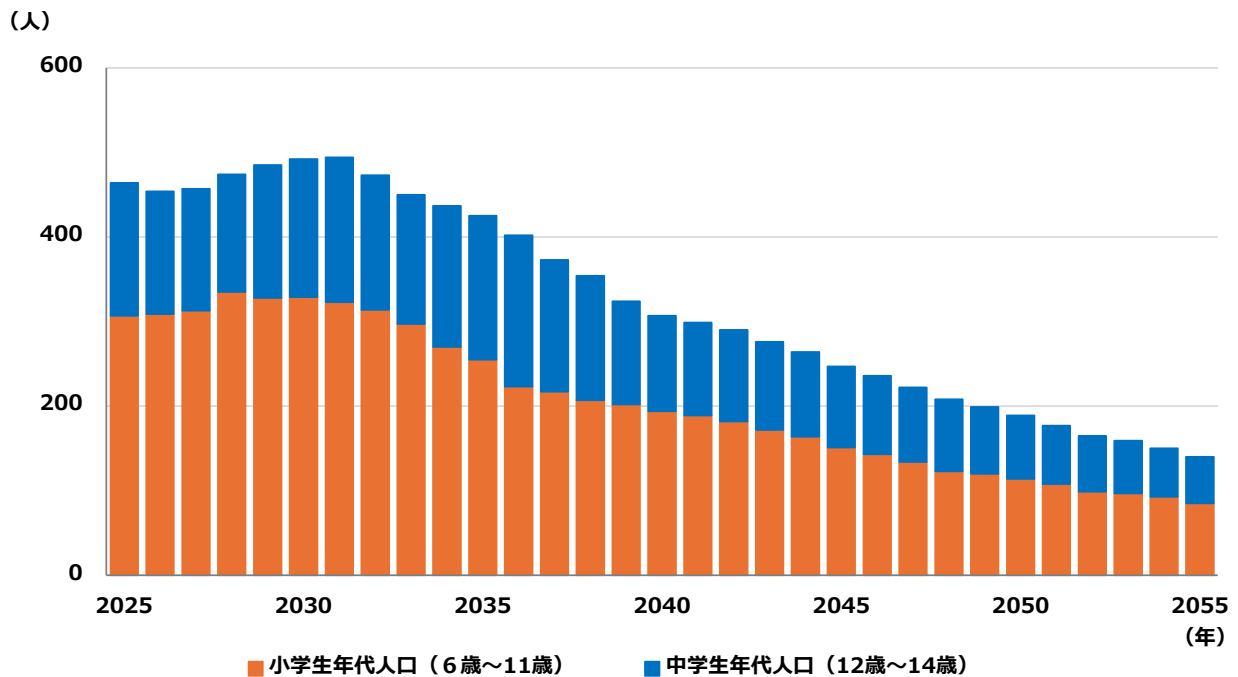
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	783 (13.9%)	711 (12.9%)	603 (11.3%)	451 (8.9%)	347 (7.3%)	258 (5.7%)	182 (4.4%)
15～64歳人口	3,493 (61.9%)	3,411 (61.9%)	3,309 (62.1%)	3,133 (61.5%)	2,953 (61.7%)	2,744 (61.0%)	2,486 (59.6%)
65歳以上人口	1,367 (24.2%)	1,391 (25.2%)	1,420 (26.6%)	1,507 (29.6%)	1,486 (31.0%)	1,493 (33.2%)	1,503 (36.0%)
計	5,643	5,513	5,332	5,091	4,786	4,495	4,171

(6) 中畑小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、307人から85人へと、約72.3%（222人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、157人から55人へと、約65.0%（102人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代 (6~11歳)	307	329	255	194	151	114	85
中学生年代 (12~14歳)	157	163	170	113	96	75	55
計	464	492	425	307	247	189	140

(6) 中畑小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

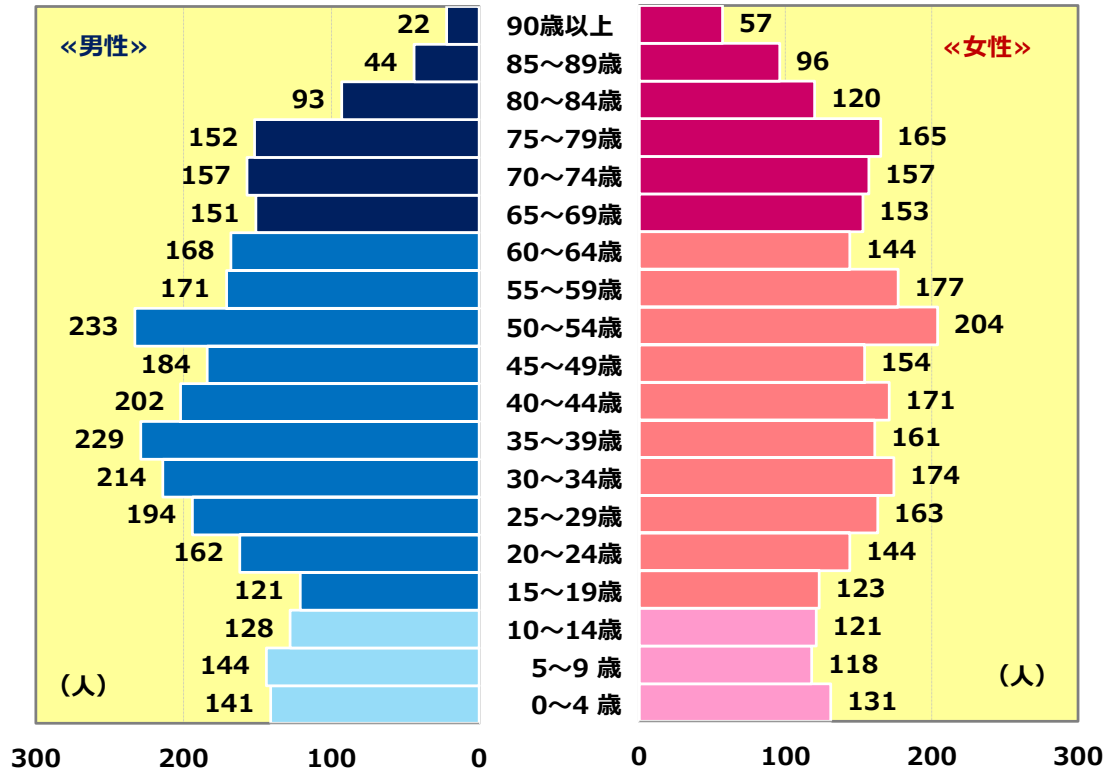


図 2035年

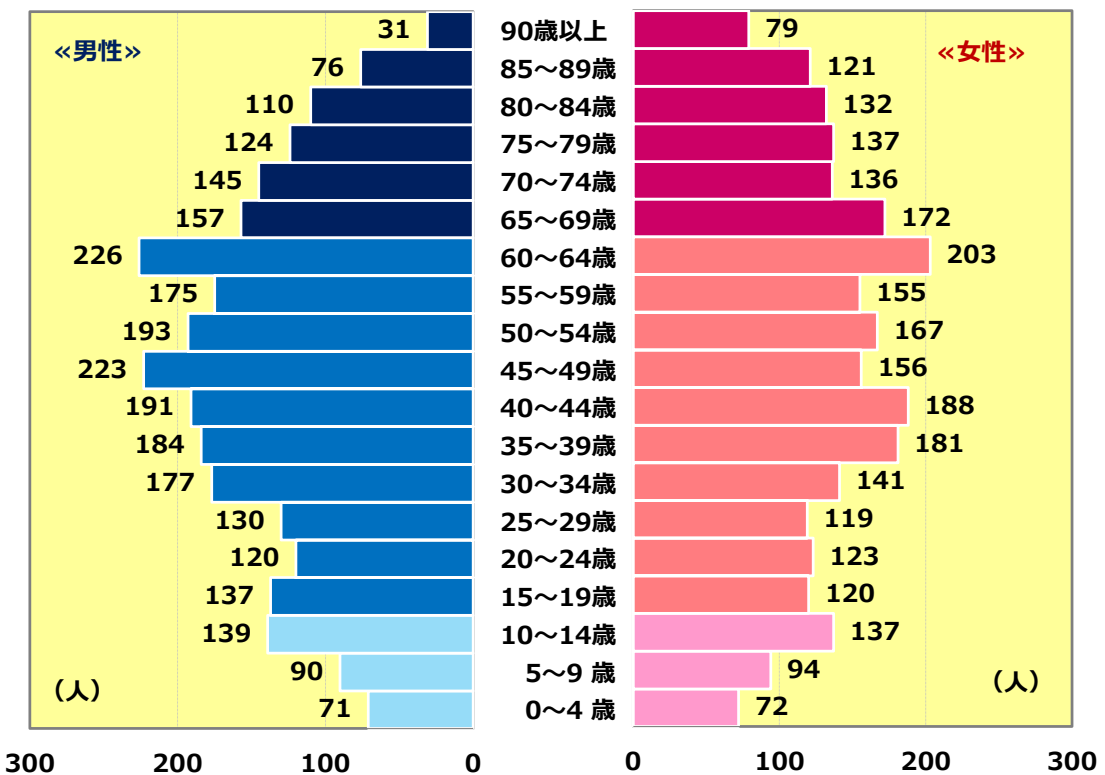


図 2045 年

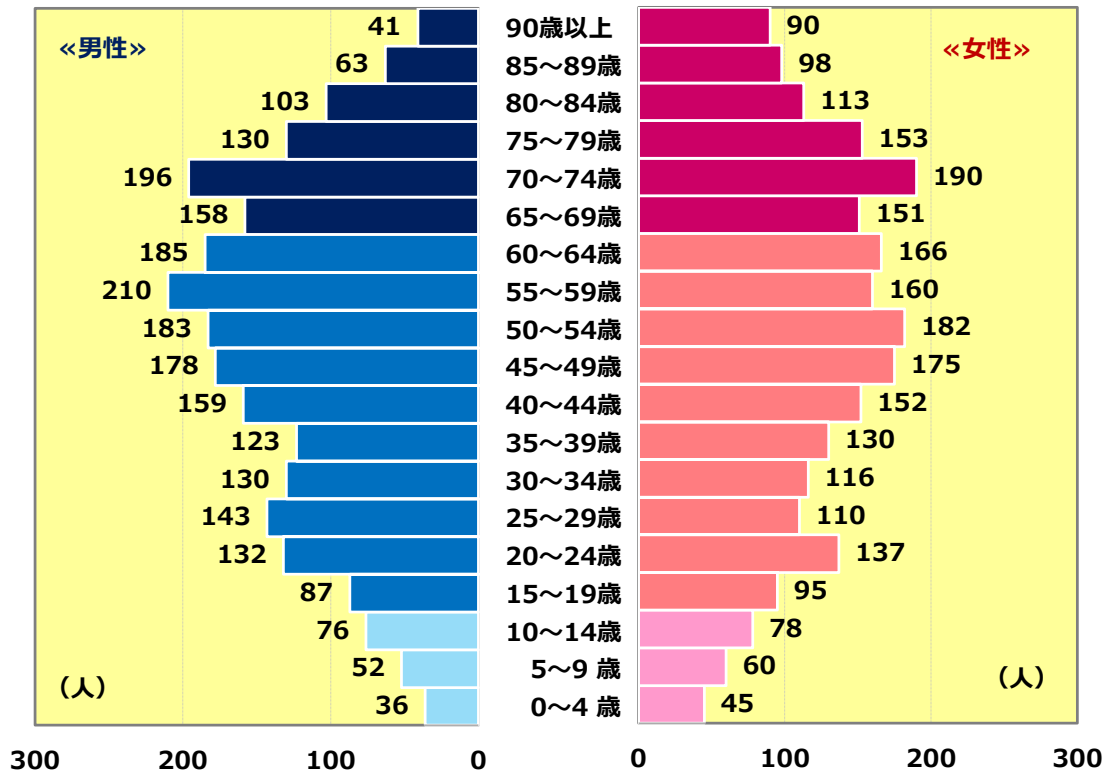
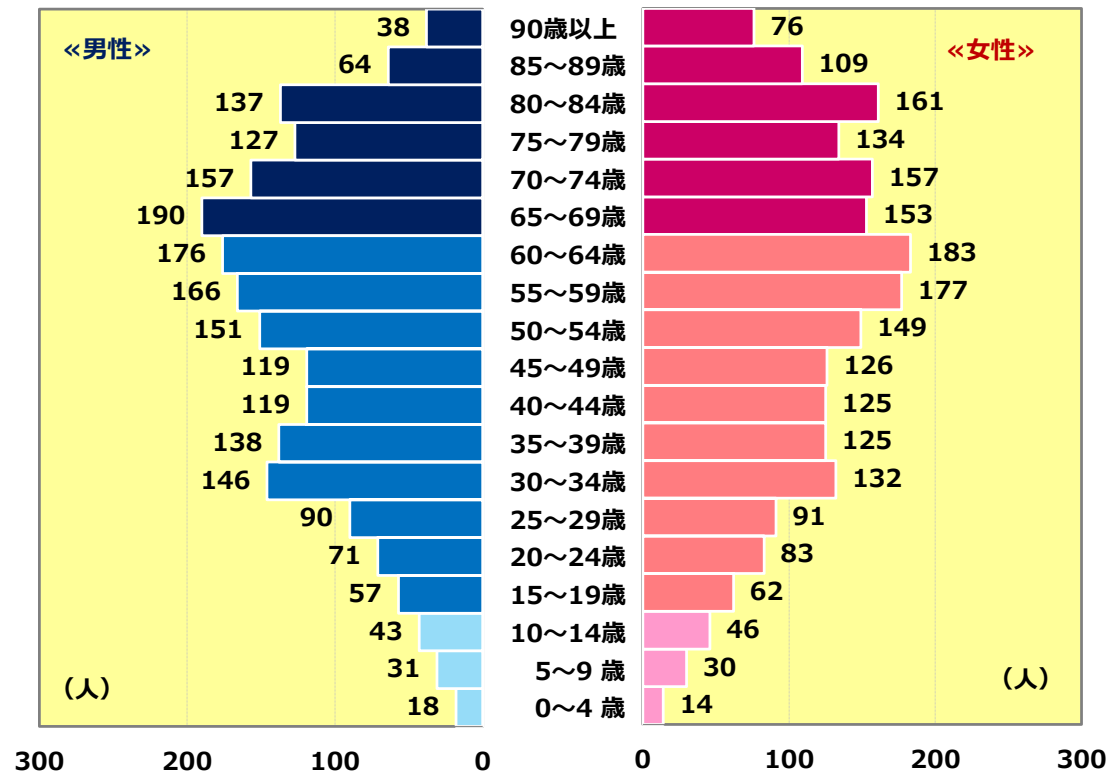


図 2055 年



(7) 平坂小学校区

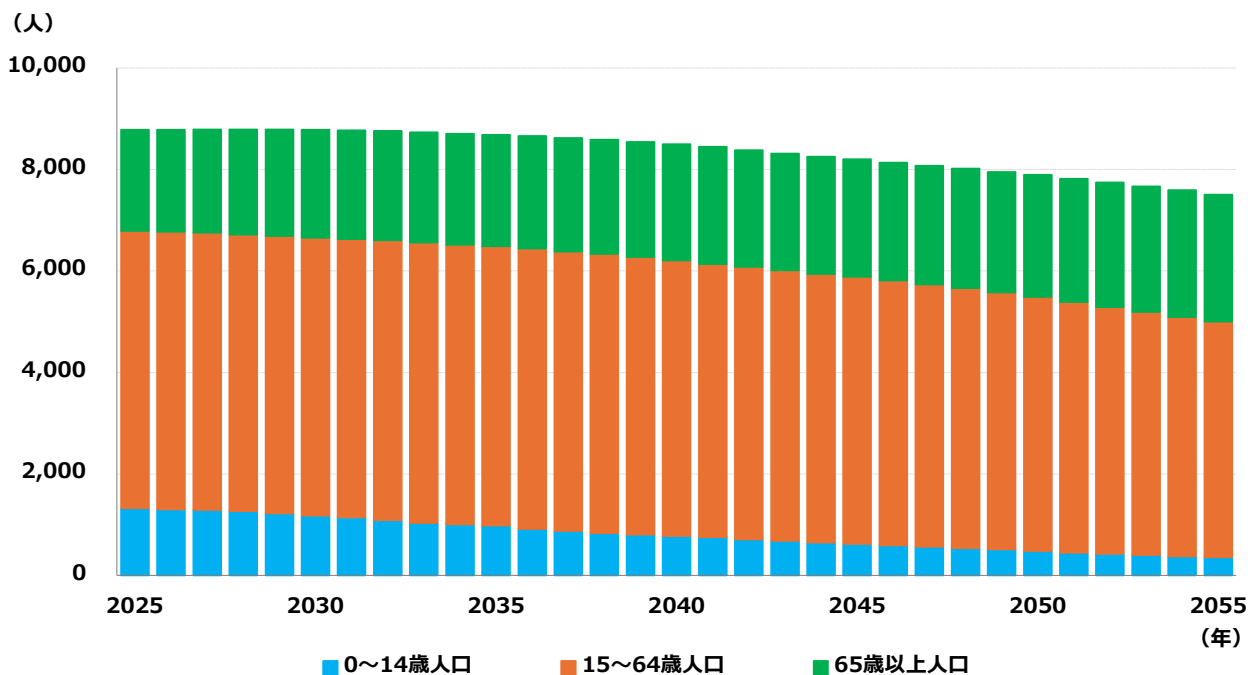
①年齢3区分別人口

平坂小学校区の人口は2025年（令和7年）の8,782人から2030年（令和12年）までは横ばいで推移するものの、その後は減少に転じ、2055年（令和37年）には7,504人と、1,278人（14.6%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の1,321人（15.0%）から年々減少し、2055年（令和37年）には358人（4.8%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の5,469人（62.3%）から増加するものの、2035年（令和17年）以降は減少に転じ、2055年（令和37年）には4,642人（61.9%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の1,992人（22.7%）から年々増加し、2055年（令和37年）には2,504人（33.4%）になると推計されます。



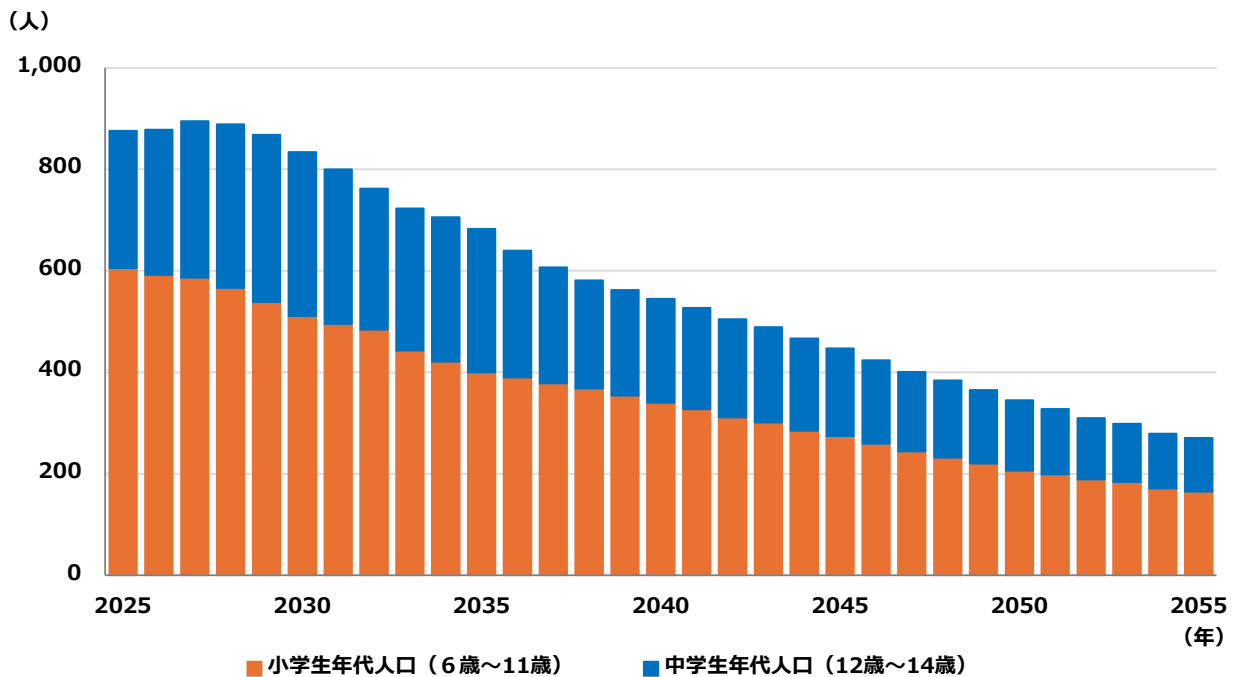
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	1,321 (15.0%)	1,179 (13.4%)	984 (11.3%)	777 (9.1%)	619 (7.5%)	482 (6.1%)	358 (4.8%)
15～64歳人口	5,469 (62.3%)	5,478 (62.4%)	5,506 (63.4%)	5,429 (63.9%)	5,267 (64.2%)	5,006 (63.4%)	4,642 (61.9%)
65歳以上人口	1,992 (22.7%)	2,125 (24.2%)	2,189 (25.2%)	2,291 (27.0%)	2,315 (28.2%)	2,407 (30.5%)	2,504 (33.4%)
計	8,782	8,782	8,679	8,497	8,201	7,895	7,504

(7) 平坂小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、605人から165人へと、約72.7%（440人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、271人から106人へと、約60.9%（165人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代 (6~11歳)	605	511	400	340	274	206	165
中学生年代 (12~14歳)	271	323	283	205	173	139	106
計	876	834	683	545	447	345	271

(7) 平坂小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

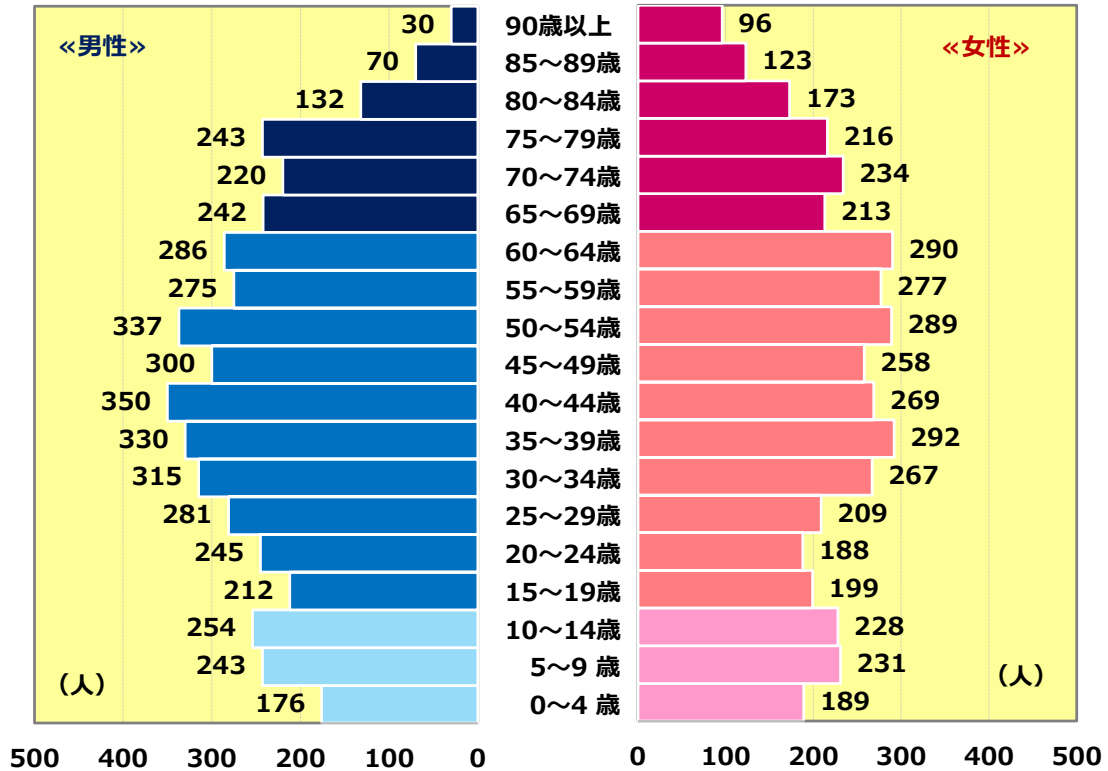


図 2035年

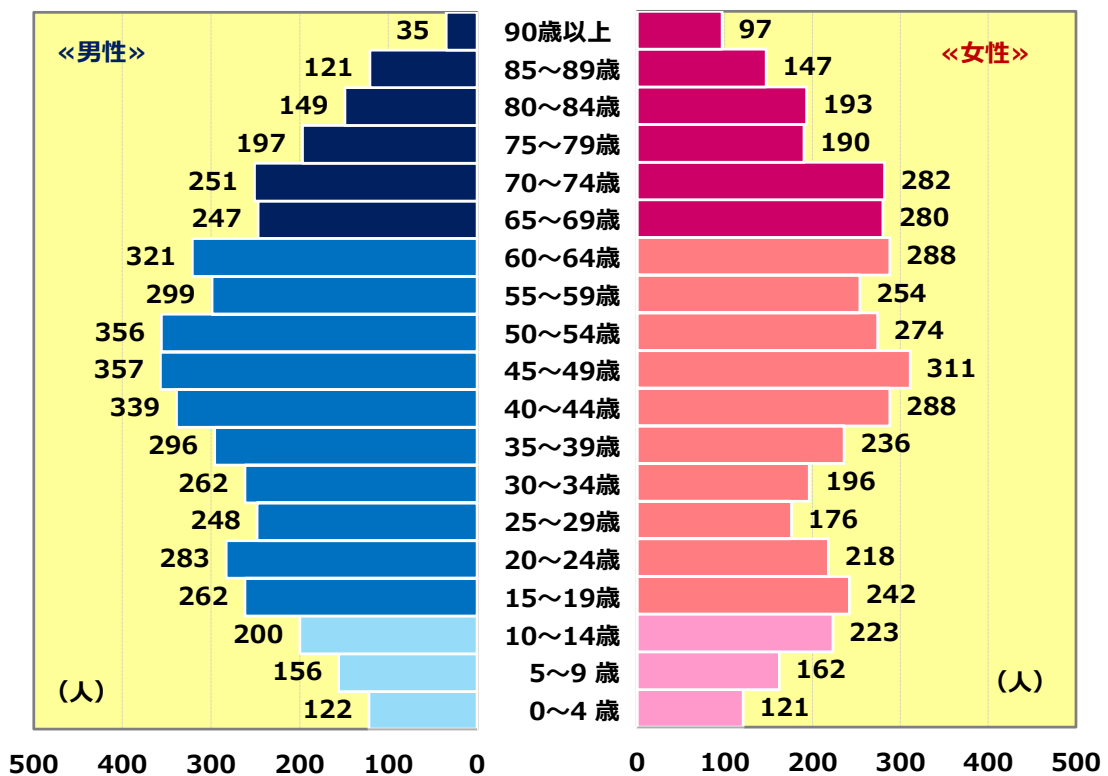


図 2045 年

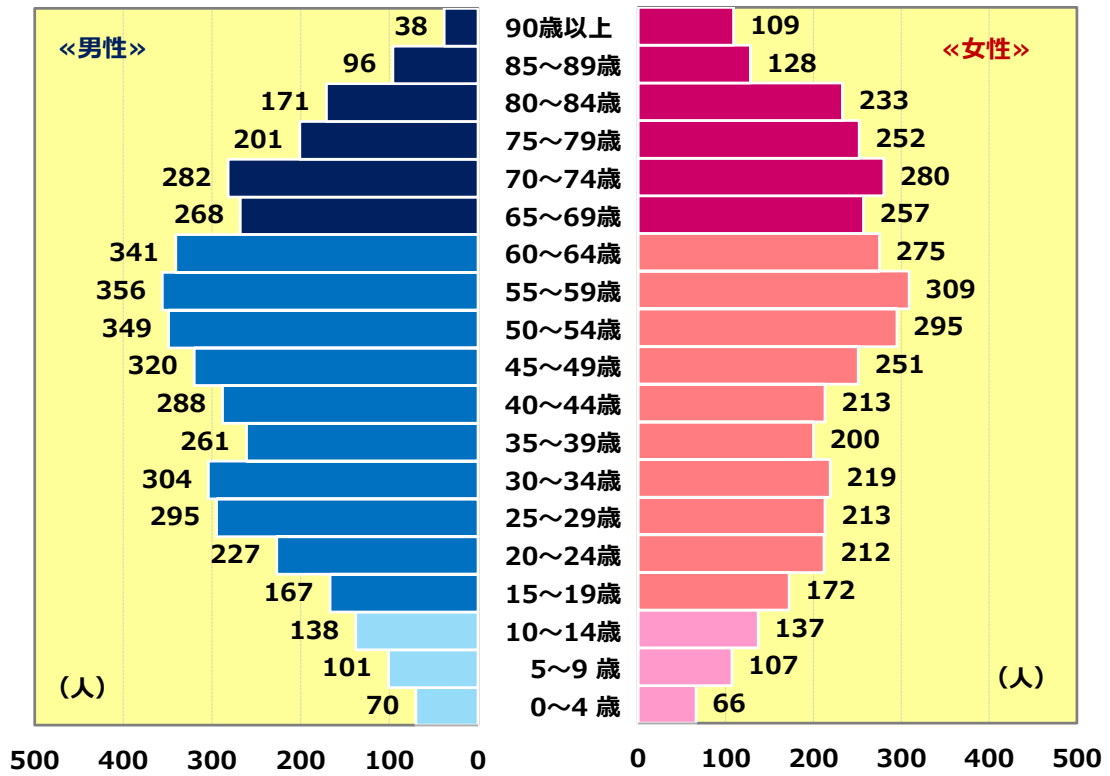
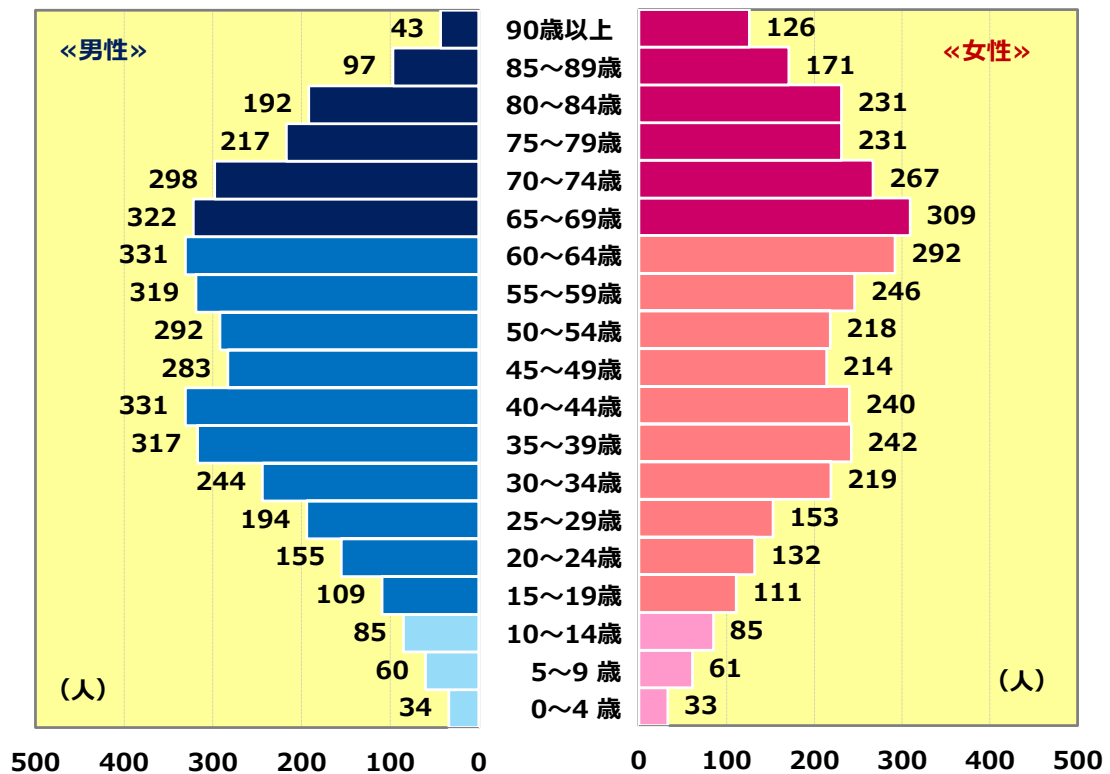


図 2055 年



(8) 矢田小学校区

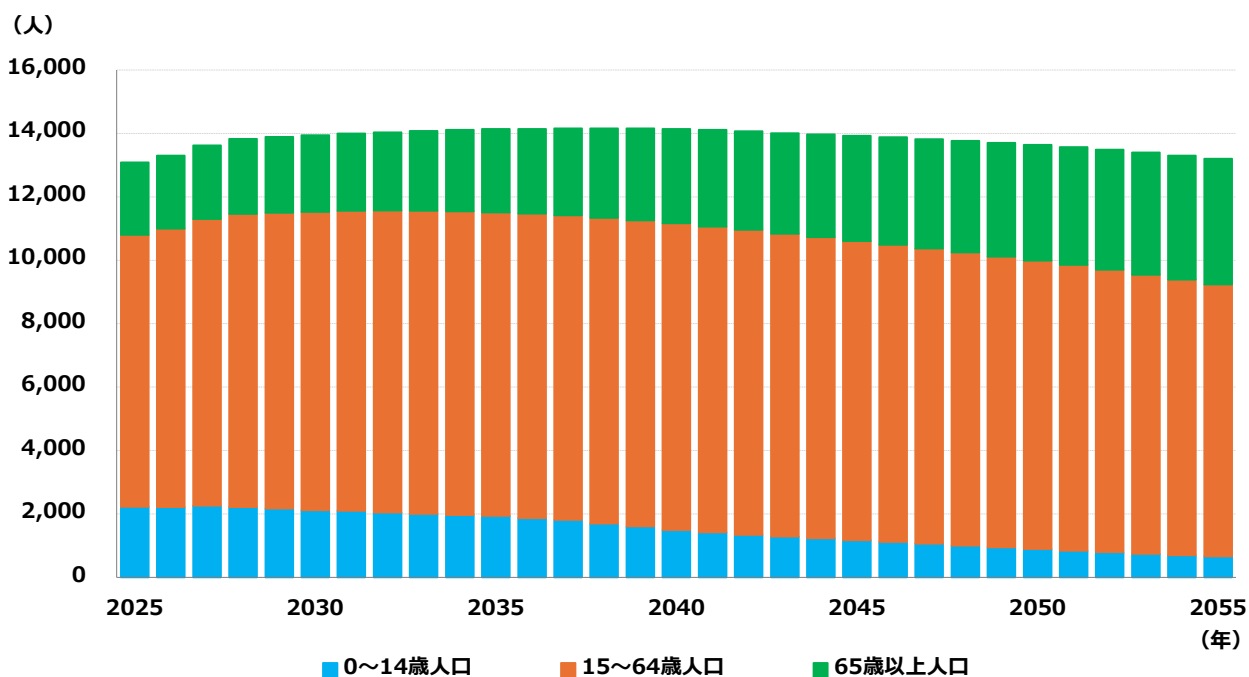
①年齢3区分別人口

矢田小学校区の人口は2025年（令和7年）の13,087人から増加するものの、2040年（令和22年）以降は減少に転じ、2055年（令和37年）には13,204人となりますが、117人（0.9%）増加すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の2,224人（17.0%）から年々減少し、2055年（令和37年）には665人（5.0%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の8,572人（65.5%）から増加するものの、2040年（令和22年）以降は減少に転じ、2055年（令和37年）には8,570人（64.9%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の2,291人（17.5%）から年々増加し、2055年（令和37年）には3,969人（30.1%）になると推計されます。



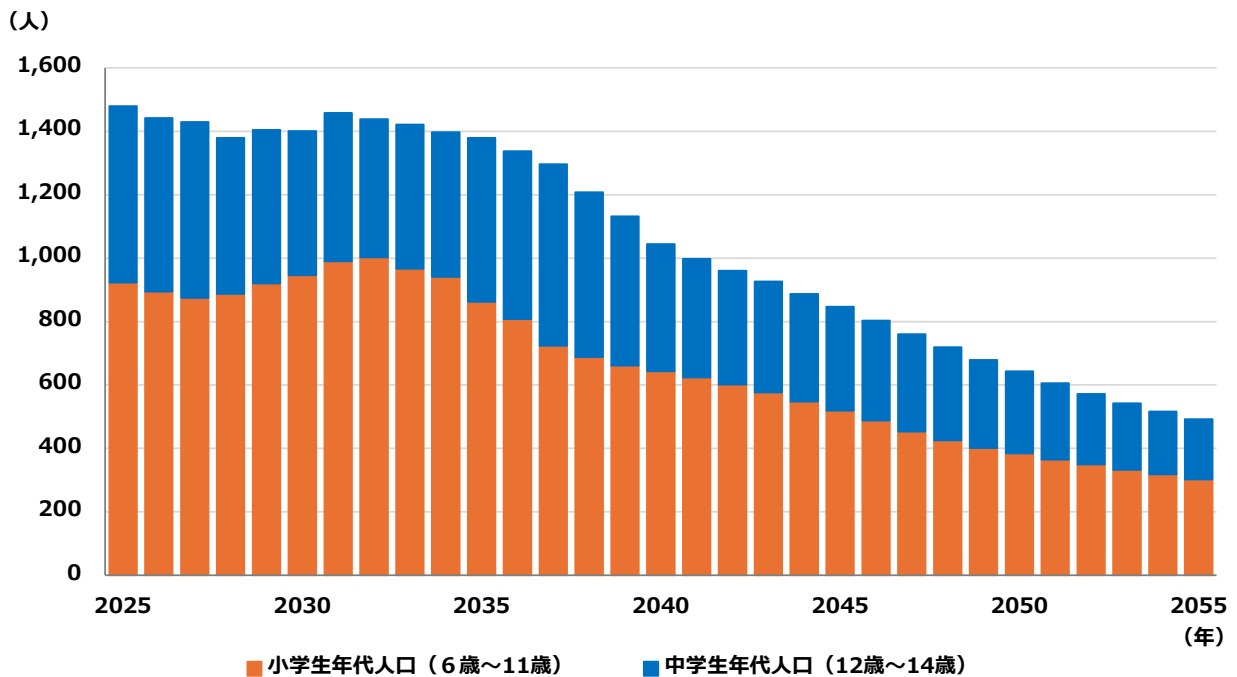
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	2,224 (17.0%)	2,116 (15.2%)	1,936 (13.7%)	1,491 (10.5%)	1,167 (8.4%)	897 (6.6%)	665 (5.0%)
15～64歳人口	8,572 (65.5%)	9,406 (67.4%)	9,573 (67.7%)	9,678 (68.4%)	9,432 (67.7%)	9,090 (66.7%)	8,570 (64.9%)
65歳以上人口	2,291 (17.5%)	2,425 (17.4%)	2,628 (18.6%)	2,974 (21.0%)	3,325 (23.9%)	3,650 (26.8%)	3,969 (30.1%)
計	13,087	13,947	14,137	14,143	13,924	13,637	13,204

(8) 矢田小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、923人から302人へと、約67.3%（621人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、556人から190人へと、約65.8%（366人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代 (6~11歳)	923	946	862	643	519	384	302
中学生年代 (12~14歳)	556	455	517	401	328	259	190
計	1,479	1,401	1,379	1,044	847	643	492

(8) 矢田小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

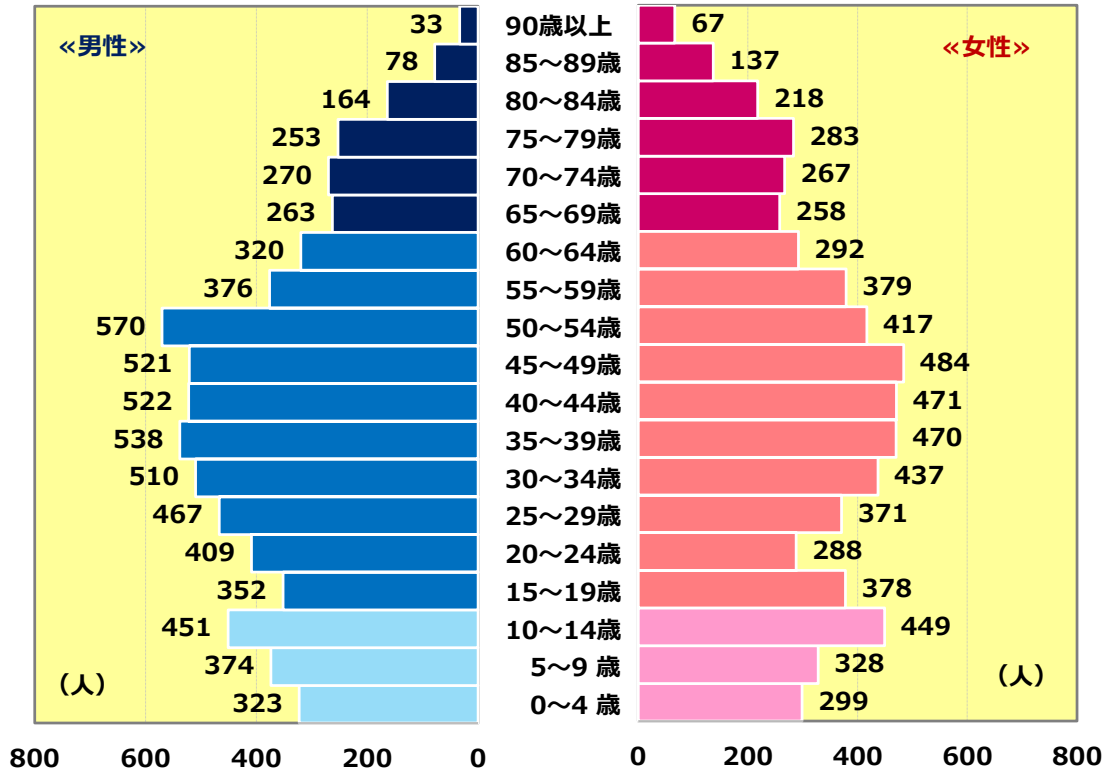


図 2035年

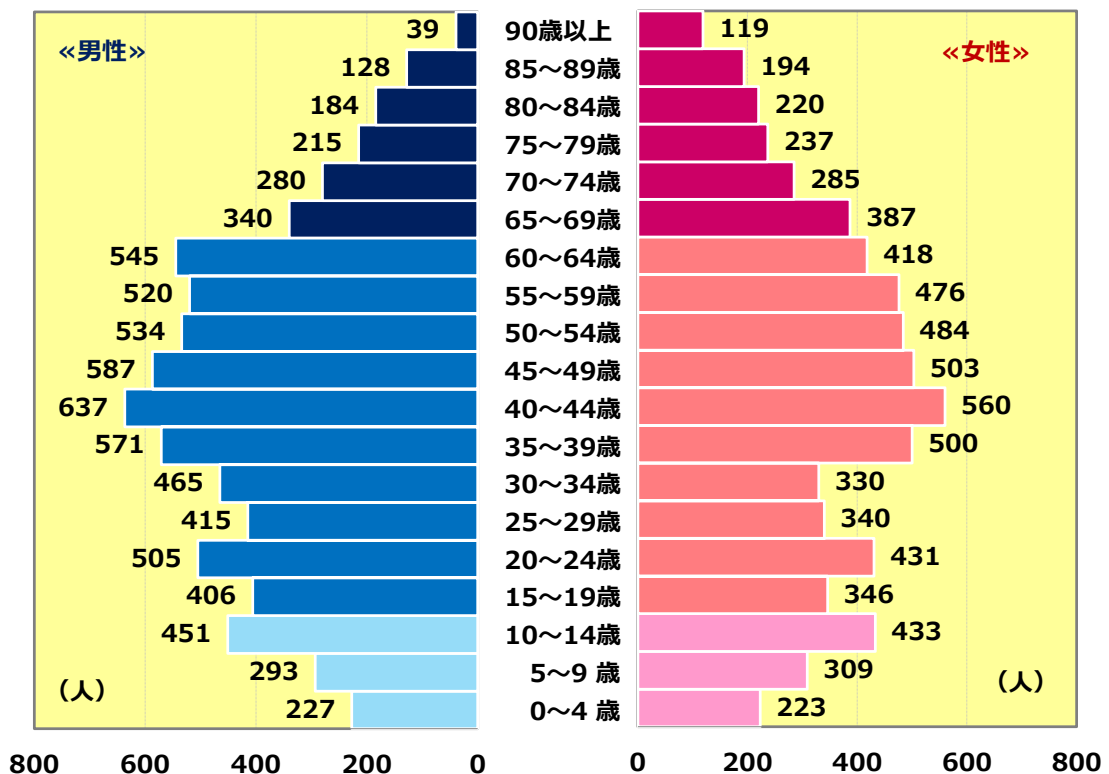


図 2045 年

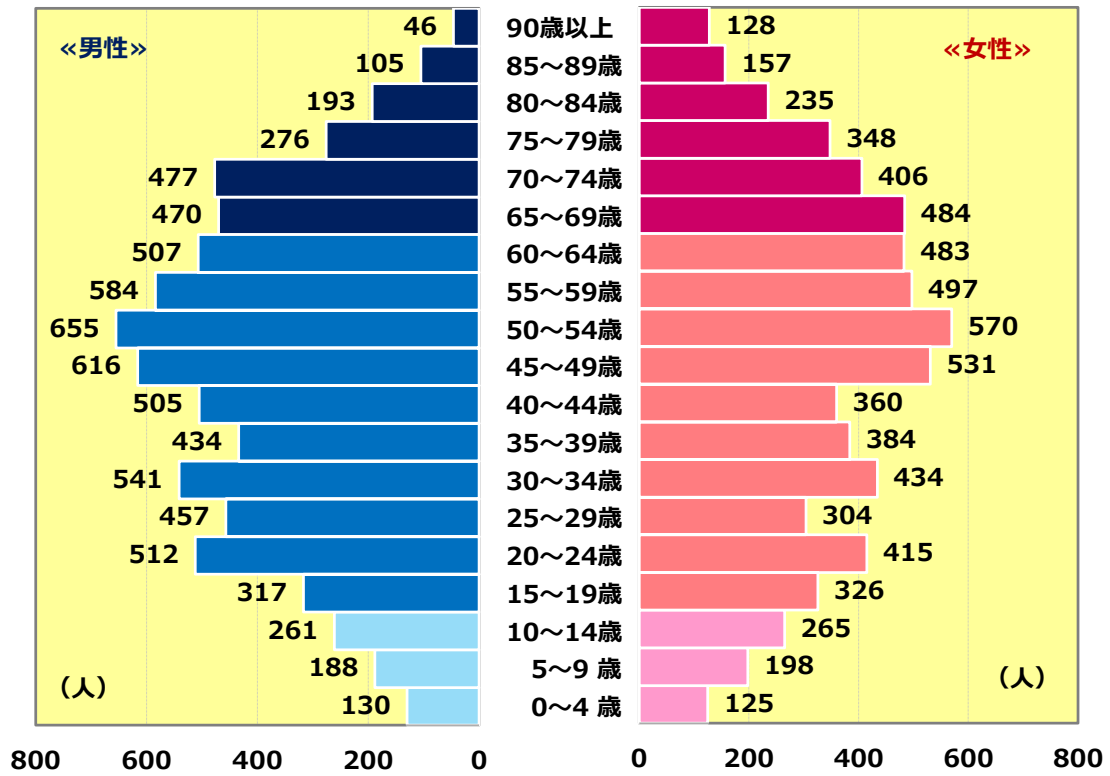
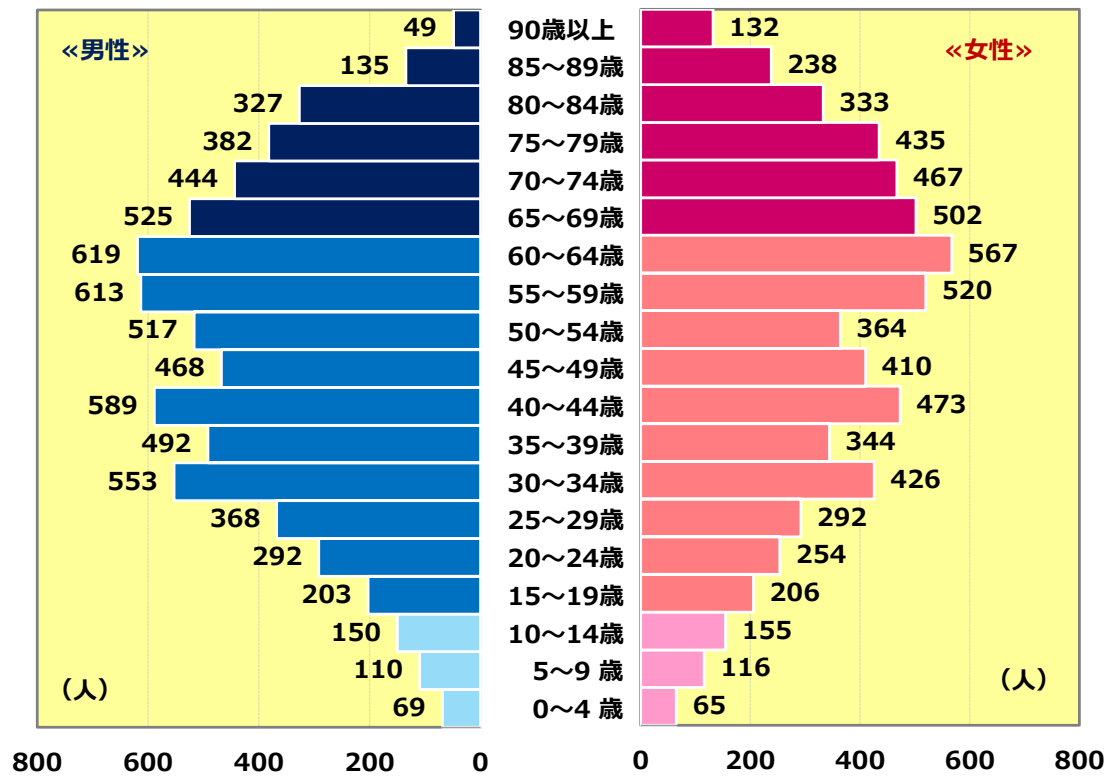


図 2055 年



(9) 寺津小学校区

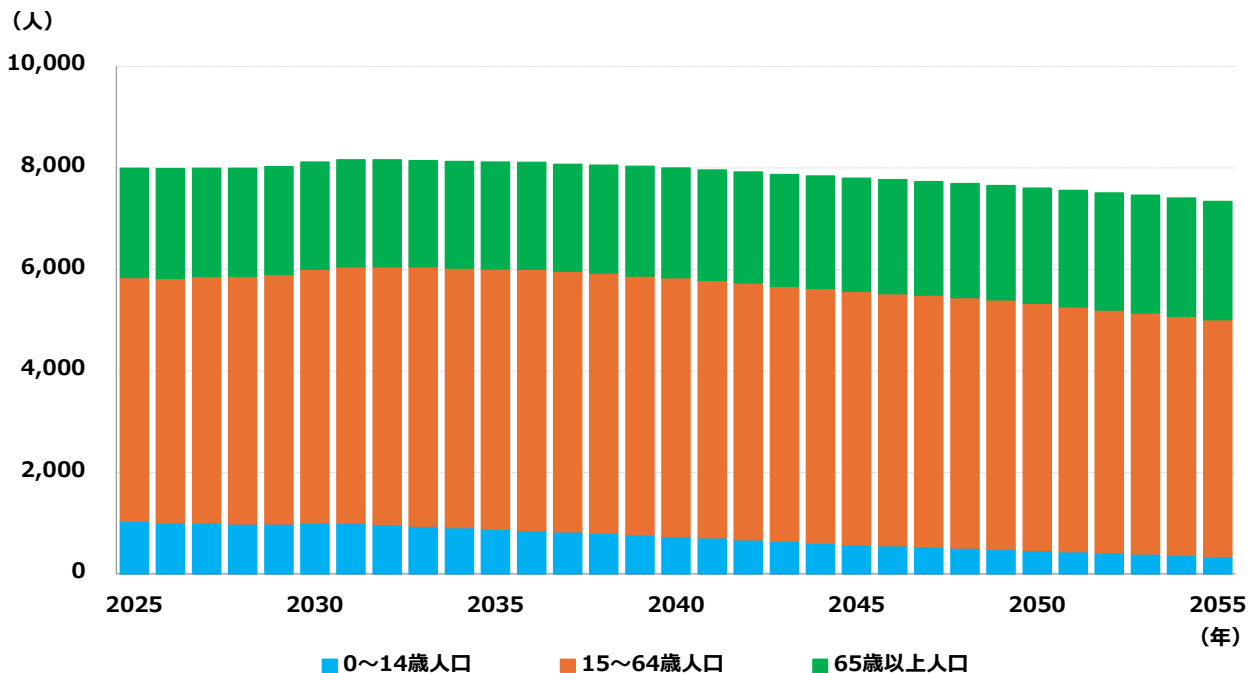
①年齢3区分別人口

寺津小学校区の人口は2025年(令和7年)の7,988人から増加するものの、2035年(令和17年)以降は減少に転じ、2055年(令和37年)には7,335人と、653人(8.2%)減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年(令和7年)の1,044人(13.1%)から年々減少し、2055年(令和37年)には343人(4.7%)になると推計されます。

15～64歳人口は2025年(令和7年)の4,801人(60.1%)から増加するものの、2035年(令和17年)以降は減少に転じ、2055年(令和37年)には4,672人(63.7%)になると推計されます。

65歳以上人口は2025年(令和7年)の2,143人(26.8%)から減少するものの、2040年(令和22年)からは増加に転じ、2055年(令和37年)には2,320人(31.6%)になると推計されます。



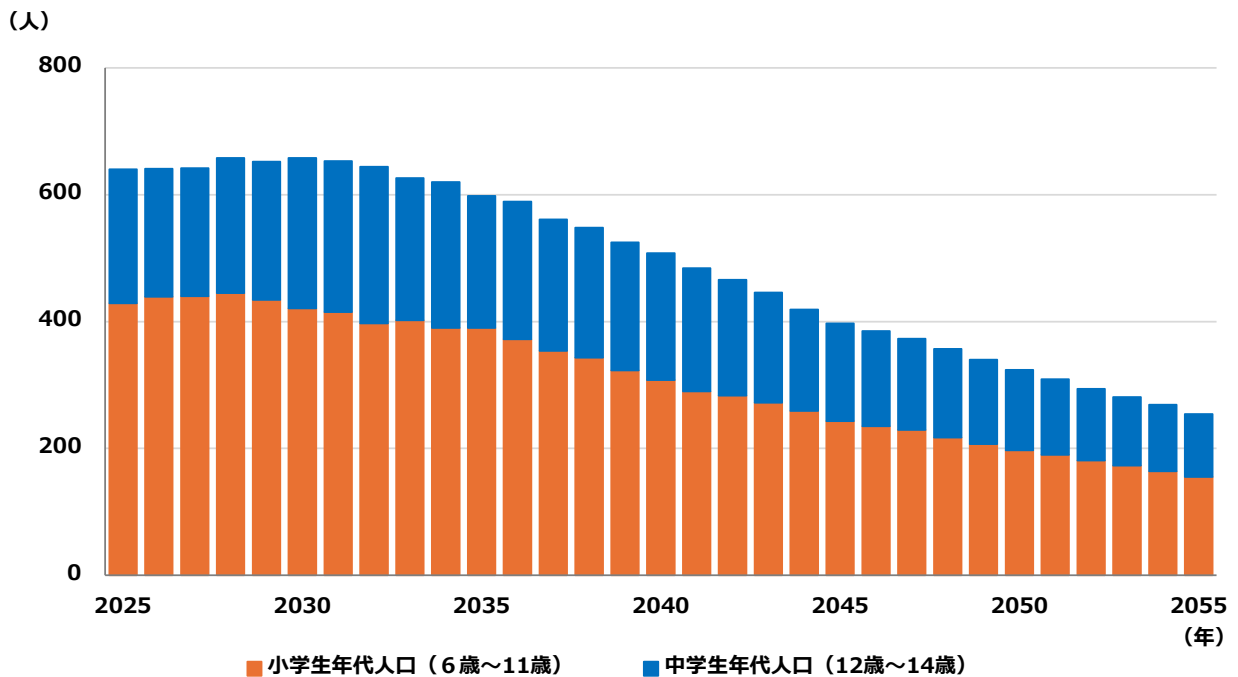
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	1,044 (13.1%)	1,004 (12.4%)	881 (10.9%)	745 (9.3%)	576 (7.4%)	467 (6.1%)	343 (4.7%)
15～64歳人口	4,801 (60.1%)	5,002 (61.7%)	5,131 (63.2%)	5,096 (63.7%)	4,995 (64.1%)	4,872 (64.1%)	4,672 (63.7%)
65歳以上人口	2,143 (26.8%)	2,106 (26.0%)	2,101 (25.9%)	2,156 (27.0%)	2,223 (28.5%)	2,262 (29.8%)	2,320 (31.6%)
計	7,988	8,112	8,113	7,997	7,794	7,601	7,335

(9) 寺津小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、429人から155人へと、約36.5%（274人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、211人から99人へと、約53.1%（112人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代 (6~11歳)	429	421	390	308	243	197	155
中学生年代 (12~14歳)	211	237	208	200	154	127	99
計	640	658	598	508	397	324	254

(9) 寺津小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

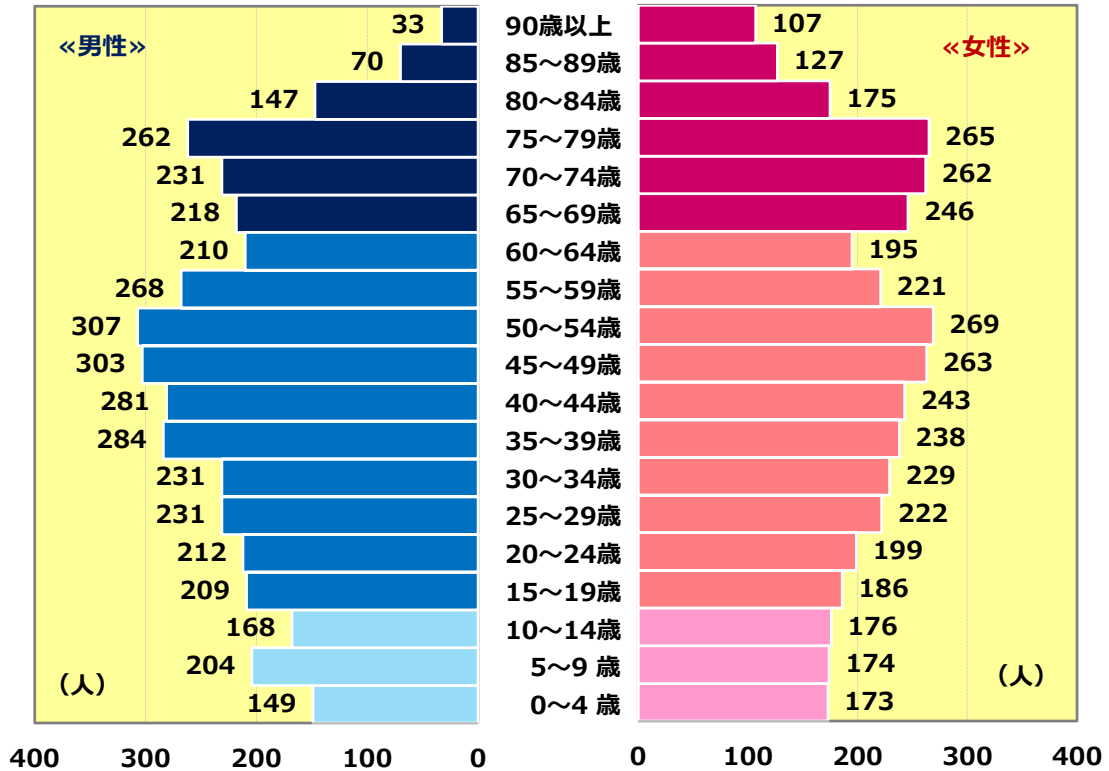


図 2035年

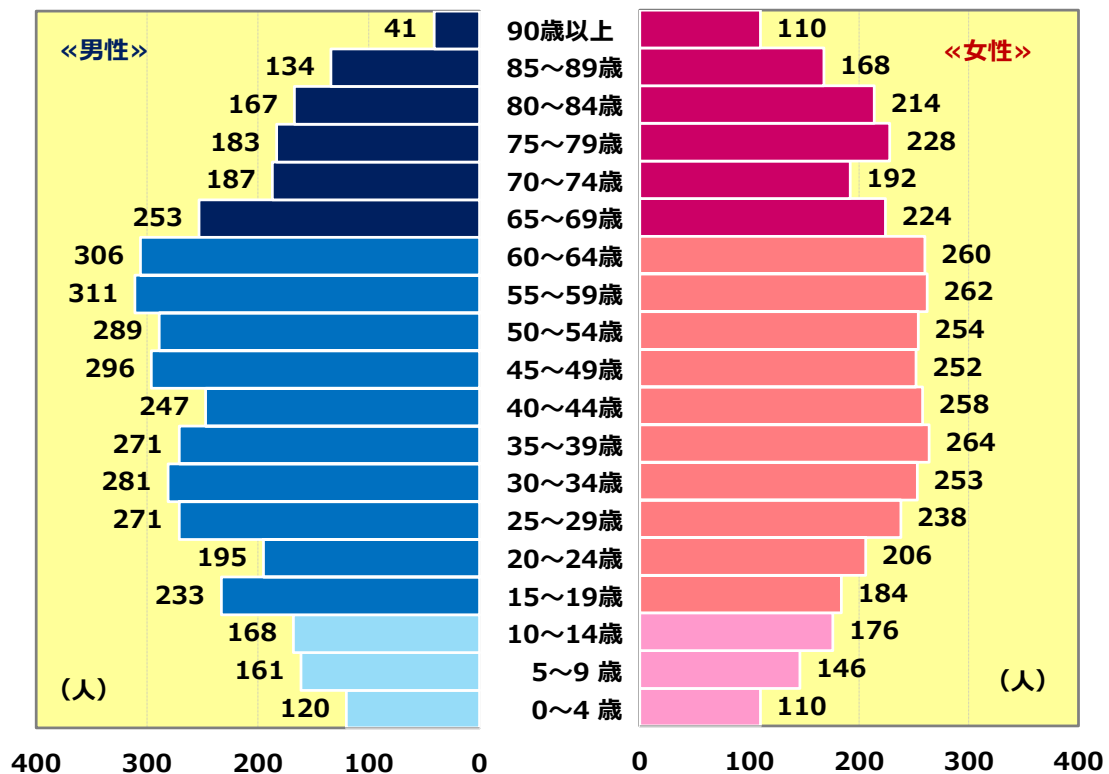


図 2045 年

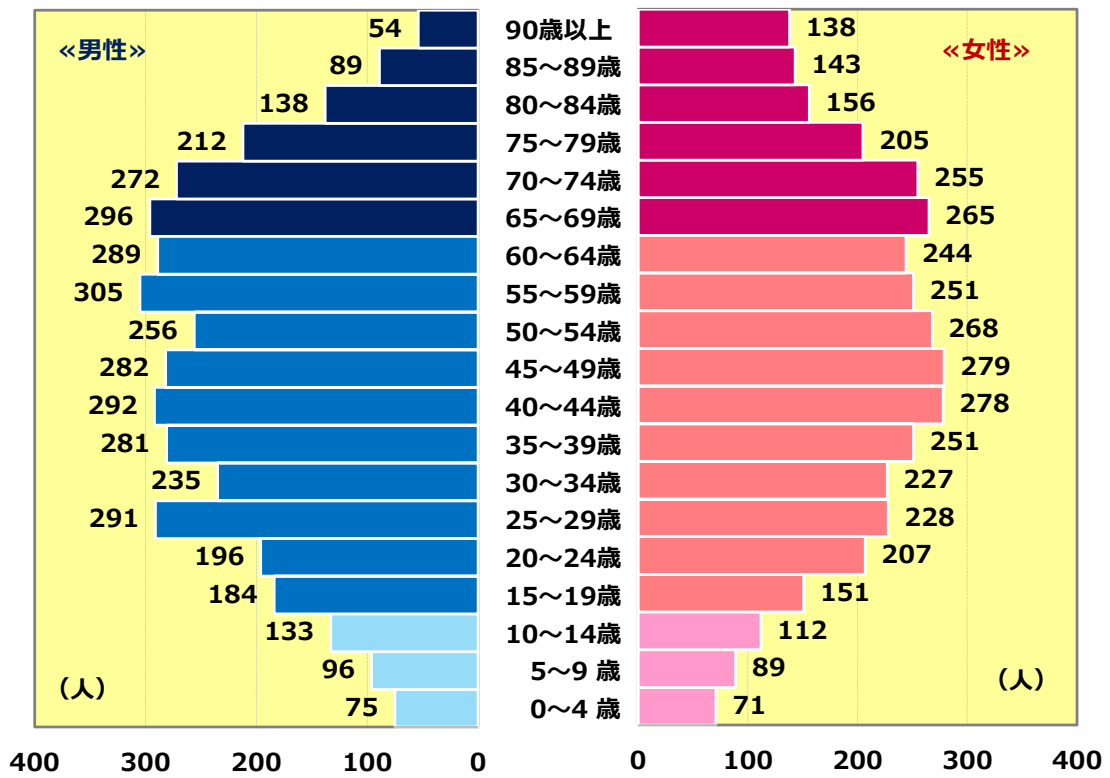
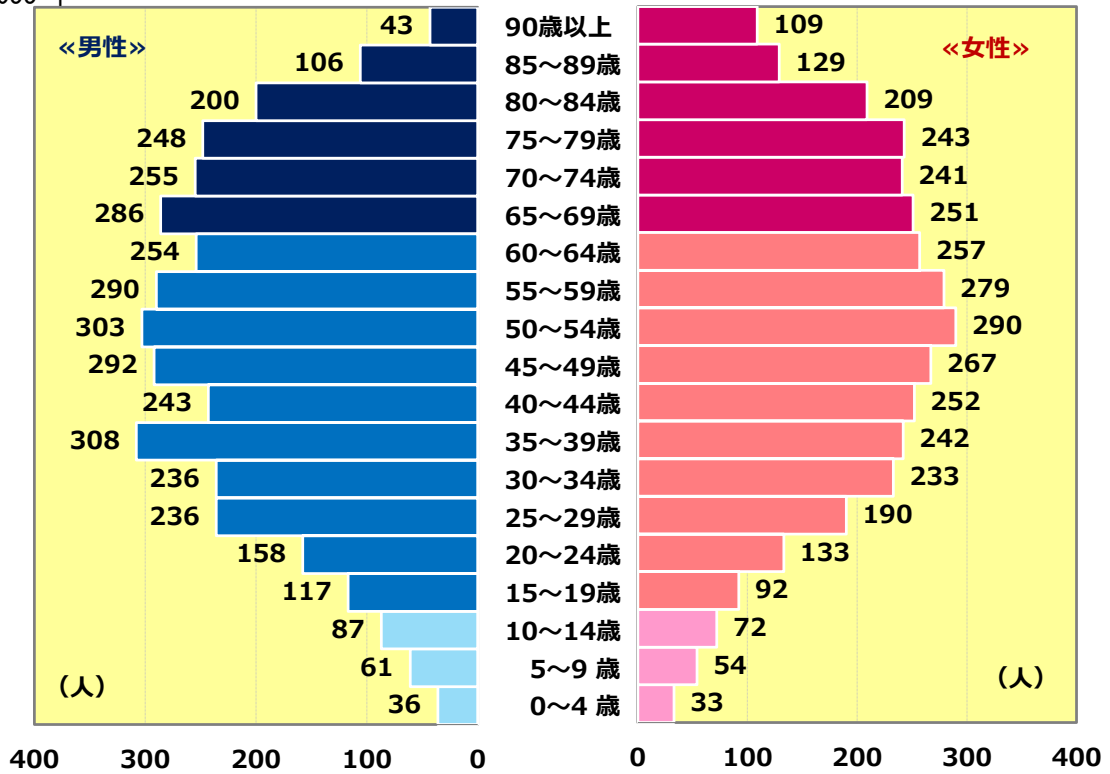


図 2055 年



(10) 福地北部小学校区

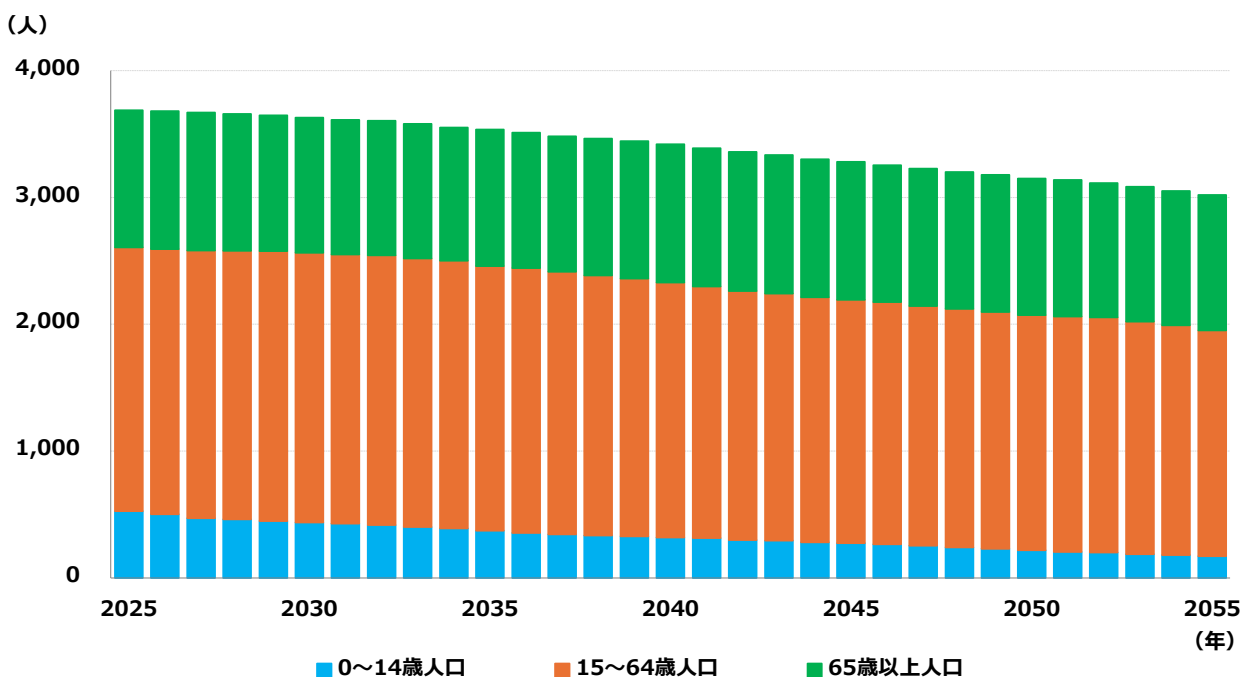
①年齢3区分別人口

福地北部小学校区の人口は2025年（令和7年）の3,688人から年々減少し、2055年（令和37年）には3,019人と、669人（18.1%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の527人（14.3%）から年々減少し、2055年（令和37年）には171人（5.7%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の2,078人（56.3%）から2030年（令和12年）にかけて増加するものの、その後は減少に転じ、2055年（令和37年）には1,781人（59.0%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の1,083人（29.4%）からほぼ横ばいで推移するものの、65歳以上人口比率は年々上昇し、2055年（令和37年）には1,067人（35.3%）になると推計されます。



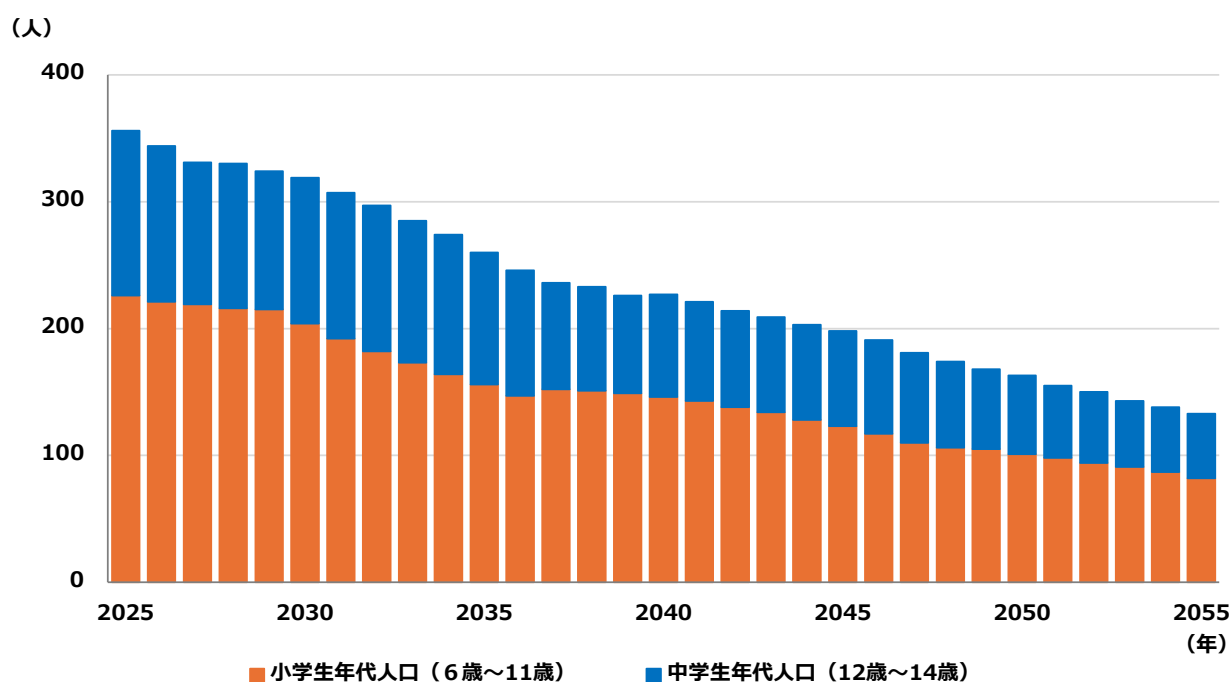
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	527 (14.3%)	438 (12.1%)	374 (10.6%)	320 (9.4%)	274 (8.4%)	220 (7.0%)	171 (5.7%)
15～64歳人口	2,078 (56.3%)	2,125 (58.6%)	2,085 (59.0%)	2,009 (58.8%)	1,919 (58.5%)	1,852 (58.8%)	1,781 (59.0%)
65歳以上人口	1,083 (29.4%)	1,066 (29.4%)	1,076 (30.4%)	1,089 (31.9%)	1,087 (33.1%)	1,077 (34.2%)	1,067 (35.3%)
計	3,688	3,629	3,535	3,418	3,280	3,149	3,019

(10) 福地北部小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、226人から82人へと、約63.7%（144人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、130人から51人へと、約60.8%（79人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代（6～11歳）	226	204	156	146	123	101	82
中学生年代（12～14歳）	130	115	104	81	75	62	51
計	356	319	260	227	198	163	133

(10) 福地北部小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

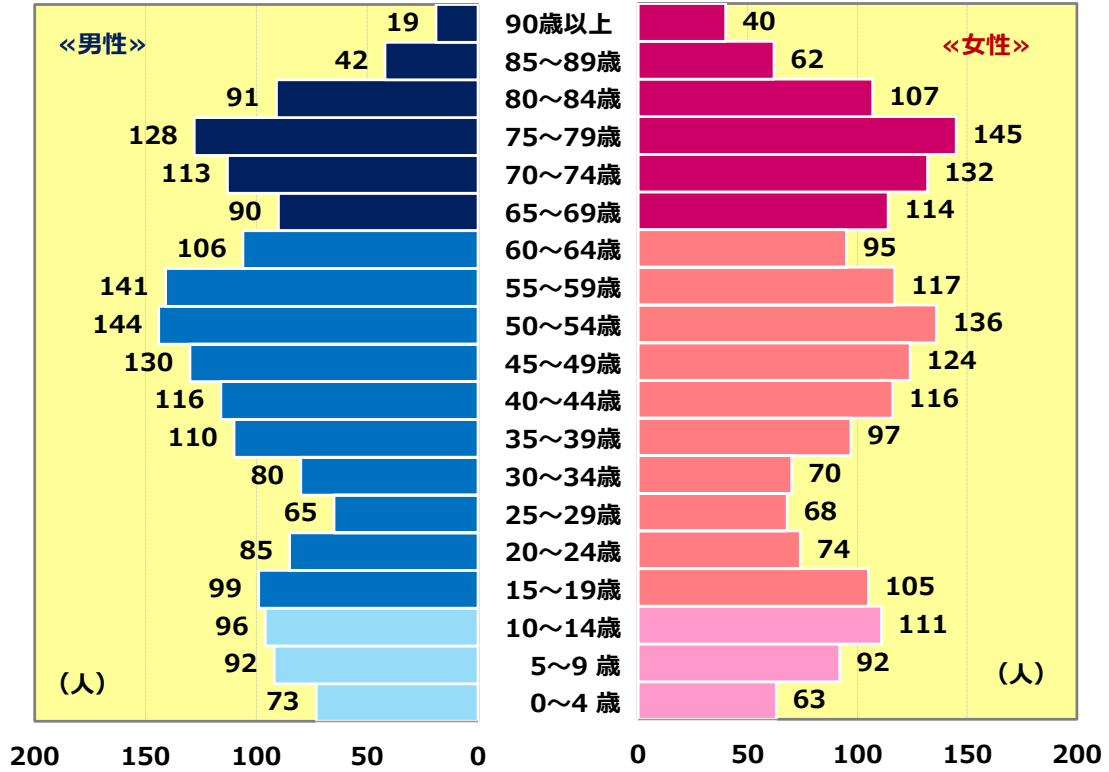


図 2035年

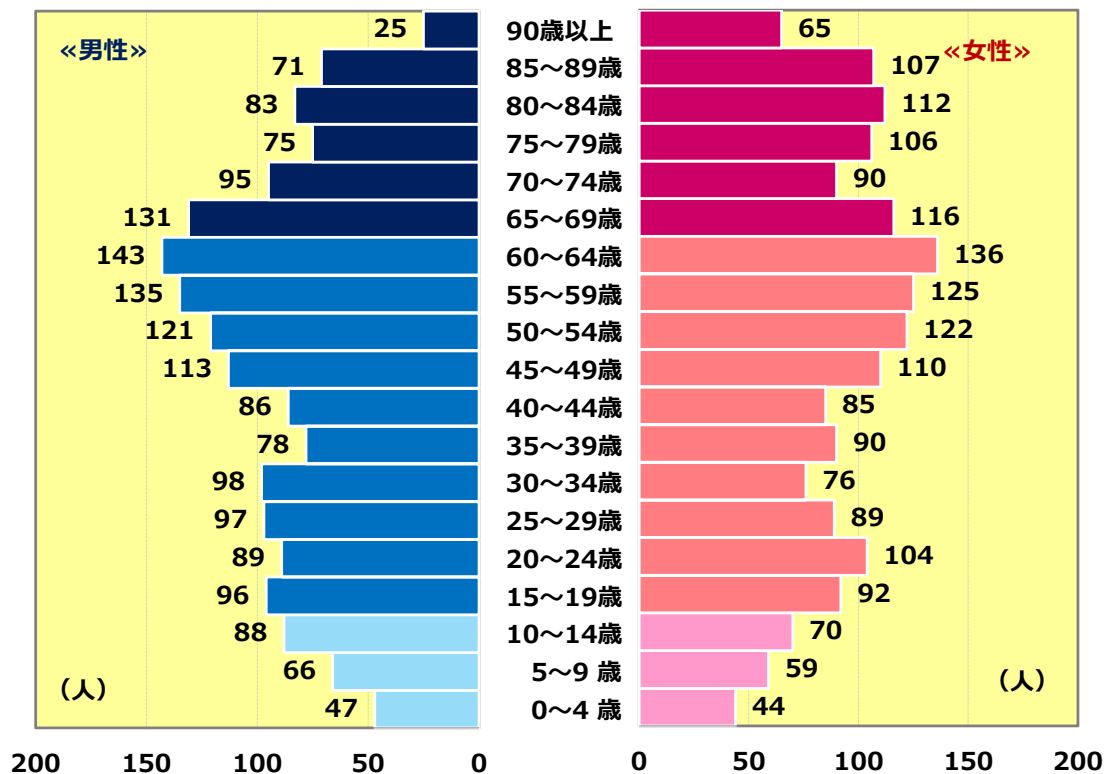


図 2045 年

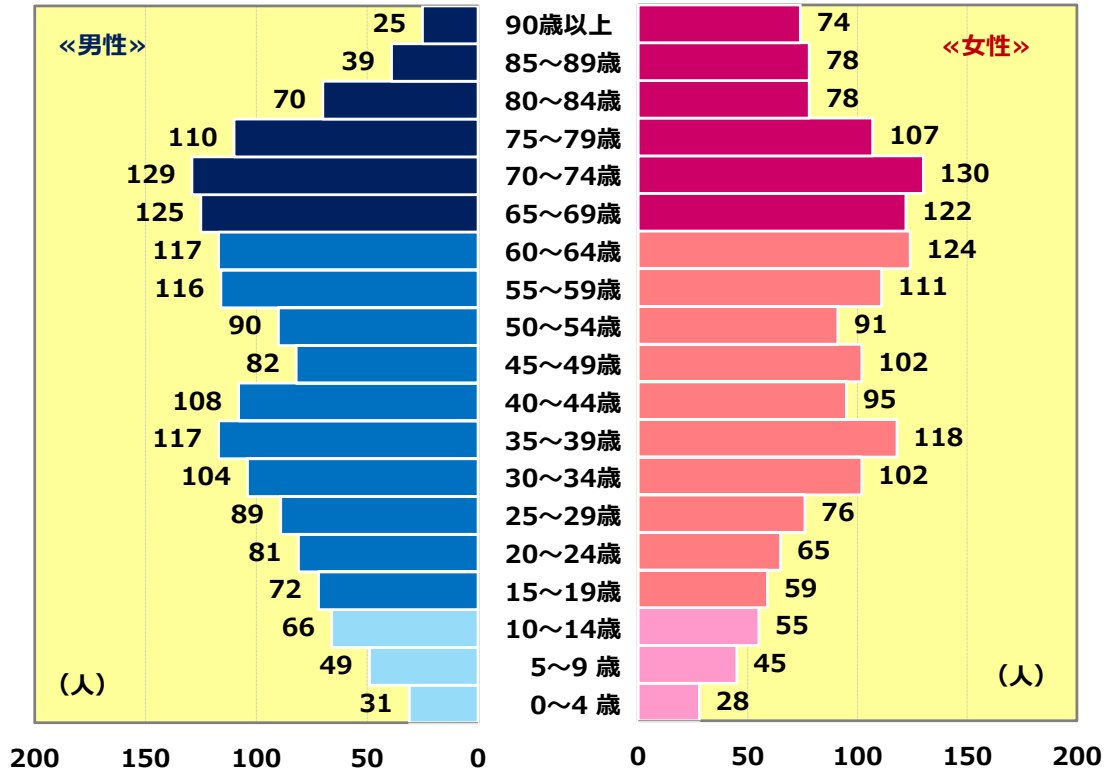
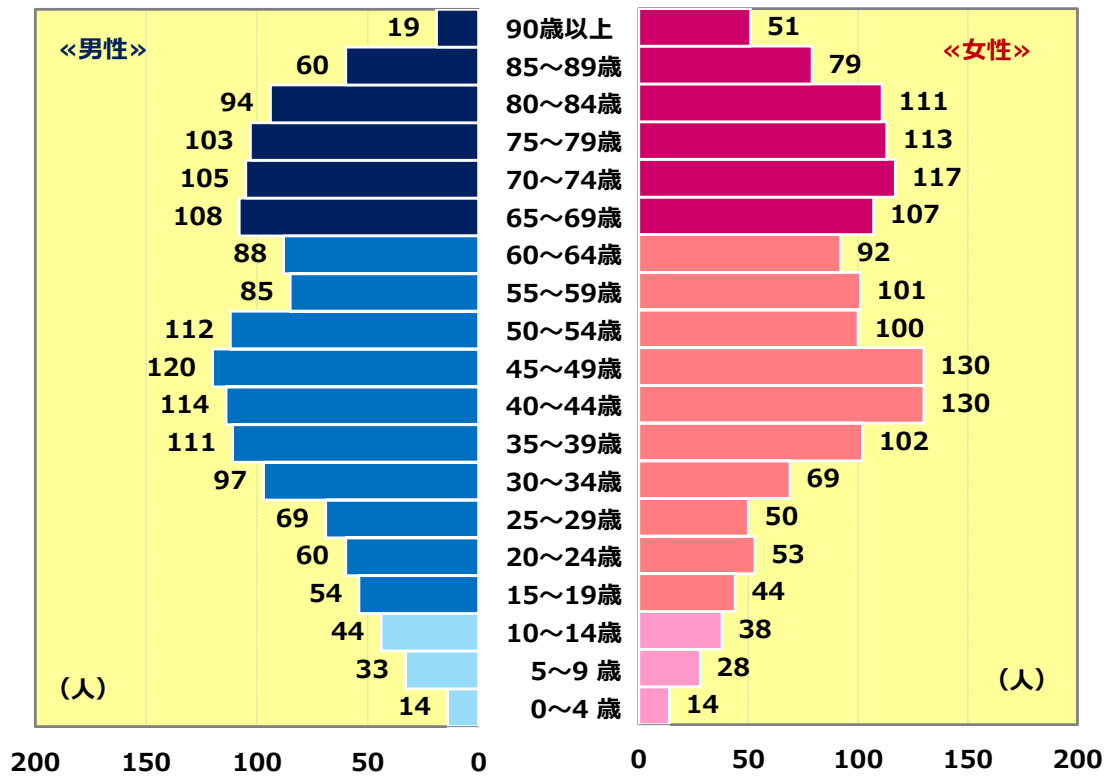


図 2055 年



(11) 福地南部小学校区

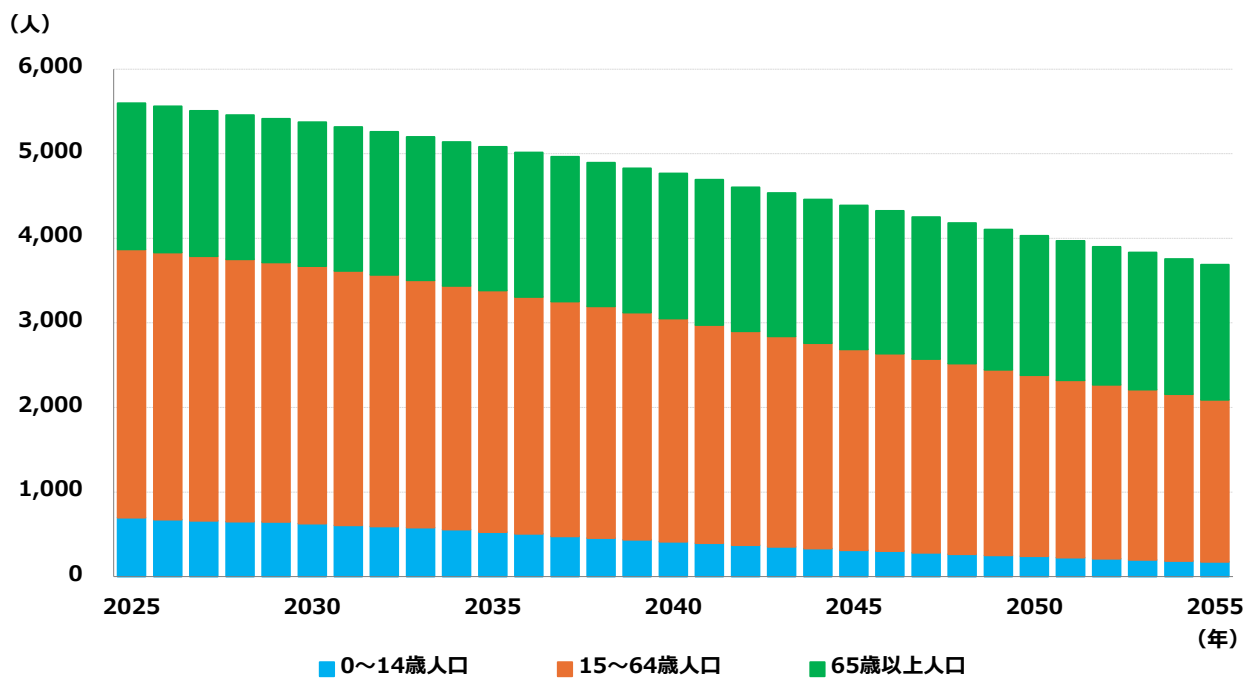
①年齢3区分別人口

福地南部小学校区の人口は2025年（令和7年）の5,598人から年々減少し、2055年（令和37年）には3,689人と、1,909人（34.1%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の698人（12.5%）から年々減少し、2055年（令和37年）には174人（4.7%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の3,170人（56.6%）から年々減少し、2055年（令和37年）には1,915人（51.9%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の1,730人（30.9%）から減少傾向にあるものの、65歳以上人口比率は年々上昇し、2055年（令和37年）には1,600人（43.4%）になると推計されます。



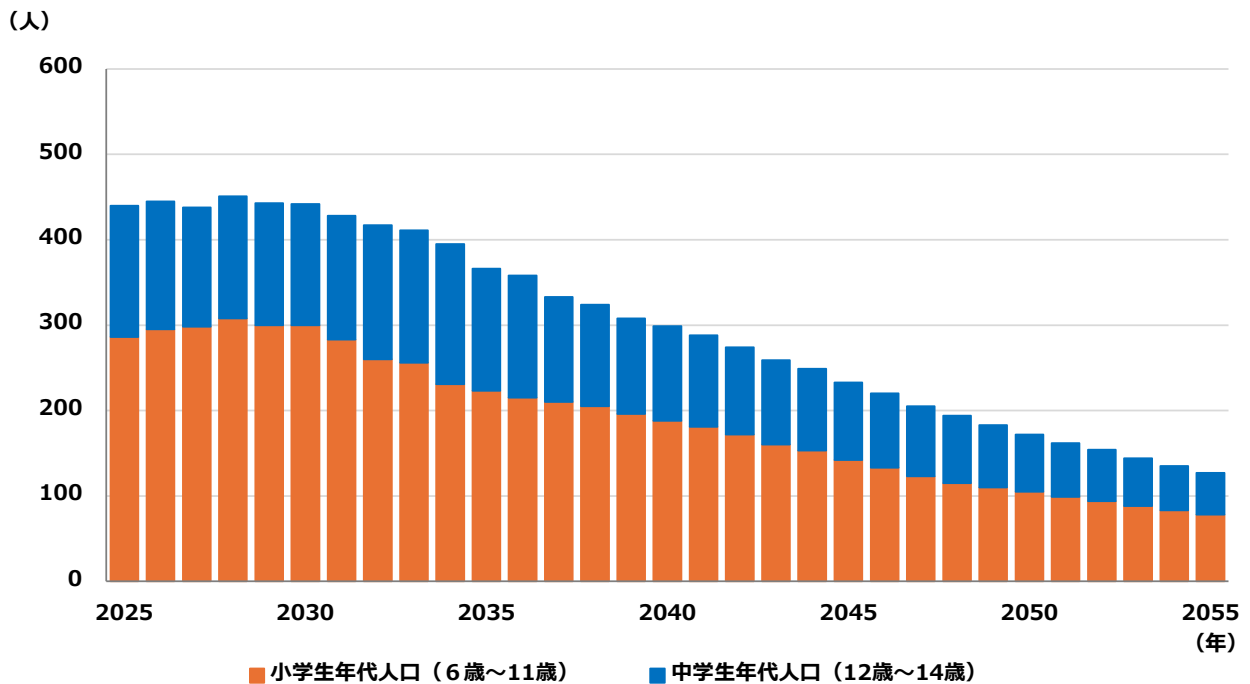
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	698 (12.5%)	626 (11.6%)	526 (10.3%)	413 (8.7%)	311 (7.1%)	243 (6.0%)	174 (4.7%)
15～64歳人口	3,170 (56.6%)	3,045 (56.7%)	2,856 (56.2%)	2,639 (55.4%)	2,376 (54.2%)	2,139 (53.1%)	1,915 (51.9%)
65歳以上人口	1,730 (30.9%)	1,703 (31.7%)	1,701 (33.5%)	1,713 (35.9%)	1,700 (38.8%)	1,647 (40.9%)	1,600 (43.4%)
計	5,598	5,374	5,083	4,765	4,387	4,029	3,689

(11) 福地南部小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、286人から78人へと、約72.7%（208人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、154人から49人へと、約68.2%（105人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代 (6~11歳)	286	300	223	188	142	105	78
中学生年代 (12~14歳)	154	142	143	111	91	67	49
計	440	442	366	299	233	172	127

(11) 福地南部小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

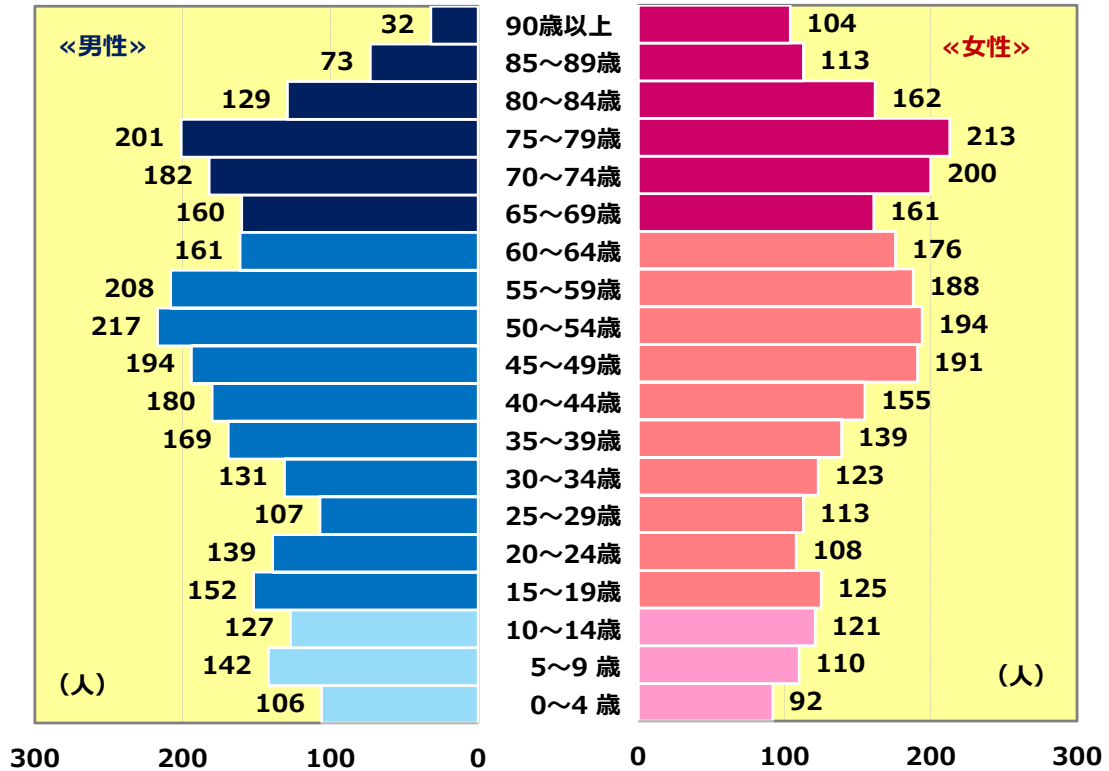


図 2035年

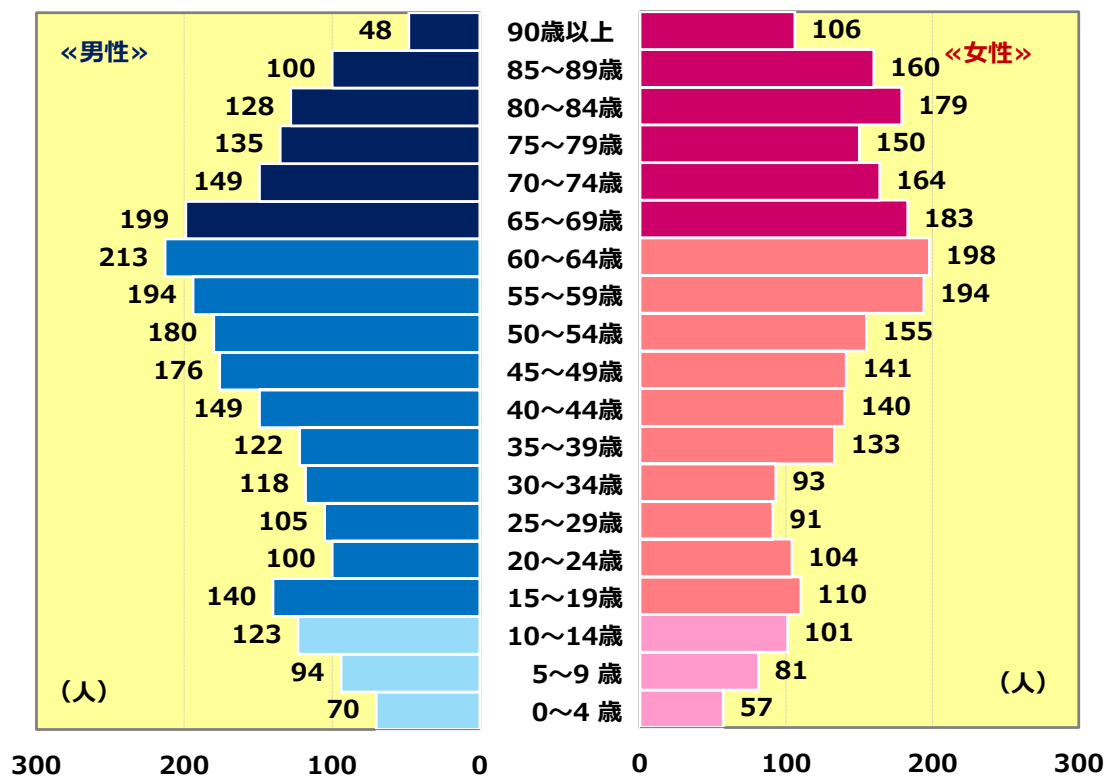


図 2045 年

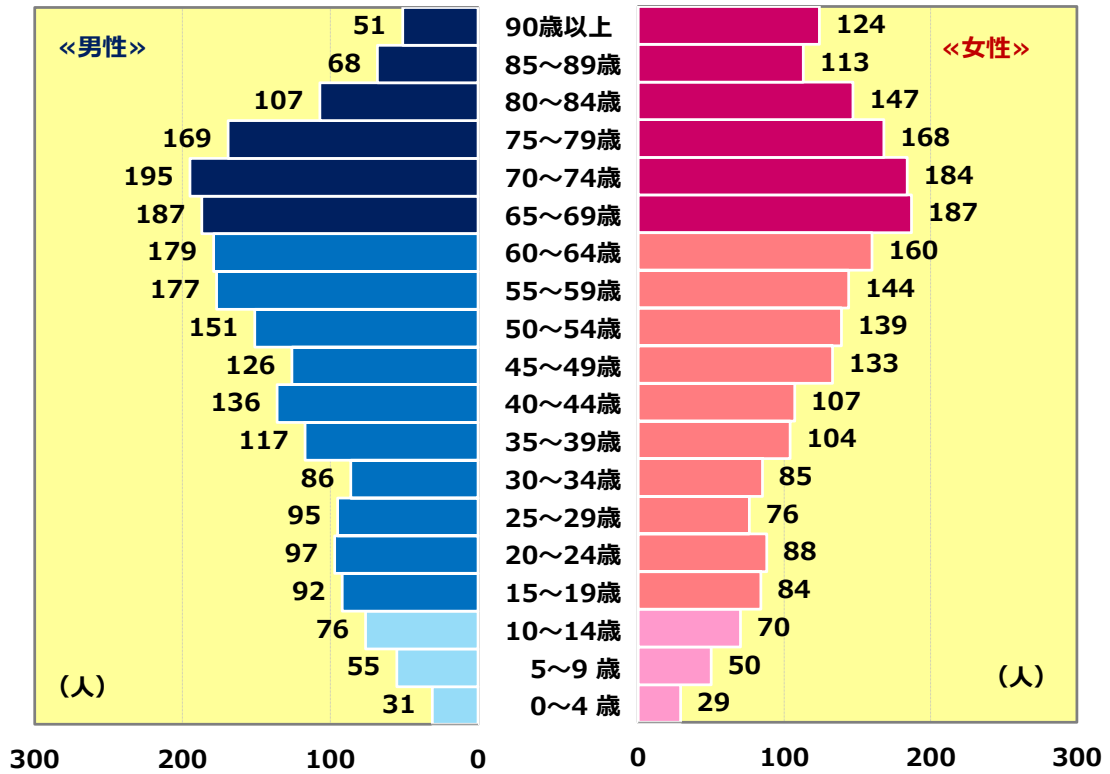
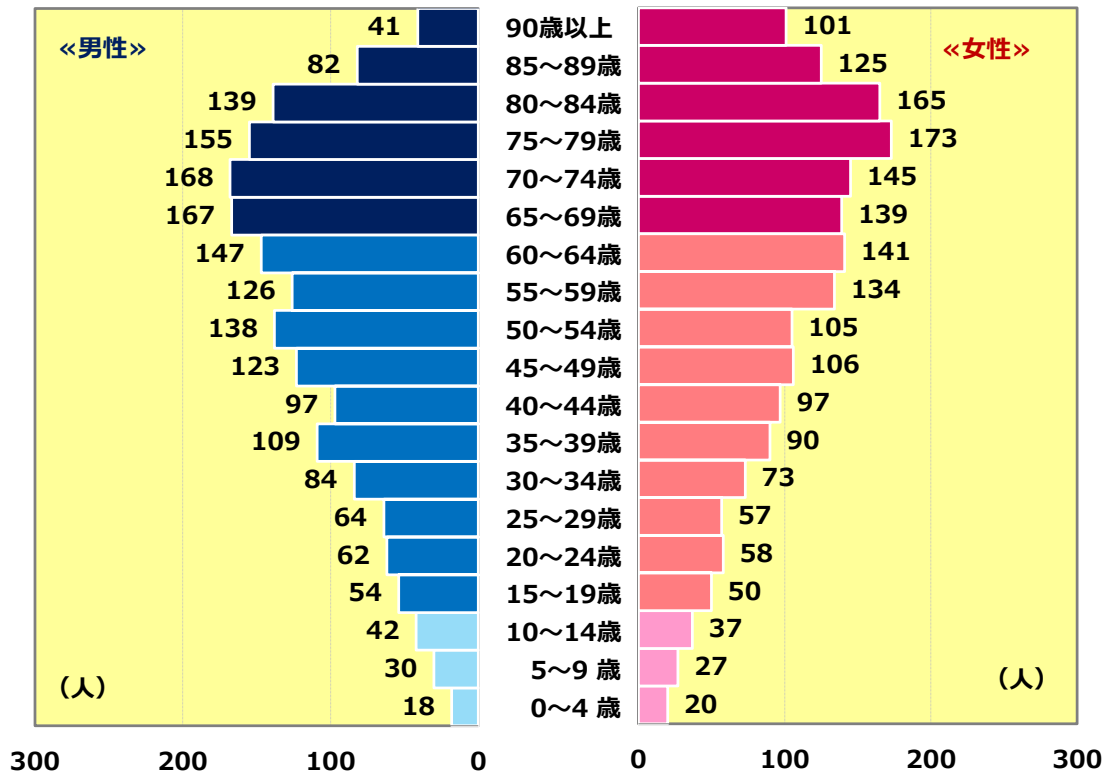


図 2055 年



(12) 室場小学校区

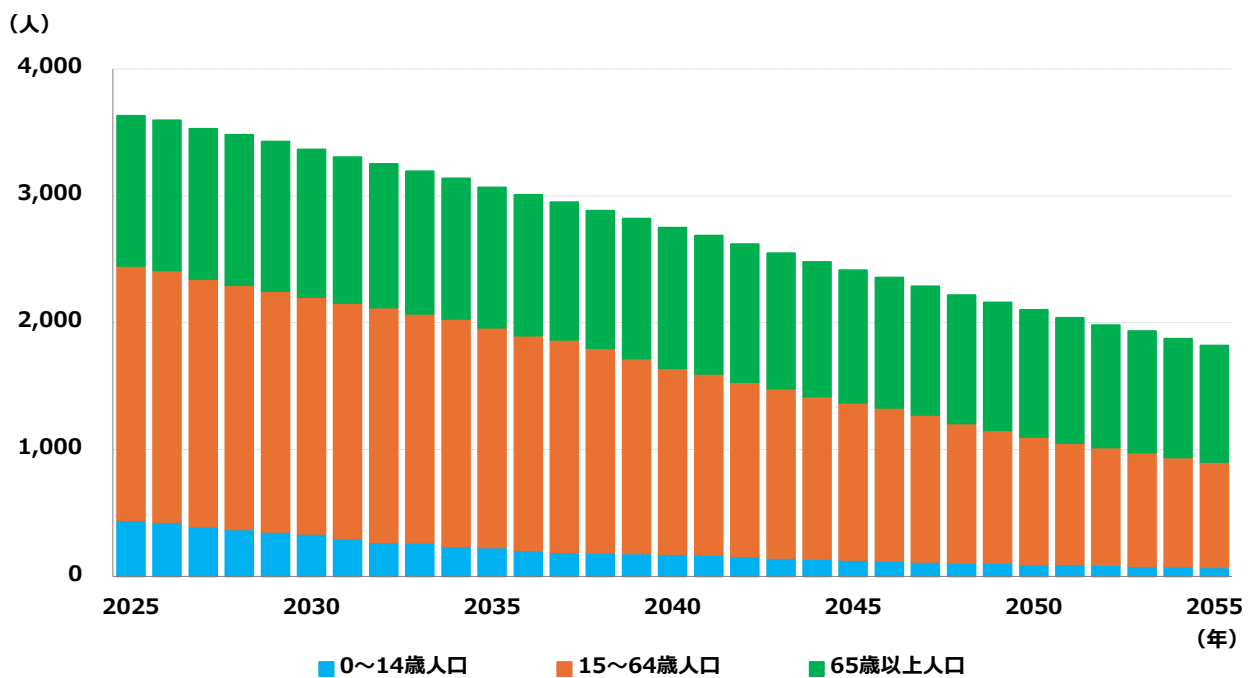
①年齢3区分別人口

室場小学校区の人口は2025年（令和7年）の3,631人から年々減少し、2055年（令和37年）には1,821人と、1,810人（49.8%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の443人（12.2%）から年々減少し、2055年（令和37年）には72人（4.0%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の2,005人（55.2%）から年々減少し、2055年（令和37年）には831人（45.6%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の1,183人（32.6%）から年々減少する一方で65歳以上人口比率は年々上昇し、2055年（令和37年）には918人（50.4%）になると推計されます。



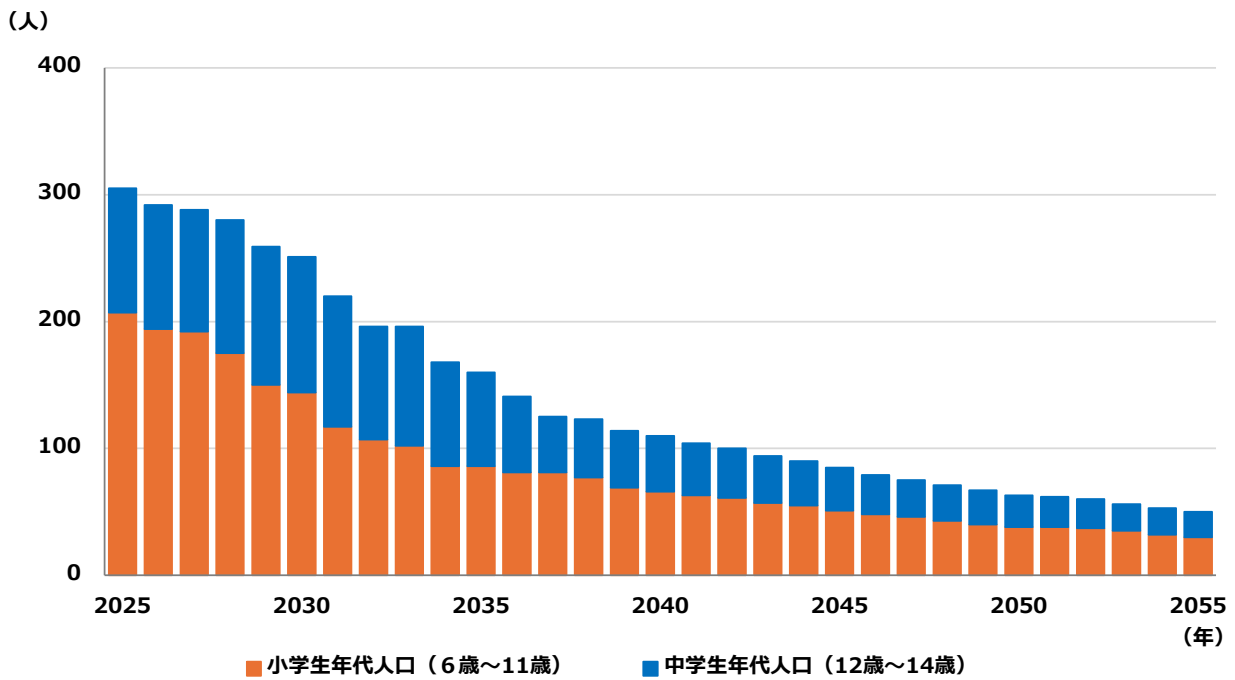
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	443 (12.2%)	335 (10.0%)	227 (7.4%)	176 (6.4%)	130 (5.4%)	95 (4.5%)	72 (4.0%)
15～64歳人口	2,005 (55.2%)	1,867 (55.5%)	1,734 (56.5%)	1,466 (53.3%)	1,240 (51.3%)	1,003 (47.7%)	831 (45.6%)
65歳以上人口	1,183 (32.6%)	1,164 (34.6%)	1,106 (36.1%)	1,108 (40.3%)	1,045 (43.3%)	1,003 (47.7%)	918 (50.4%)
計	3,631	3,366	3,067	2,750	2,415	2,101	1,821

(12) 室場小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、207人から30人へと、約85.5%（177人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、98人から20人へと、約79.6%（78人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代（6～11歳）	207	144	86	66	51	38	30
中学生年代（12～14歳）	98	107	74	44	34	25	20
計	305	251	160	110	85	63	50

(12) 室場小学校区

③ 5歳階級別（2025年→2055年）

図 2025年

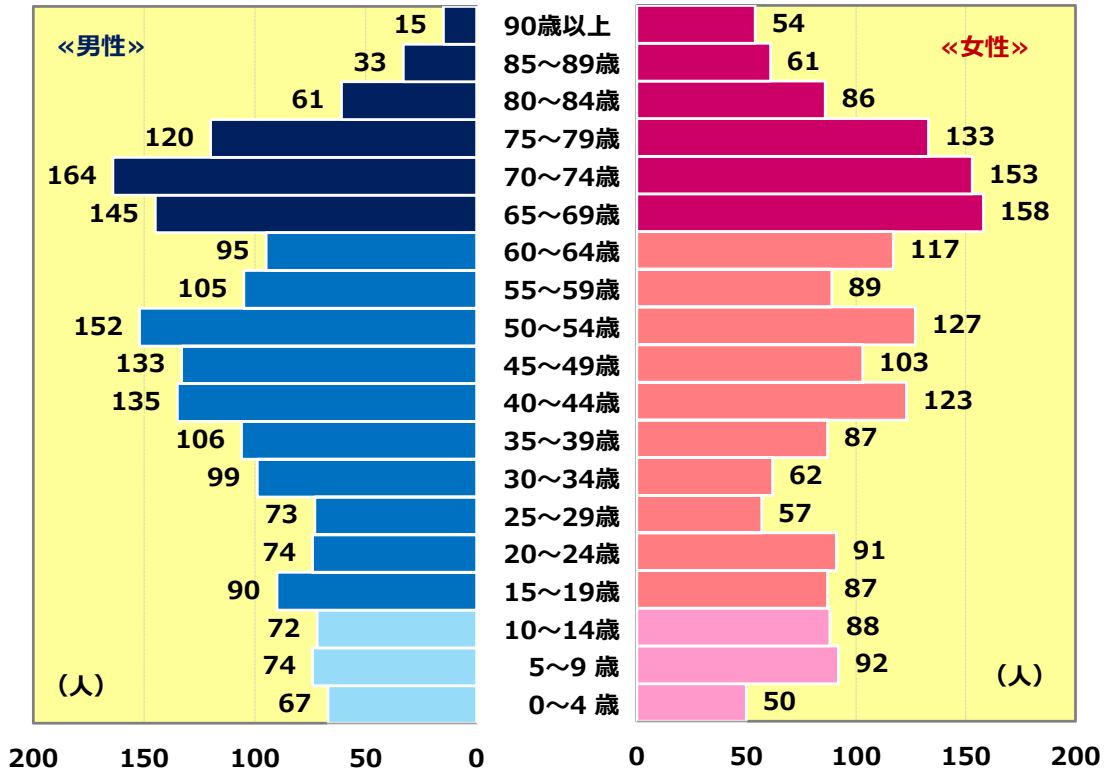


図 2035年

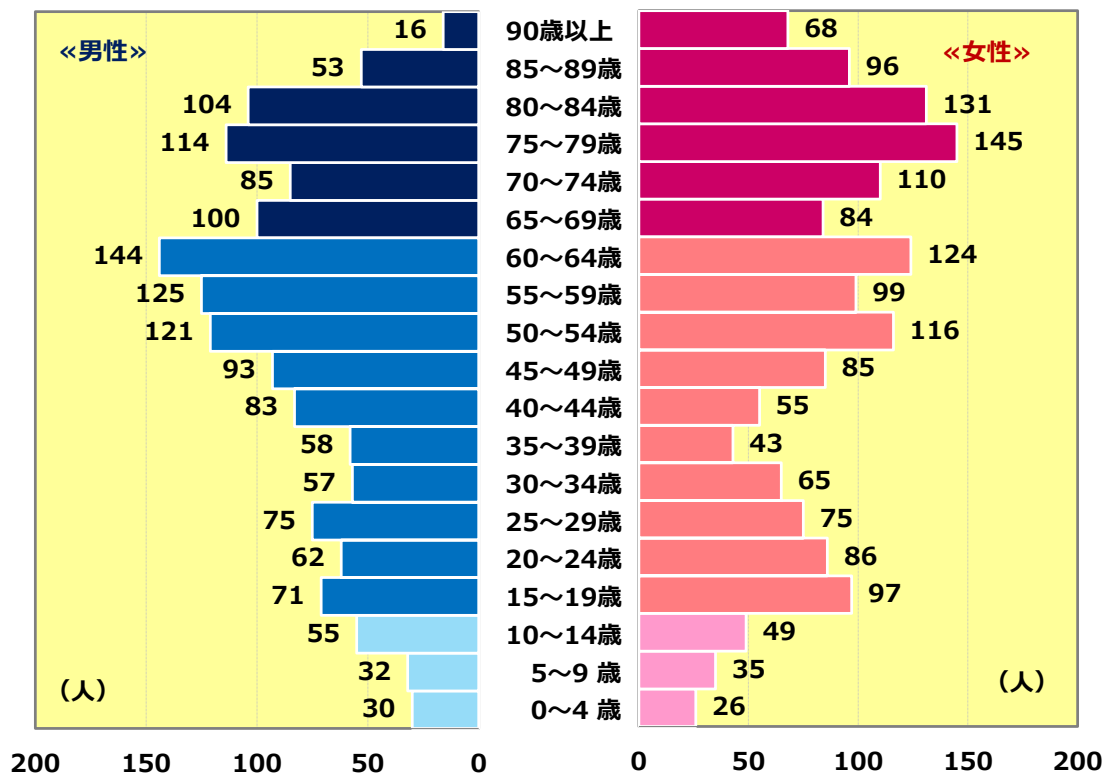


図 2045 年

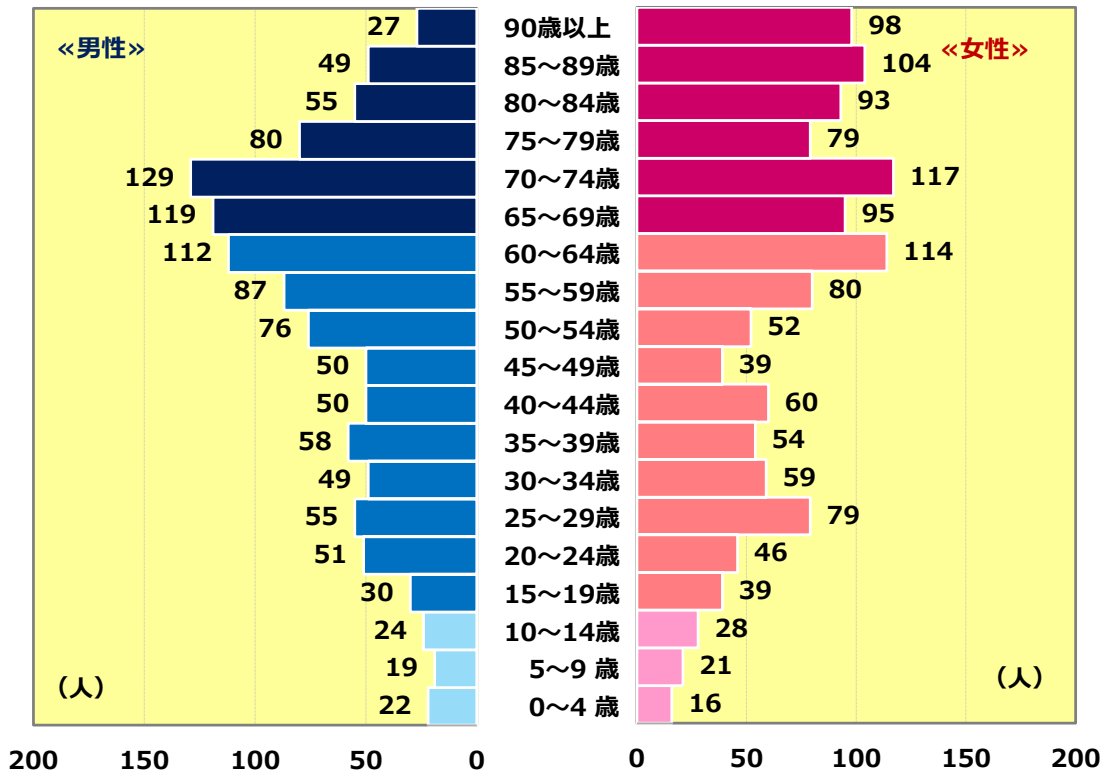
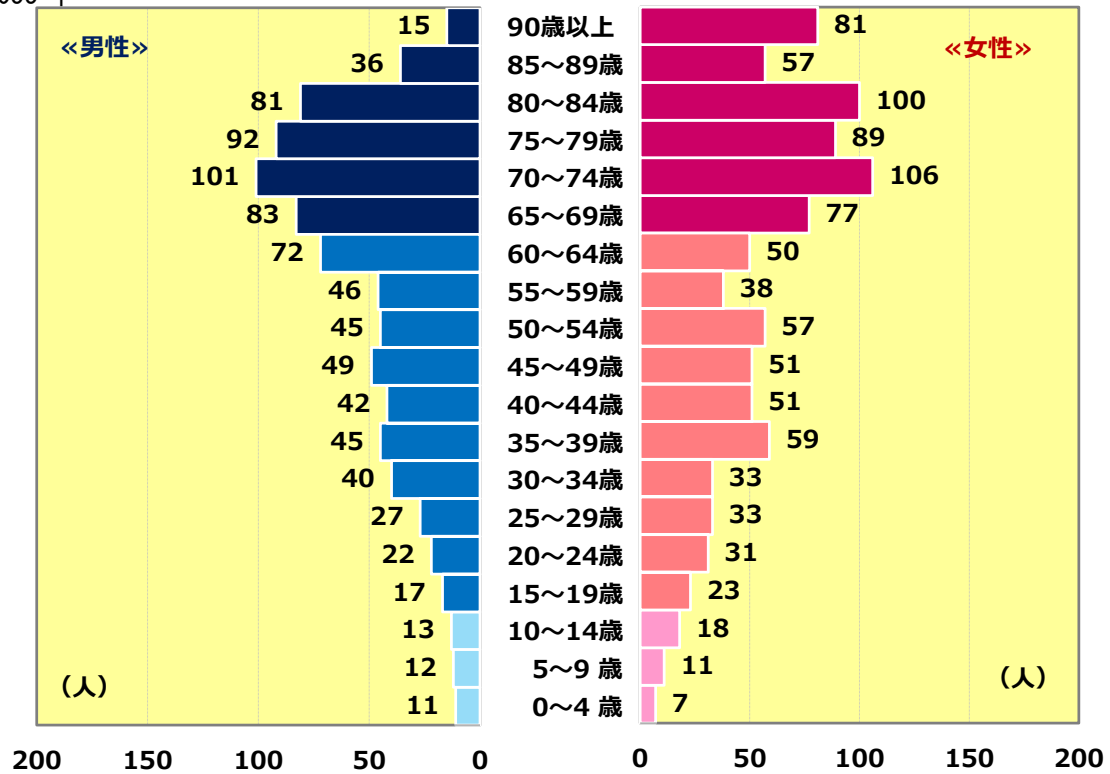


図 2055 年



(13) 三和小学校区

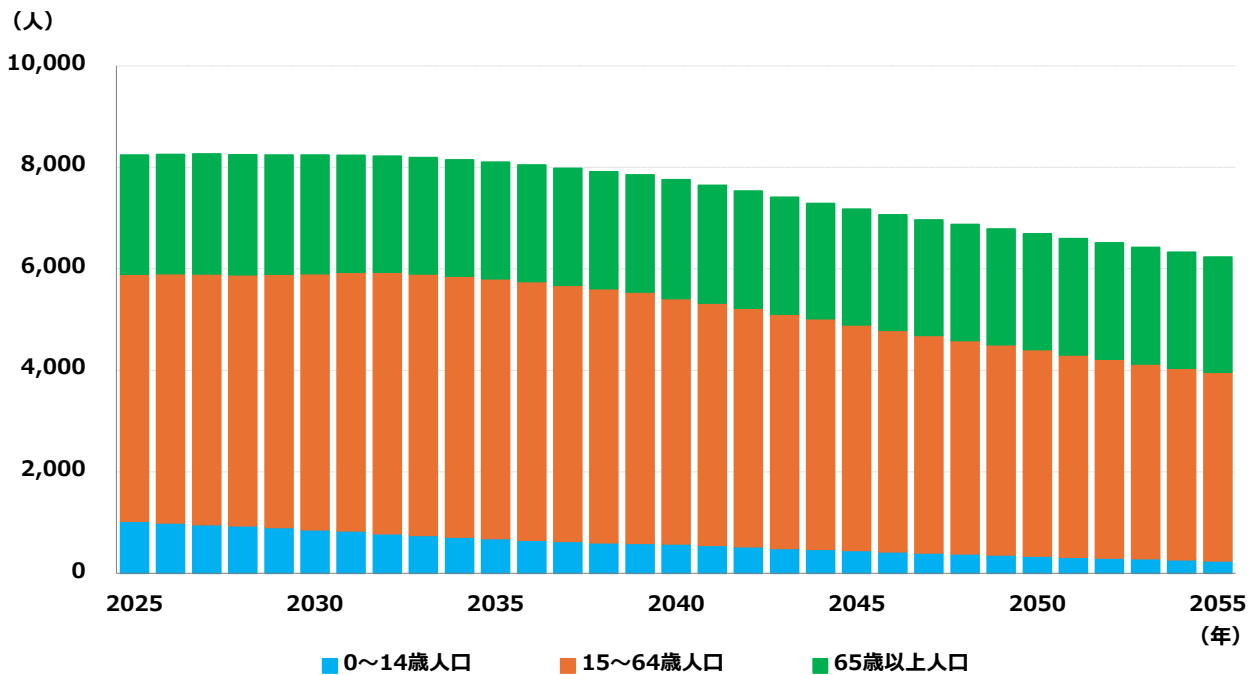
①年齢3区分別人口

三和小学校区の人口は2025年（令和7年）の8,241人から年々減少し、2055年（令和37年）には6,230人と、2,011人（24.4%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の1,026人（12.4%）から年々減少し、2055年（令和37年）には245人（3.9%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の4,870人（59.1%）から増加するものの、2035年（令和17年）以降は減少に転じ、2055年（令和37年）には3,720人（59.7%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の2,345人（28.5%）から増減を繰り返し、2055年（令和37年）には2,265人（36.4%）になると推計されます。



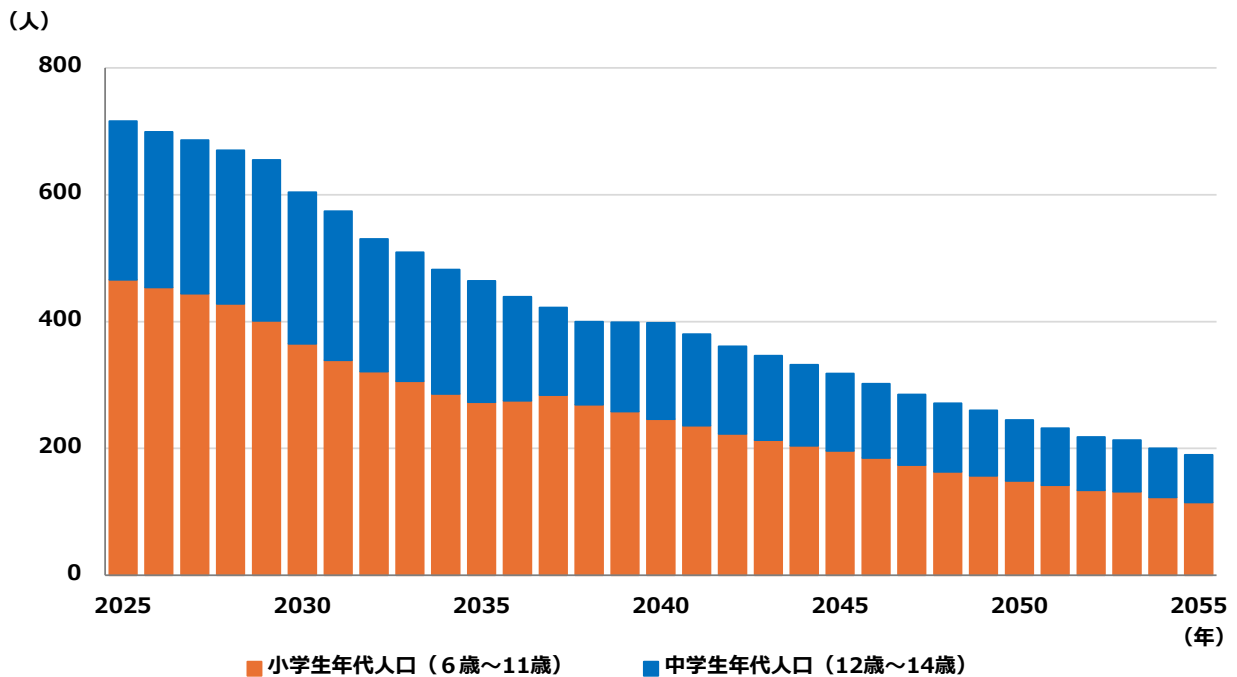
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	1,026 (12.4%)	862 (10.5%)	688 (8.5%)	583 (7.5%)	455 (6.3%)	343 (5.1%)	245 (3.9%)
15～64歳人口	4,870 (59.1%)	5,044 (61.2%)	5,121 (63.2%)	4,835 (62.4%)	4,440 (61.9%)	4,070 (60.8%)	3,720 (59.7%)
65歳以上人口	2,345 (28.5%)	2,334 (28.3%)	2,289 (28.3%)	2,336 (30.1%)	2,279 (31.8%)	2,278 (34.0%)	2,265 (36.4%)
計	8,241	8,240	8,098	7,754	7,174	6,691	6,230

(13) 三和小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、466人から115人へと、約75.3%（351人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、250人から75人へと、約70.0%（175人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代（6～11歳）	466	365	273	246	196	149	115
中学生年代（12～14歳）	250	239	191	152	122	96	75
計	716	604	464	398	318	245	190

(13) 三和小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

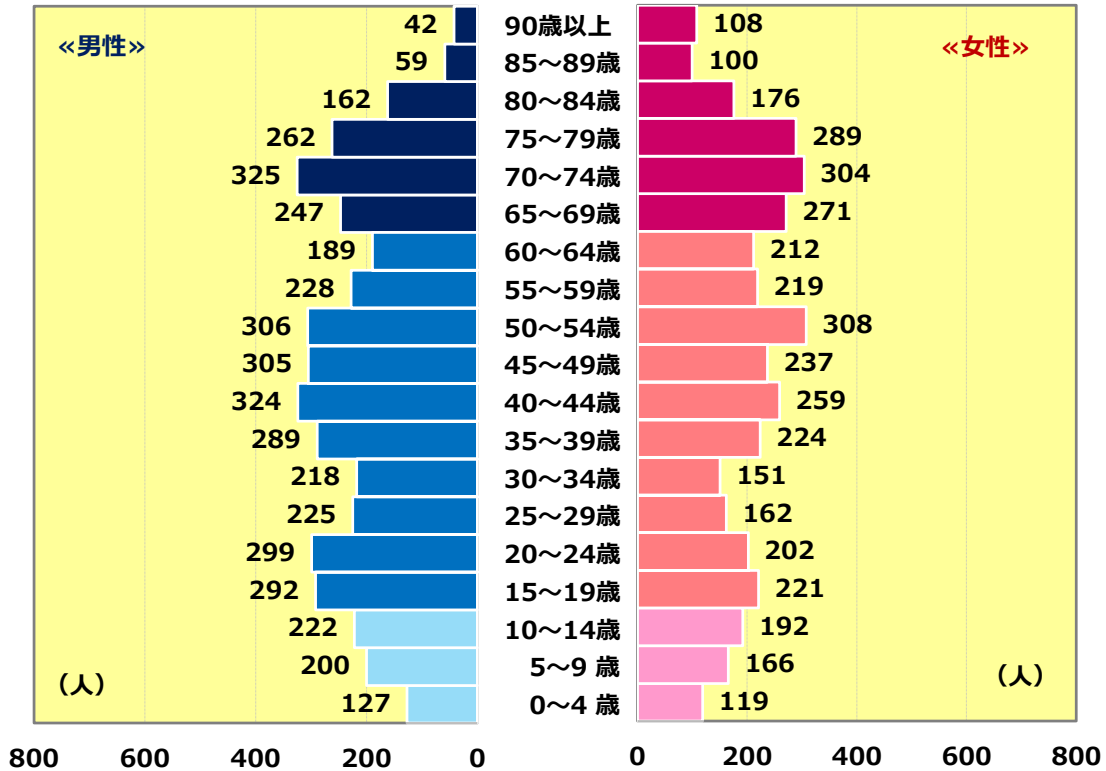


図 2035年

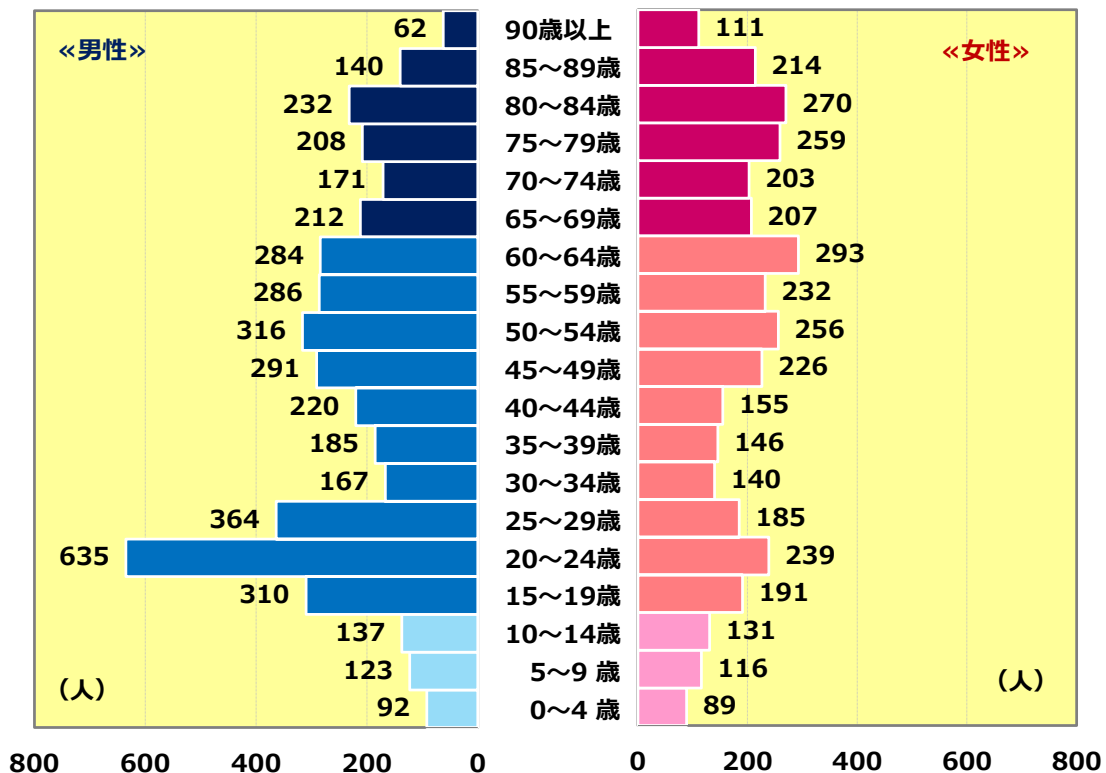


図 2045 年

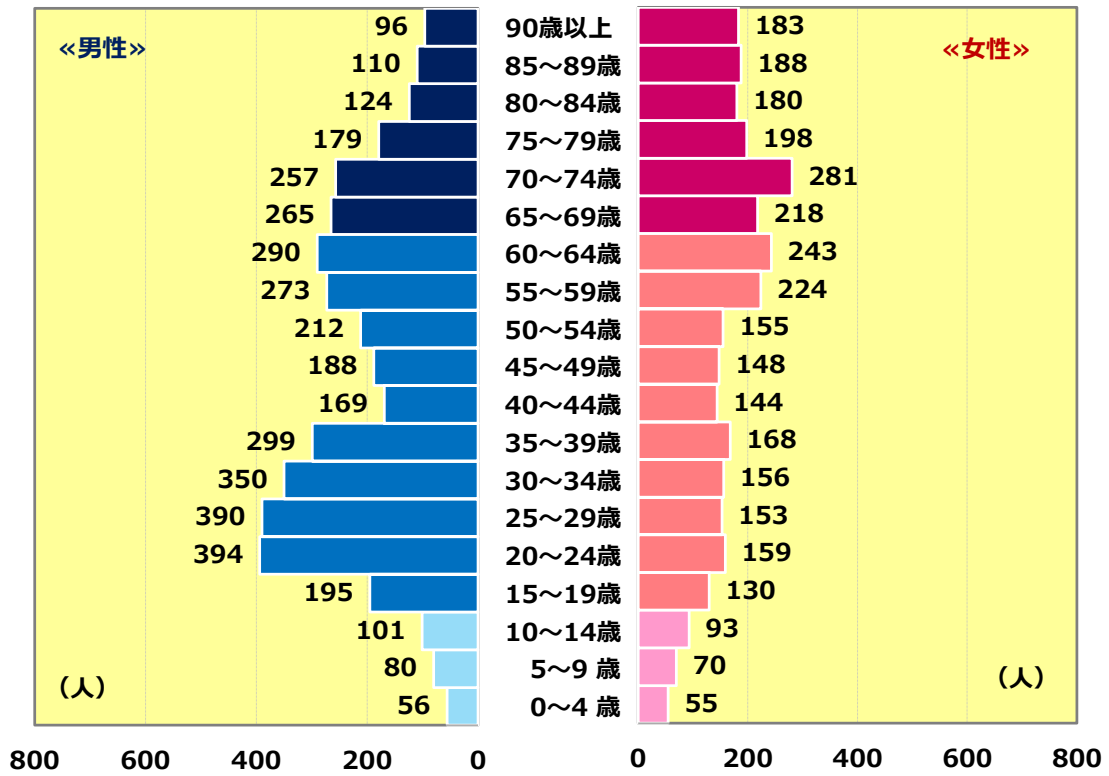
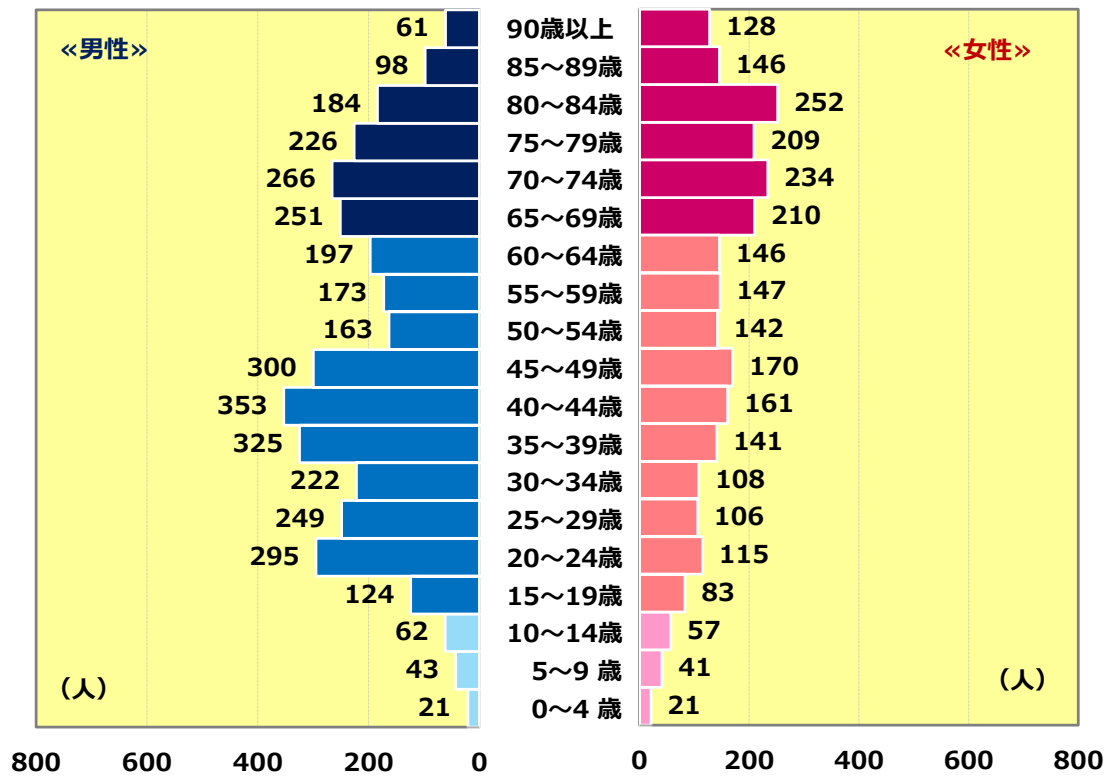


図 2055 年



(14) 米津小学校区

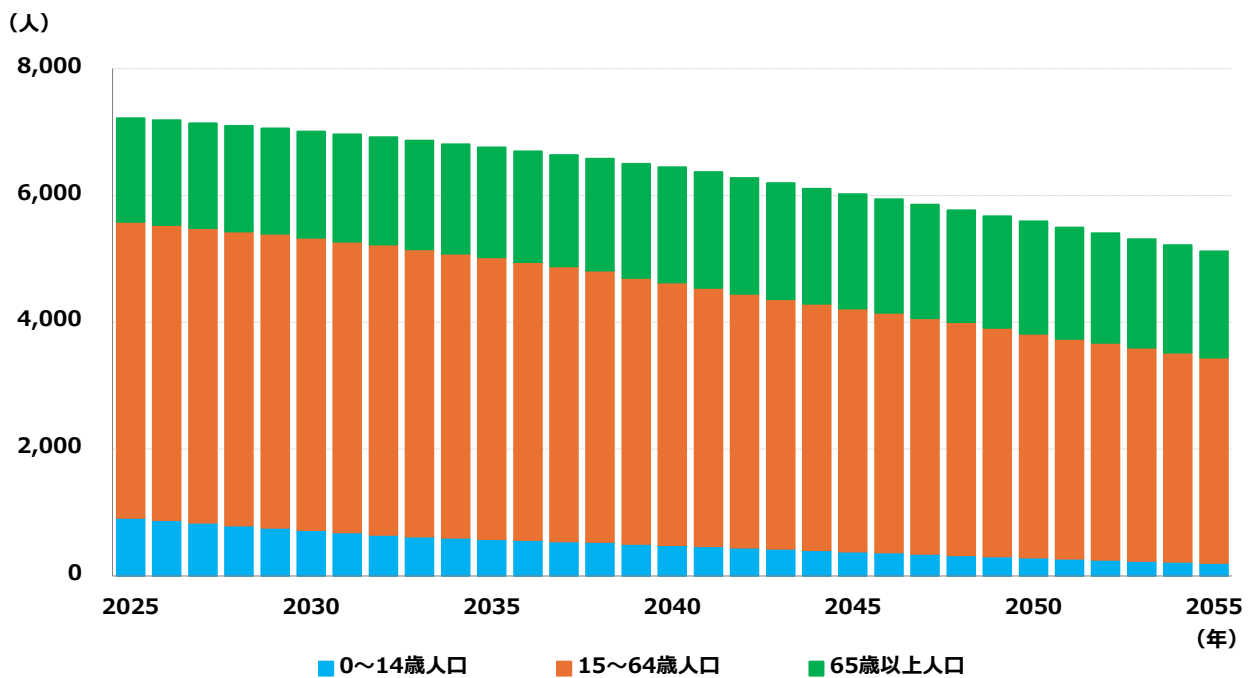
①年齢3区分別人口

米津小学校区の人口は2025年（令和7年）の7,219人から年々減少し、2055年（令和37年）には5,118人と、2,101人（29.1%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の917人（12.7%）から年々減少し、2055年（令和37年）には205人（4.0%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の4,664人（64.6%）から年々減少し、2055年（令和37年）には3,239人（63.3%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の1,638人（22.7%）から年々増加します。2040年（令和22年）以降は減少に転じるものの、65歳以上人口比率は年々増加し続け、2055年（令和37年）には1,674人（32.7%）になると推計されます。



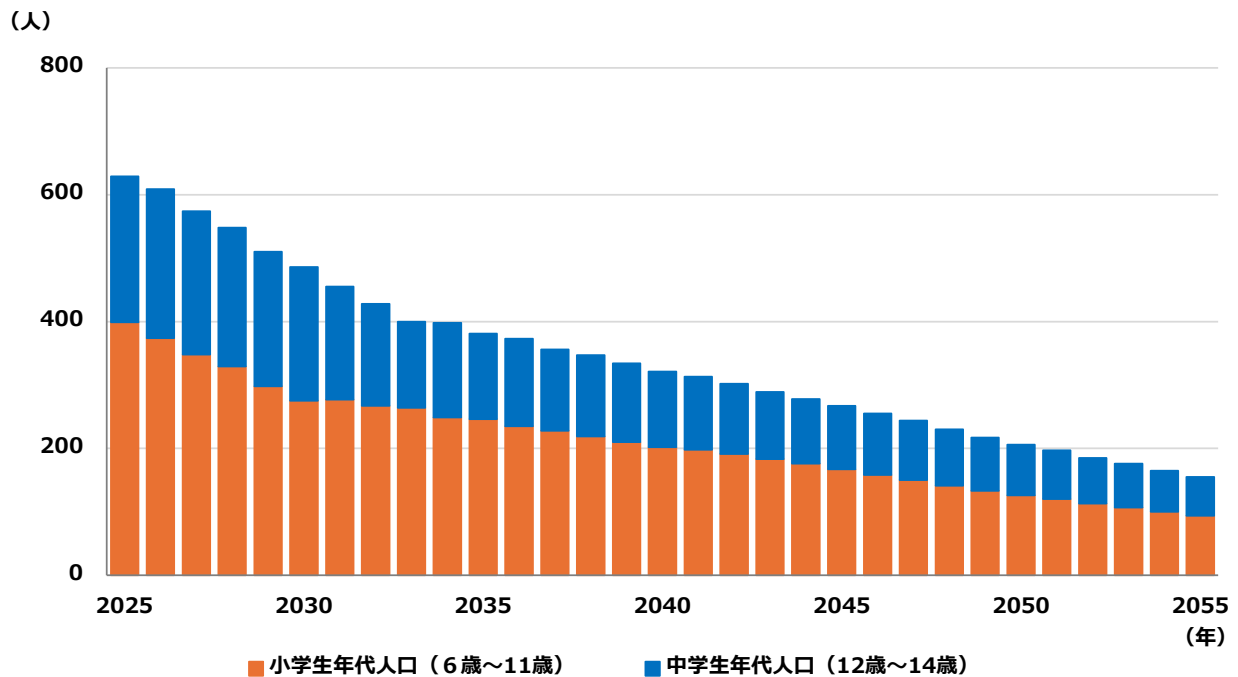
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	917 (12.7%)	724 (10.3%)	583 (8.6%)	486 (7.5%)	386 (6.4%)	289 (5.2%)	205 (4.0%)
15～64歳人口	4,664 (64.6%)	4,610 (65.8%)	4,440 (65.7%)	4,141 (64.3%)	3,832 (63.7%)	3,531 (63.2%)	3,239 (63.3%)
65歳以上人口	1,638 (22.7%)	1,674 (23.9%)	1,734 (25.7%)	1,816 (28.2%)	1,802 (29.9%)	1,770 (31.7%)	1,674 (32.7%)
計	7,219	7,008	6,757	6,443	6,020	5,590	5,118

(14) 米津小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、399人から94人へと、約76.4%（305人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、230人から61人へと、約73.5%（169人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代（6～11歳）	399	275	246	202	167	126	94
中学生年代（12～14歳）	230	211	135	119	100	80	61
計	629	486	381	321	267	206	155

(14) 米津小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

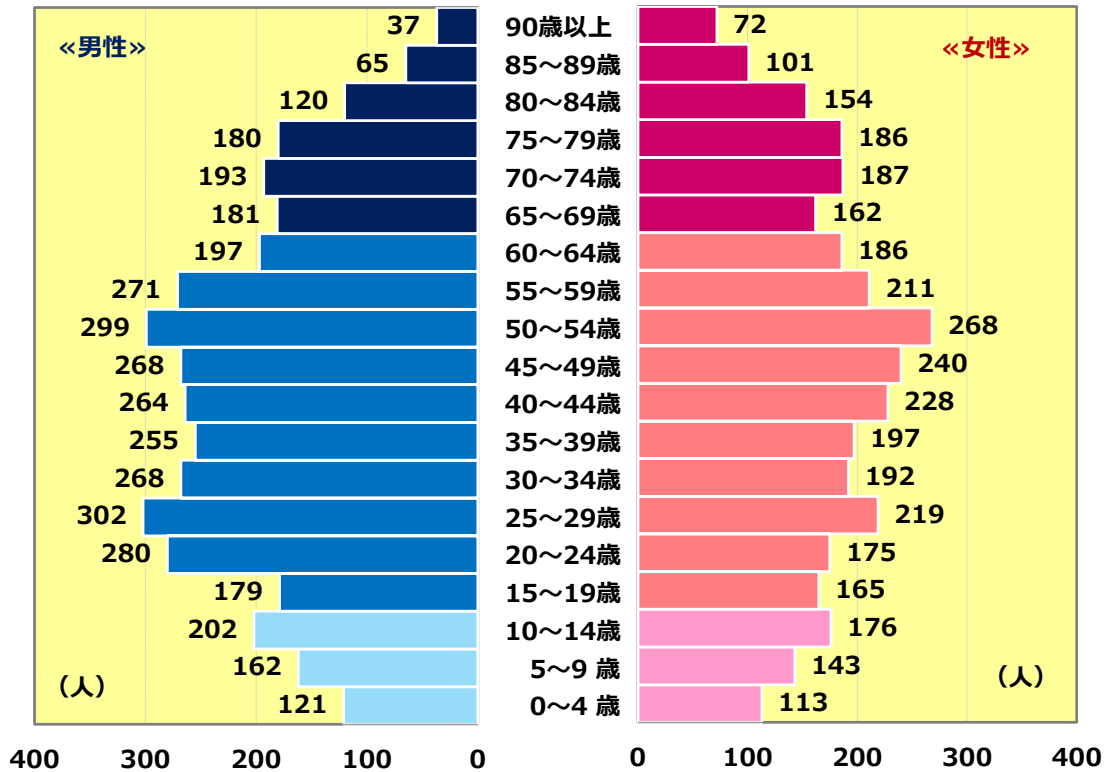


図 2035年

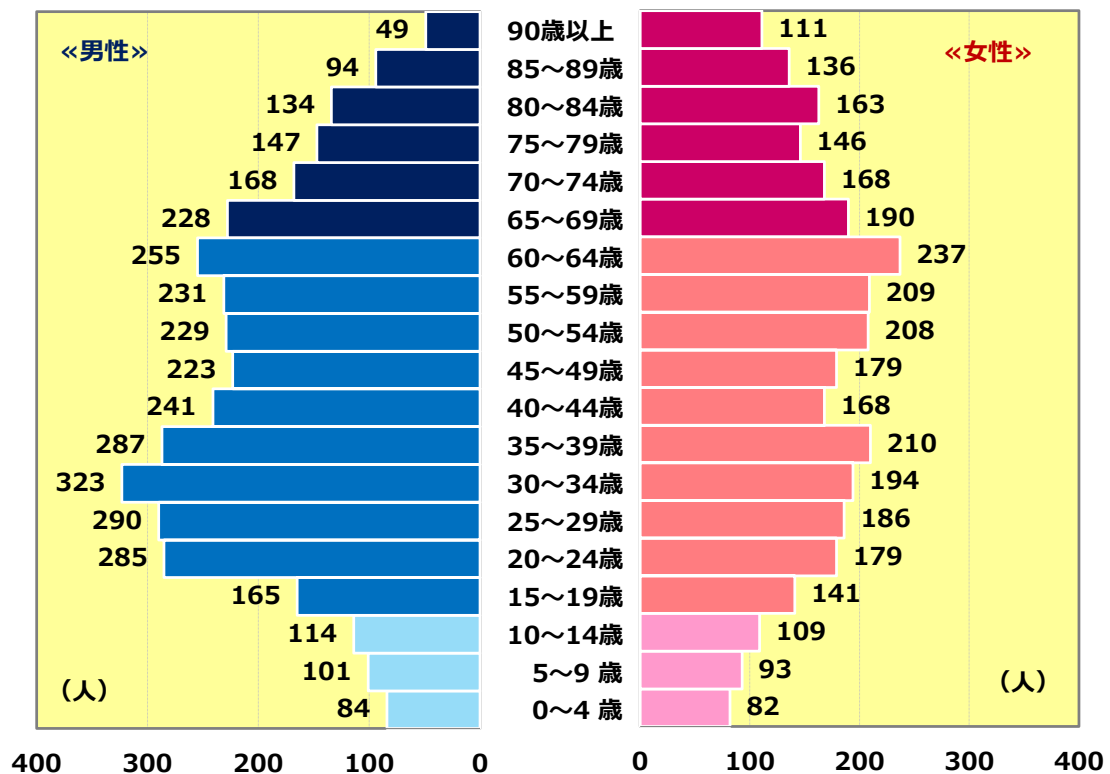


図 2045 年

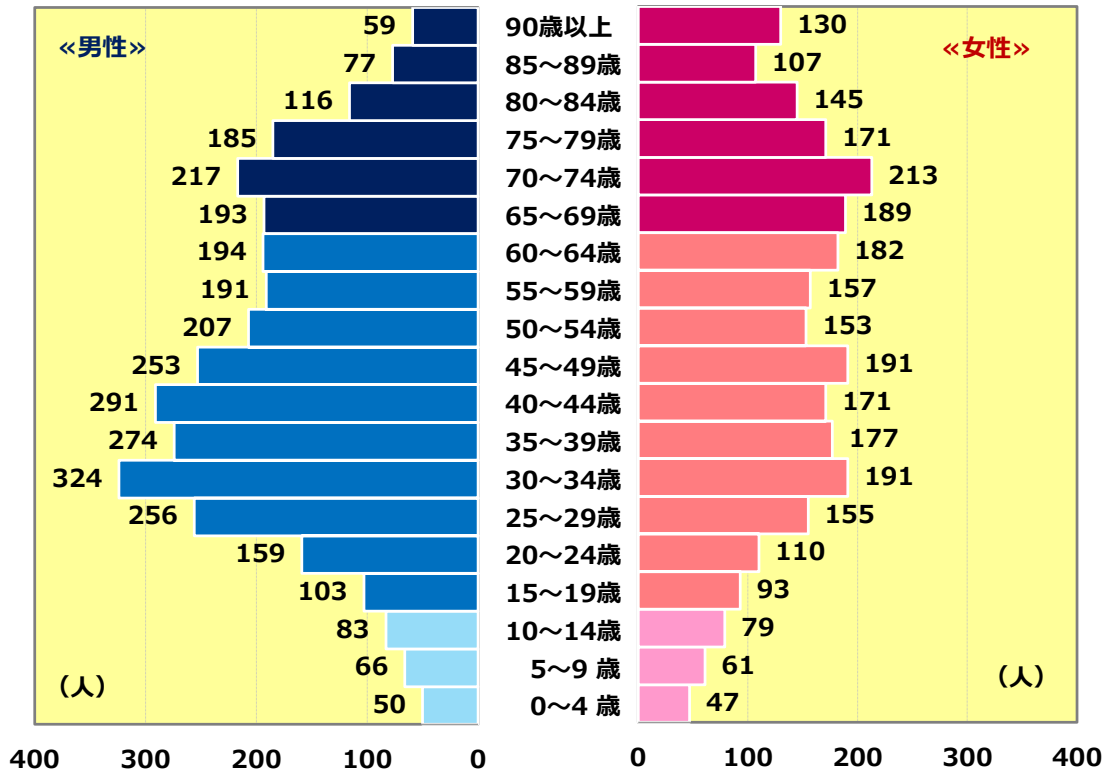
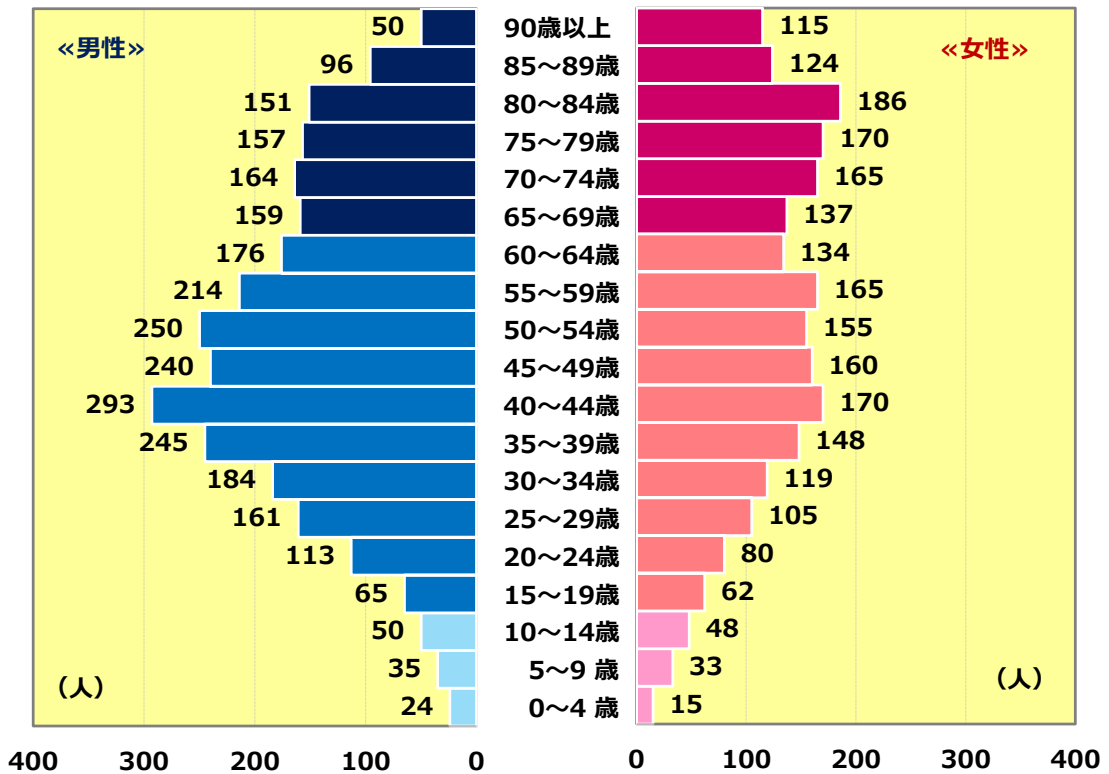


図 2055 年



(15) 一色西部小学校区

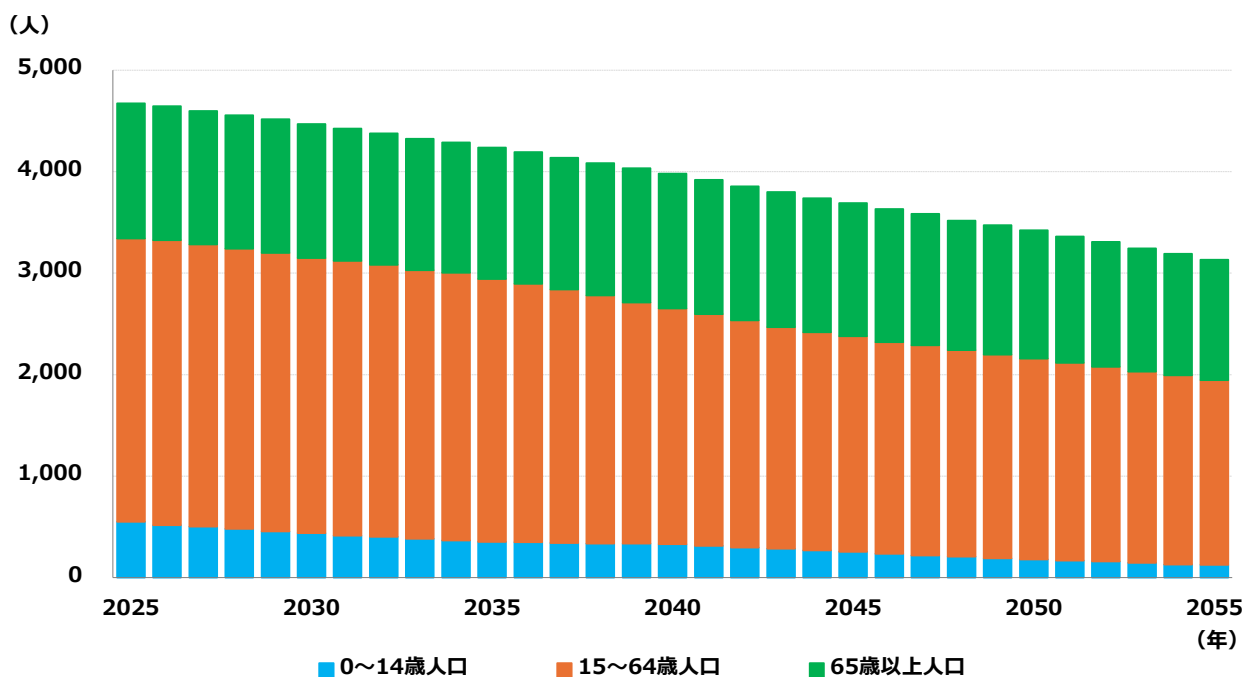
①年齢3区分別人口

一色西部小学校区の人口は2025年（令和7年）の4,674人から年々減少し、2055年（令和37年）には3,133人と、1,541人（33.0%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の549人（11.7%）から年々減少し、2055年（令和37年）には125人（4.0%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の2,793人（59.8%）から年々減少し、2055年（令和37年）には1,821人（58.1%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の1,332人（28.5%）から減少傾向にあるものの、65歳以上人口比率は年々上昇しており、2055年（令和37年）には1,187人（37.9%）になると推計されます。



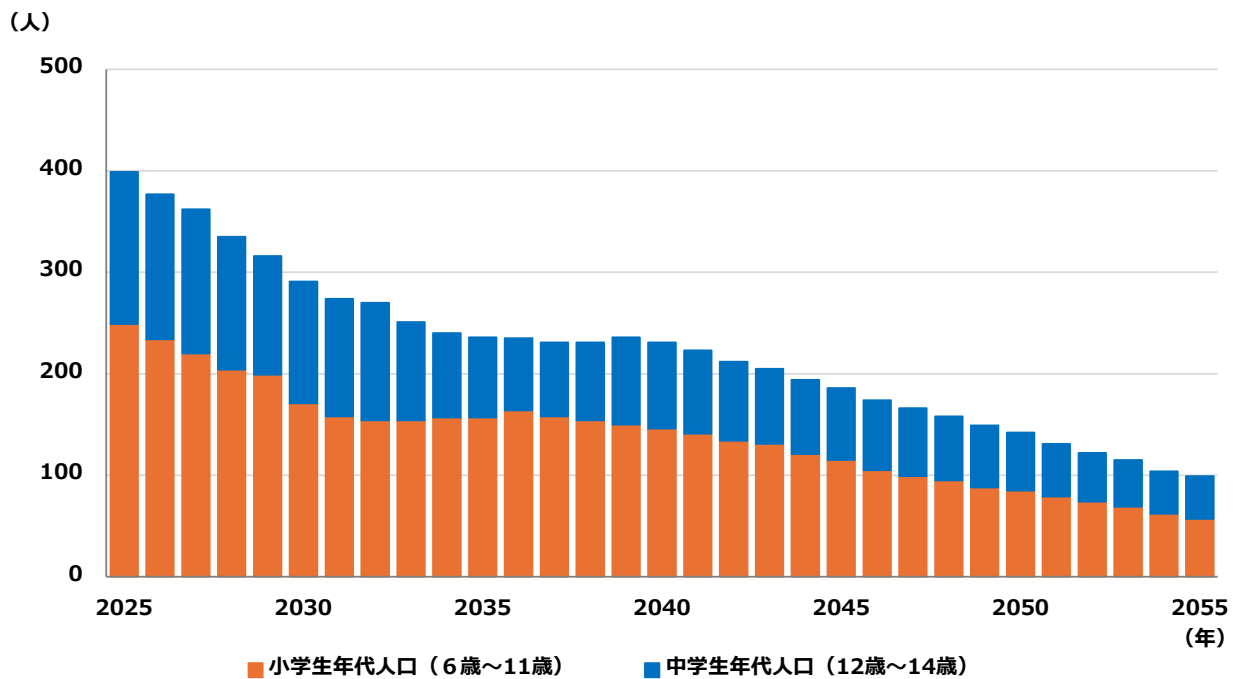
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	549 (11.7%)	437 (9.8%)	351 (8.3%)	330 (8.3%)	254 (6.9%)	180 (5.3%)	125 (4.0%)
15～64歳人口	2,793 (59.8%)	2,711 (60.7%)	2,592 (61.2%)	2,321 (58.3%)	2,125 (57.6%)	1,979 (57.8%)	1,821 (58.1%)
65歳以上人口	1,332 (28.5%)	1,321 (29.6%)	1,294 (30.5%)	1,329 (33.4%)	1,310 (35.5%)	1,262 (36.9%)	1,187 (37.9%)
計	4,674	4,469	4,237	3,980	3,689	3,421	3,133

(15) 一色西部小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、249人から57人へと、約77.1%（192人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、150人から42人へと、約72.0%（108人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代 (6~11歳)	249	171	157	146	115	85	57
中学生年代 (12~14歳)	150	120	79	85	71	57	42
計	399	291	236	231	186	142	99

(15) 一色西部小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

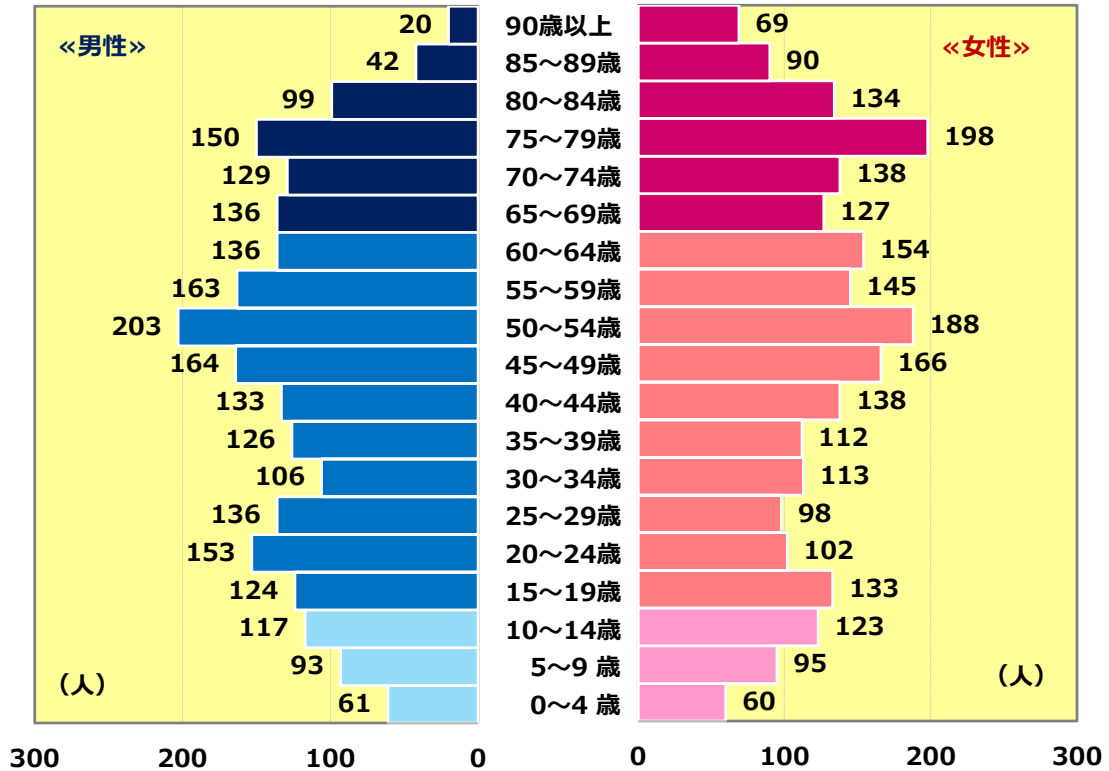


図 2035年

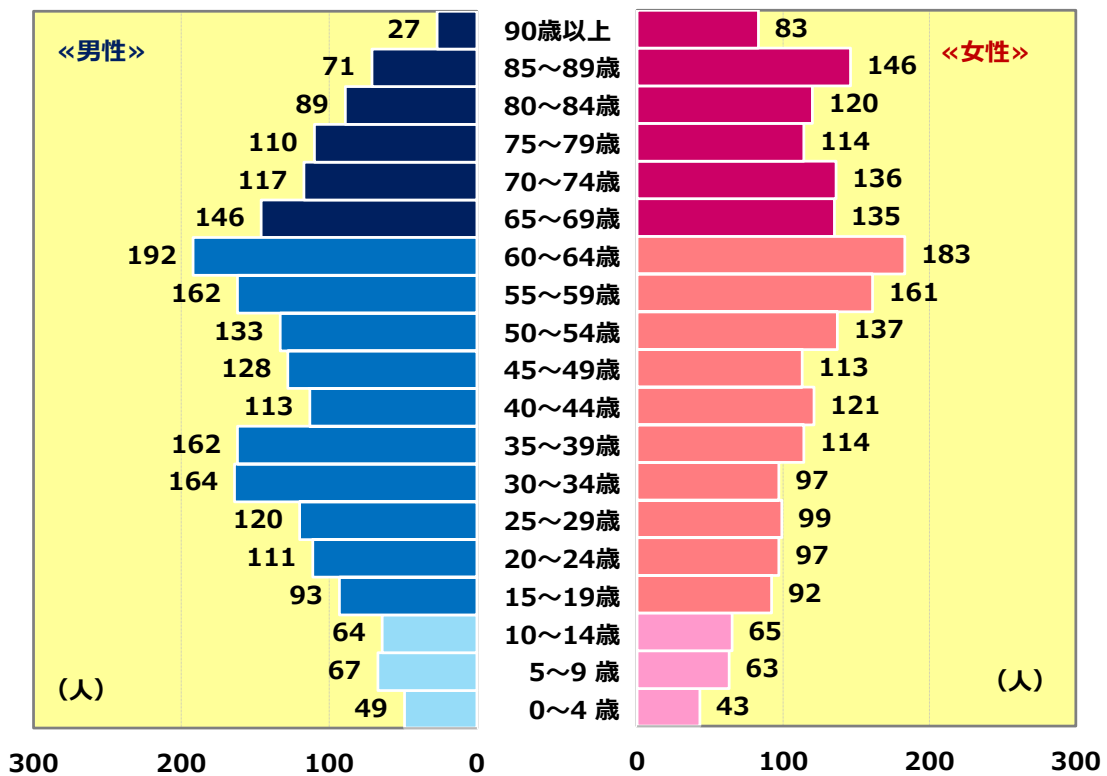


図 2045 年

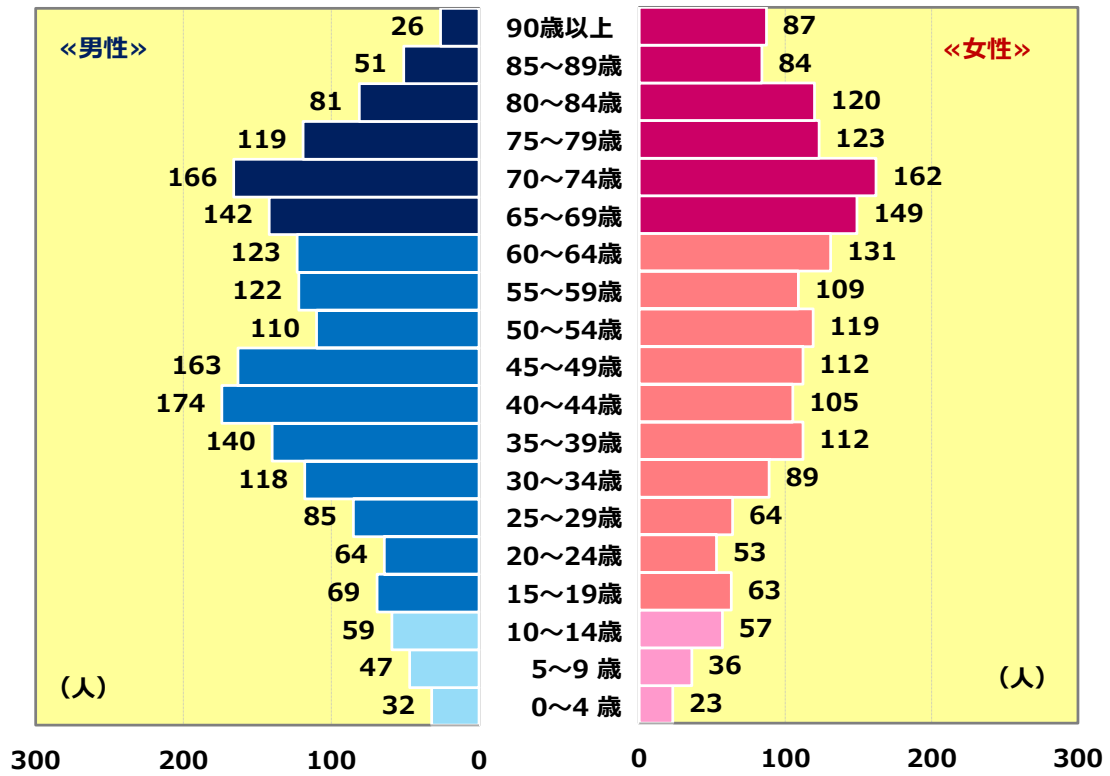
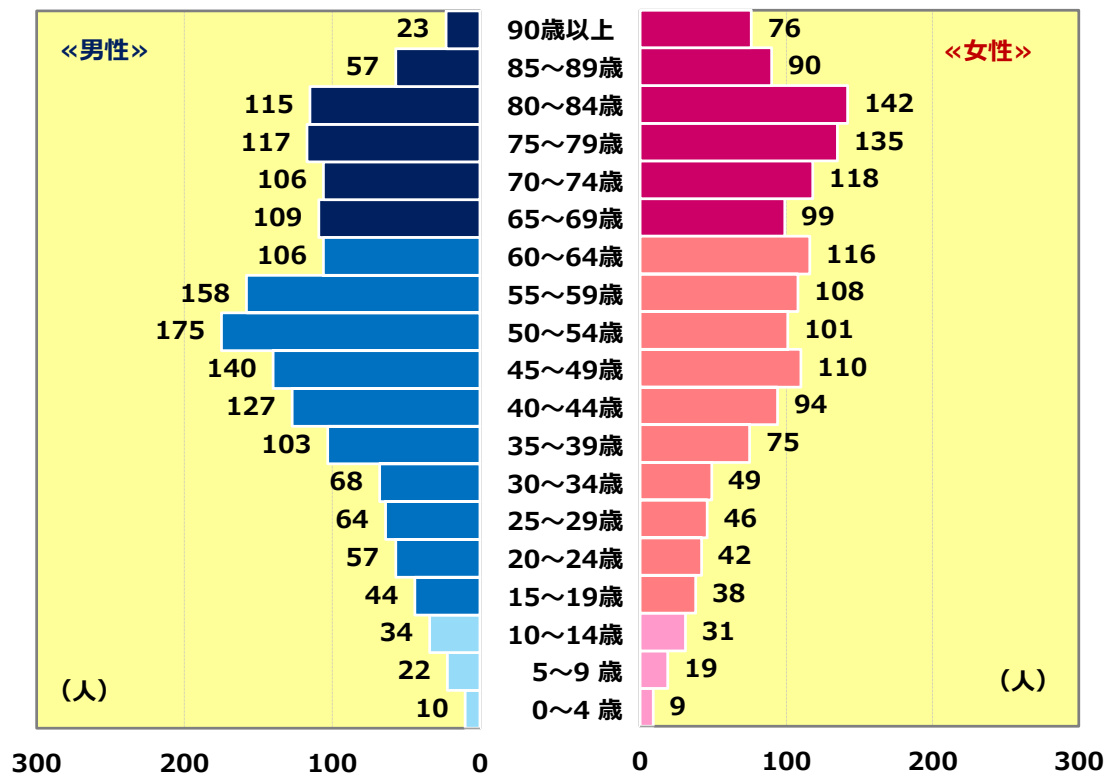


図 2055 年



(16) 一色南部小学校区

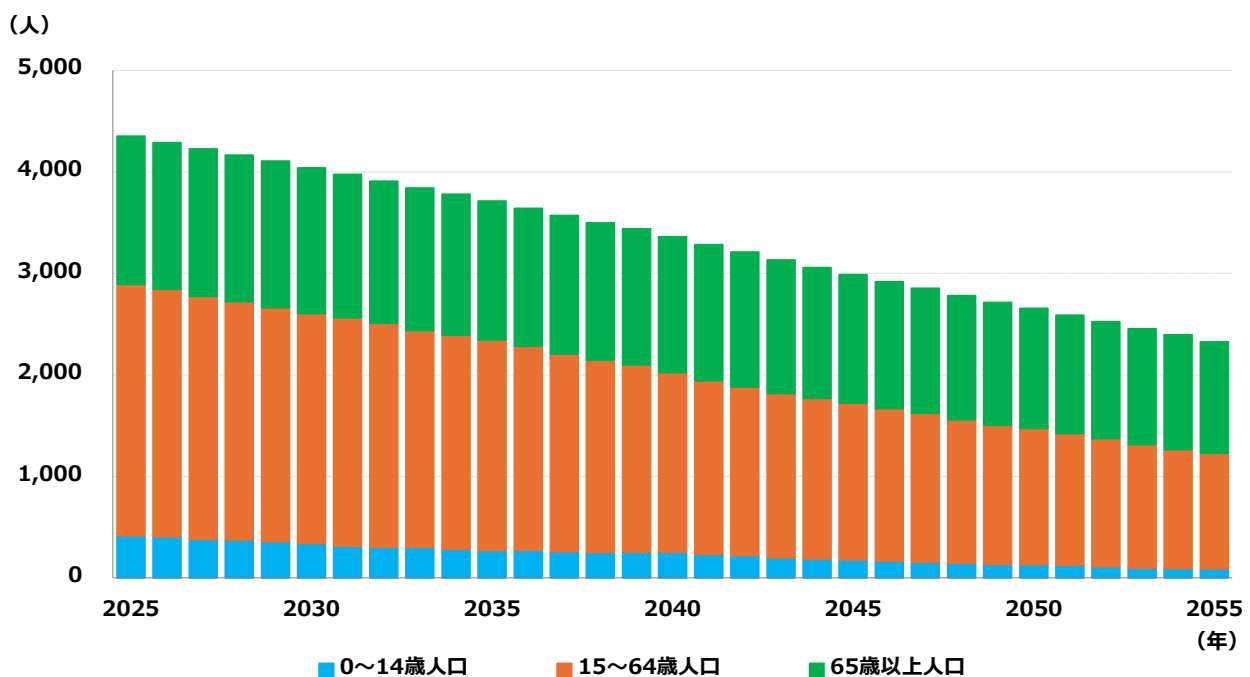
①年齢3区分別人口

一色南部小学校区の人口は2025年（令和7年）の4,353人から年々減少し、2055年（令和37年）には2,325人と、2,028人（46.6%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の416人（9.6%）から年々減少し、2055年（令和37年）には89人（3.8%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の2,475人（56.9%）から年々減少し、2055年（令和37年）には1,138人（48.9%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の1,462人（33.6%）から年々減少するものの、65歳以上人口は年々上昇し、2055年（令和37年）には1,098人（47.2%）になると推計されます。



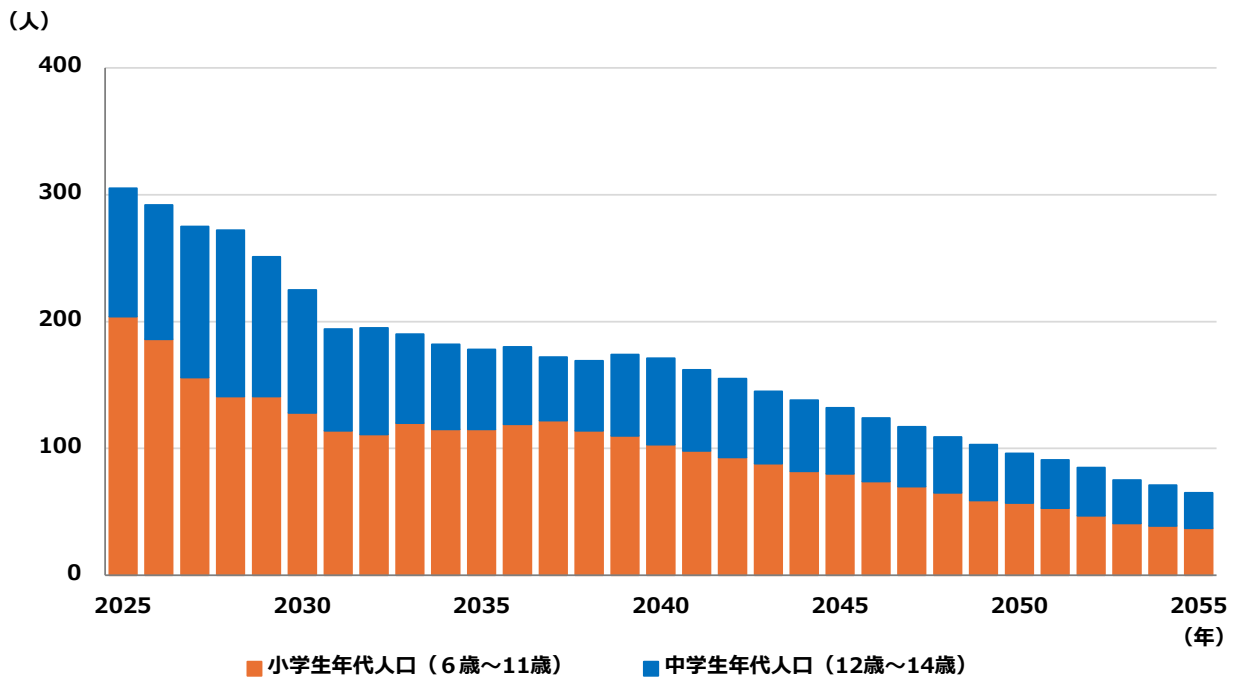
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	416 (9.6%)	340 (8.4%)	272 (7.3%)	253 (7.5%)	179 (6.0%)	130 (4.9%)	89 (3.8%)
15～64歳人口	2,475 (56.9%)	2,265 (56.1%)	2,073 (55.8%)	1,770 (52.7%)	1,544 (51.7%)	1,343 (50.6%)	1,138 (48.9%)
65歳以上人口	1,462 (33.6%)	1,434 (35.5%)	1,368 (36.8%)	1,338 (39.8%)	1,264 (42.3%)	1,183 (44.5%)	1,098 (47.2%)
計	4,353	4,039	3,713	3,361	2,987	2,656	2,325

(16) 一色南部小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、204人から37人へと、約81.9%（167人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、101人から28人へと、約72.3%（73人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代（6～11歳）	204	128	115	103	80	57	37
中学生年代（12～14歳）	101	97	63	68	52	39	28
計	305	225	178	171	132	96	65

(16) 一色南部小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

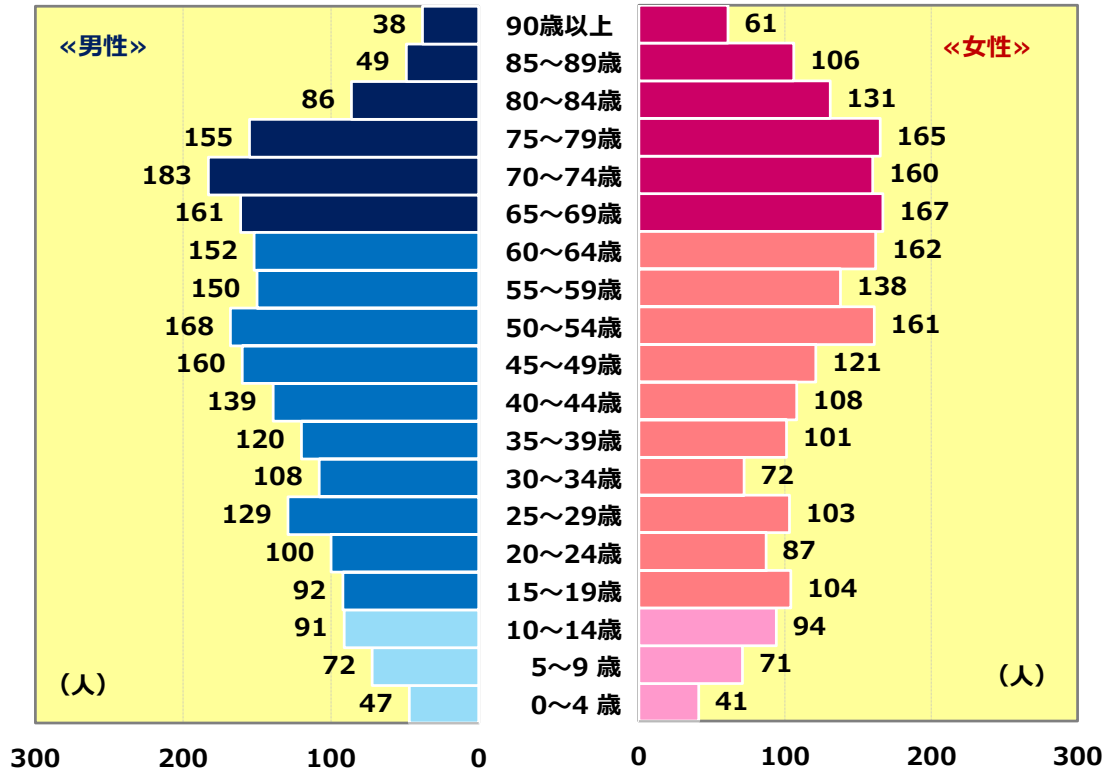


図 2035年

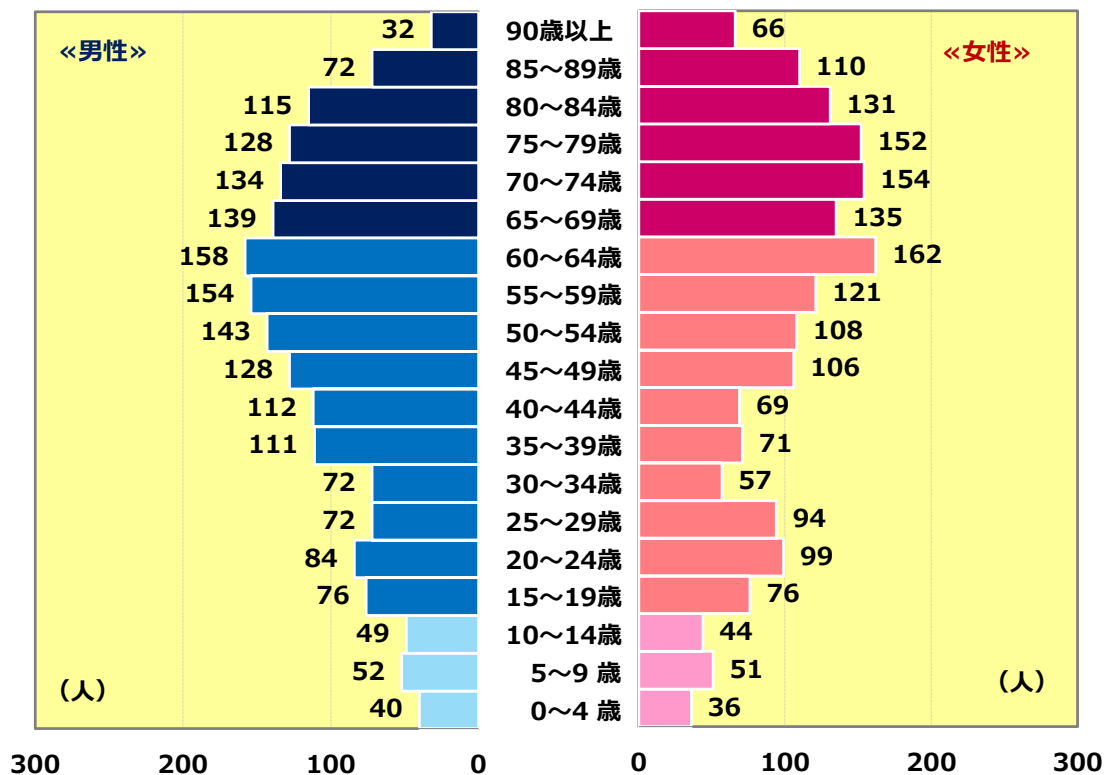


図 2045 年

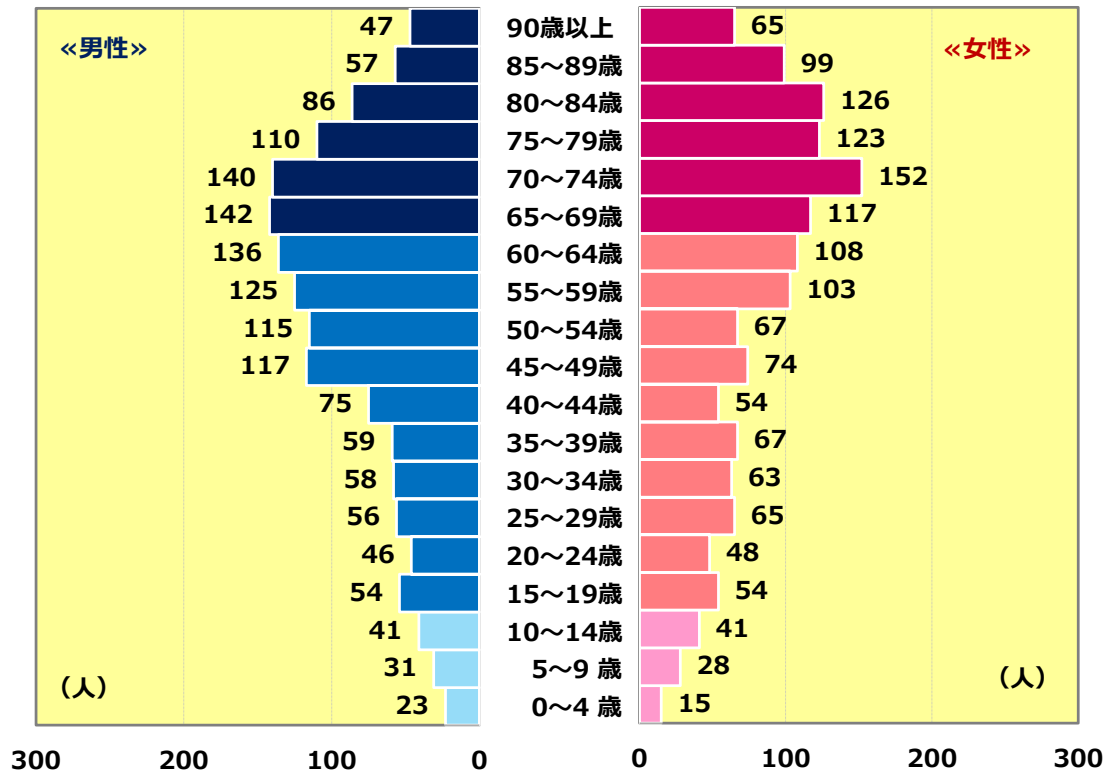
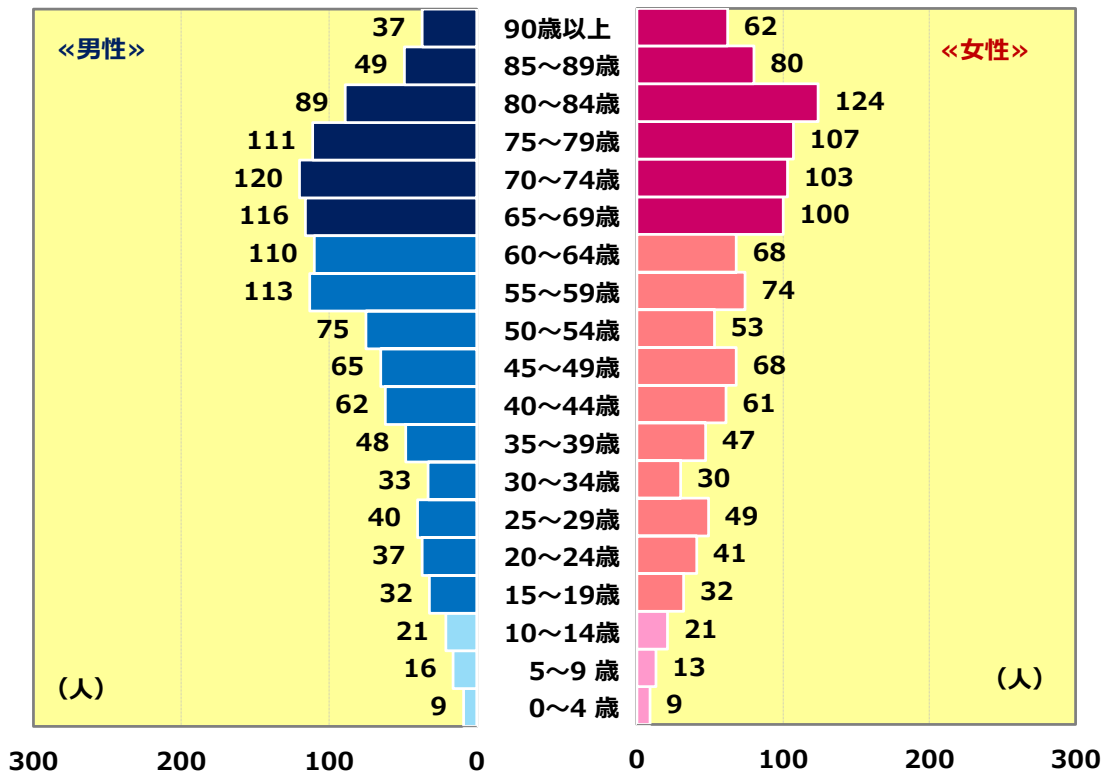


図 2055 年



(17) 一色中部小学校区

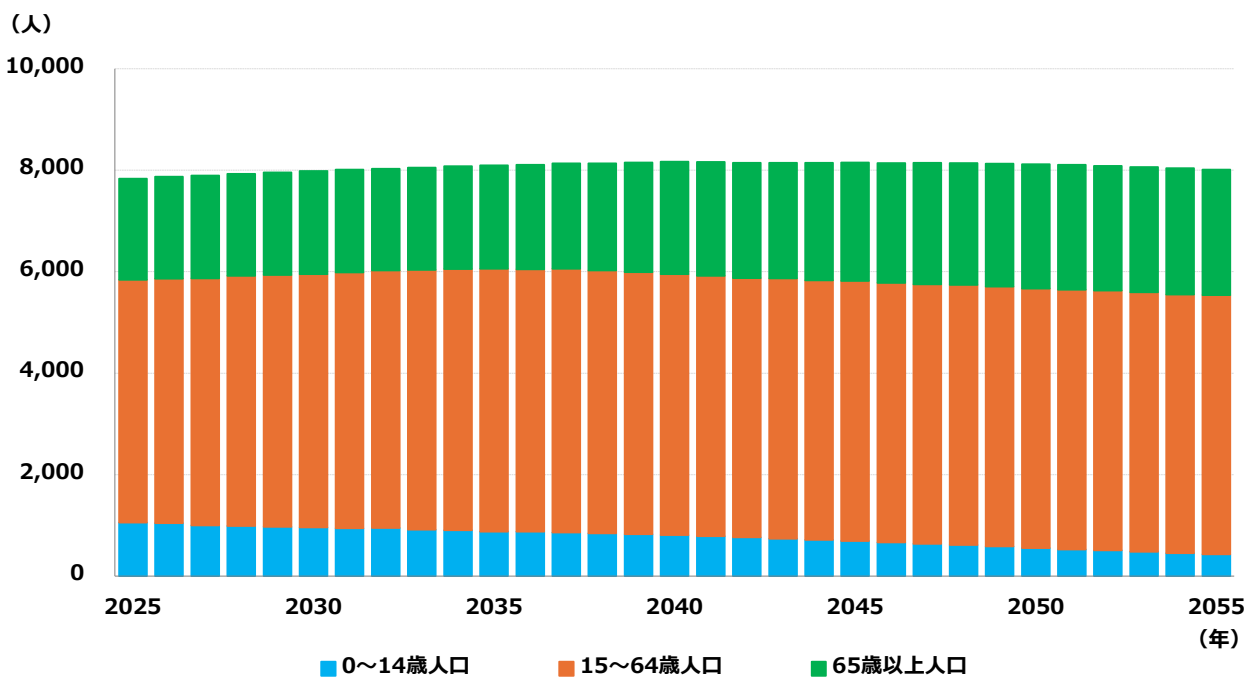
①年齢3区分別人口

一色中部小学校区の人口は2025年(令和7年)の7,835人から増加するものの、2040年(令和22年)以降は減少に転じ、2055年(令和37年)には8,009人となりますが、174人(2.2%)増加すると推計されます。

0～14歳人口は2025年(令和7年)の1,056人(13.5%)から年々減少し、2055年(令和37年)には432人(5.4%)になると推計されます。

15～64歳人口は2025年(令和7年)の4,781人(61.0%)から増加するものの、2035年(令和17年)以降は減少に転じ、2055年(令和37年)には5,104人(63.7%)になると推計されます。

65歳以上人口は2025年(令和7年)の1,998人(25.5%)から年々増加し、2055年(令和37年)には2,473人(30.9%)になると推計されます。



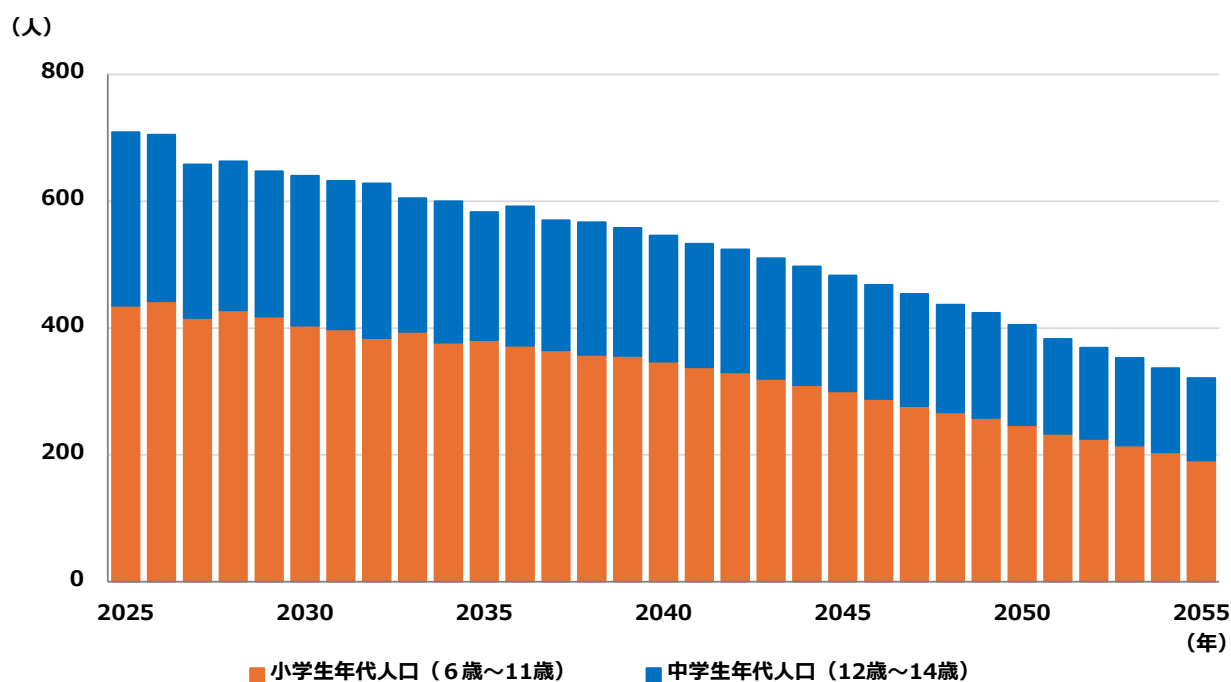
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	1,056 (13.5%)	961 (12.0%)	877 (10.8%)	808 (9.9%)	695 (8.5%)	555 (6.8%)	432 (5.4%)
15～64歳人口	4,781 (61.0%)	4,989 (62.5%)	5,178 (64.0%)	5,142 (63.0%)	5,120 (62.8%)	5,114 (63.0%)	5,104 (63.7%)
65歳以上人口	1,998 (25.5%)	2,034 (25.5%)	2,040 (25.2%)	2,217 (27.1%)	2,334 (28.6%)	2,448 (30.2%)	2,473 (30.9%)
計	7,835	7,984	8,095	8,167	8,149	8,117	8,009

(17) 一色中部小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、435人から191人へと、約56.1%（244人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、274人から130人へと、約52.6%（144人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代（6～11歳）	435	404	381	347	300	247	191
中学生年代（12～14歳）	274	236	202	199	183	158	130
計	709	640	583	546	483	405	321

(17) 一色中部小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

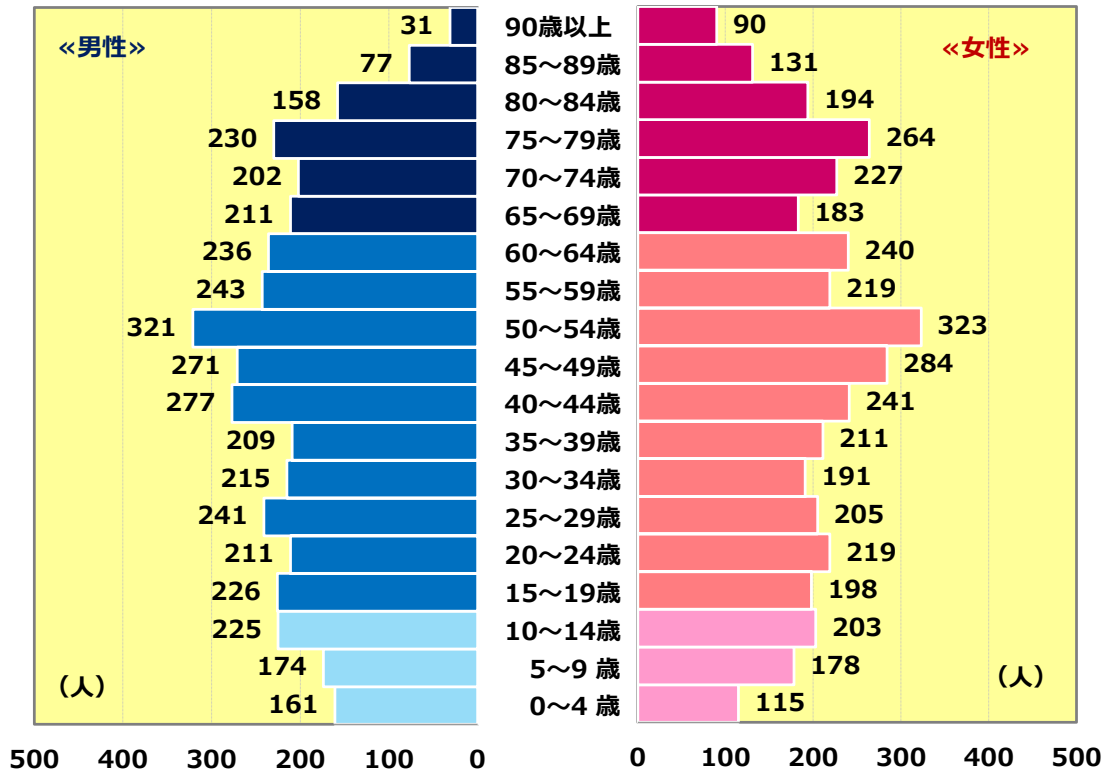


図 2035年

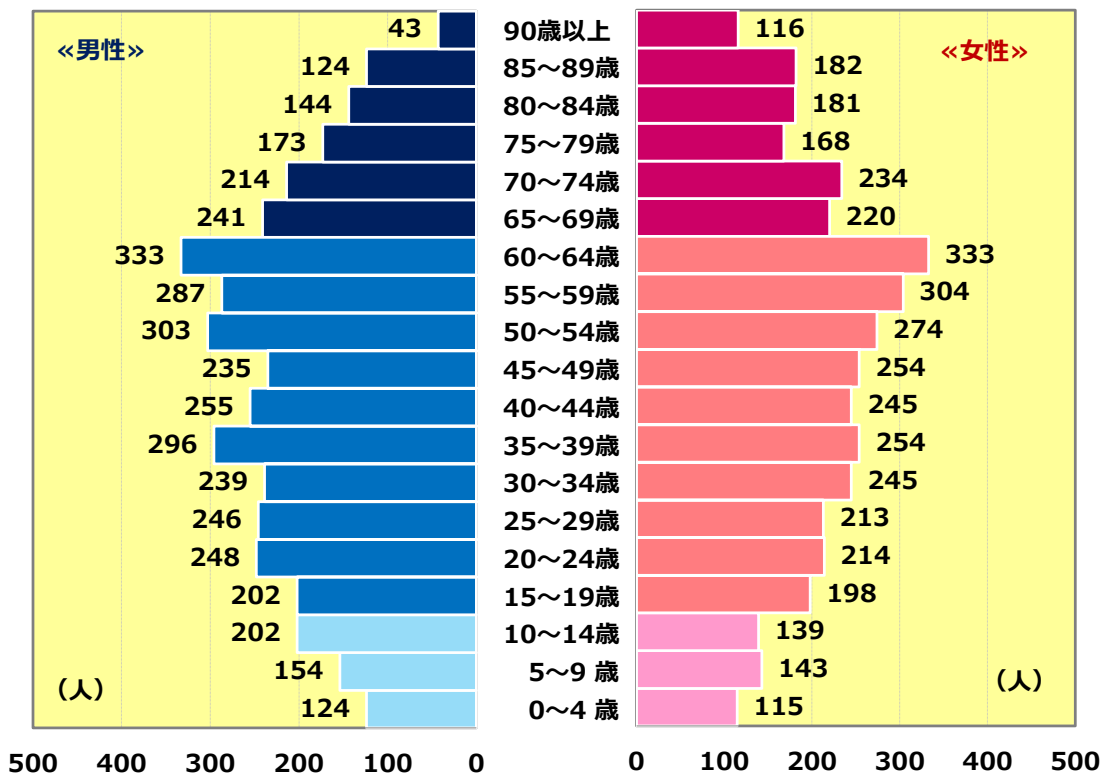


図 2045 年

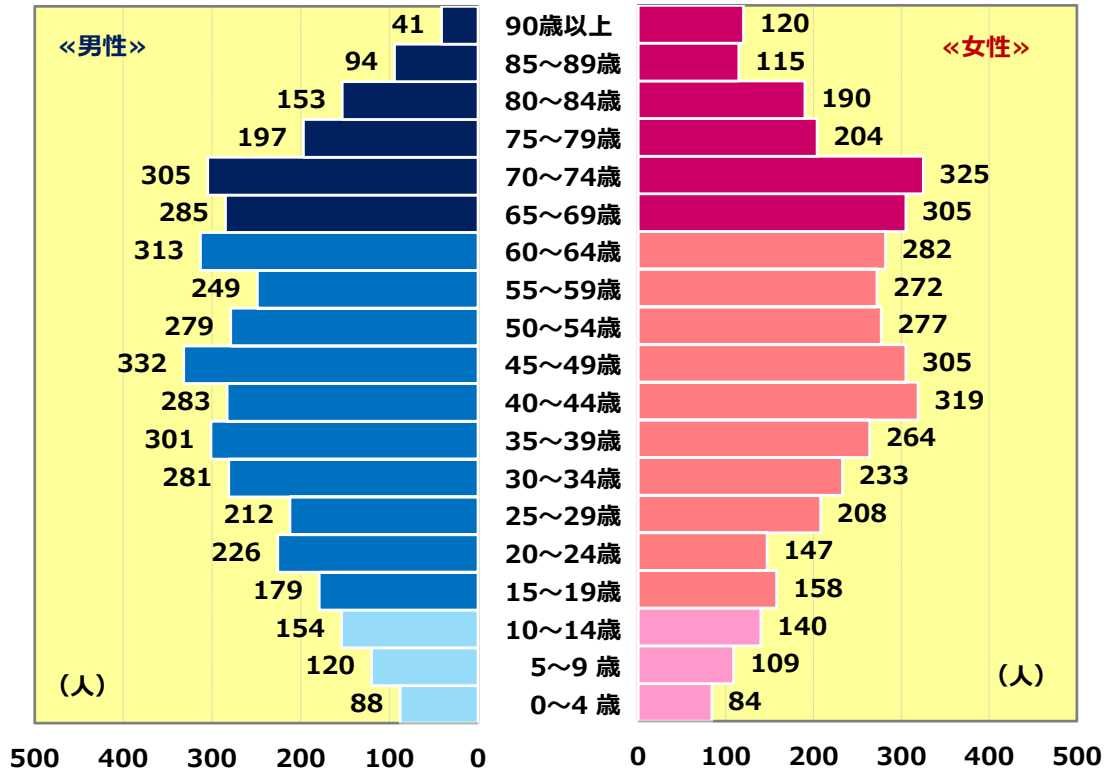
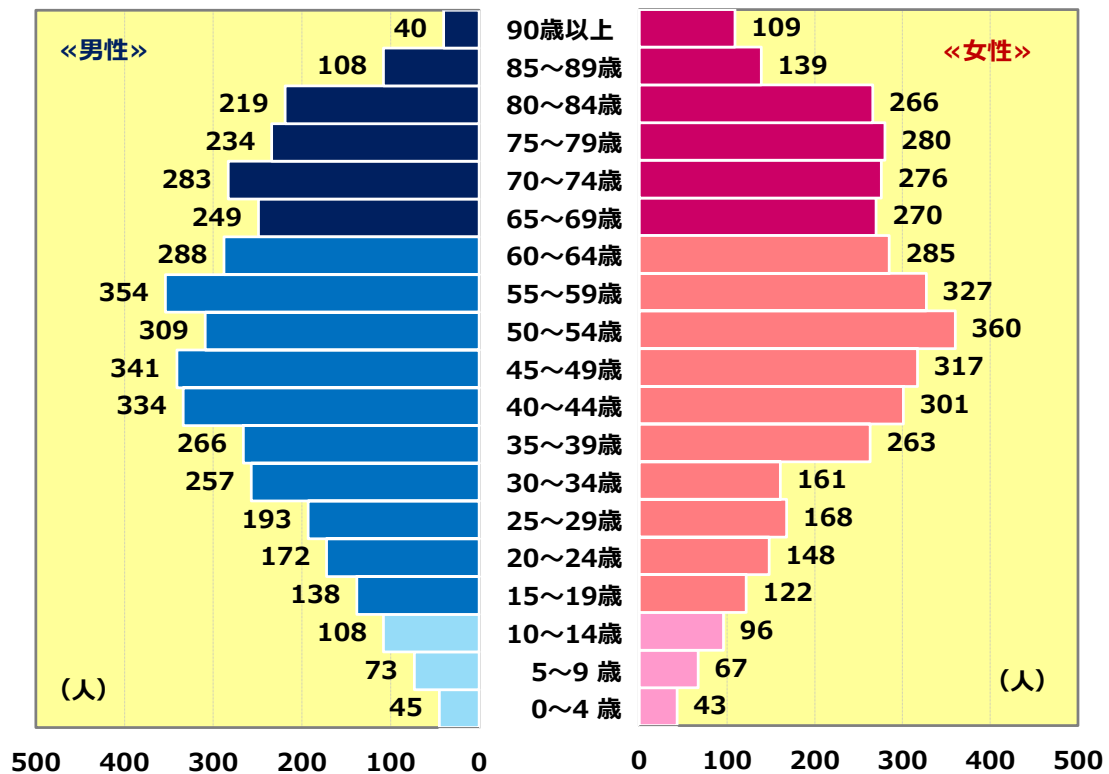


図 2055 年



(18) 一色東部小学校区

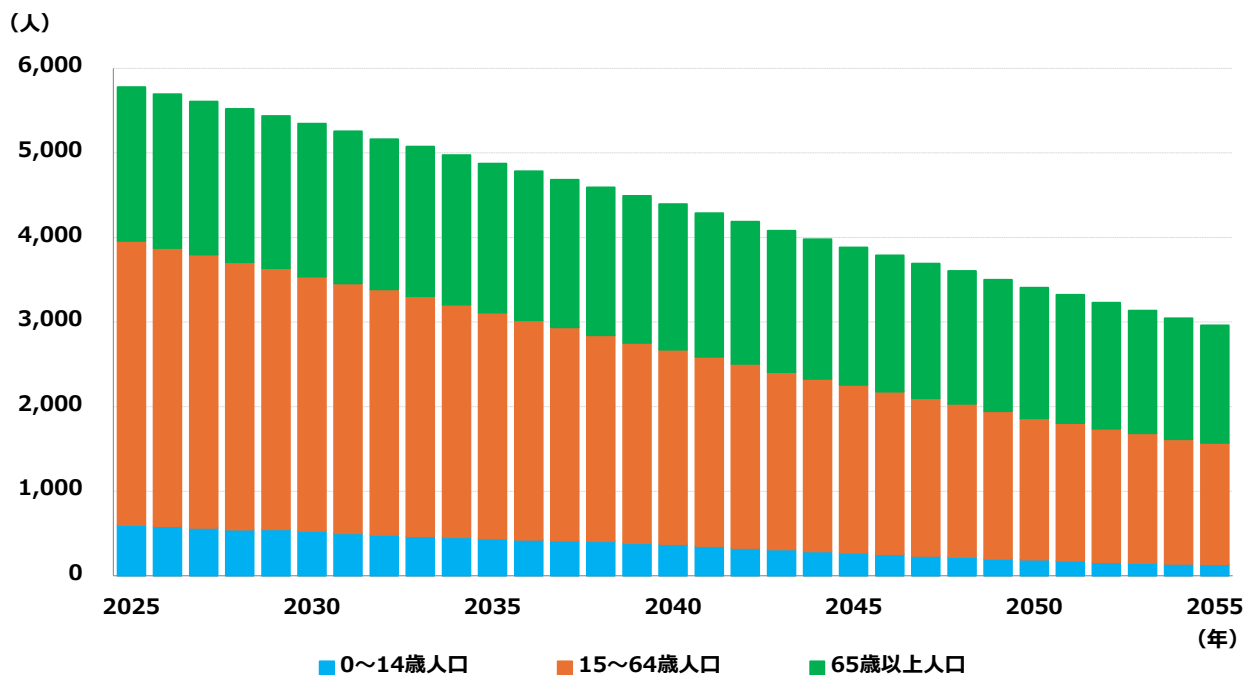
①年齢3区分別人口

一色東部小学校区の人口は2025年（令和7年）の5,777人から年々減少し、2055年には2,961人と、2,816人（48.7%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の600人（10.4%）から年々減少し、2055年（令和37年）には136人（4.6%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の3,358人（58.1%）から年々減少し、2055年（令和37年）には1,435人（48.5%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の1,819人（31.5%）から年々減少するものの、65歳以上人口比率は年々上昇し、2055年（令和37年）には1,390人（46.9%）になると推計されます。



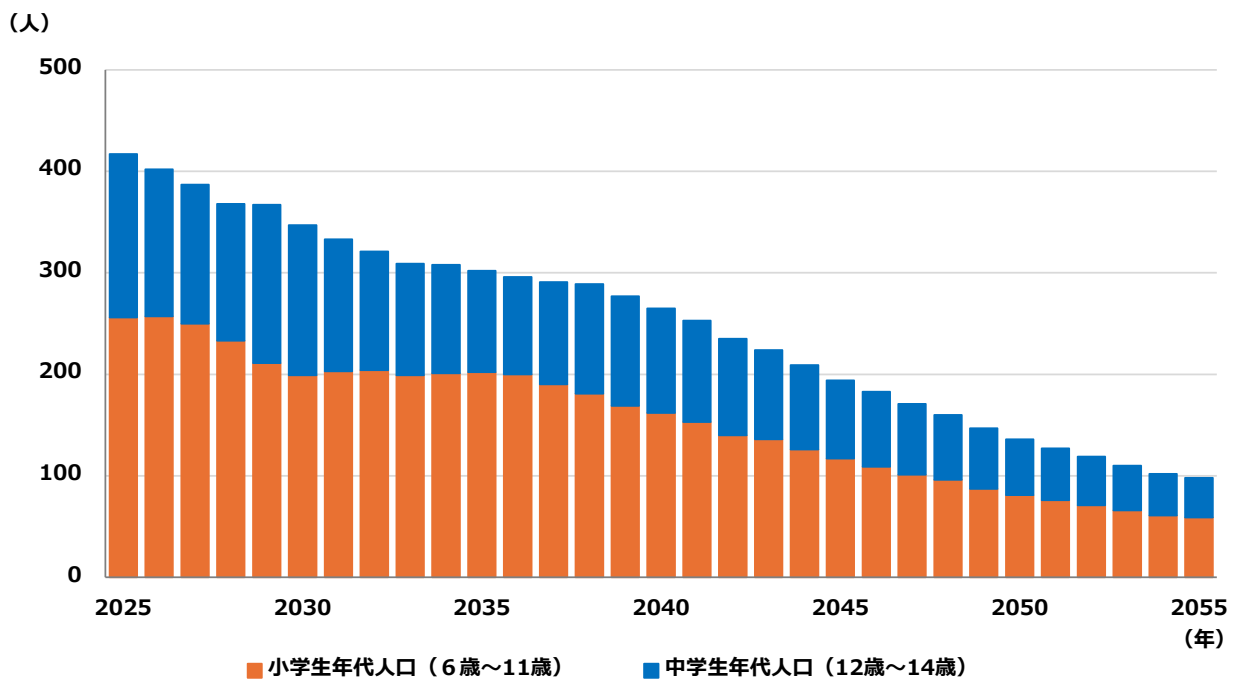
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	600 (10.4%)	529 (9.9%)	439 (9.0%)	374 (8.5%)	273 (7.0%)	192 (5.6%)	136 (4.6%)
15～64歳人口	3,358 (58.1%)	3,008 (56.3%)	2,674 (54.9%)	2,299 (52.3%)	1,985 (51.1%)	1,670 (49.0%)	1,435 (48.5%)
65歳以上人口	1,819 (31.5%)	1,810 (33.9%)	1,760 (36.1%)	1,722 (39.2%)	1,623 (41.8%)	1,546 (45.4%)	1,390 (46.9%)
計	5,777	5,347	4,873	4,395	3,881	3,408	2,961

(18) 一色東部小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、256人から59人へと、約77.0%（197人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、161人から39人へと、約75.8%（122人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代（6～11歳）	256	199	202	162	117	81	59
中学生年代（12～14歳）	161	148	100	103	77	55	39
計	417	347	302	265	194	136	98

(18) 一色東部小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

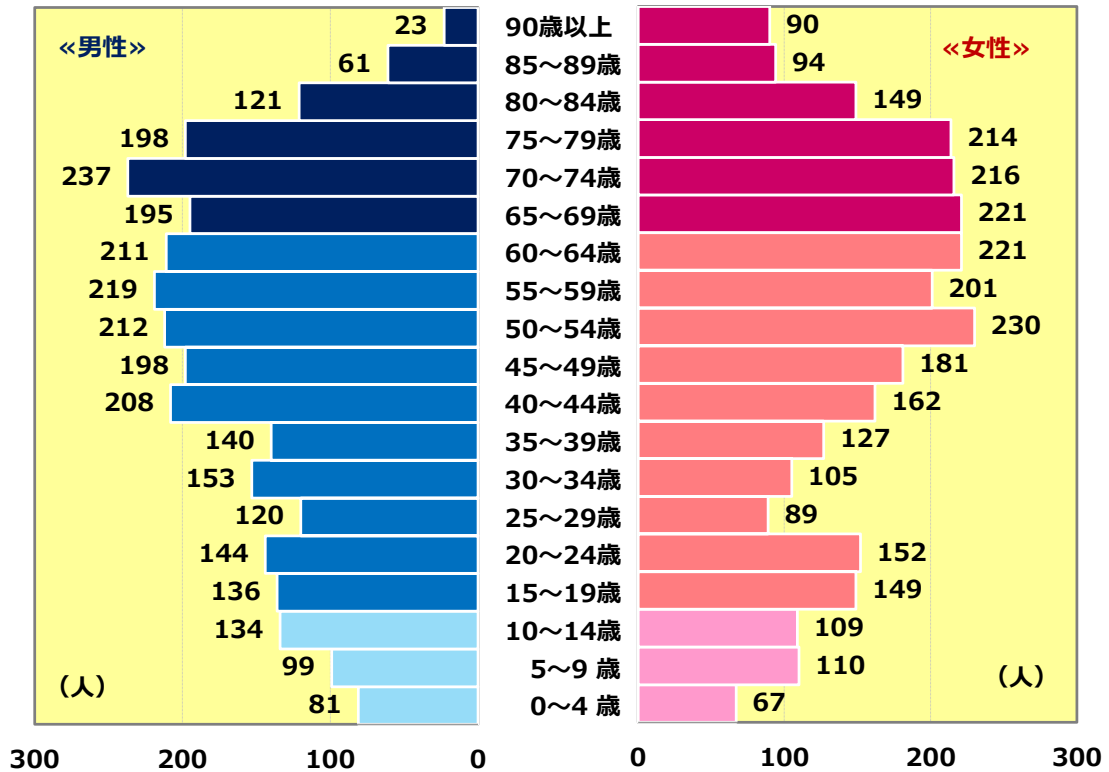


図 2035年

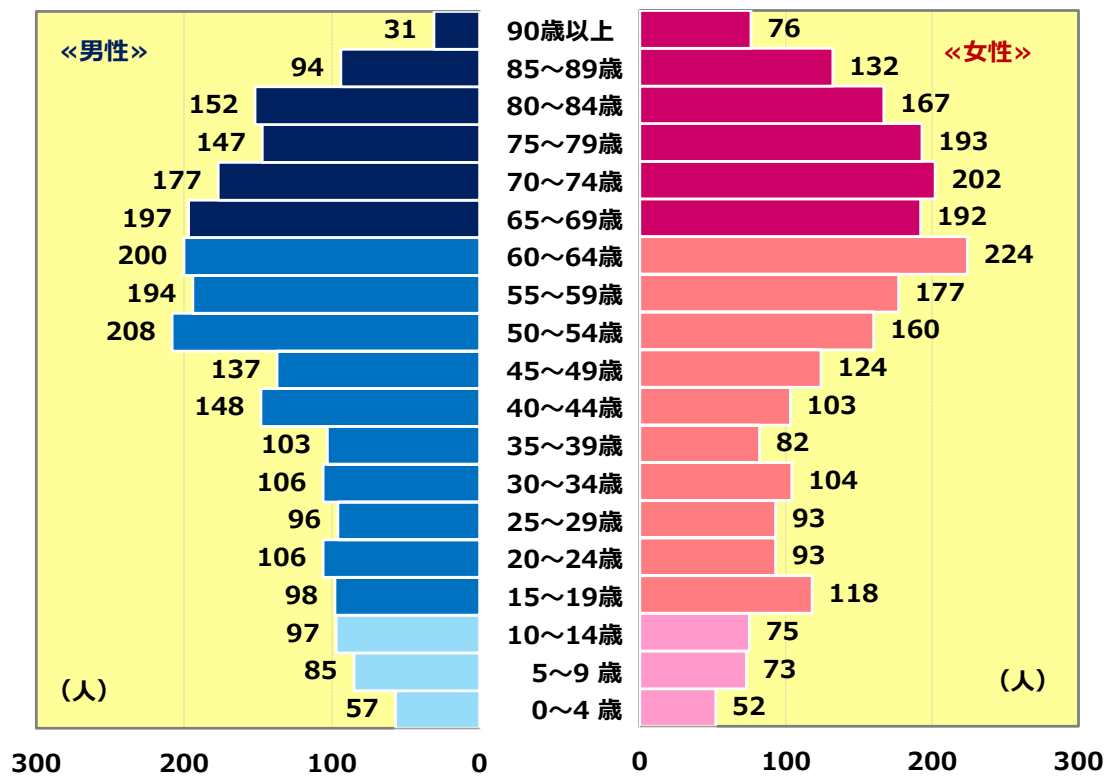


図 2045 年

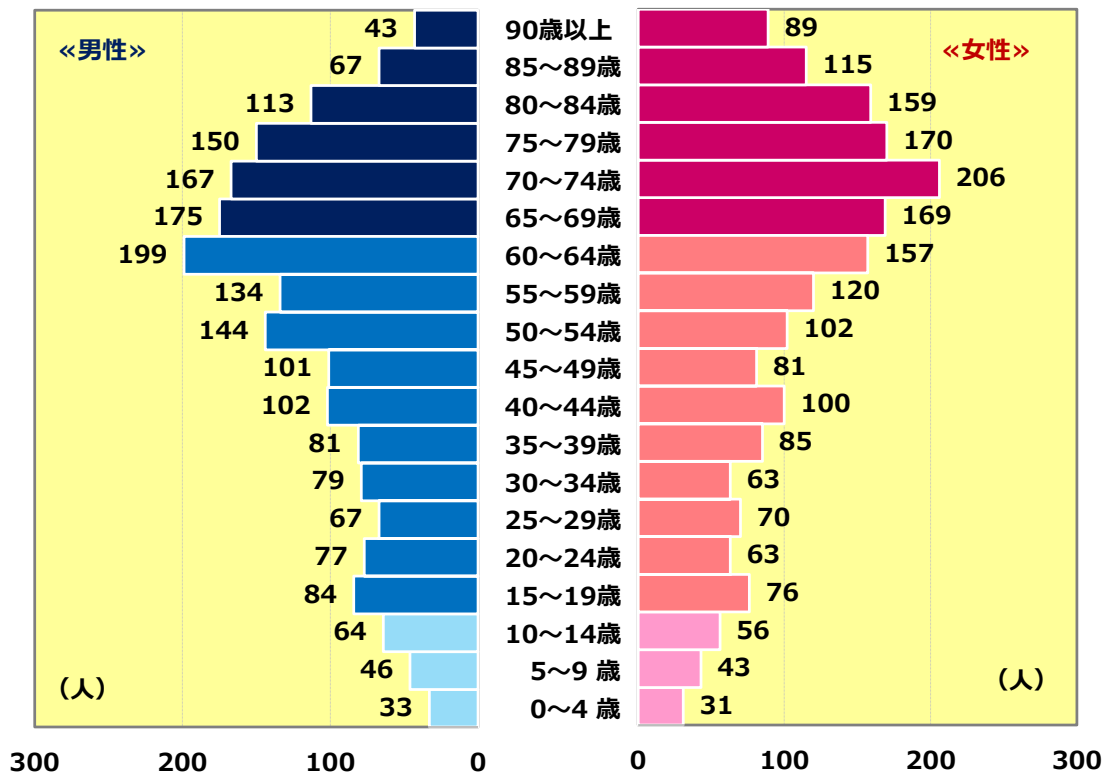
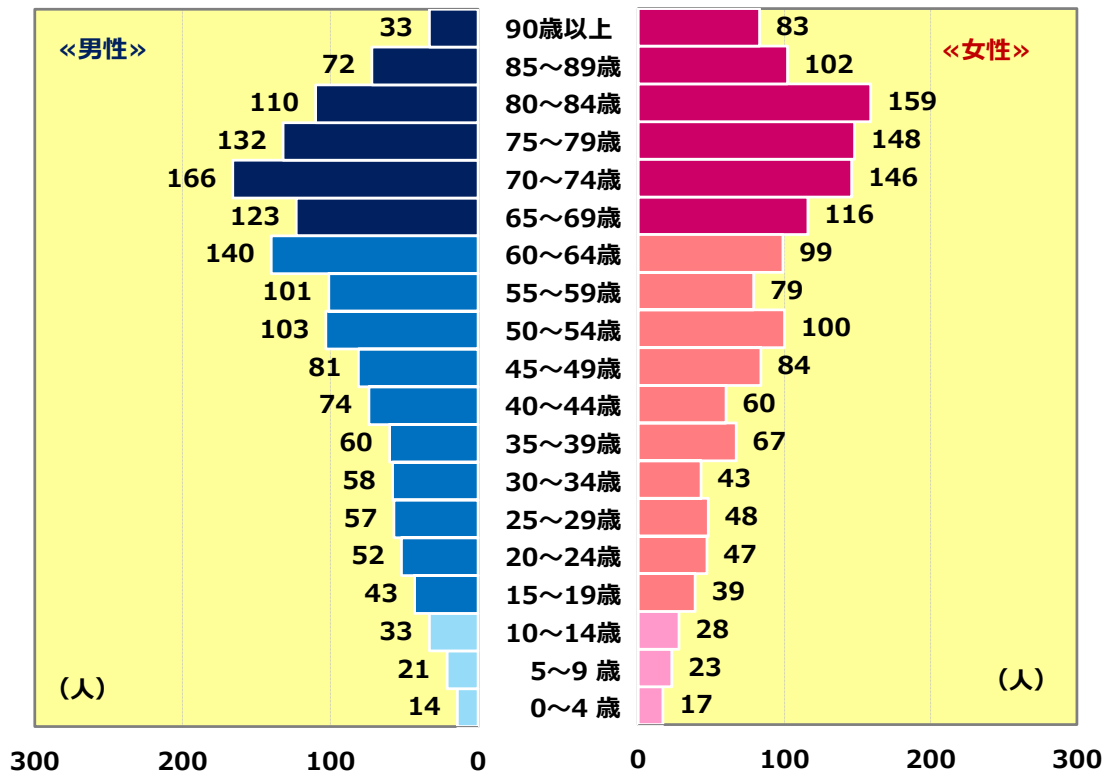


図 2055 年



(19) 佐久島

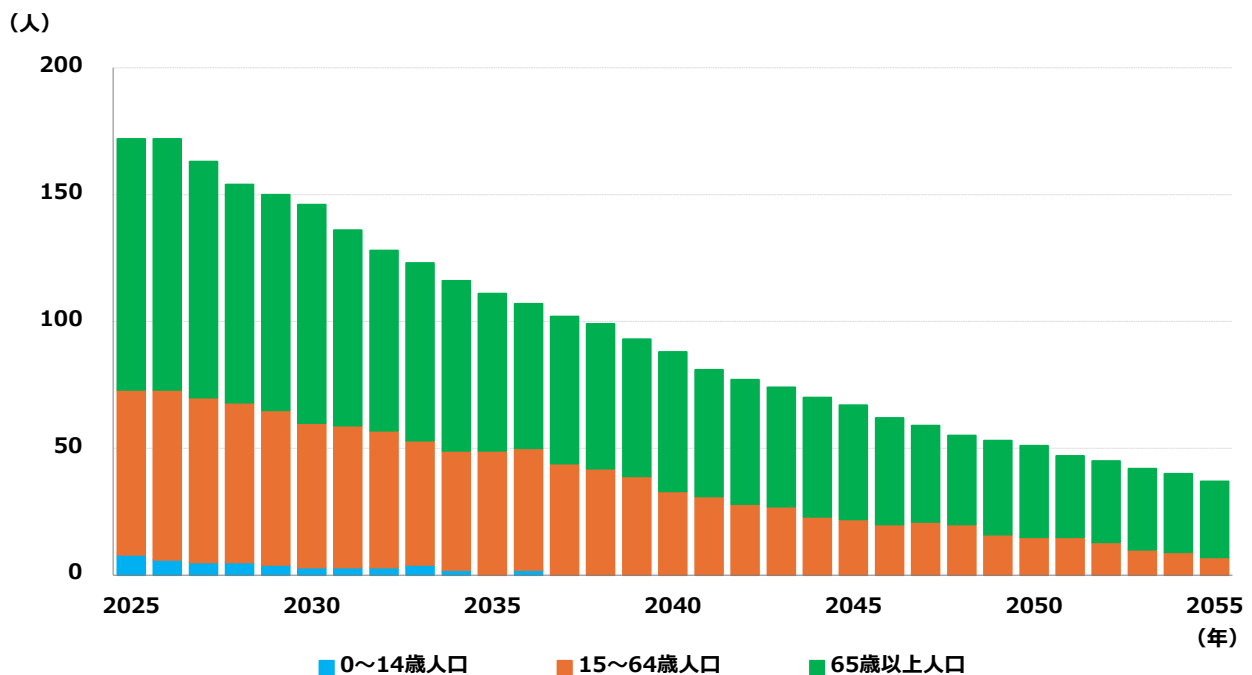
①年齢3区分別人口

佐久島の人口は2025年（令和7年）の172人から年々減少し、2055年（令和37年）には37人と、135人（78.5%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の8人（4.7%）から減少し、2035年（令和17年）以降は0人になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の65人（37.8%）から年々減少し、2055年（令和37年）には7人（18.9%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の99人（57.6%）から年々減少するものの、65歳以上人口比率は年々上昇し、2055年（令和37年）には30人（81.1%）になると推計されます。



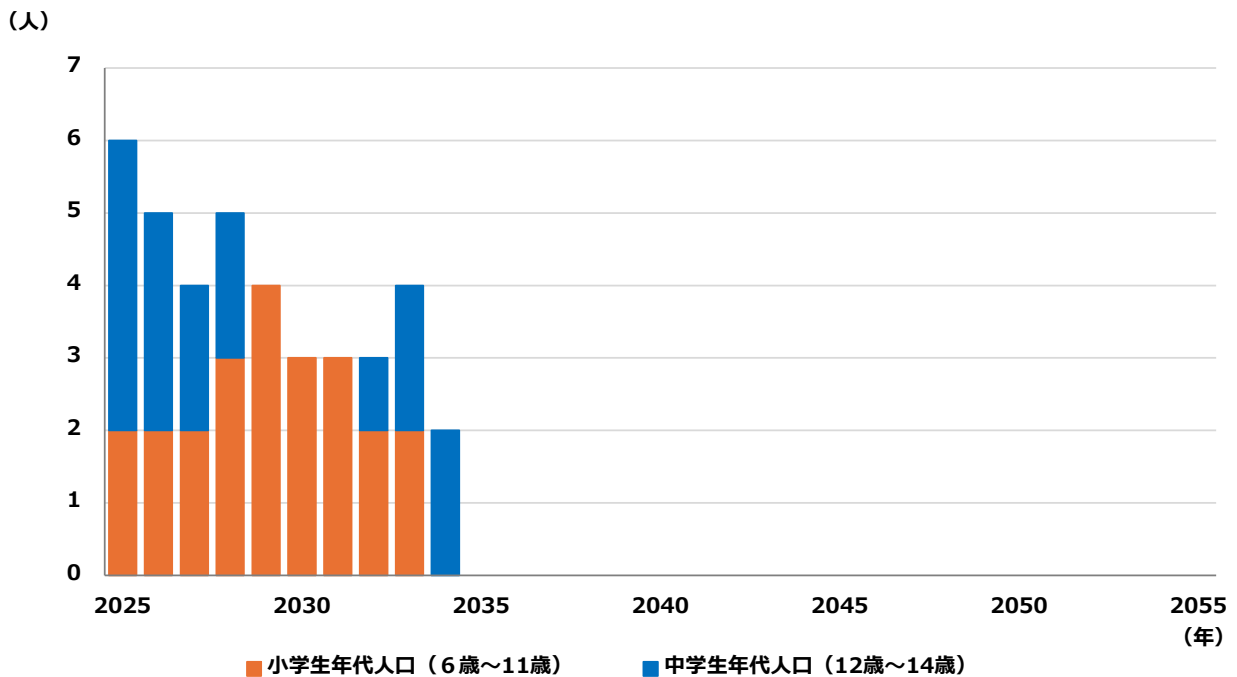
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	8 (4.7%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
15～64歳人口	65 (37.8%)	57 (39.0%)	49 (44.1%)	33 (37.5%)	22 (32.8%)	15 (29.4%)	7 (18.9%)
65歳以上人口	99 (57.6%)	86 (58.9%)	62 (55.9%)	55 (62.5%)	45 (67.2%)	36 (70.6%)	30 (81.1%)
計	172	146	111	88	67	51	37

(19) 佐久島

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、2人から0人になると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、4人から0人になると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代 (6~11歳)	2	3	0	0	0	0	0
中学生年代 (12~14歳)	4	0	0	0	0	0	0
計	6	3	0	0	0	0	0

(19) 佐久島

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

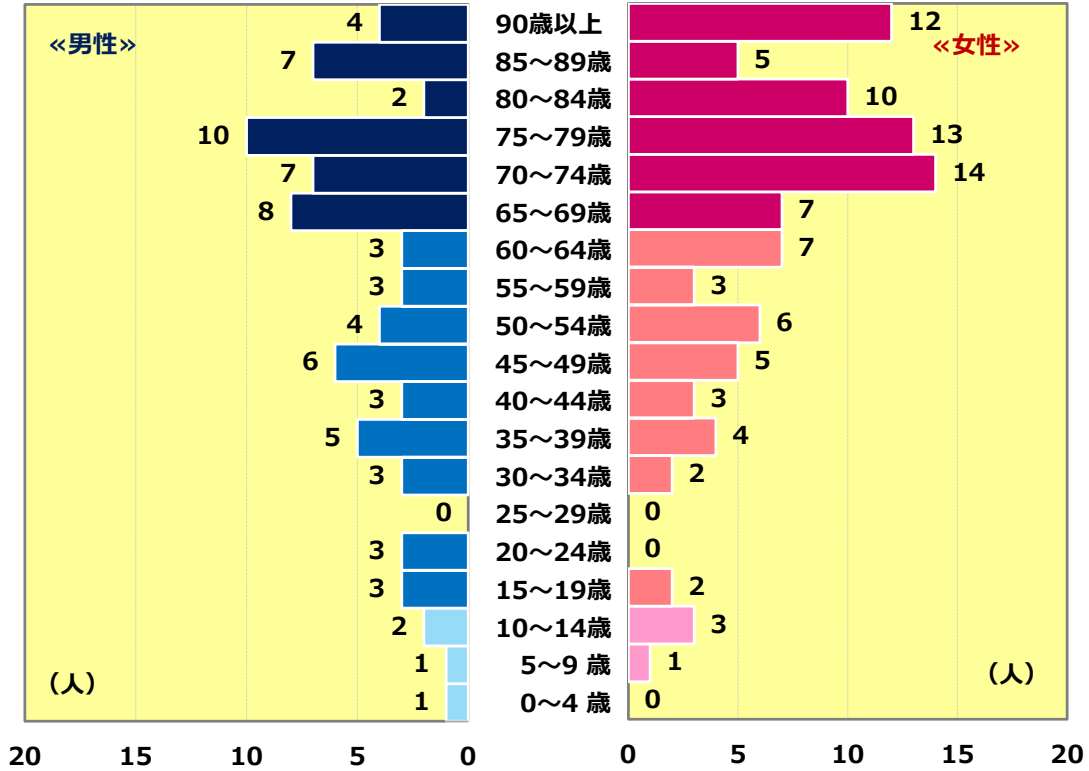


図 2035年

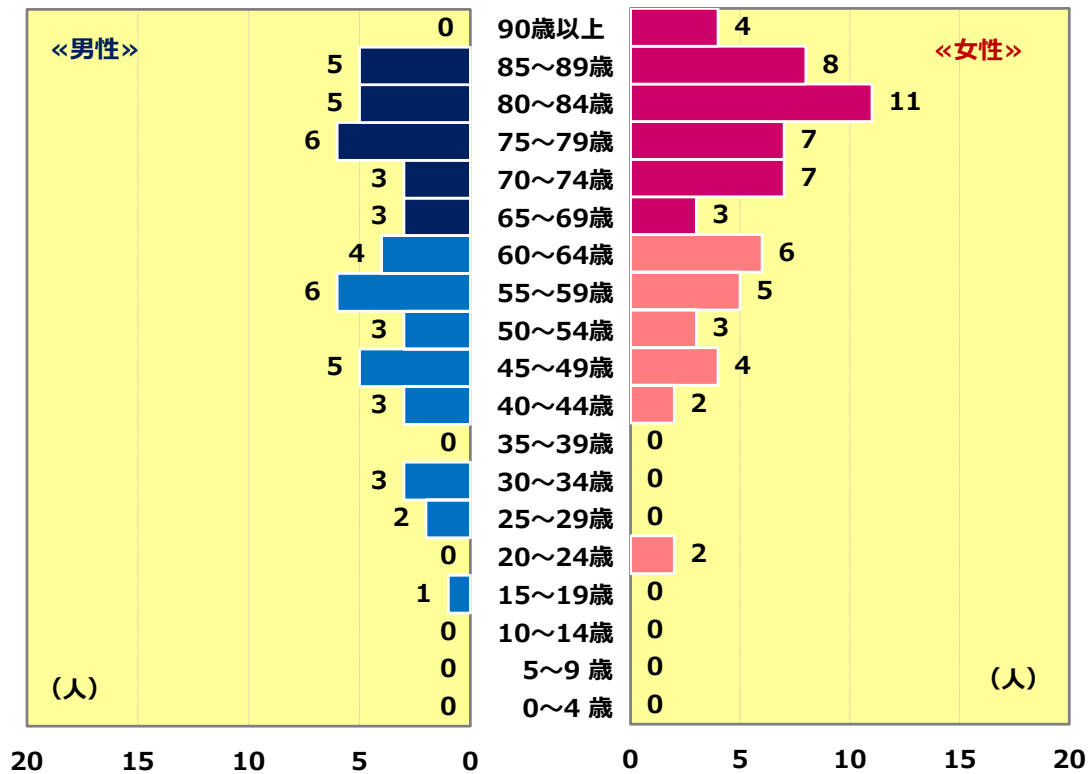


図 2045 年

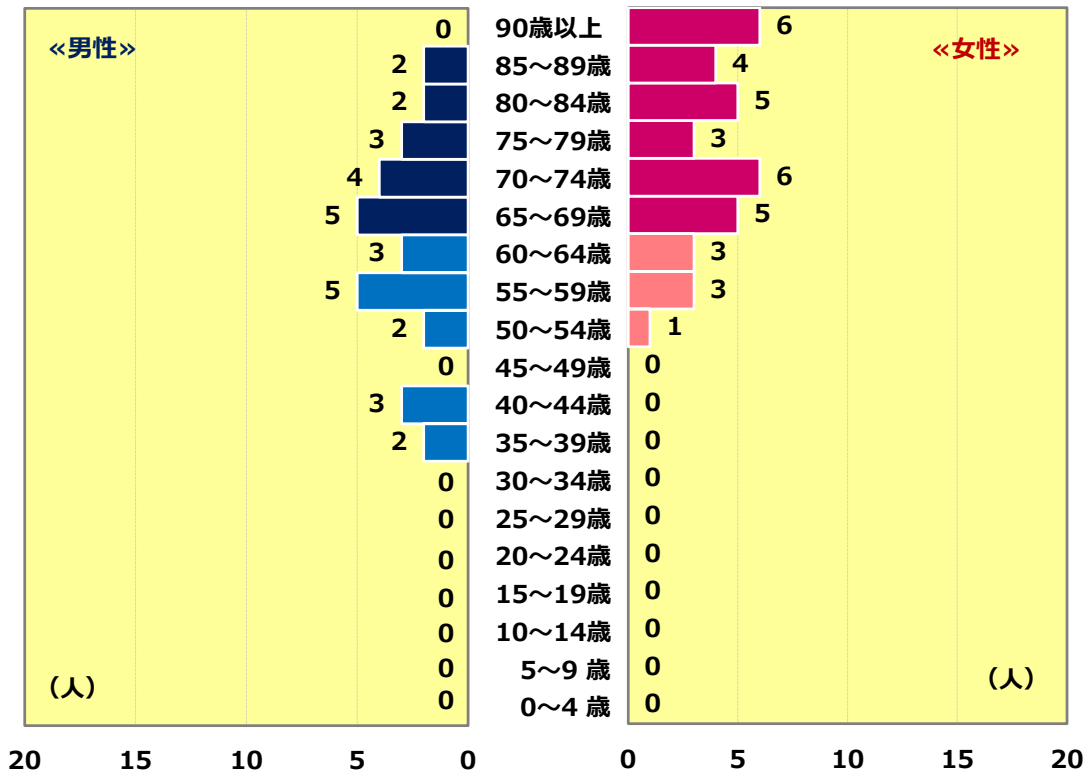
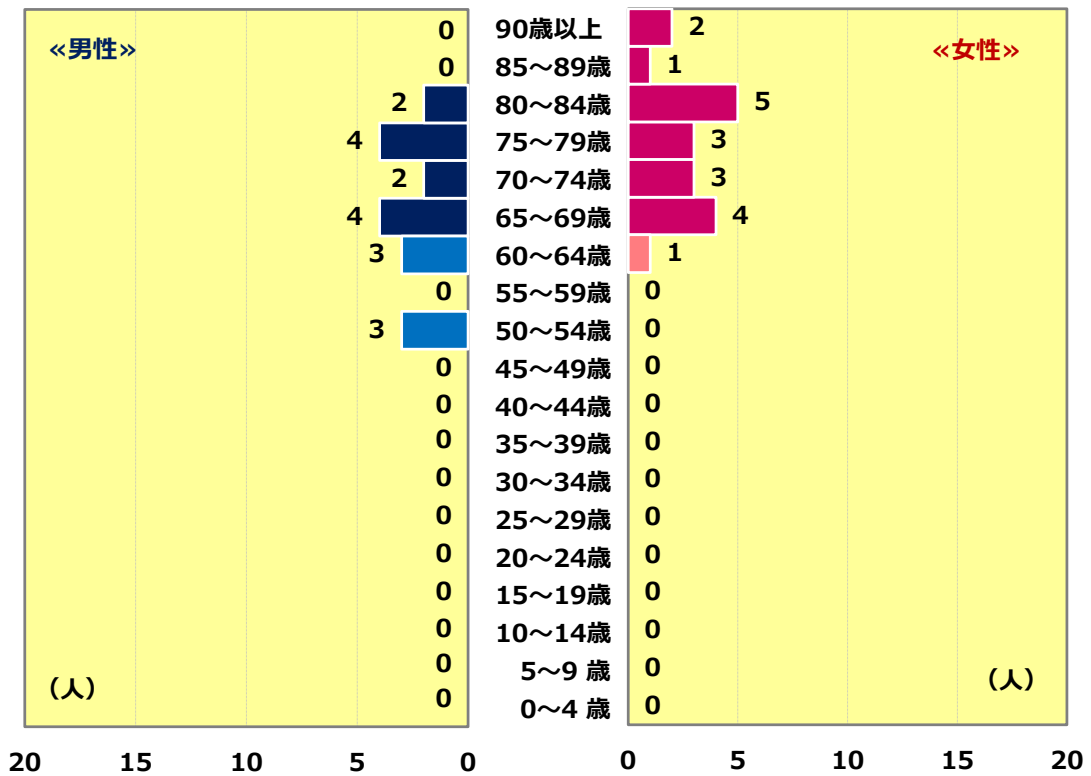


図 2055 年



(20) 吉田小学校区

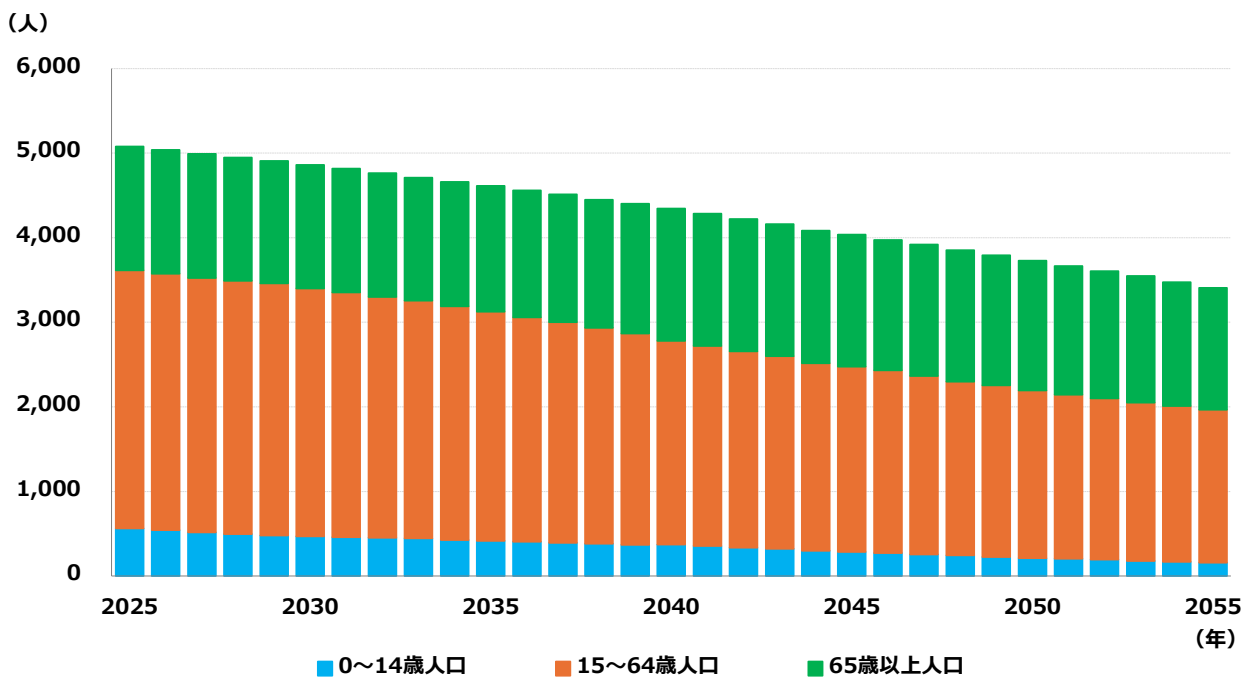
①年齢3区分別人口

吉田小学校区の人口は2025年（令和7年）の5,078人から年々減少し、2055年（令和37年）には3,406人と、1,672人（32.9%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の563人（11.1%）から年々減少し、2055年（令和37年）には157人（4.6%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の3,050人（60.1%）から年々減少し、2055年（令和37年）には1,811人（53.2%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の1,465人（28.8%）から増減を繰り返すものの、65歳以上人口比率は年々上昇し、2055年（令和37年）には1,438人（42.2%）になると推計されます。



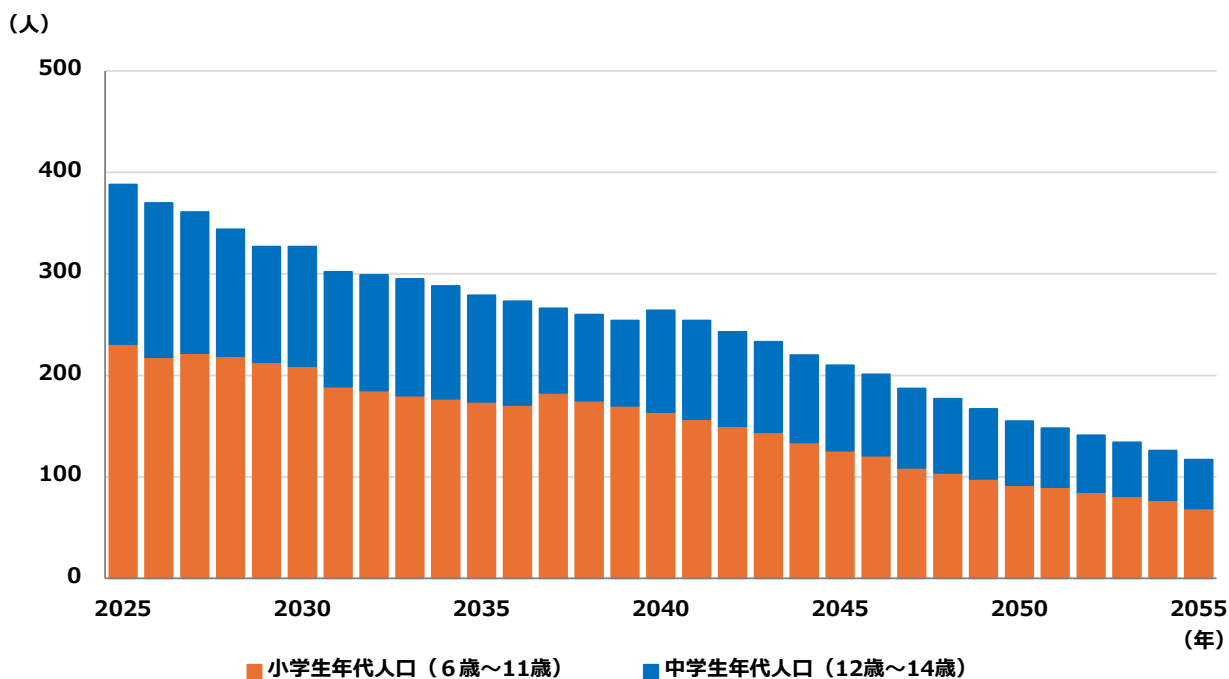
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	563 (11.1%)	470 (9.7%)	414 (9.0%)	372 (8.6%)	284 (7.0%)	212 (5.7%)	157 (4.6%)
15～64歳人口	3,050 (60.1%)	2,929 (60.2%)	2,711 (58.8%)	2,409 (55.5%)	2,192 (54.3%)	1,982 (53.2%)	1,811 (53.2%)
65歳以上人口	1,465 (28.8%)	1,463 (30.1%)	1,487 (32.2%)	1,563 (36.0%)	1,561 (38.7%)	1,534 (41.1%)	1,438 (42.2%)
計	5,078	4,862	4,612	4,344	4,037	3,728	3,406

(20) 吉田小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、231人から69人へと、約70.1%（162人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、157人から48人へと、約69.4%（109人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代（6～11歳）	231	209	174	164	126	92	69
中学生年代（12～14歳）	157	118	105	100	84	63	48
計	388	327	279	264	210	155	117

(20) 吉田小学校区

③ 5歳階級別（2025年→2055年）

図 2025年

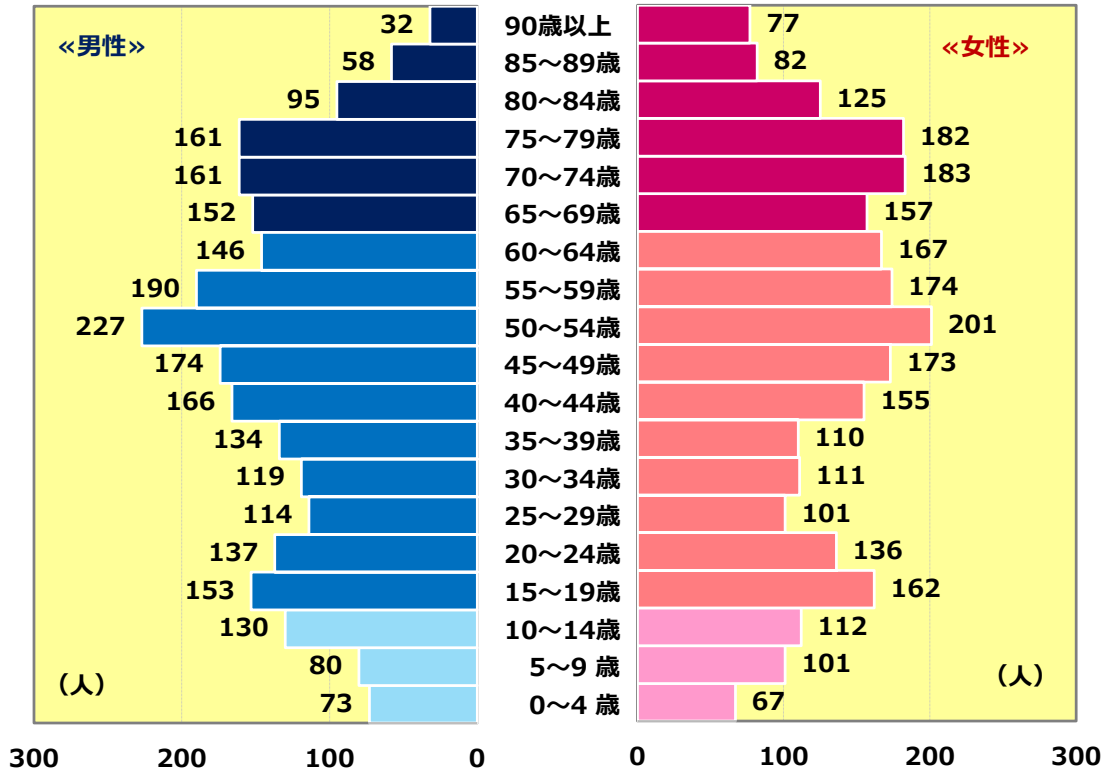


図 2035年

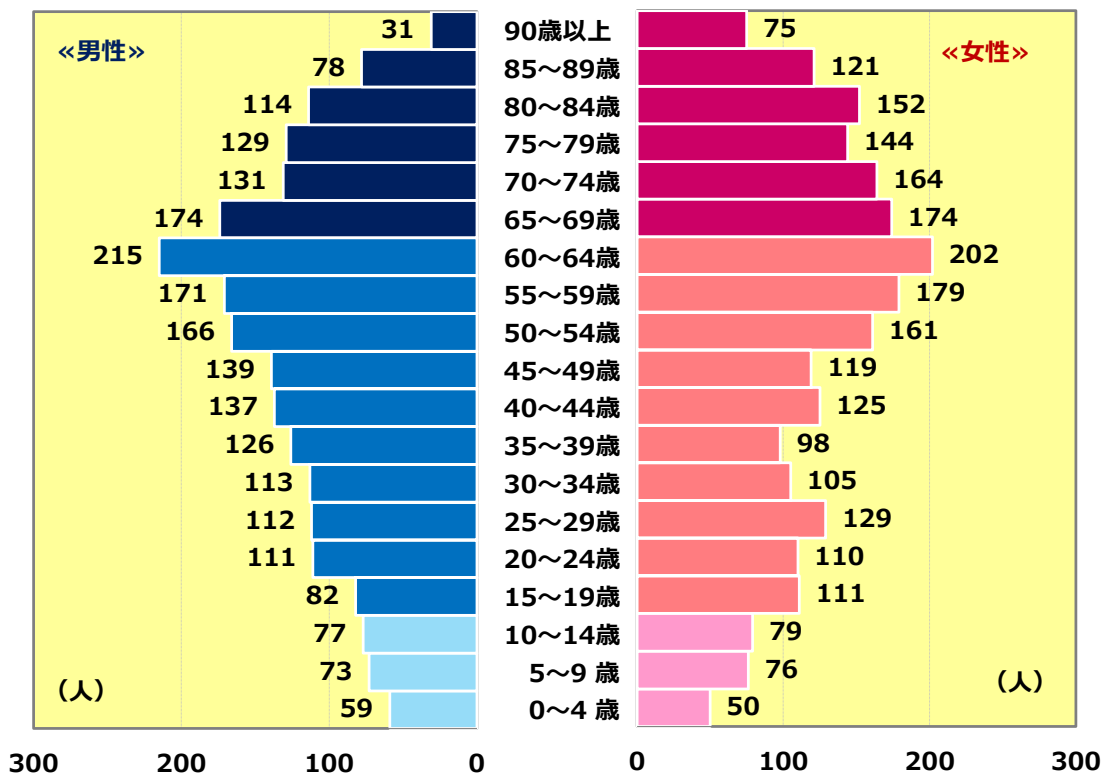


図 2045 年

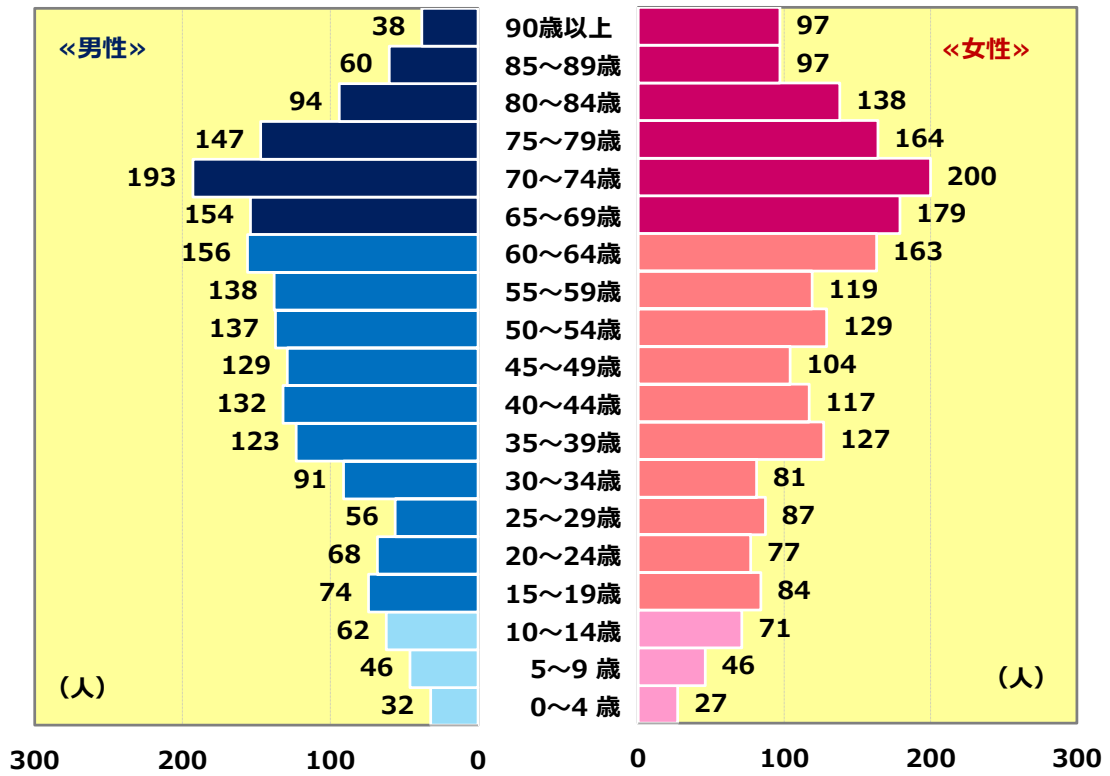
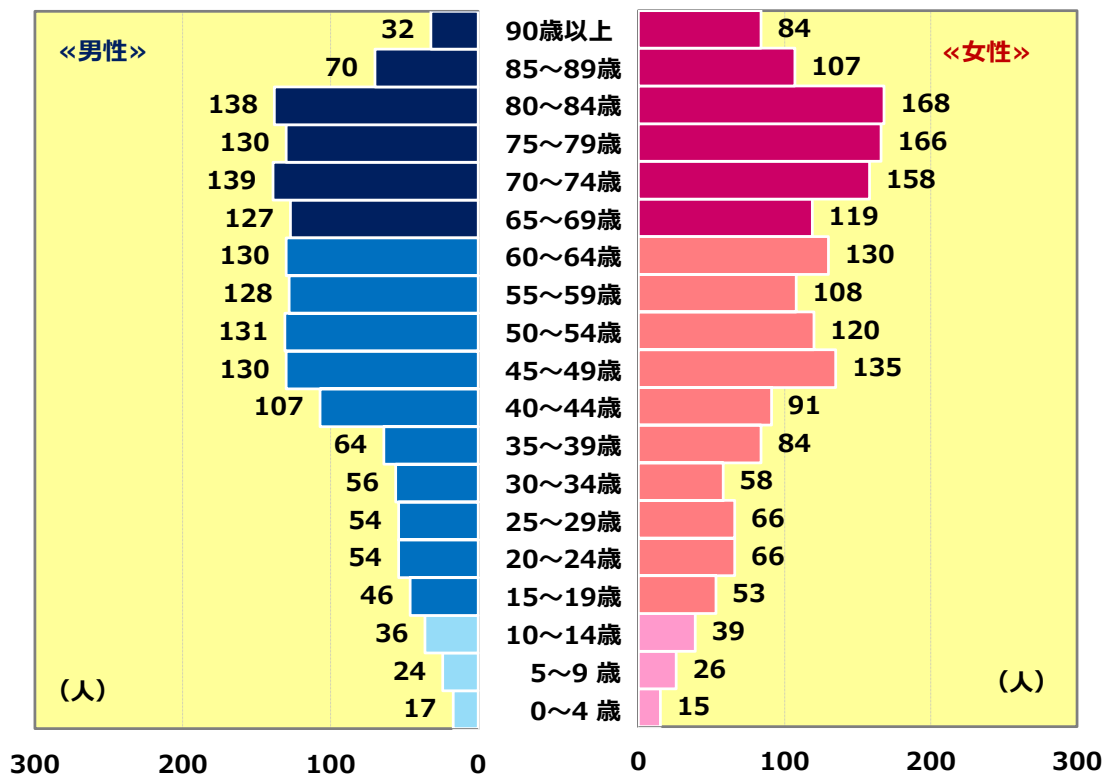


図 2055 年



(21) 白浜小学校区

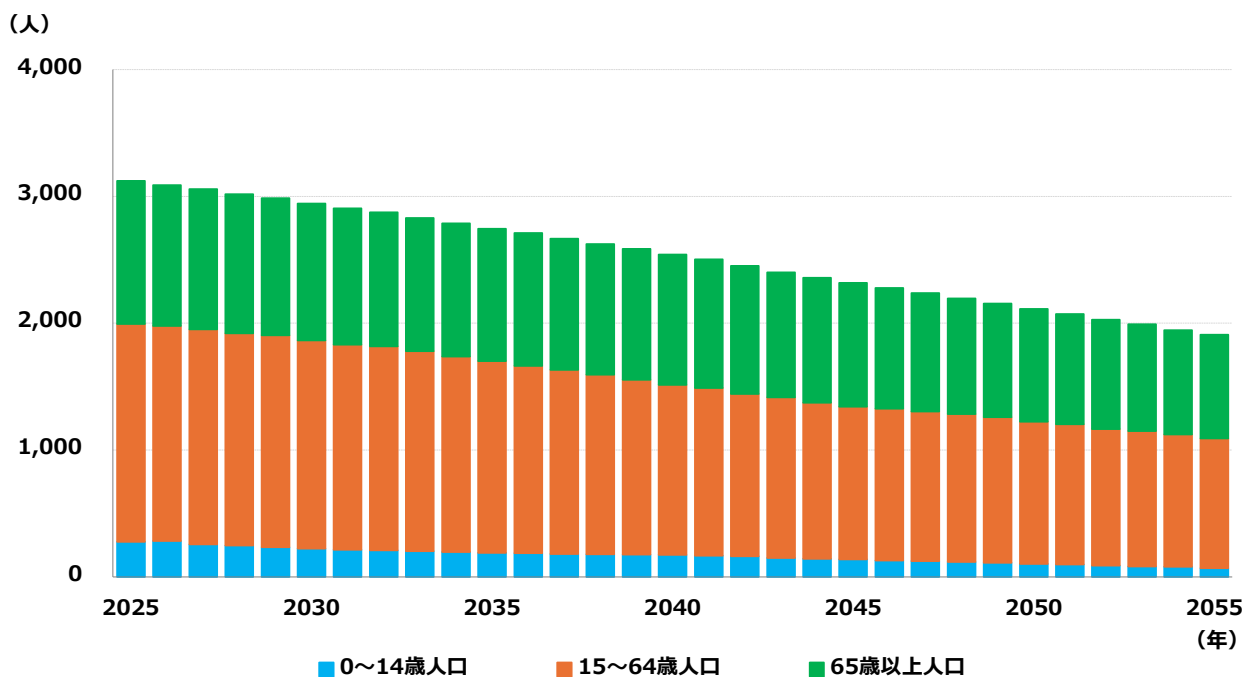
①年齢3区分別人口

白浜小学校区の人口は2025年（令和7年）の3,121人から年々減少し、2055年（令和37年）には1,910人と、1,211人（38.8%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の277人（8.9%）から年々減少し、2055年（令和37年）には69人（3.6%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の1,718人（55.0%）から年々減少し、2055年（令和37年）には1,023人（53.6%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の1,126人（36.1%）から年々減少するものの、65歳以上人口比率は年々上昇し、2055年（令和37年）には818人（42.8%）になると推計されます。



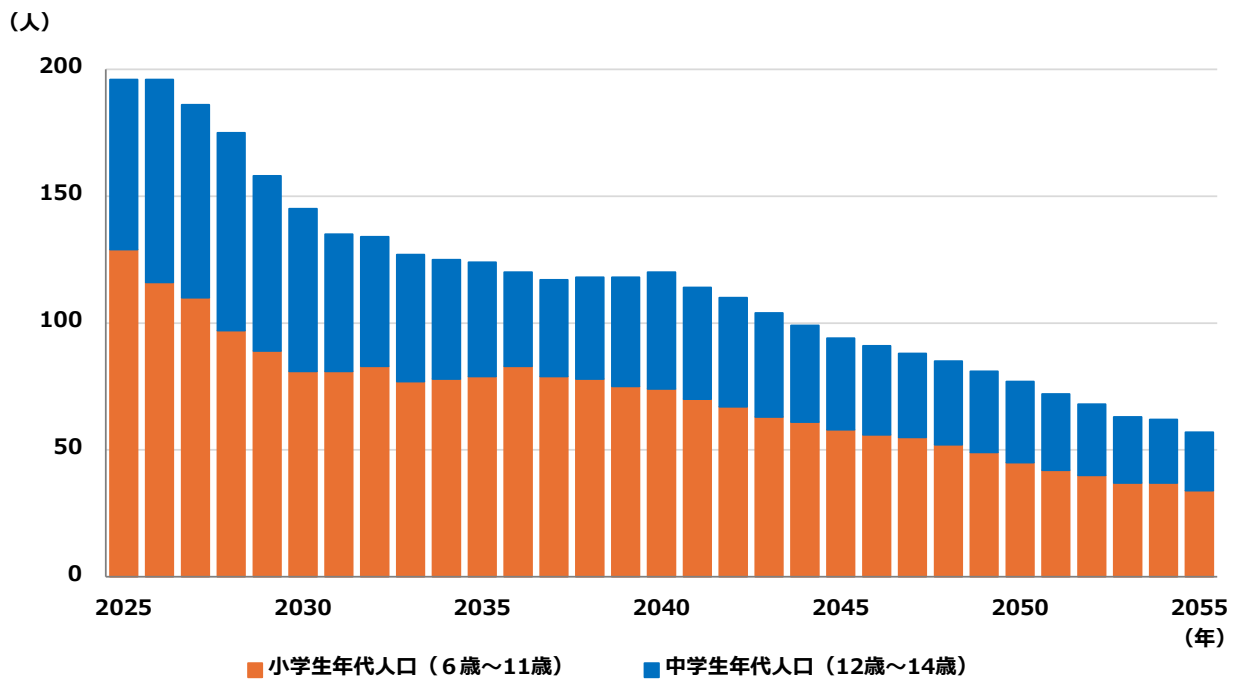
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	277 (8.9%)	224 (7.6%)	191 (7.0%)	175 (6.9%)	138 (6.0%)	103 (4.9%)	69 (3.6%)
15～64歳人口	1,718 (55.0%)	1,641 (55.8%)	1,510 (55.0%)	1,339 (52.7%)	1,205 (52.0%)	1,121 (53.1%)	1,023 (53.6%)
65歳以上人口	1,126 (36.1%)	1,078 (36.6%)	1,043 (38.0%)	1,028 (40.4%)	976 (42.1%)	888 (42.0%)	818 (42.8%)
計	3,121	2,943	2,744	2,542	2,319	2,112	1,910

(21) 白浜小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、129人から34人へと、約73.6%（95人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、67人から23人へと、約65.7%（44人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代 (6~11歳)	129	81	79	74	58	45	34
中学生年代 (12~14歳)	67	64	45	46	36	32	23
計	196	145	124	120	94	77	57

(21) 白浜小学校区

③ 5歳階級別（2025年→2055年）

図 2025年

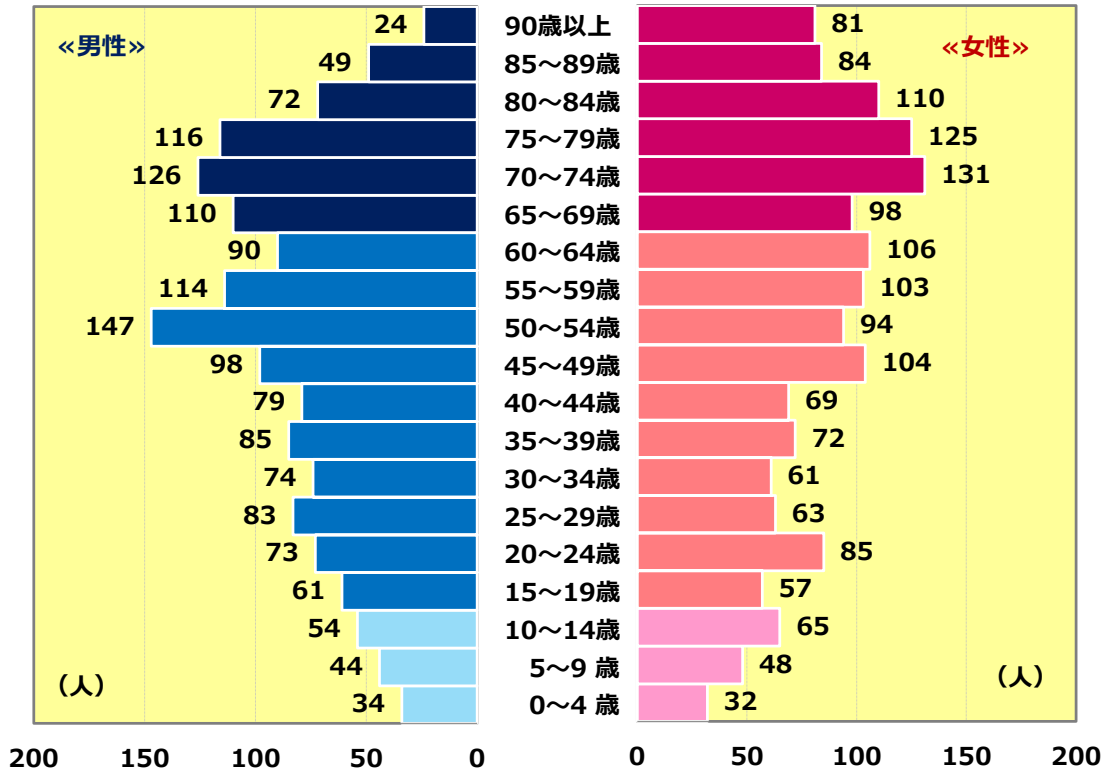


図 2035年

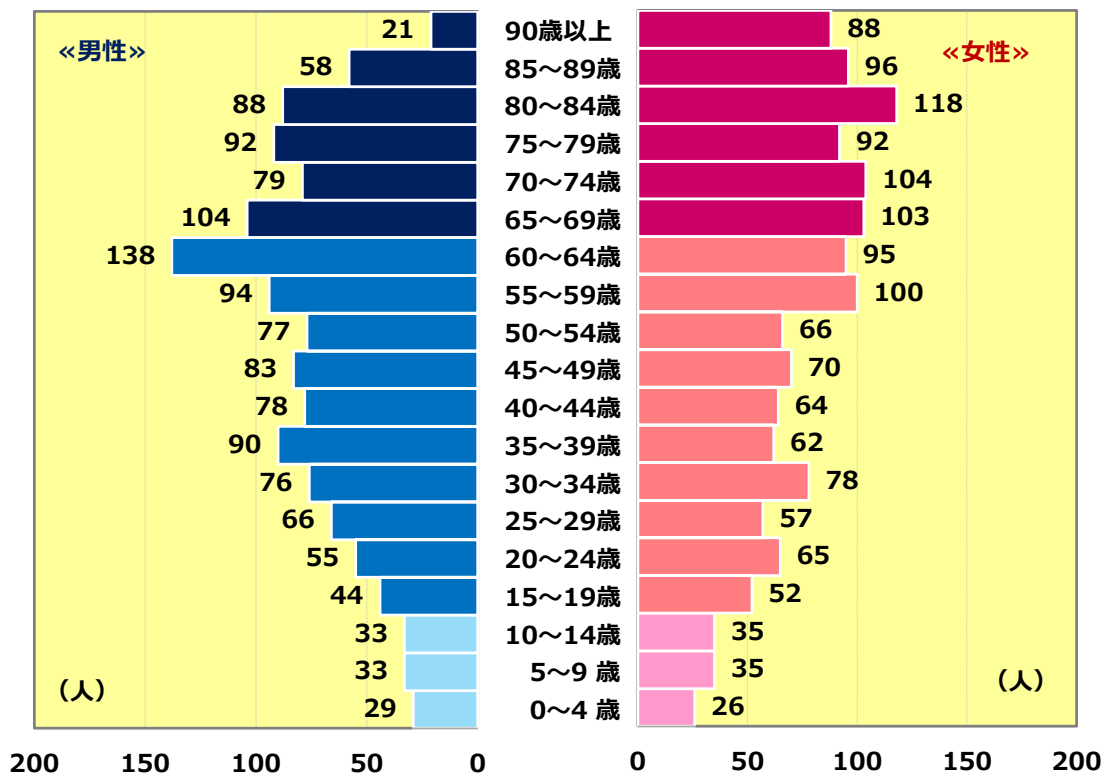


図 2045 年

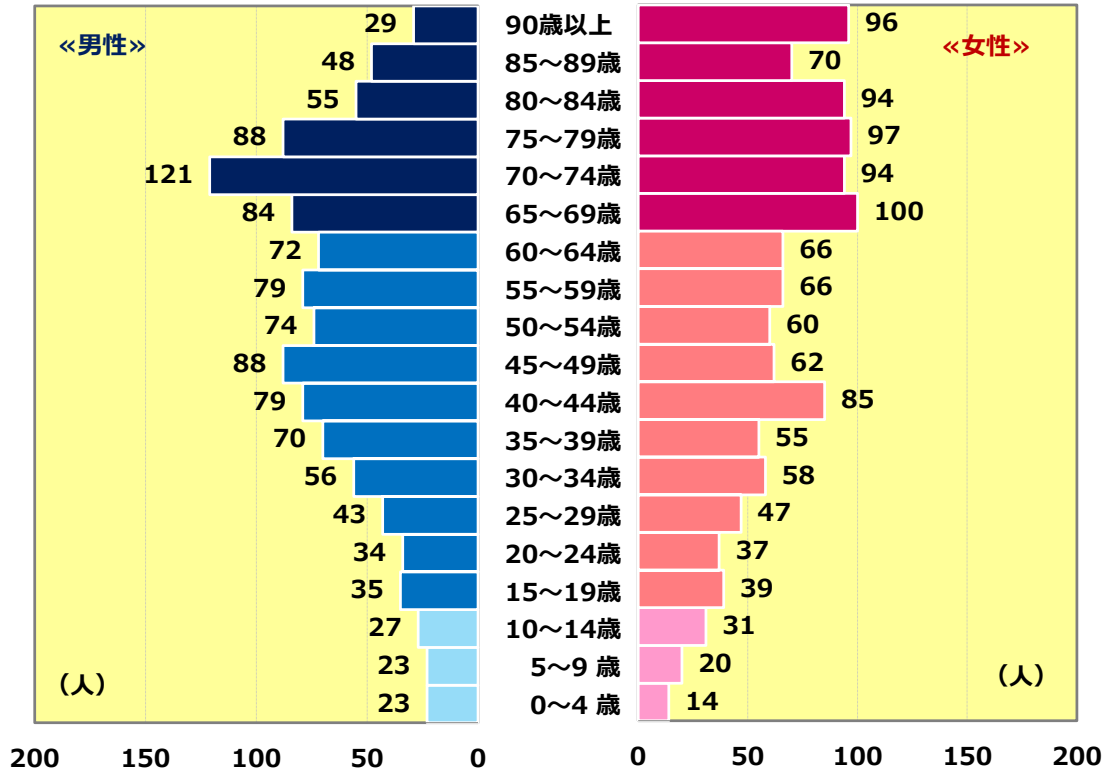
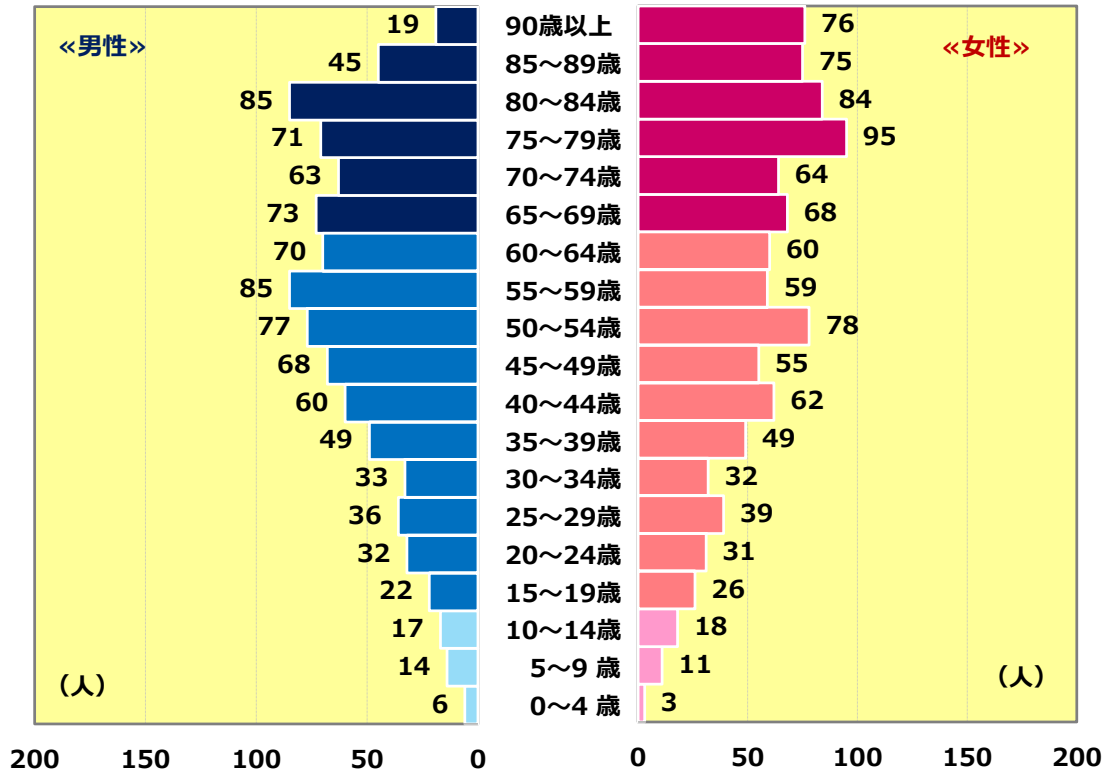


図 2055 年



(22) 荻原小学校区

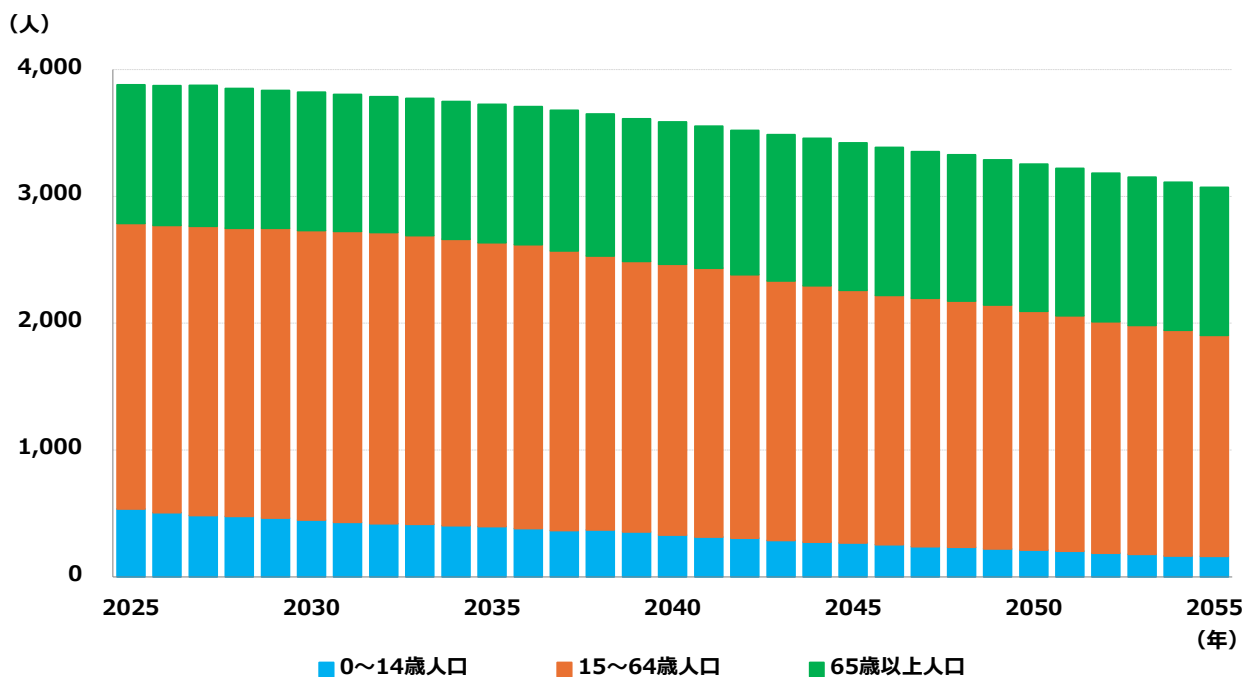
①年齢3区分別人口

荻原小学校区の人口は2025年（令和7年）の3,880人から年々減少し、2055年（令和37年）には3,071人と、809人（20.9%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の536人（13.8%）から年々減少し、2055年（令和37年）には164人（5.3%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の2,250人（58.0%）から増加するものの、2030年（令和12年）以降は減少に転じ、2055年（令和37年）には1,742人（56.7%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の1,094人（28.2%）から増減を繰り返すものの、65歳以上人口比率は年々上昇し、2055年（令和37年）には1,165人（37.9%）になると推計されます。



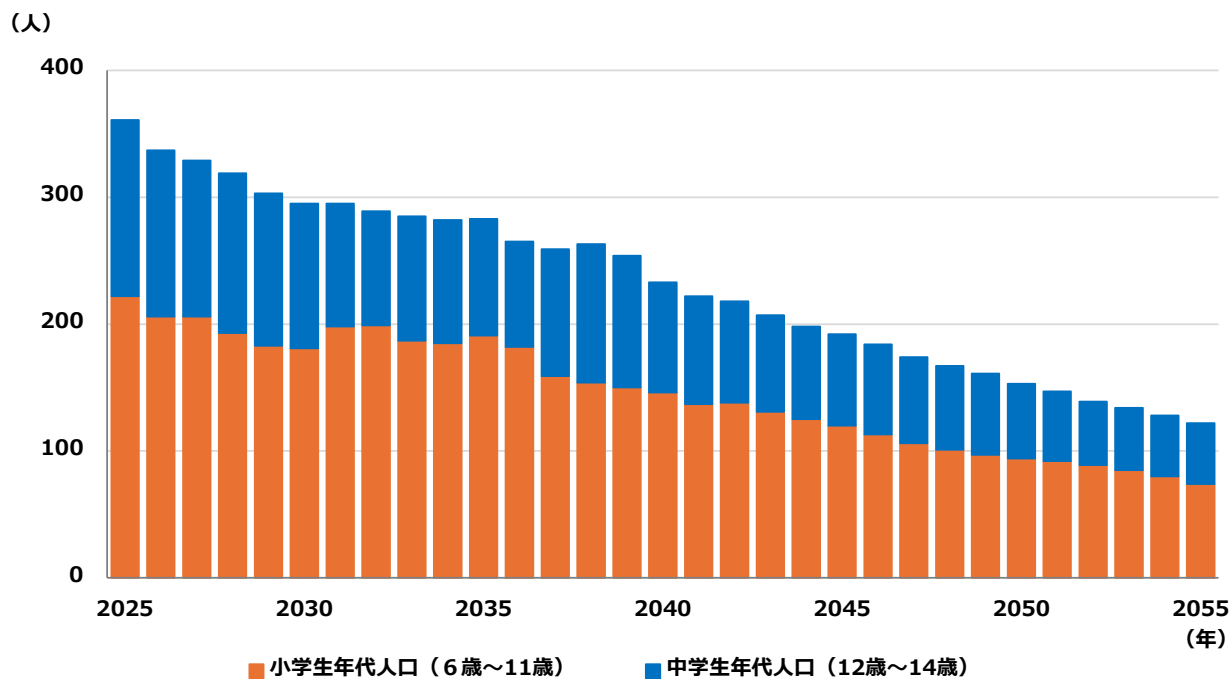
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	536 (13.8%)	450 (11.8%)	398 (10.7%)	331 (9.2%)	267 (7.8%)	213 (6.5%)	164 (5.3%)
15～64歳人口	2,250 (58.0%)	2,281 (59.7%)	2,238 (60.1%)	2,135 (59.5%)	1,994 (58.3%)	1,882 (57.8%)	1,742 (56.7%)
65歳以上人口	1,094 (28.2%)	1,089 (28.5%)	1,088 (29.2%)	1,120 (31.2%)	1,161 (33.9%)	1,159 (35.6%)	1,165 (37.9%)
計	3,880	3,820	3,724	3,586	3,422	3,254	3,071

(22) 荻原小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、222人から74人へと、約66.7%（148人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、139人から48人へと、約65.5%（91人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代 (6~11歳)	222	181	191	146	120	94	74
中学生年代 (12~14歳)	139	114	92	87	72	59	48
計	361	295	283	233	192	153	122

(22) 荻原小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

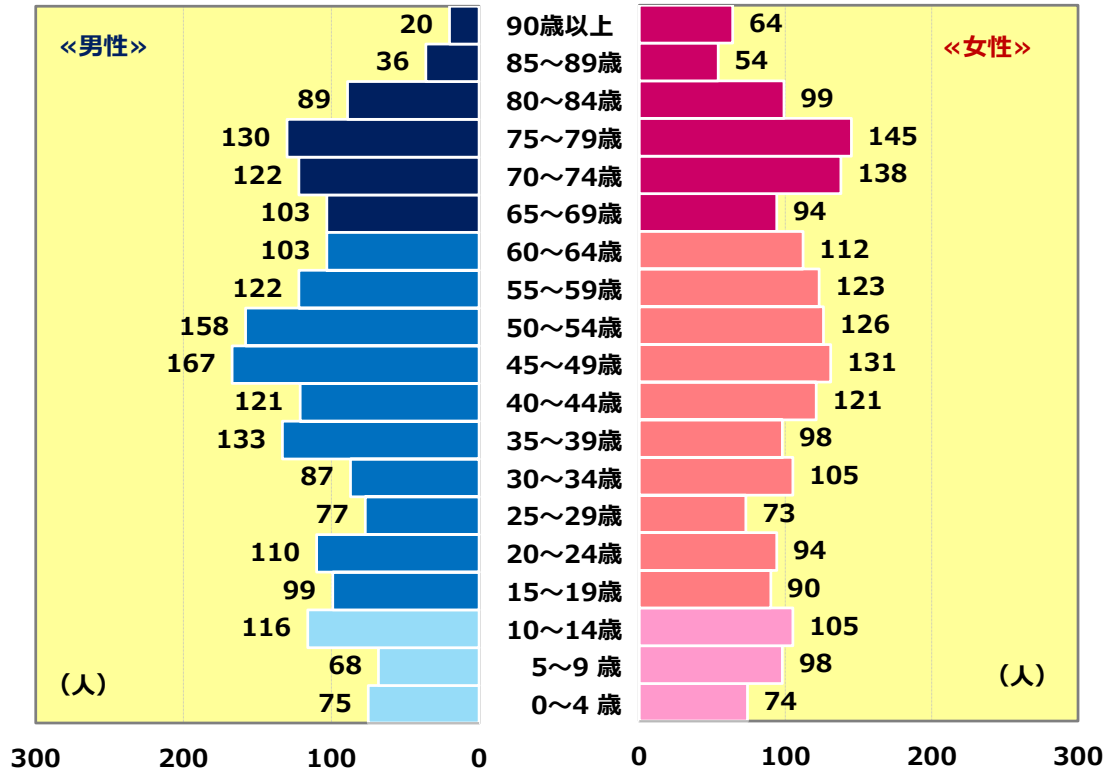


図 2035年

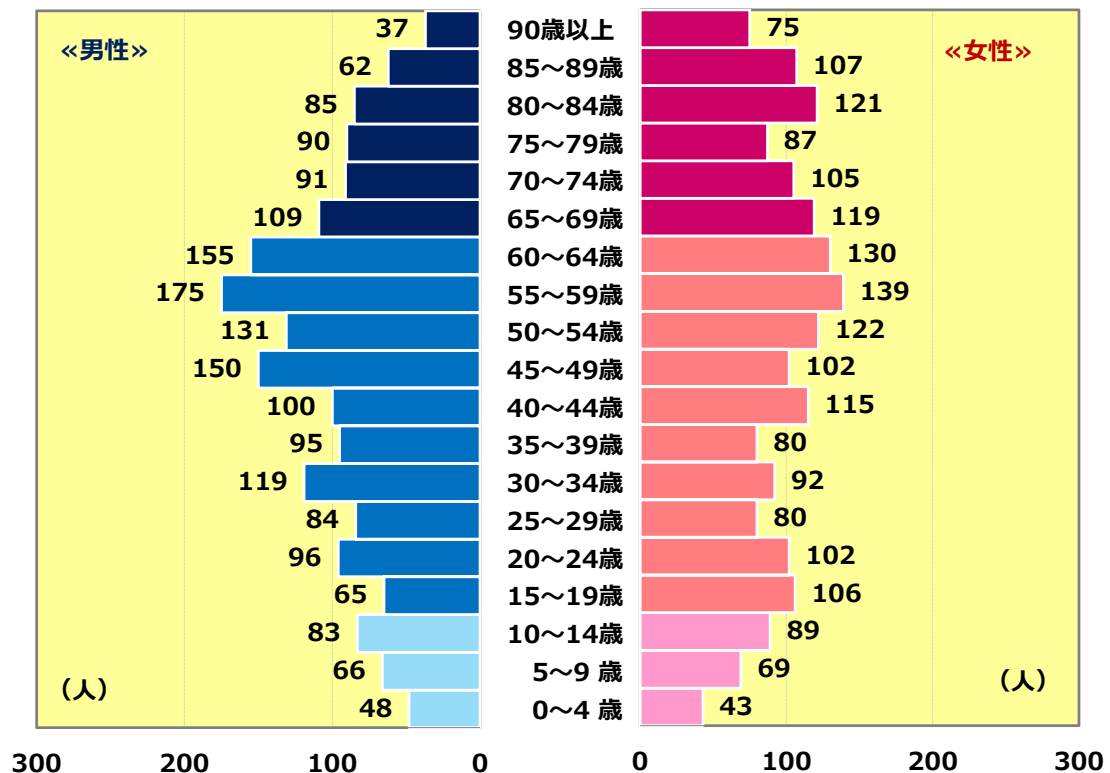


図 2045 年

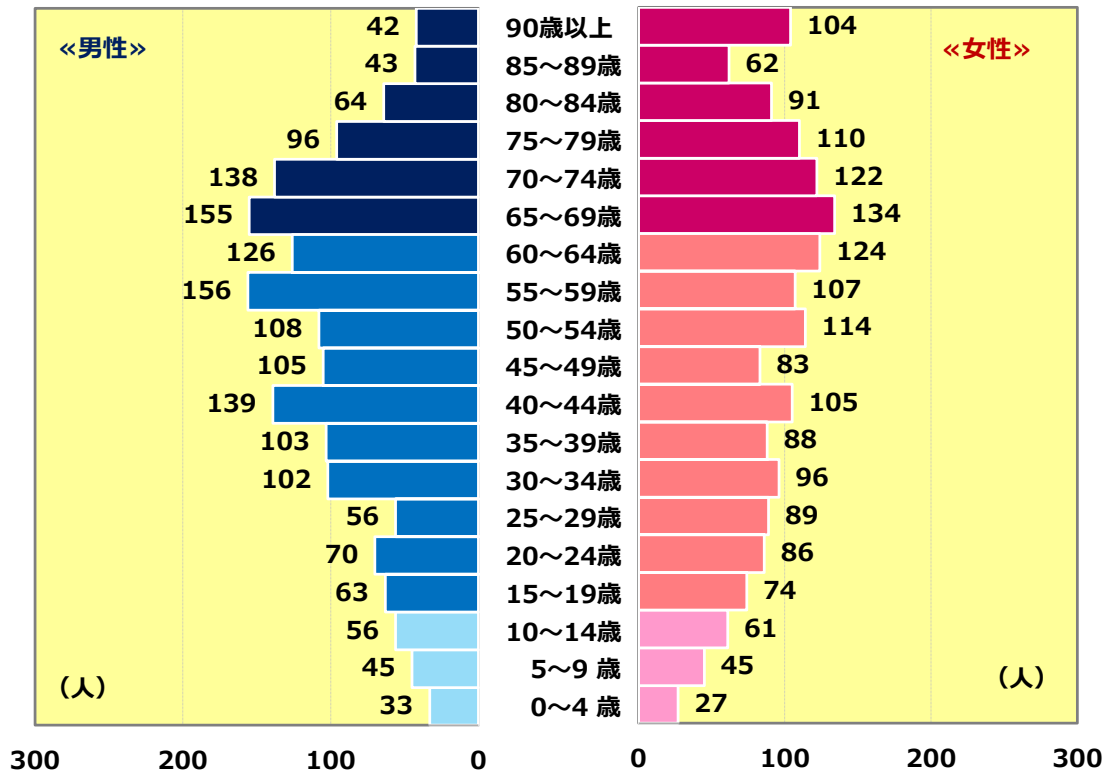
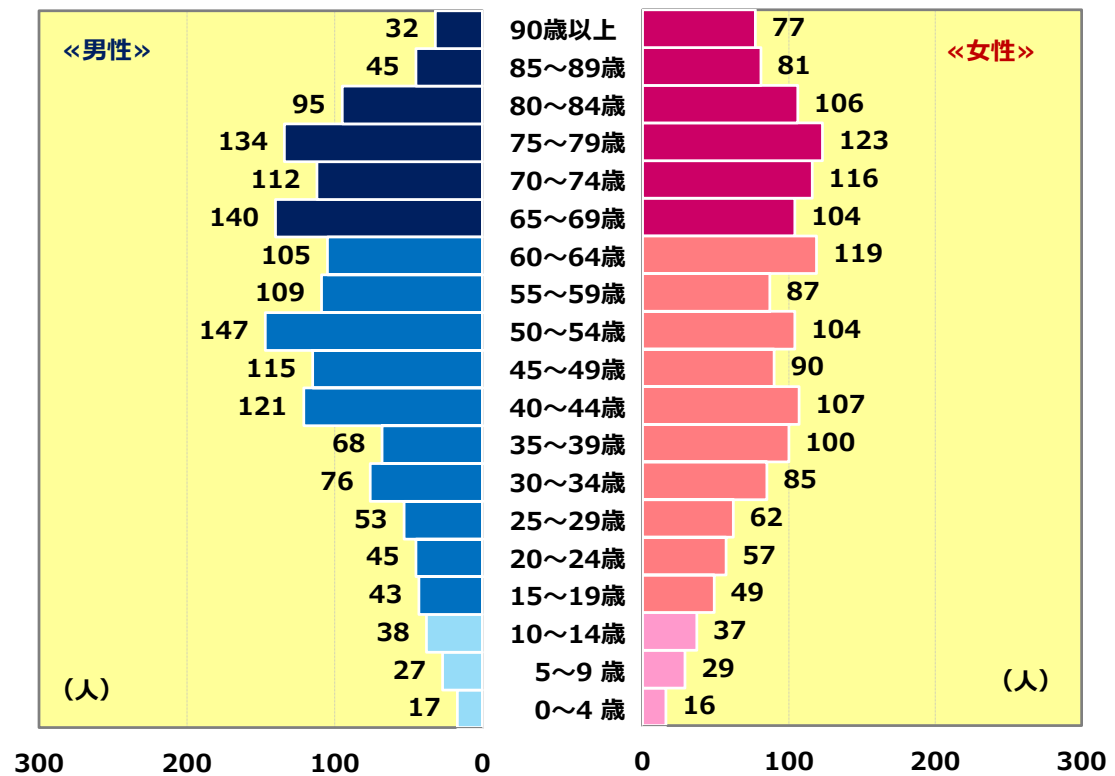


図 2055 年



(23) 津平小学校区

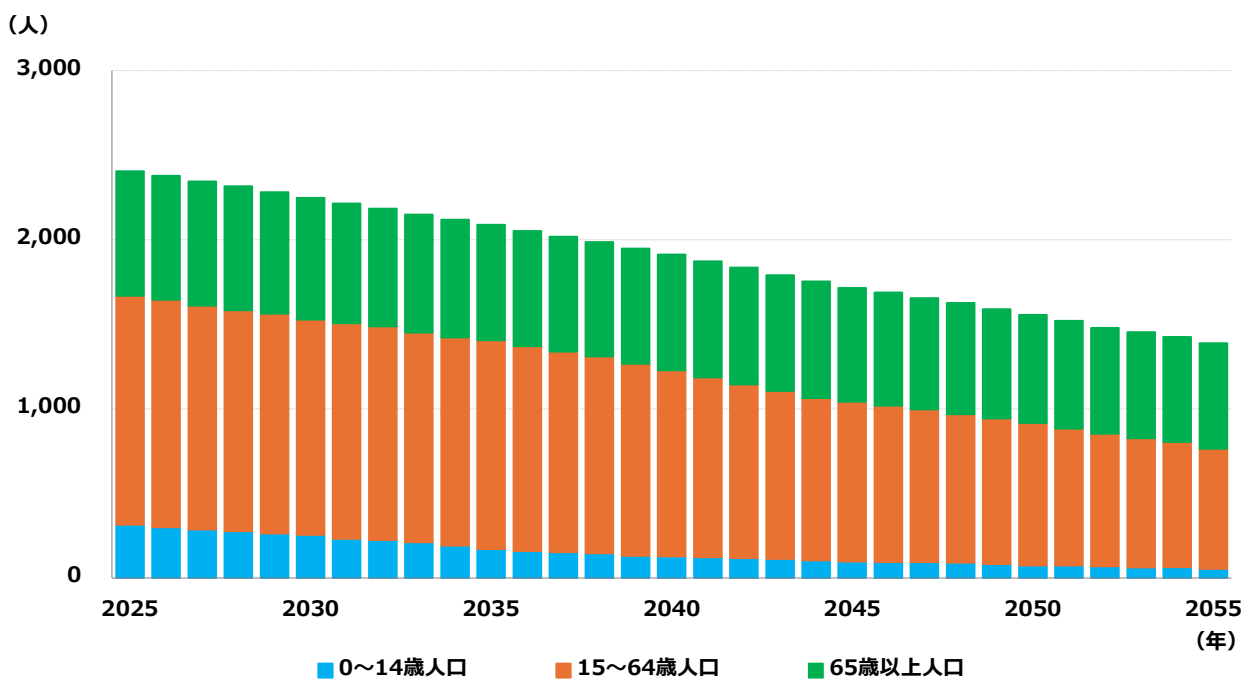
①年齢3区分別人口

津平小学校区の人口は2025年（令和7年）の2,405人から年々減少し、2055年（令和37年）には1,388人と、1,017人（42.3%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の315人（13.1%）から年々減少し、2055年（令和37年）には54人（3.9%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の1,354人（56.3%）から年々減少し、2055年（令和37年）には710人（51.2%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の736人（30.6%）から年々減少するものの、65歳以上人口比率は年々上昇し、2055年（令和37年）には624人（45.0%）になると推計されます。



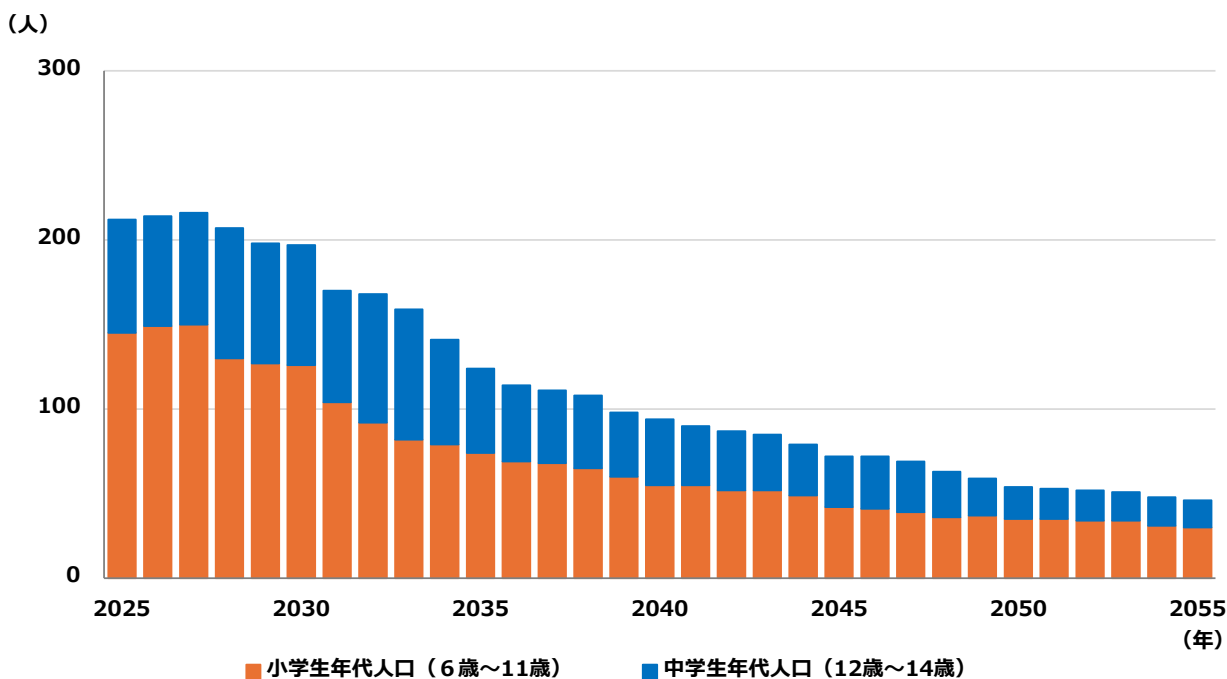
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	315 (13.1%)	255 (11.3%)	171 (8.2%)	127 (6.6%)	98 (5.7%)	74 (4.8%)	54 (3.9%)
15～64歳人口	1,354 (56.3%)	1,273 (56.6%)	1,234 (59.1%)	1,100 (57.5%)	943 (55.0%)	842 (54.1%)	710 (51.2%)
65歳以上人口	736 (30.6%)	720 (32.0%)	683 (32.7%)	686 (35.9%)	674 (39.3%)	640 (41.1%)	624 (45.0%)
計	2,405	2,248	2,088	1,913	1,715	1,556	1,388

(23) 津平小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、145人から30人へと、約79.3%（115人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、67人から16人へと、約76.1%（51人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代（6～11歳）	145	126	74	55	42	35	30
中学生年代（12～14歳）	67	71	50	39	30	19	16
計	212	197	124	94	72	54	46

(23) 津平小学校区

③ 5歳階級別（2025年→2055年）

図 2025年

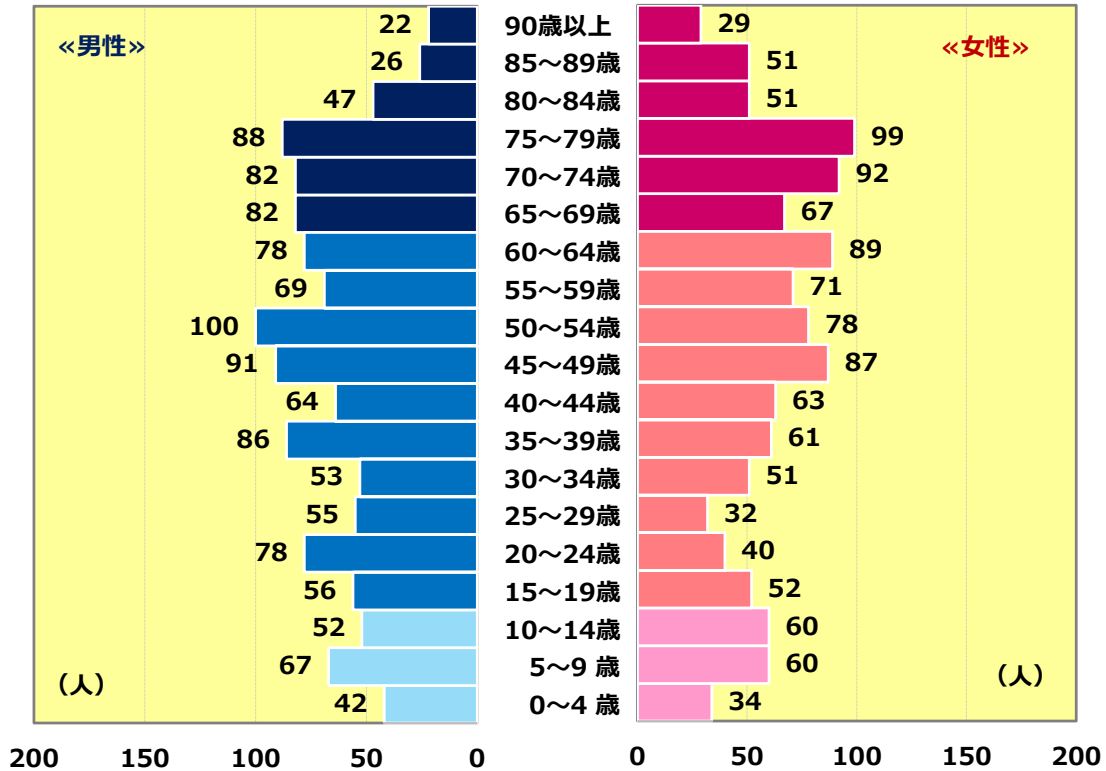


図 2035年

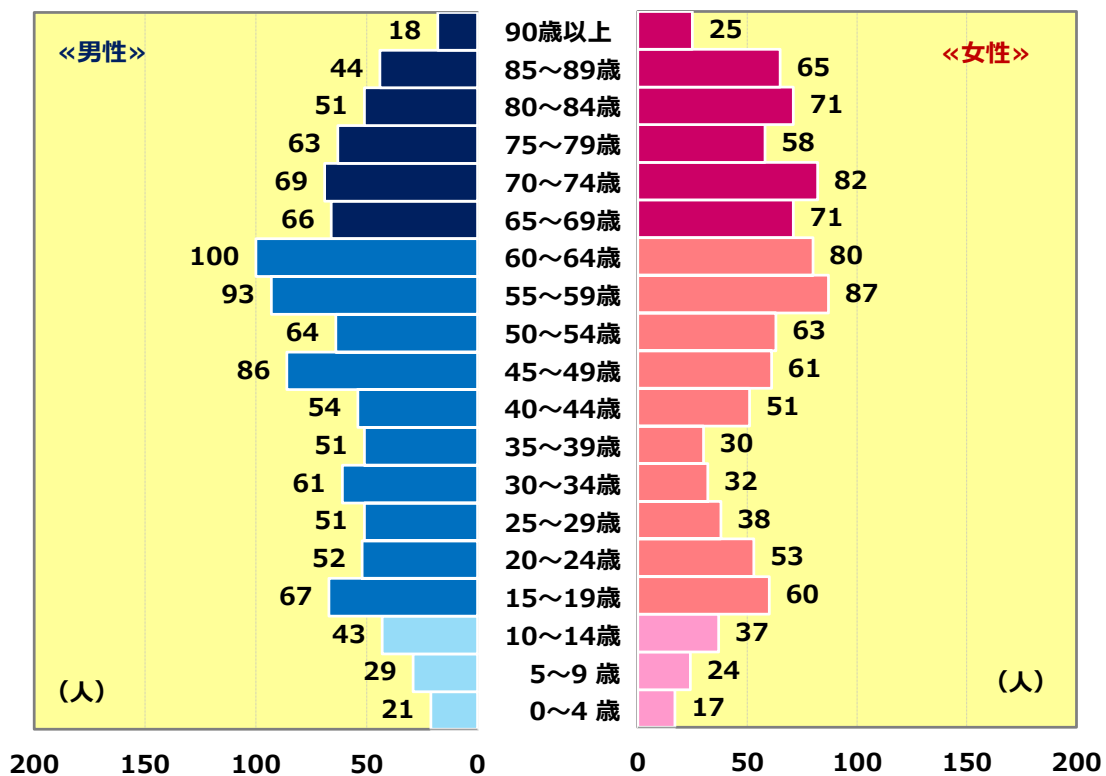


図 2045 年

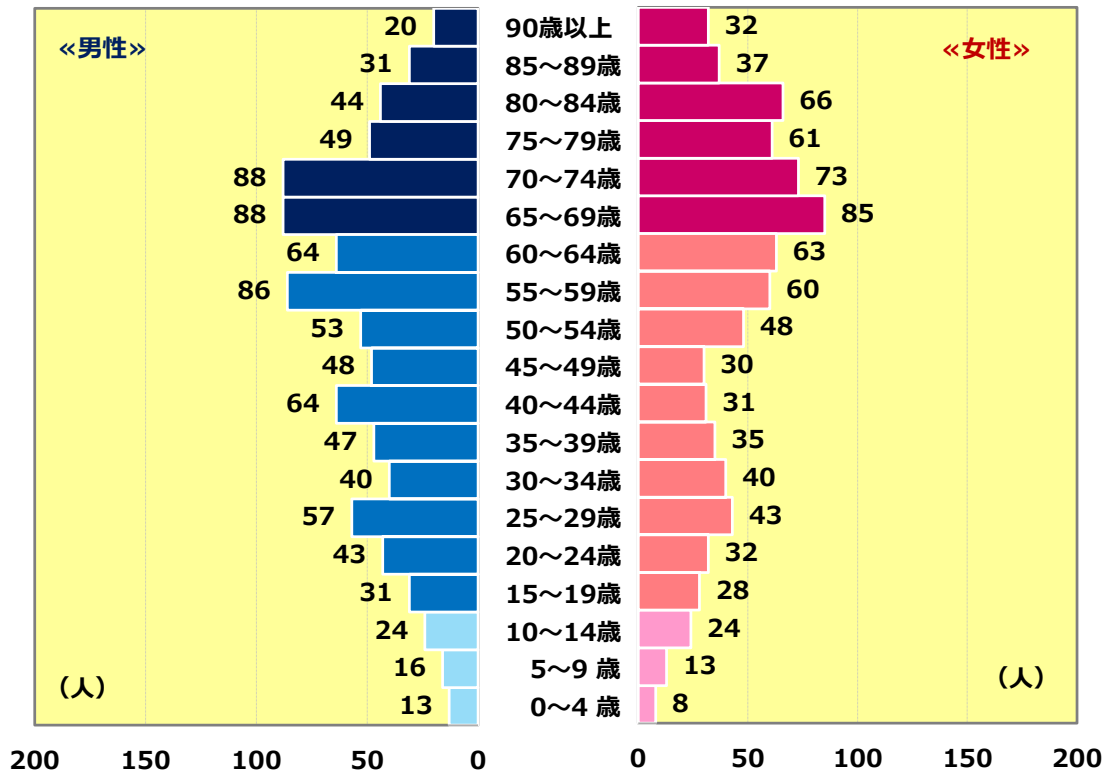
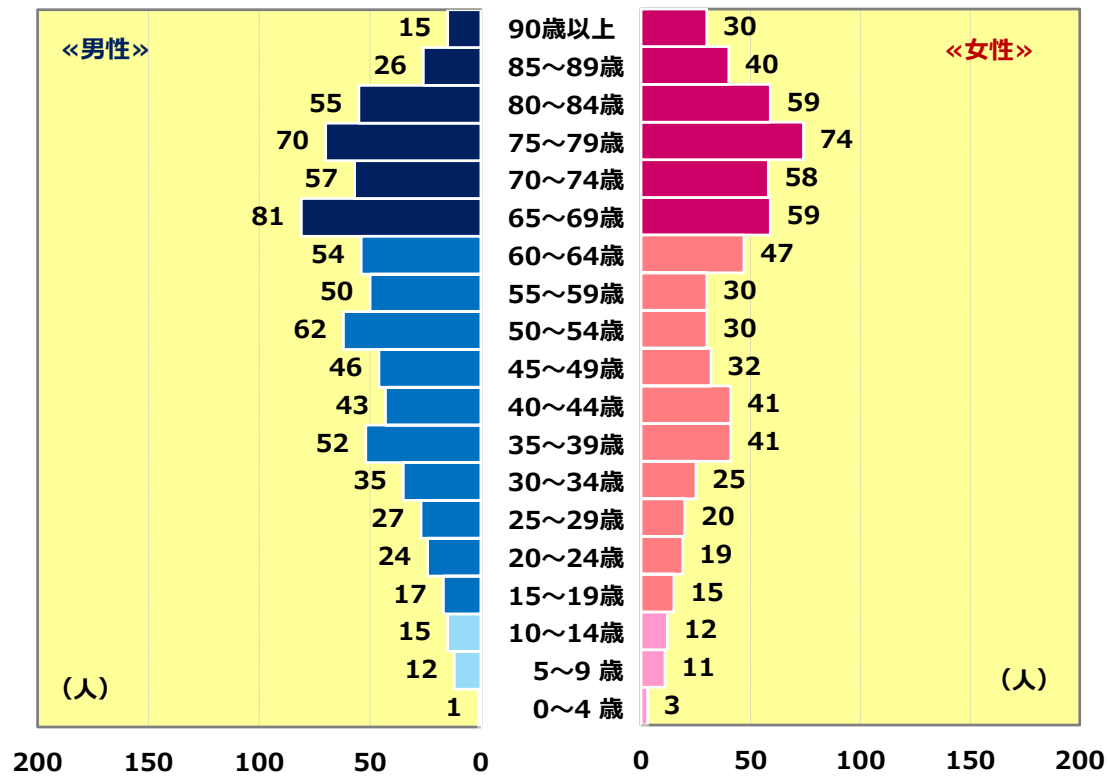


図 2055 年



(24) 横須賀小学校区

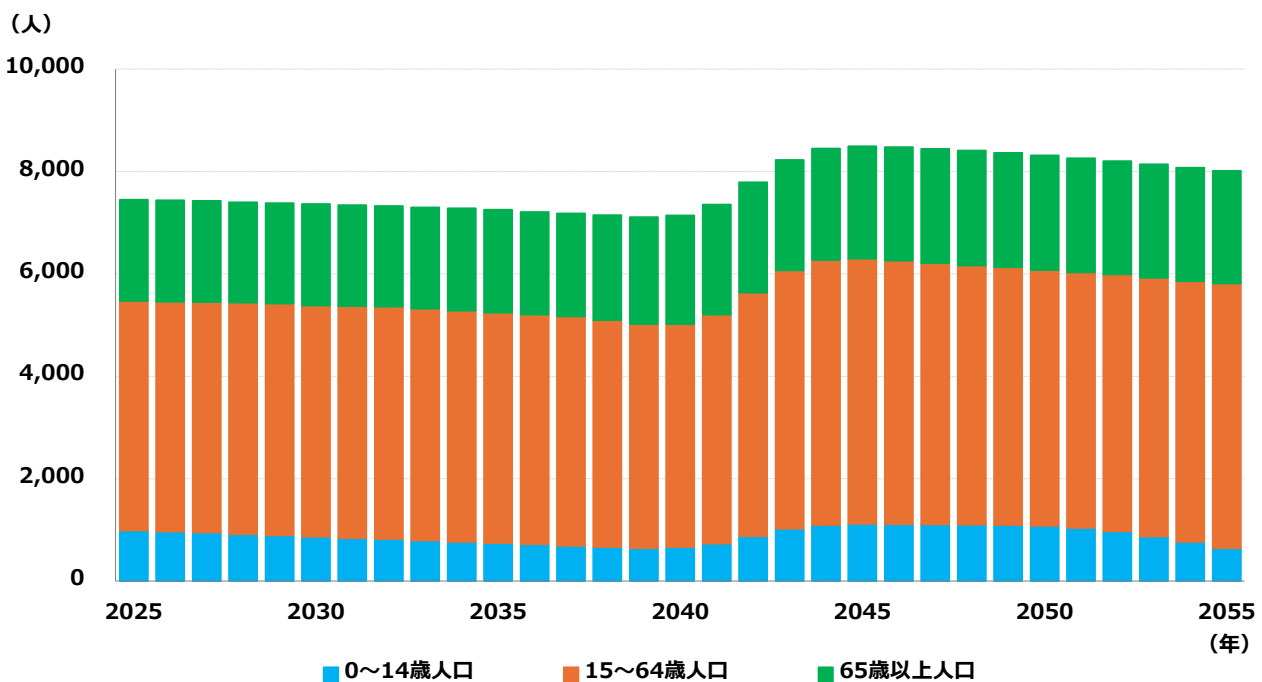
①年齢3区分別人口

横須賀小学校区の人口は2025年（令和7年）の7,446人から減少するものの、2040年（令和22年）以降に増加に転じます。2045年（令和27年）以降は再び減少し、2055年（令和37年）には8,013人となり、567人（7.6%）が増加すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の990人（13.3%）から減少するものの、2040年（令和22年）に一旦増加しますが、2040年（令和27年）は減少し、2055年（令和37年）には640人（8.0%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の4,482人（60.2%）から減少するものの、2040年（令和22年）以降に一旦増加しますが、2045年（令和27年）以降は増減を繰り返し、2055年（令和37年）には5,174人（64.6%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の1,974人（26.5%）から年々増加するものの、2050年（令和32年）以降は減少へと転じ、2055年（令和37年）には2,199人（27.4%）になると推計されます。



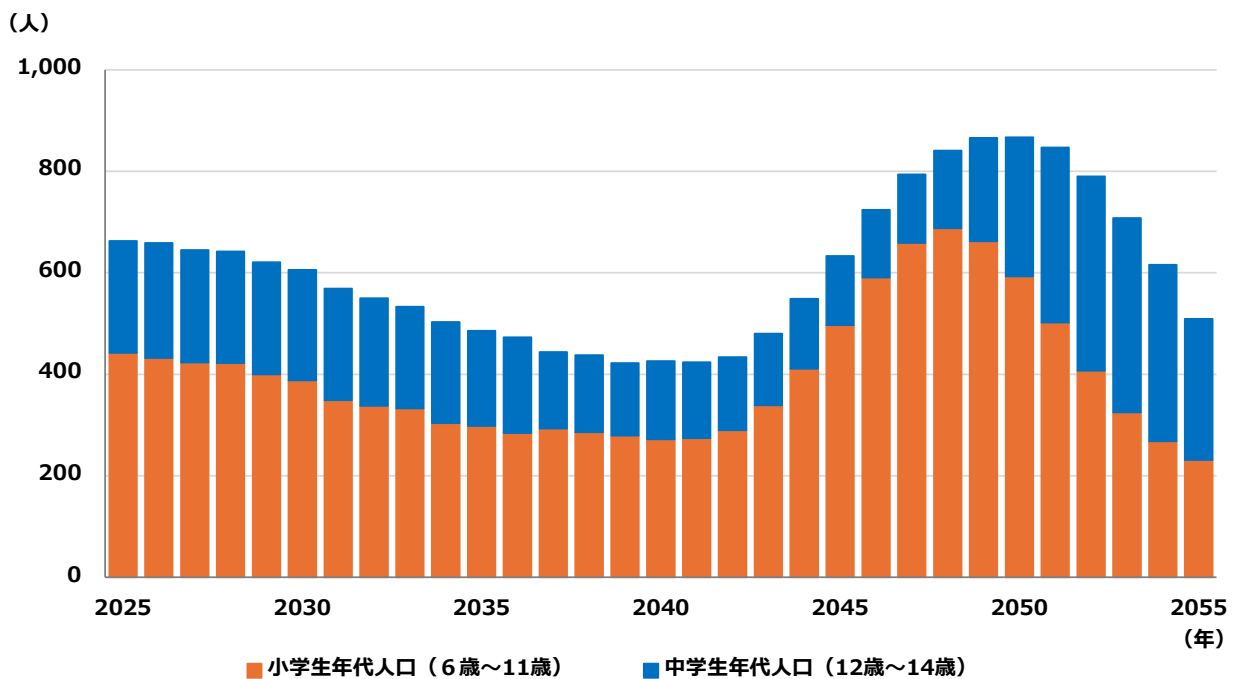
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	990 (13.3%)	868 (11.8%)	741 (10.2%)	666 (9.3%)	1,118 (13.2%)	1,075 (12.9%)	640 (8.0%)
15～64歳人口	4,482 (60.2%)	4,514 (61.3%)	4,503 (62.1%)	4,355 (61.0%)	5,178 (61.0%)	5,001 (60.2%)	5,174 (64.6%)
65歳以上人口	1,974 (26.5%)	1,981 (26.9%)	2,008 (27.7%)	2,121 (29.7%)	2,196 (25.9%)	2,237 (26.9%)	2,199 (27.4%)
計	7,446	7,363	7,252	7,142	8,492	8,313	8,013

(24) 横須賀小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、442人から231人へと、約47.7%（211人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、221人から278人へと、約25.8%（57人）増加すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代 (6~11歳)	442	388	298	272	497	593	231
中学生年代 (12~14歳)	221	218	188	154	136	274	278
計	663	606	486	426	633	867	509

(24) 横須賀小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

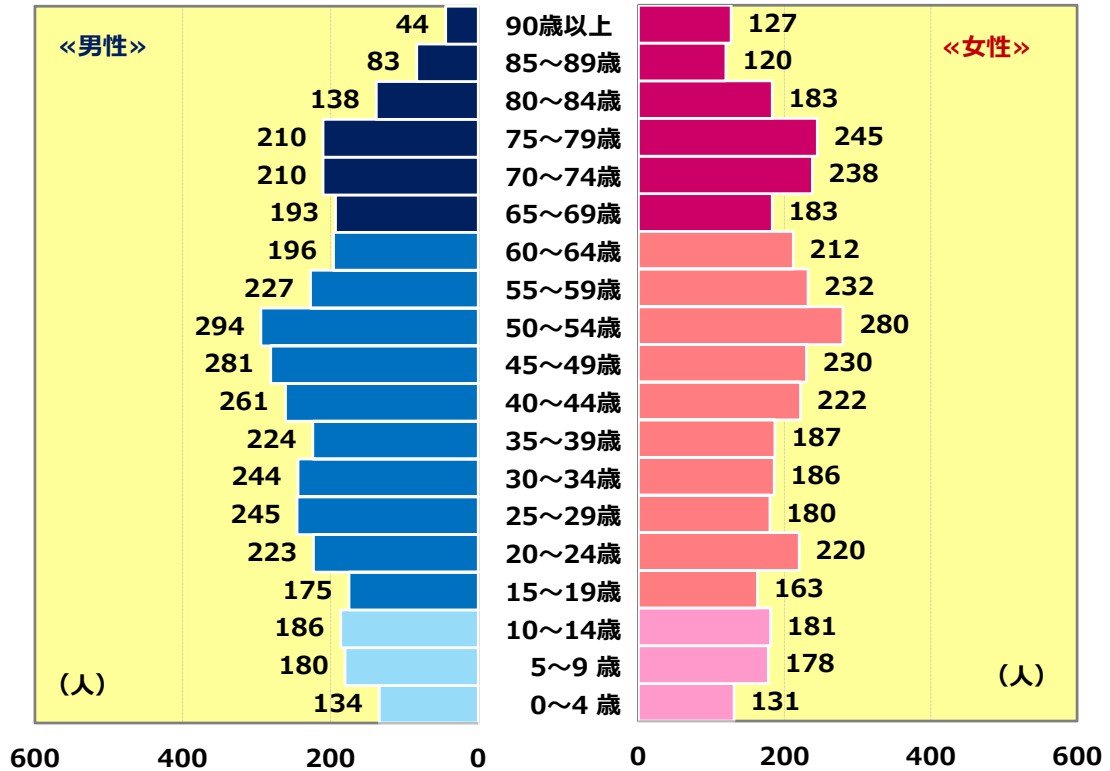


図 2035年

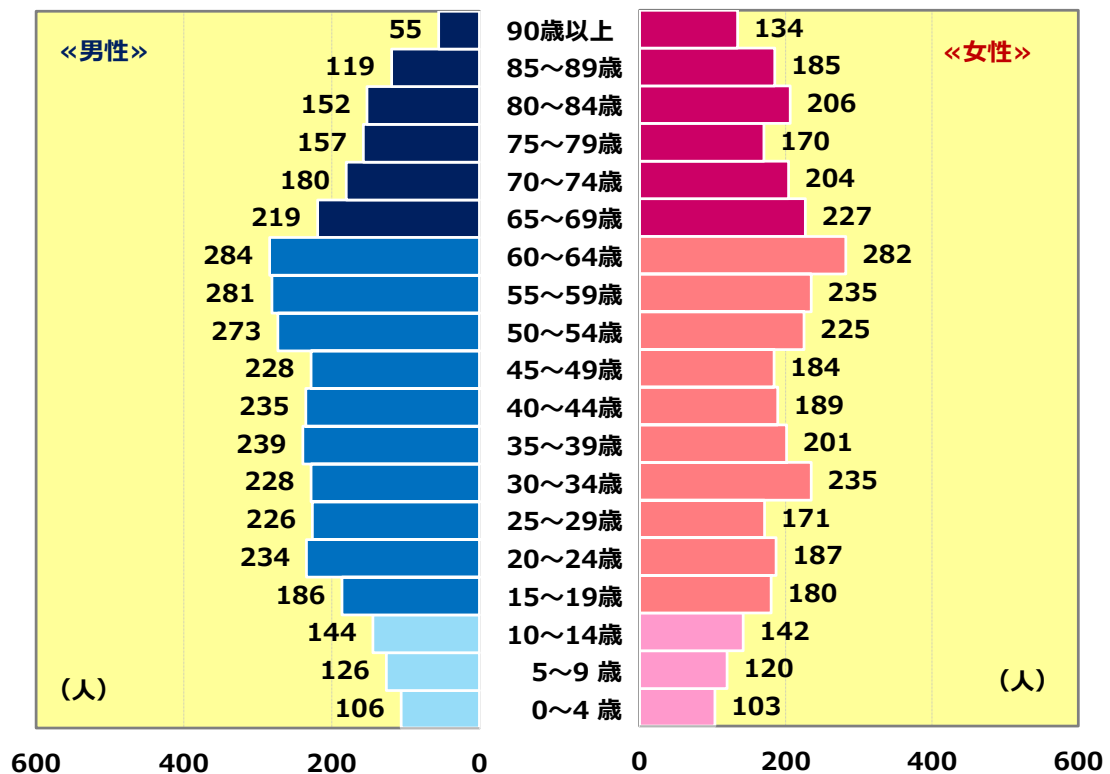


図 2045 年

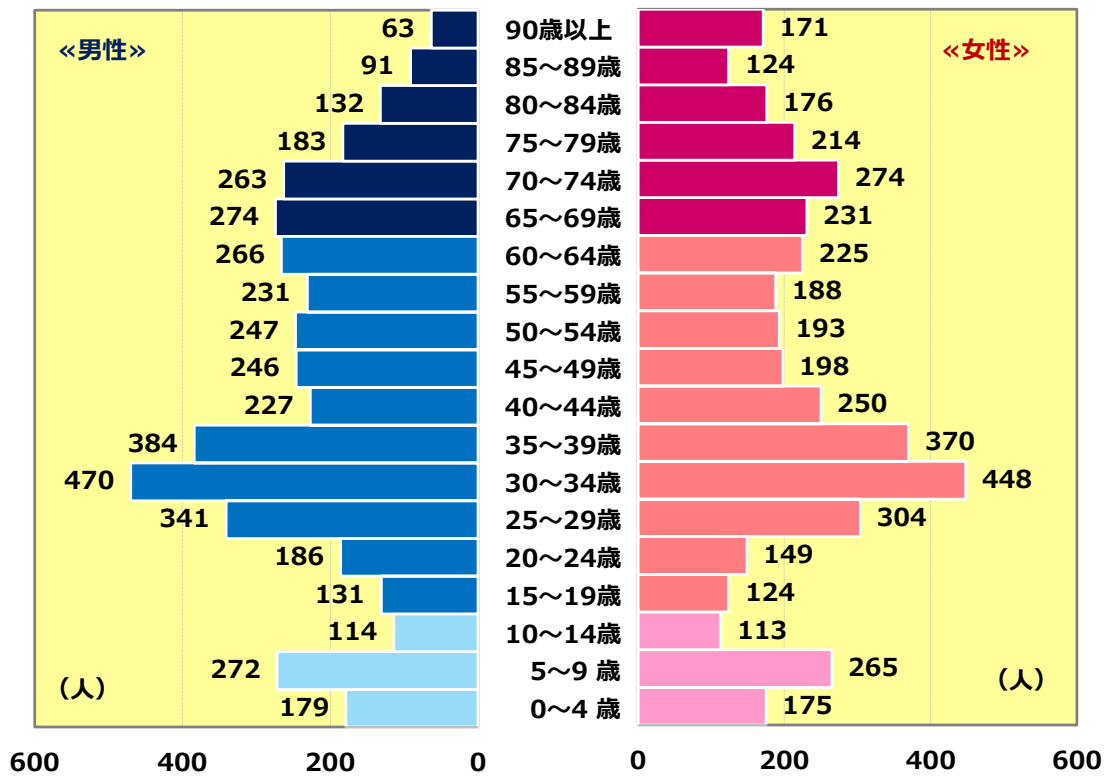
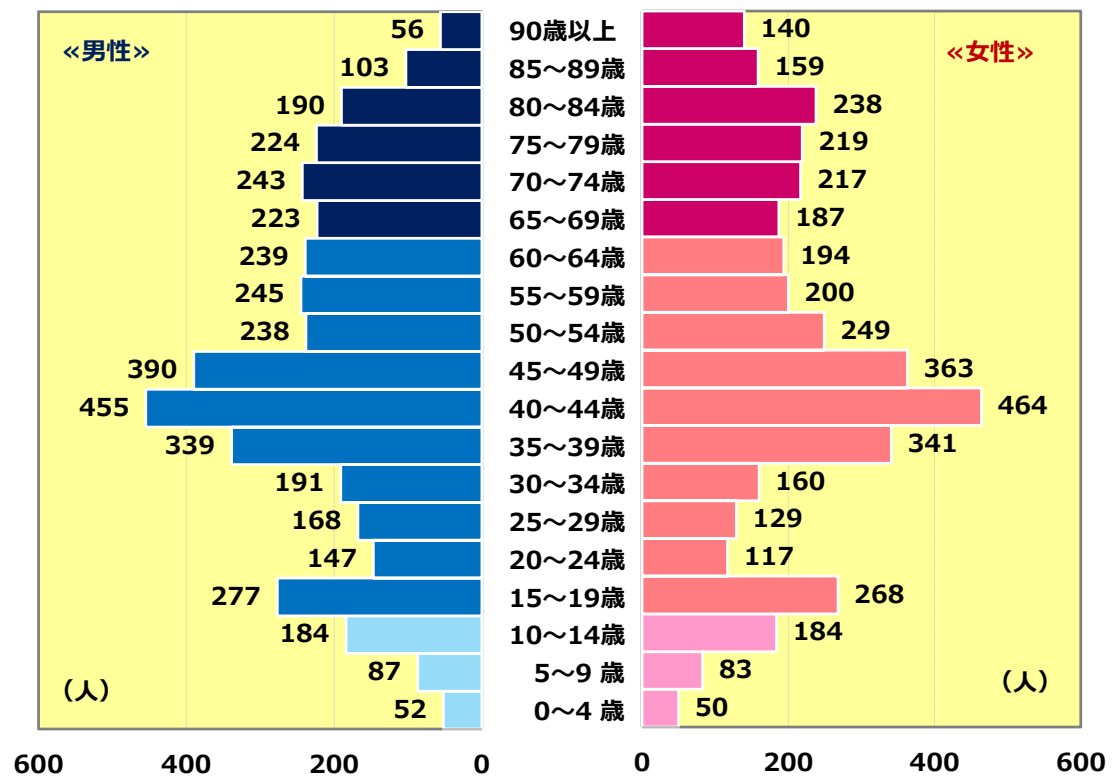


図 2055 年



(25) 幡豆小学校区

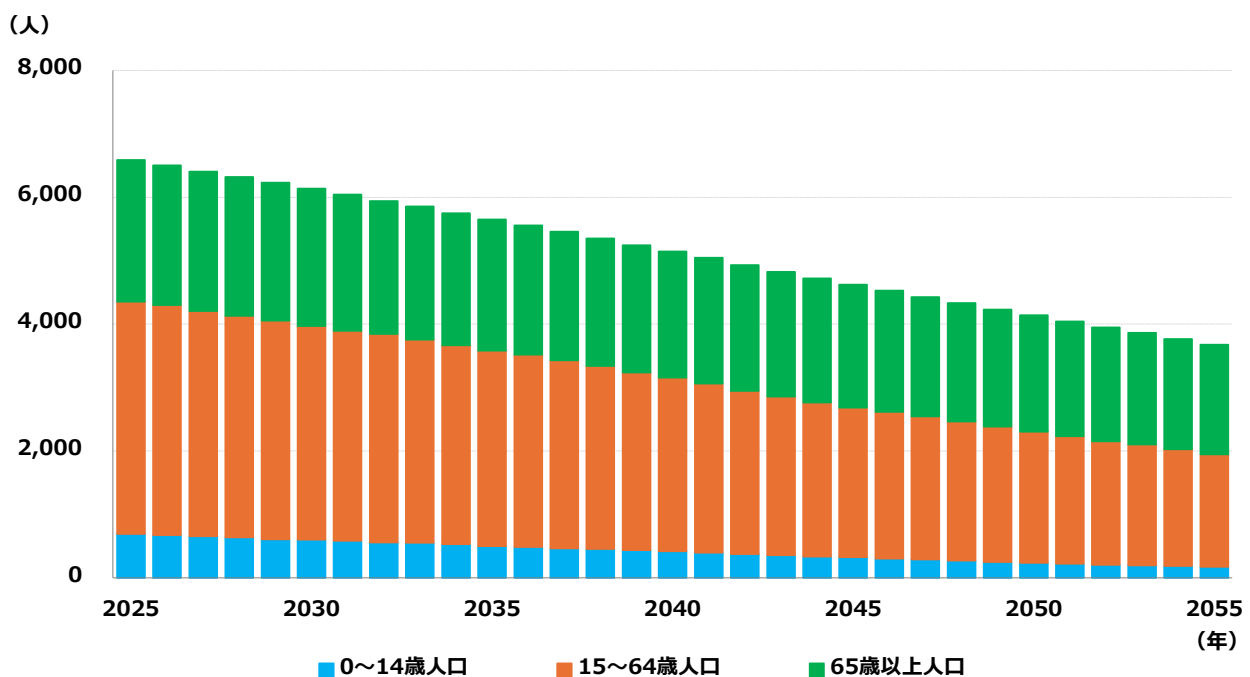
①年齢3区分別人口

幡豆小学校区の人口は2025年（令和7年）の6,586人から年々減少し、2055年（令和37年）には3,676人と、2,910人（44.2%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の694人（10.5%）から年々減少し、2055年（令和37年）には174人（4.7%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の3,661人（55.6%）から年々減少し、2055年（令和37年）には1,775人（48.3%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の2,231人（33.9%）から年々減少するものの、65歳以上人口比率は年々上昇し、2055年（令和37年）には1,727人（47.0%）になると推計されます。



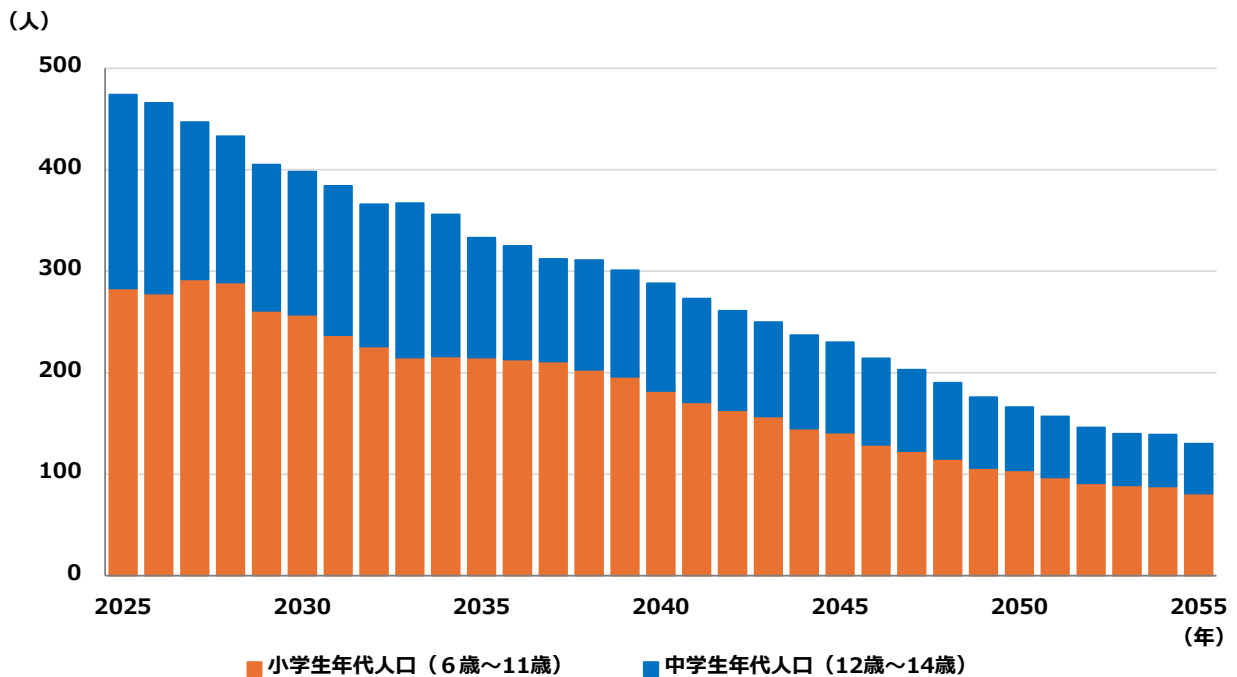
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	694 (10.5%)	601 (9.8%)	501 (8.9%)	418 (8.1%)	325 (7.0%)	236 (5.7%)	174 (4.7%)
15～64歳人口	3,661 (55.6%)	3,370 (54.9%)	3,079 (54.5%)	2,738 (53.2%)	2,360 (51.1%)	2,070 (50.0%)	1,775 (48.3%)
65歳以上人口	2,231 (33.9%)	2,165 (35.3%)	2,070 (36.6%)	1,991 (38.7%)	1,936 (41.9%)	1,836 (44.3%)	1,727 (47.0%)
計	6,586	6,136	5,650	5,147	4,621	4,142	3,676

(25) 幡豆小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、283人から81人へと、約71.4%（202人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、191人から49人へと、約74.3%（142人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代 (6~11歳)	283	257	215	182	141	104	81
中学生年代 (12~14歳)	191	141	118	106	89	62	49
計	474	398	333	288	230	166	130

(25) 幡豆小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

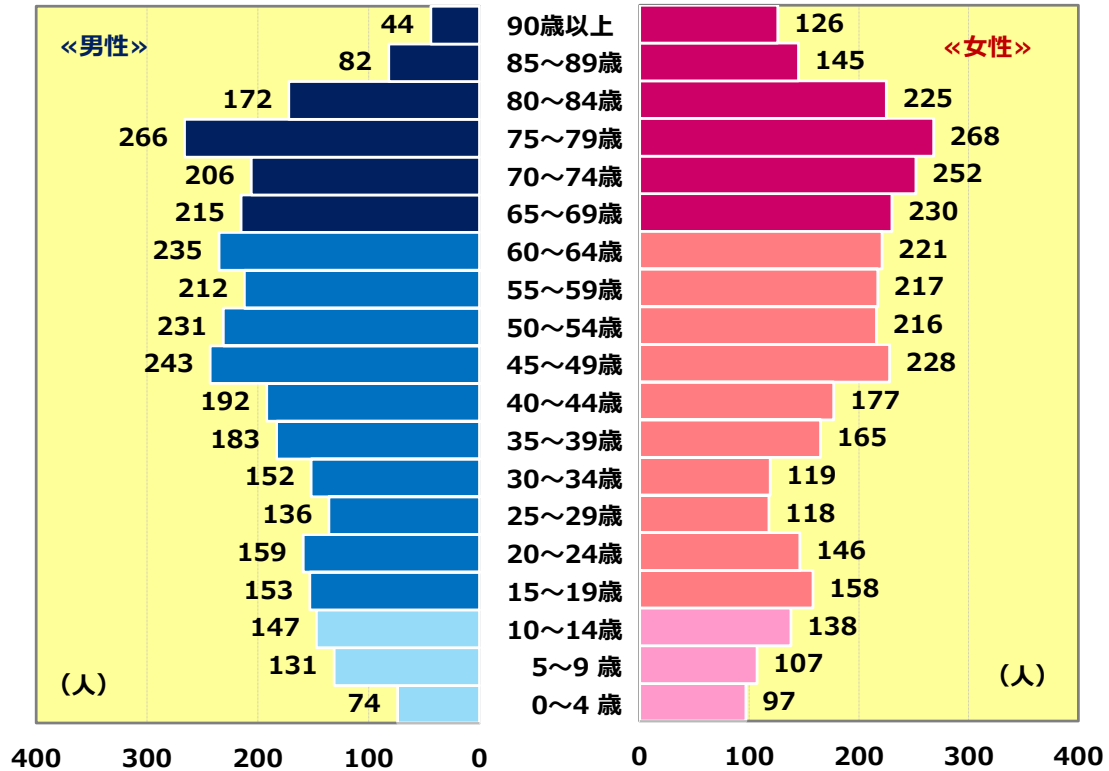


図 2035年

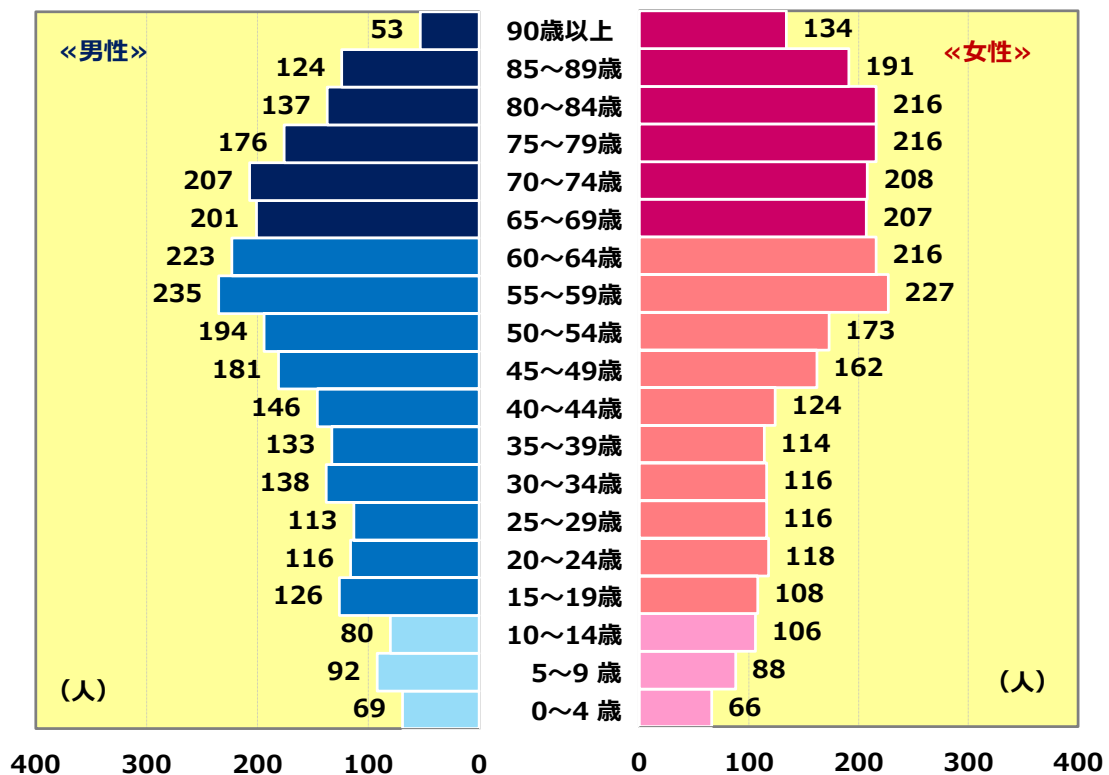


図 2045 年

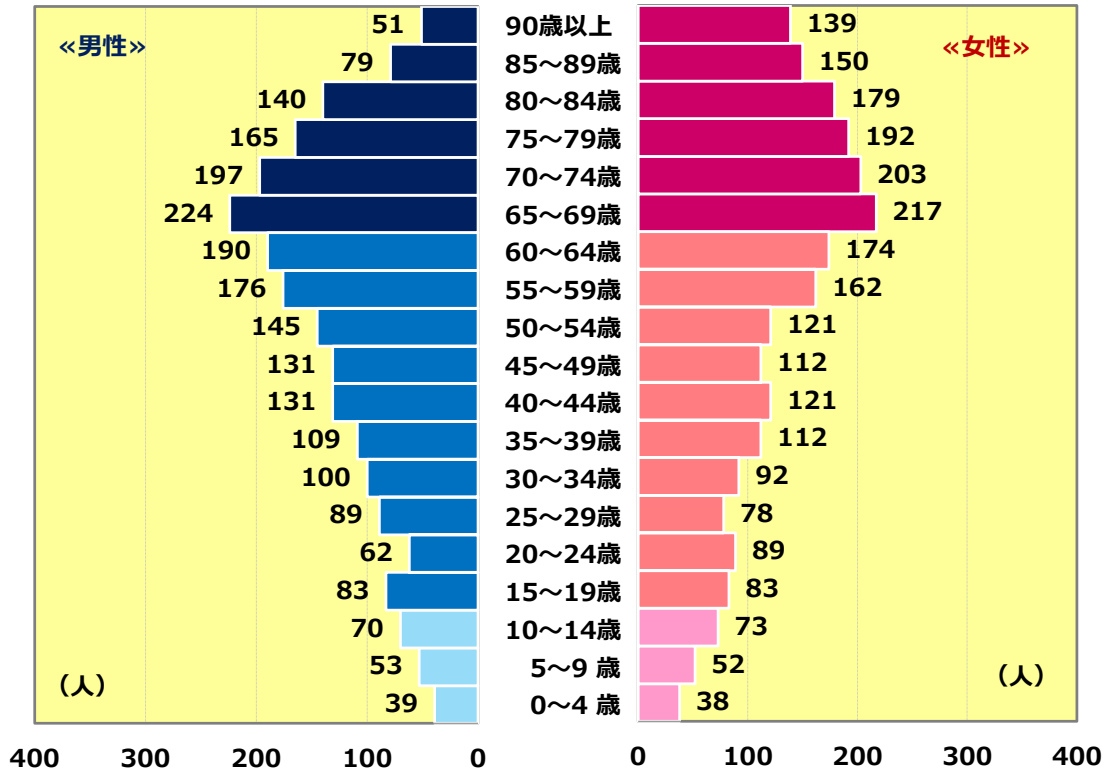
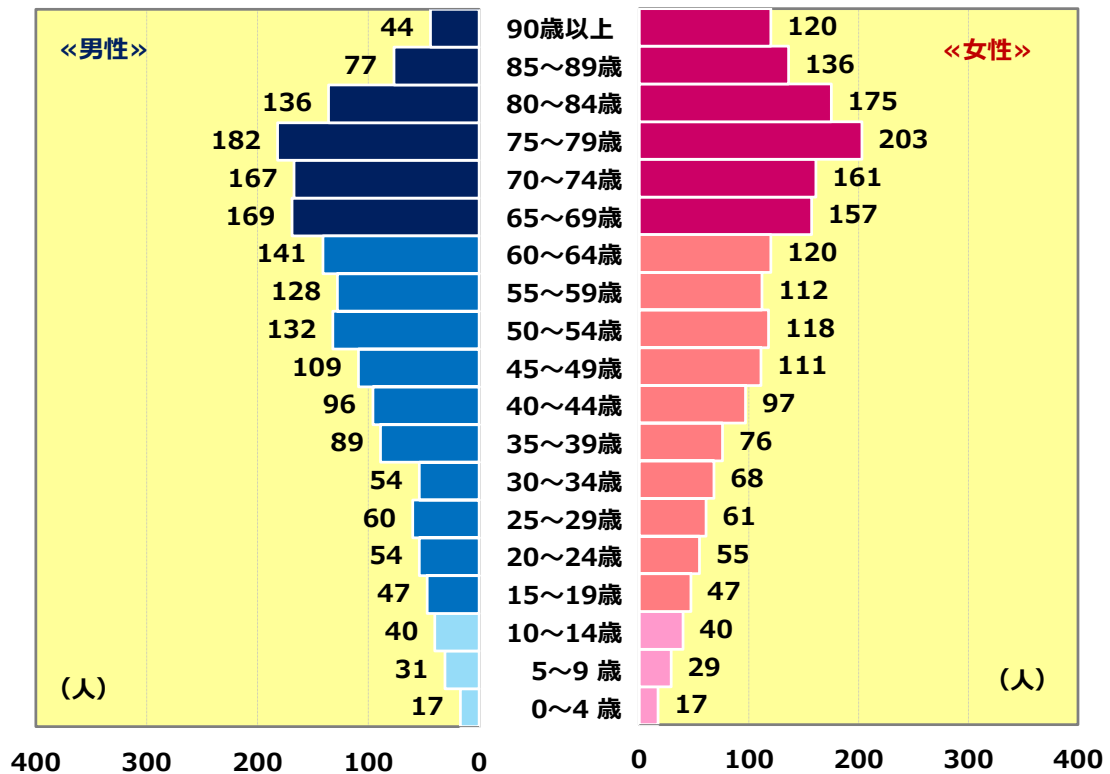


図 2055 年



(26) 東幡豆小学校区

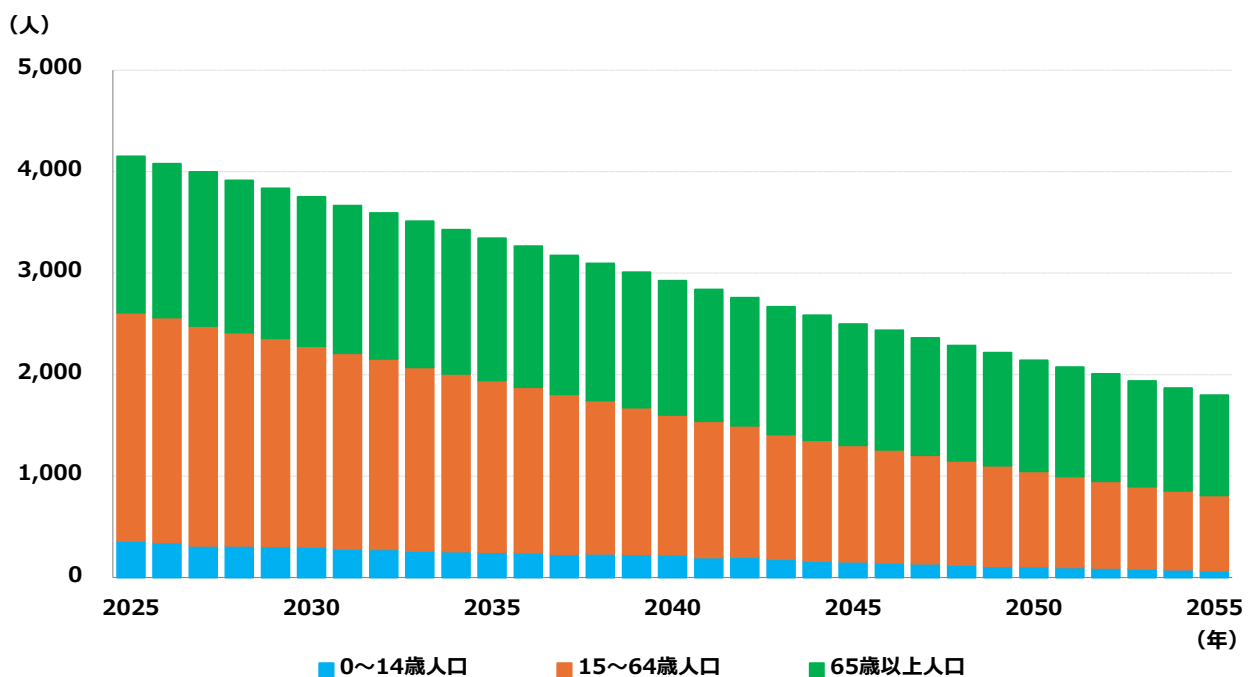
①年齢3区分別人口

東幡豆小学校区の人口は2025年（令和7年）の4,152人から年々減少し、2055年（令和37年）には1,799人と、2,353人（56.7%）減少すると推計されます。

0～14歳人口は2025年（令和7年）の360人（8.7%）から年々減少し、2055年（令和37年）には67人（3.7%）になると推計されます。

15～64歳人口は2025年（令和7年）の2,250人（54.2%）から年々減少し、2055年（令和37年）には743人（41.3%）になると推計されます。

65歳以上人口は2025年（令和7年）の1,542人（37.1%）から年々減少するものの、65歳以上人口比率は年々上昇し、2055年（令和37年）には989人（55.0%）になると推計されます。



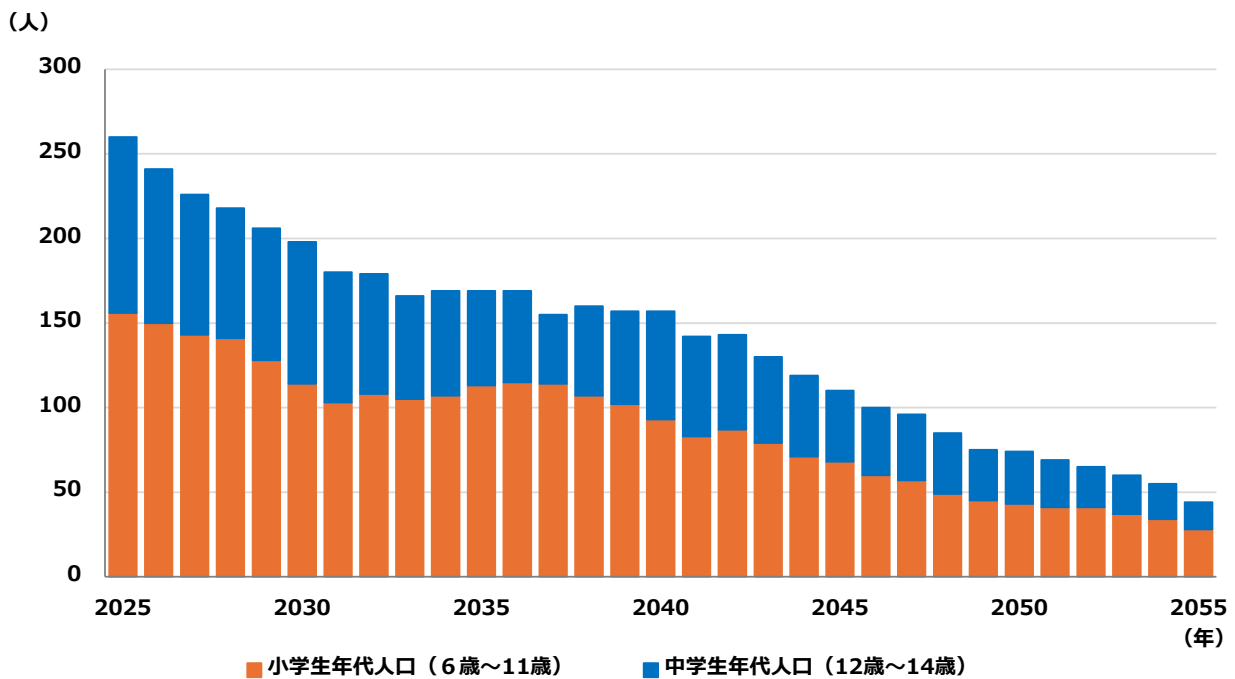
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
0～14歳人口	360 (8.7%)	301 (8.0%)	250 (7.5%)	225 (7.7%)	156 (6.2%)	109 (5.1%)	67 (3.7%)
15～64歳人口	2,250 (54.2%)	1,980 (52.8%)	1,693 (50.6%)	1,376 (47.0%)	1,147 (45.9%)	939 (43.9%)	743 (41.3%)
65歳以上人口	1,542 (37.1%)	1,472 (39.2%)	1,401 (41.9%)	1,325 (45.3%)	1,196 (47.9%)	1,093 (51.1%)	989 (55.0%)
計	4,152	3,753	3,344	2,926	2,499	2,141	1,799

(26) 東幡豆小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、156人から28人へと、約82.1%（128人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025年（令和7年）と2055年（令和37年）を比較すると、104人から16人へと、約84.6%（88人）減少すると推計されます。



	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
小学生年代（6～11歳）	156	114	113	93	68	43	28
中学生年代（12～14歳）	104	84	56	64	42	31	16
計	260	198	169	157	110	74	44

(26) 東幡豆小学校区

③ 5歳階級別 (2025年→2055年)

図 2025年

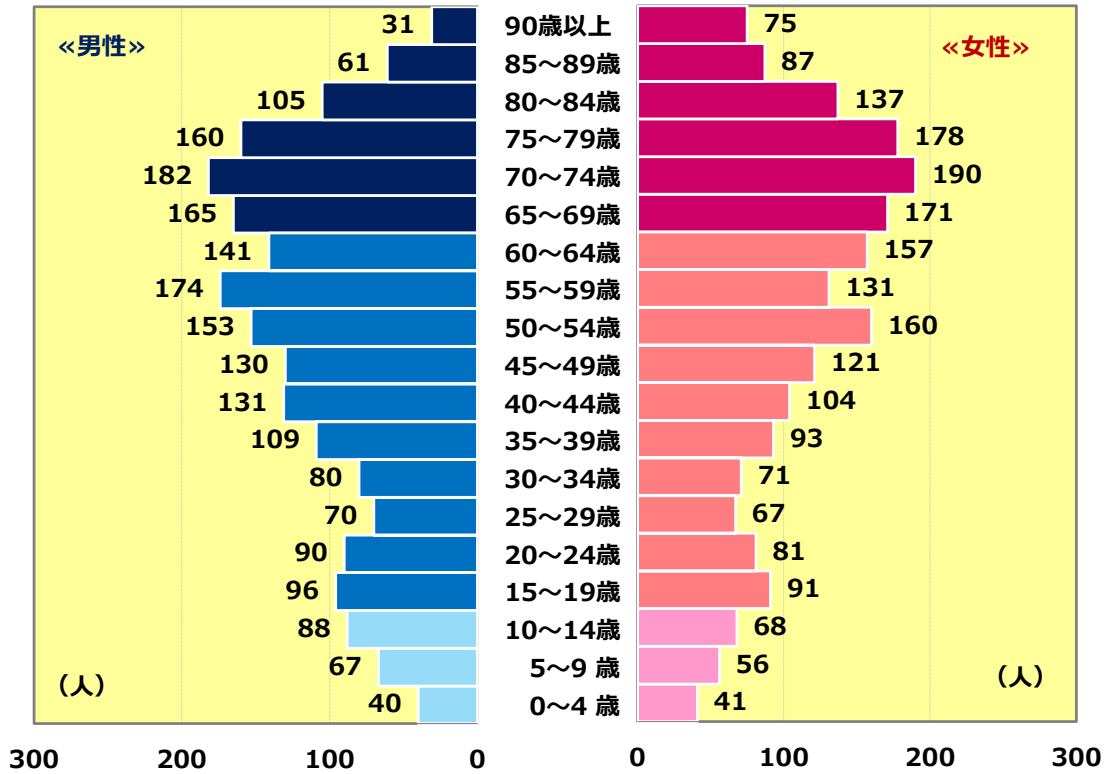


図 2035年

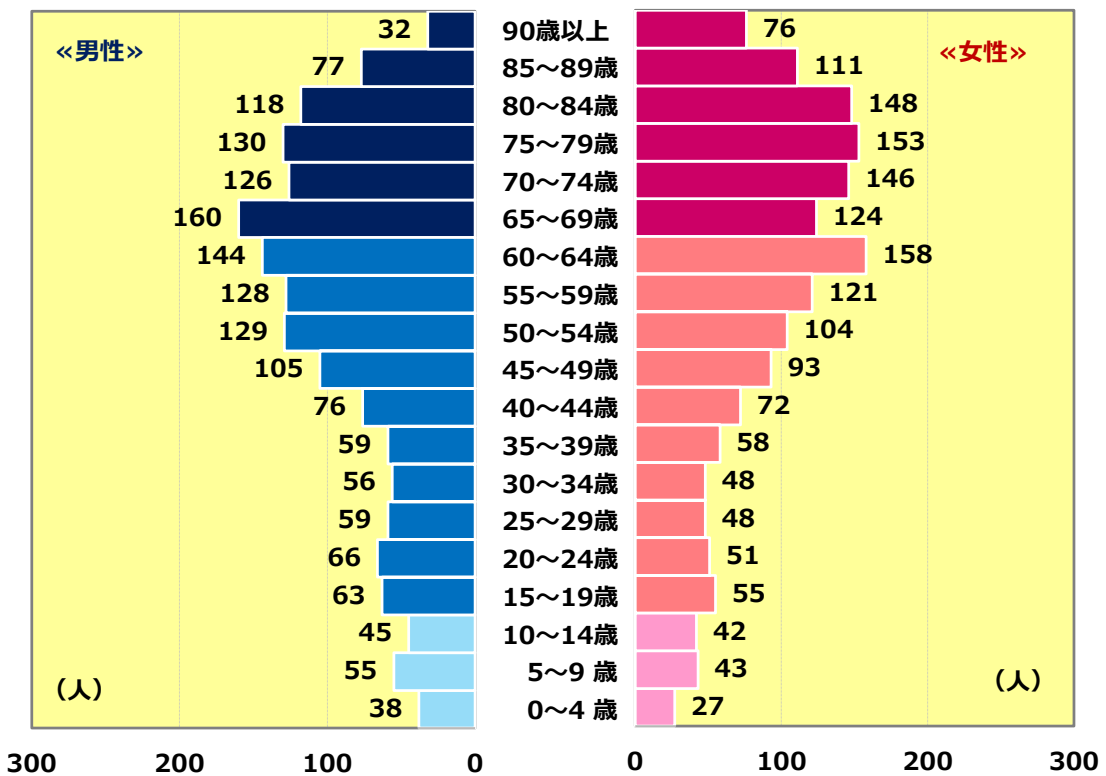


図 2045 年

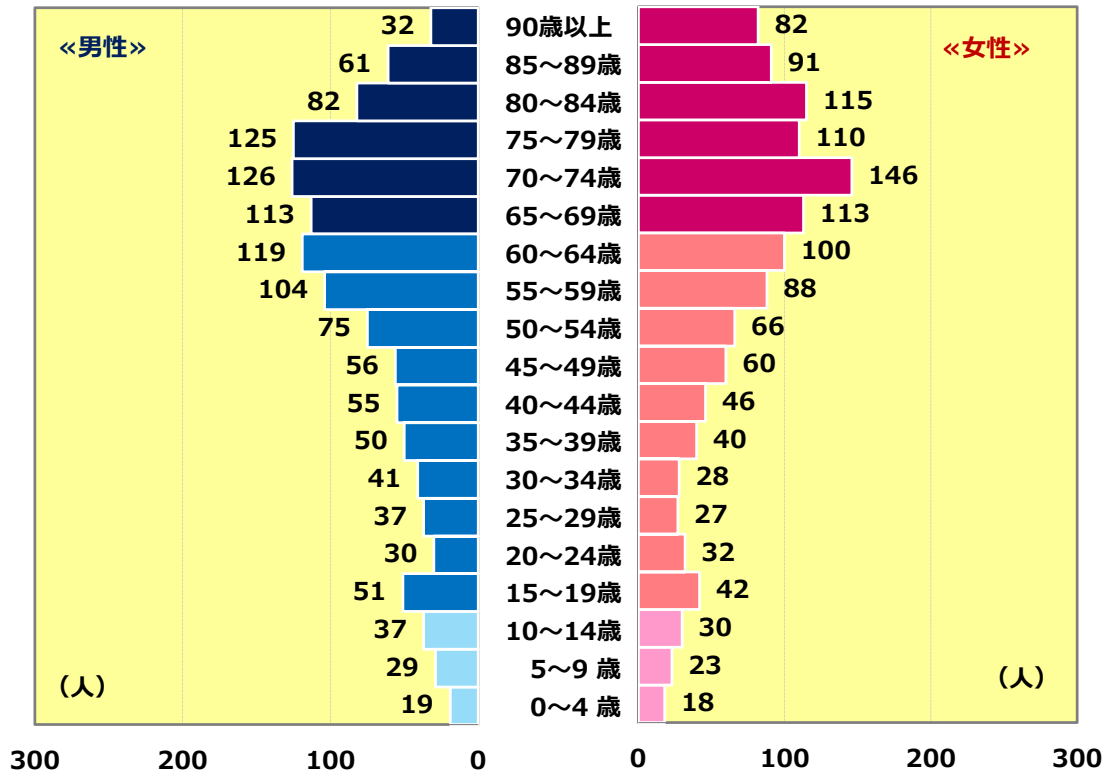
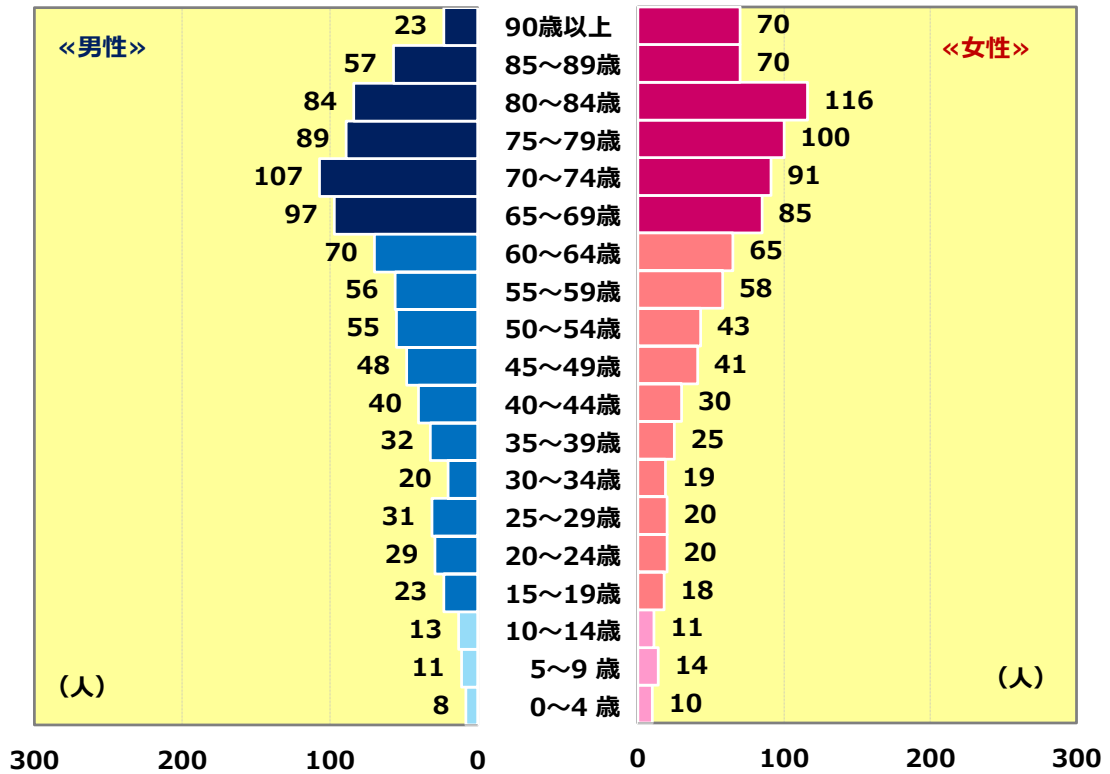


図 2055 年



第5章 将来課題の整理

①はじめに

本章では、推計から分かった「人口減少」と「人口構造の変化」が本市の将来に及ぼす影響を想定し、今後の方向性を示します。

なお、この将来人口推計は、将来を断定的に示す予測ではなく、これまでの人口動向が継続した場合を仮定した推計であり、社会情勢や施策の進展等によって変動する可能性があります。今後も定期的に更新し、各種計画の基礎資料として活用していくことを目的としています。

②将来人口推計からみえる人口構造の変化

これまでの人口動態の分析、および将来推計の結果を総括すると、本市が今後向き合う変化が明らかになりました。

一つ目は、これまでにない水準で進む少子高齢化です。2016年（平成28年）に1,362人でピークを迎えた日本人市民の出生数は、2023年（令和5年）には1,000人を割り込むなど、近年の減少ペースが極めて速く、少子化が急速に進行しています。この傾向が今後も続いた場合、年少人口（0～14歳）は2025年（令和7年）の22,060人から30年後の2055年（令和37年）には6,100人へと激減し、総人口に占める割合は13.0%から4.8%へと極めて深刻な水準に低下すると推計されています。

さらに、少子化の進行は将来の社会を支える生産年齢人口（15～64歳）の減少に直結しています。生産年齢人口は2025年（令和5年）の102,963人から2055年（令和37年）には75,555人へと大幅に減少する見込みです。一方、老年人口（65歳以上）は2025年（令和7年）の44,261人から2055年（令和37年）には46,637人へと増加し、総人口の約3人に1人を占める水準に達すると推計されています。

二つ目は、総人口の減少とその加速度的な進行です。総人口は2025年（令和7年）の169,284人から、2055年（令和37年）には128,292人へと、30年間で40,992人（24.2%）も減少すると推計されています。この減少ペースは時間とともに加速しており、10年ごとの減少率をみると、2025年から2035年の最初の10年間は5.0%、次の10年間では8.8%、さらにその後の10年間には12.1%と減少幅が拡大しています。この背景には少子高齢化の進展が深く関係しています。その要因として、子どもを産む年代の女性人口の減少の加速による出生数の減少により新たに増える人口のペースが鈍化する一方で、老年人口の増加が死亡数の増加につながり、減少する人口のペースが加速している点が挙げられます。そのため、2040年代、2050年代にかけて老年人口がさらに増加することで、減少速度はさらに加速しています。

③人口減少、人口構造の変化から生じる課題の整理

人口減少と人口構造の変化は、市内経済や市民生活に深刻な影響を及ぼすことが予測されます。以下では、人口減少および人口構造の変化による主な課題を整理します。

一つ目の課題は、生産年齢人口の減少による地域産業を支える労働力不足です。この影響で、地域産業では人手不足が加速し、事業やサービスの存続が危ぶまれるケースが増加する可能性があります。また、働きやすい職場環境の維持が難しくなることで人材流出につながり、さらなる労働力の減少を招く可能性があります。

二つ目の課題は市内経済の縮小です。人口減少により、市内での消費が縮小し、それに伴って市内経済が縮小する懸念があります。また、医療機関や公共交通といった生活インフラの維持が難しくなり、市民の生活利便性が低下する恐れがあります。こうした影響が重なることで、地域の魅力が失われ、さらなる人口減少を招く可能性があります。

三つ目の課題は、税収の減少と社会保障費の増加による財政の逼迫です。人口構造の変化に伴い、生産年齢人口が減少することで税収の減少が避けられない状況となります。一方、老年人口の増加により医療や介護費などの社会保障費が急増し、財政への負担がさらに深刻化する可能性があります。

④「魅力的な西尾市」と「持続的な西尾市」を実現するまちづくり

人口減少と人口構造の変化は、経済活動や行政サービス、財政など多方面に大きな影響を及ぼすものであり、今後のまちづくりの中で避けて通れない重要な課題です。

国は2014年（平成26年）、人口減少に歯止めをかけるという基本方針のもと地方創生を掲げ、本市をはじめ全国の自治体が魅力あるまちづくりを推進するために各種施策を展開してきました。しかし、地方創生から10年が経過した現在においても東京一極集中や地方の人口減少といった課題は、依然として解消されていません。

こうした状況を踏まえ、国は2024年（令和6年）に新たな方針として地方創生2.0を示しました。この方針では、当面避けることのできない人口減少を正面から受け止めたうえで、若者や女性に選ばれる地方、誰もが安心して暮らせて、一人一人が幸せを実現できる地方を目指すことが基本姿勢として示されています。

このような国の動きも踏まえ、本市が本格的な人口減少社会に対応していくためには、「魅力的な西尾市」と「持続的な西尾市」の二つの軸を併せ持った取組を進めていく必要があります。

「魅力的な西尾市」とは、子育て世代が安心して定住できる環境を整えることはもちろん、若者が本市での生活を選びたいと感じられる地域を目指すまちづくりです。妊娠・出産期からの切れ目ない支援や、多様な保育サービス等の充実などにより、生まれる前から乳幼児期までの支援の充実を図り、あわせて、子どもの居場所づくりをはじめとし

た学童期・思春期の学びを支え、継続した育ちの支援を図ることで、「子育てをするならやっぱり西尾市」と思っただけの取組を推進します。また、本市の豊かな自然や歴史を生かした日常的に楽しめる場所の魅力向上、一色産うなぎや抹茶をはじめとする特産品を生かした食の魅力向上、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりなどを推進します。こうした取組を通じて、市民が日々の暮らしの中で西尾の良さを実感し、市外の方にも「住んでみたい」と感じてもらうことで、転出を抑制し、定住や移住の促進につなげ、人口減少の進行を可能な限り緩和しながら、地域の活力を維持していくものです。

「持続的な西尾市」とは、人口減少が進行する中においても、地域の暮らしや必要な機能が将来にわたり維持され、市民がそれぞれのライフステージに応じて安心して暮らし続けられるまちづくりです。そのため、人口規模の変化を踏まえた効率的な行政運営と多様なサービス提供体制の構築を進めるとともに、公共施設の再配置やDXの推進、官民連携などを通じて、限られた資源を有効に活用し、いつまでも住み続けられるまちの実現を目指していくものです。

将来人口推計から明らかになった課題に対し、「魅力的な西尾市」と「持続的な西尾市」という二つの軸を基本方針に据え、変化する人口構造を正確に把握しながら、各種計画の策定や具体的な施策を展開していくことが求められます。